Canon

TS8000 series
オンラインマニュアル - 取扱説明書 -

本製品の基本情報
プリント
コピー
スキャン
よくあるご質問

日本語 (Japanese)

目次

オンラインマニュアルの使いかた. 9
商標・ライセンスについて. 10
まず使ってみる. 19
パソコンで写真を印刷する. 20
文書をコピーする. 24
写真を印刷する. 28
パソコンでディスクレーベルを印刷する. 31
ディスクレーベルをコピーする. 35
セット方法. 39
用紙をセットする. 40
用紙のセットについて. 41
後トレイに用紙をセットする. 42
カセットに用紙をセットする. 47
封筒をセットする. 51
プリンタブルディスクをセットする. 55
プリンタブルディスクに印刷するときの注意. 56
プリンタブルディスクをセットする前に. 57
プリンタブルディスクをセットする. 58
プリンタブルディスクを取り出す. 60
原稿をセットする. 61
原稿台ガラスに原稿をセットする. 62
機能ごとの原稿のセット方法. 63
セットできる原稿について. 65
原稿台カバーの取り外しかた／取り付けかた. 66
メモリーカードをセットする. 67
メモリーカードをセットする前に. 68
メモリーカードをセットする. 69
メモリーカードを取り出す. 70
インクタンクを交換する. 71
インクタンクを交換する. 72
インクの状態をタッチスクリーンで確認する. 77
インクの状態をインクランプで確認する. 78
お手入れ（メンテナンス）. 80

印刷にかすれやむらがあるときには. 81
お手入れの手順について. 82
ノズルチェックパターンを印刷する. 84
ノズルチェックパターンを確認する. 86
プリントヘッドをクリーニングする. 88
プリントヘッドを強力クリーニングする. 90
プリントヘッド位置を調整する. 92
本製品を清掃する. 95
給紙ローラーをクリーニングする. 96
インクふき取りクリーニングを行う. 98
本製品の基本情報. 100
安全ガイド. 102
安全にお使いいただくために. 103
法規制情報. 104
各部の名称と使いかた. 106
各部の名称と役割. 107
前面. 108
背面. 111
内部. 112
操作パネル. 113
本製品の電源について. 114
電源が入っているか確認する. 115
電源を入れる／切る. 116
電源プラグ／電源コードについて. 118
電源プラグを抜く. 119
操作パネルの使いかた. 120
本製品の設定を変更する. 124
パソコンで設定を変更する（Windows）. 125
印刷オプションの設定を変更する. 126
よく使う印刷設定を登録する. 127
プリンターの電源を操作する. 129
プリンターの設定を変更する. 131
本製品の操作パネルで設定を変更する. 133
本製品の操作パネルで設定を変更する. 134
本製品の操作パネルで設定できる項目. 136
印刷設定. 137

LAN 設定. 139
本体の基本設定. 144
言語選択. 146
ファームウェアのアップデート. 147
給紙設定. 148
設定リセット. 149
システム情報. 150
ECO 設定について. 151
ネットワーク接続に関する情報. 153
ネットワーク接続で役立つ情報. 154
工場出荷時初期値（ネットワーク）. 155
同じ名前のプリンターを検出したときは. 157
他のパソコンに LAN 接続する／USB 接続を LAN 接続に切り替える. 158
本製品のネットワーク設定情報を印刷する. 159
無線 LAN の接続方法を切り替える. 163
きれいに印刷するためのヒント集. 164
本製品を移送するときの注意. 165
原稿をスキャンするときの注意事項. 166
仕様. 167
用紙に関する情報. 171
使用できる用紙について. 172
用紙の最大積載枚数. 175
使用できない用紙について. 177
用紙の取り扱いについて. 178
パソコンから印刷してみよう. 179
アプリケーションソフトで印刷する（Windows プリンタードライバー）. 180
かんたんな設定で印刷を行う. 181
プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙の種類）. 185
プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙のサイズ）. 187
いろいろな印刷. 188
用紙サイズと印刷の向きを設定する. 189
部数と印刷順序を設定する. 190
フチなし全面印刷を行う. 192
拡大/縮小印刷を行う. 195
割り付け印刷を行う. 197

分割/ポスター印刷を行う. 199
両面印刷を行う. 202
封筒に印刷する. 206
はがきに印刷する. 209
印刷品質を設定する（ユーザー設定）. 211
プリンタードライバーの概要. 213
Canon IJ プリンタードライバー. 214
使用上の注意（プリンタードライバー）. 217
プリンタードライバーの画面説明. 219
［クイック設定］シートの画面説明. 220
［基本設定］シートの画面説明. 226
［ページ設定］シートの画面説明. 232
［ユーティリティ］シートの画面説明. 244
Canon IJ ステータスモニタの画面説明. 250
MP ドライバーをインストールする. 253
スマートフォン／タブレットから直接印刷してみよう. 254
本製品を無線ダイレクトで使用する. 255
写真データを印刷してみよう. 260
メモリーカードの写真を印刷する. 261
本製品の操作パネルを使って写真印刷するときの設定項目. 266
ディスクレーベル印刷について. 268
ディスクのレーベル面をコピーする. 269
メモリーカードから印刷する. 272
写真に手書き文字を合成してディスクレーベルに印刷する. 275
印刷時の用紙設定. 284
コピーする. 289
コピーするときの設定項目. 292
パソコンからスキャンしてみよう（Windows）. 295
IJ Scan Utility でスキャンする. 296
スキャナー用ソフト「IJ Scan Utility」とは. 297
IJ Scan Utility を起動する. 299
おまかせスキャンでかんたんにスキャンする. 300
IJ Scan Utility の画面説明. 301
IJ Scan Utility 基本画面. 302
スキャン設定ダイアログボックス. 304
お使いのアプリケーションソフトでスキャンする（ScanGear）. 321

ScanGear（スキャナードライバー）とは. 322
ScanGear（スキャナードライバー）を起動する. 324
「基本モード」でスキャンする. 325
ScanGear（スキャナードライバー）の画面説明. 328
［基本モード］シート. 329
［拡張モード］シート. 336
使用上の注意（スキャナードライバー）. 342
原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）. 344
ネットワーク環境でスキャンするときの設定方法. 346
本製品の操作パネルを使ってスキャンしてみよう. 350
スキャンしたデータをパソコンに転送する. 351
スキャンするときの設定項目. 356
よくあるご質問. 358
ネットワークについてよくあるご質問. 360
本製品のネットワーク接続について知りたい. 362
制限事項について. 364
ネットワークに関するトラブル. 366
ネットワーク上にプリンターが見つからない. 367
セットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない（Windows）368
無線 LAN 接続のセットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない（Windows）-電源を確認する. 369
無線 LAN 接続のセットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない（Windows）-パソコンのネットワーク接続を確認する. 370
無線 LAN 接続のセットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない（Windows）-本製品の無線 LAN 設定を確認する. 371
無線 LAN 接続のセットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない（Windows）-無線 LAN 接続の環境を確認する. 372
無線 LAN 接続のセットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない（Windows）-本製品の IP アドレスを確認する. 374
無線 LAN 接続のセットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない（Windows）-セキュリティソフトの設定を確認する. 375
無線 LAN 接続のセットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない（Windows）-無線 LAN ルーターの設定を確認する. 376
［プリンターの接続］画面／［ケーブルの接続］画面から先に進めない. 377
無線 LAN 接続で使用中にプリンターが見つからない. 379
本製品をネットワーク接続で使用中のトラブル. 381
本製品が突然使えなくなった. 382
ネットワークキーを忘れてしまった／わからない. 386

無線 LAN ルーターを買い替えた、または設定を変更したらプリンターが使えなくなった. . . 388
ネットワークに関するその他のトラブル. 390
ネットワークに関する設定を調べたい. 391
本製品の LAN 設定を初期設定状態に戻す. 394
印刷に関するトラブル. 395
印刷が始まらない. 396
インクが出ない. 399
用紙がうまく送られない／「用紙なし」のエラーが発生する. 400
ディスクにうまく印刷できない. 403
コピー／印刷結果に満足できない. 405
白紙のまま排紙される／印刷がかすれる／違う色になる／白いすじ（線）が入る. 407
罫線がずれる. 410
印刷面が汚れる／こすれる. 411
画像の横に縦線パターンが印刷される. 415
スキャンに関するトラブル（Windows）. 416
スキャンができない. 417
スキャナーが動かない. 418
ScanGear（スキャナードライバー）がアプリケーションソフトから呼び出せない. 419
本体に関するトラブル. 420
電源が入らない. 421
電源が自動的に切れてしまう. 422
USB 接続がうまくいかない. 423
USB 接続で通信ができない. 424
インストール／ダウンロードに関するトラブル. 425
MP ドライバーがインストールできない. 426
ネットワーク環境で MP ドライバーをバージョンアップする方法がわからない（Windows）. . . . 428
エラー表示／メッセージについて. 429
トラブルが発生したときは. 430
メッセージが表示されている. 432
エラーのサポート番号一覧. 439
用紙がつまったときのサポート番号. 441
1300. 442
1303. 444
1304. 448
1313. 451

本製品の内部で用紙がつまった. 454
1000. 457
1003. 458
1200. 459
1401. 460
1600. 461
1660. 462
1688. 463
1689. 464
1700. 465
1890. 466
2110. 467
2900. 470
2901. 471
4103. 472
5011. 473
5012. 474
5100. 475
5200. 476
5B00. 477
6000. 478
C000. 479

オンラインマニュアルの使いかた

- 本文中の記号
- タッチ機能対応のデバイスをご使用のかた（Windows）

本文中の記号

⚠ 警告

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負うおそれのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、かならずこの警告事項をお守りください。

⚠ 注意

取り扱いを誤った場合に、傷害を負うおそれや物的損害が発生するおそれのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、かならずこの注意事項をお守りください。

重要

守っていただきたい重要事項が書かれています。製品の故障・損傷や誤った操作を防ぐために、かならずお読みください。

参考

操作の参考になることや補足説明が書かれています。

基本

ご使用の製品の基本的な操作について説明しています。

参考

- ご使用の製品によって、アイコンは異なる場合があります。

タッチ機能対応のデバイスをご使用のかた（Windows）

タッチ操作の場合、本文中の「右クリック」を OS の設定に合わせて読み替える必要があります。たとえば、ご使用の OS で「長押し」に設定している場合は、「右クリック」を「長押し」に読み替えてください。

商標・ライセンスについて

- Microsoft は、Microsoft Corporation の登録商標です。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、Mac OS、AirMac、Bonjour、iPad、iPhone、iPod touch および Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。macOS、App Store、AirPrint、AirPrint ロゴは、Apple Inc.の商標です。
- IOS は、米国および他の国々で登録された Cisco の商標であり、ライセンスに基づいて使用しています。
- Google Cloud Print、Google Chrome、Chrome OS、Chromebook、Android、Google Play、Google Drive、Google Apps および Google Analytics は、Google Inc.の登録商標または商標です。
- Adobe、Flash、Photoshop、Photoshop Elements、Lightroom および Adobe RGB、Adobe RGB (1998) は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- Bluetooth は、米国 Bluetooth SIG, Inc.の商標であり、キヤノンはライセンスに基づいて使用しています。
- Autodesk、AutoCAD は、米国および／またはその他の国々における、Autodesk, Inc.、その子会社、関連会社の登録商標または商標です。

参考

- Windows Vista の正式名称は、Microsoft Windows Vista operating system です。

Copyright (c) 2003-2004, Apple Computer, Inc. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of Apple Computer, Inc. ("Apple") nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY APPLE AND ITS CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL APPLE OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Apache License

Version 2.0, January 2004

http://www.apache.org/licenses/
TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION

1. Definitions.

   "License" shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.

   "Licensor" shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.

   "Legal Entity" shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, "control" means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

   "You" (or "Your") shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.

   "Source" form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.

   "Object" form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.

   "Work" shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).

   "Derivative Works" shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.

   "Contribution" shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition, "submitted" means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as "Not a Contribution."

   "Contributor" shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. Grant of Copyright License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of,

publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.

3. Grant of Patent License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.
4. Redistribution. You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:

    1. You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and
    2. You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and
    3. You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and
    4. If the Work includes a "NOTICE" text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.

    You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.

5. Submission of Contributions. Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions. Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.
6. Trademarks. This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and

customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.

7. Disclaimer of Warranty. Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.
8. Limitation of Liability. In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.
9. Accepting Warranty or Additional Liability. While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.

END OF TERMS AND CONDITIONS

---- Part 1: CMU/UCD copyright notice: (BSD like) -----

Copyright 1989, 1991, 1992 by Carnegie Mellon University

Derivative Work - 1996, 1998-2000

Copyright 1996, 1998-2000 The Regents of the University of California

All Rights Reserved

Permission to use, copy, modify and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appears in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of CMU and The Regents of the University of California not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific written permission.

CMU AND THE REGENTS OF THE UNIVERSITY OF CALIFORNIA DISCLAIM ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL CMU OR THE REGENTS OF THE UNIVERSITY OF CALIFORNIA BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM THE LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

---- Part 2: Networks Associates Technology, Inc copyright notice (BSD) -----

Copyright (c) 2001-2003, Networks Associates Technology, Inc

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
* Neither the name of the Networks Associates Technology, Inc nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 3: Cambridge Broadband Ltd. copyright notice (BSD) -----

Portions of this code are copyright (c) 2001-2003, Cambridge Broadband Ltd.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
* The name of Cambridge Broadband Ltd. may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDER ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 4: Sun Microsystems, Inc. copyright notice (BSD) -----

Copyright c 2003 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, U.S.A. All rights reserved.

Use is subject to license terms below.

This distribution may include materials developed by third parties.

Sun, Sun Microsystems, the Sun logo and Solaris are trademarks or registered trademarks of Sun Microsystems, Inc. in the U.S. and other countries.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
* Neither the name of the Sun Microsystems, Inc. nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 5: Sparta, Inc copyright notice (BSD) -----

Copyright (c) 2003-2009, Sparta, Inc

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
* Neither the name of Sparta, Inc nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR

SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 6: Cisco/BUPTNIC copyright notice (BSD) -----

Copyright (c) 2004, Cisco, Inc and Information Network Center of Beijing University of Posts and Telecommunications.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
* Neither the name of Cisco, Inc, Beijing University of Posts and Telecommunications, nor the names of their contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 7: Fabasoft R&D Software GmbH & Co KG copyright notice (BSD) -----

Copyright (c) Fabasoft R&D Software GmbH & Co KG, 2003 oss@fabasoft.com

Author: Bernhard Penz

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
* The name of Fabasoft R&D Software GmbH & Co KG or any of its subsidiaries, brand or product names may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDER ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO

EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

LEADTOOLS

Copyright (C) 1991-2009 LEAD Technologies, Inc.

CMap Resources

Copyright 1990-2009 Adobe Systems Incorporated.
All rights reserved.

Copyright 1990-2010 Adobe Systems Incorporated.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

Neither the name of Adobe Systems Incorporated nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

MIT License

Copyright (c) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

下記は Wi-Fi に対応している製品にのみ該当します。

(c) 2009-2013 by Jeff Mott. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions, and the following disclaimer.
* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions, and the following disclaimer in the documentation or other materials provided with the distribution.
* Neither the name CryptoJS nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS," AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

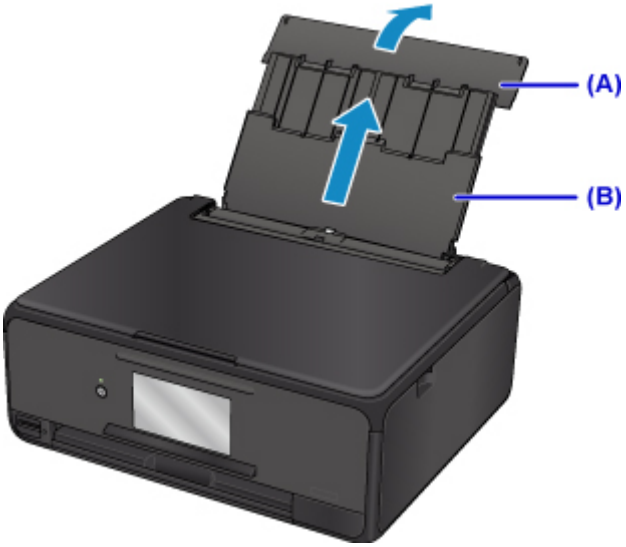
まず使ってみる

- パソコンで写真を印刷する
- 文書をコピーする
- 写真を印刷する
- パソコンでディスクレーベルを印刷する
- ディスクレーベルをコピーする

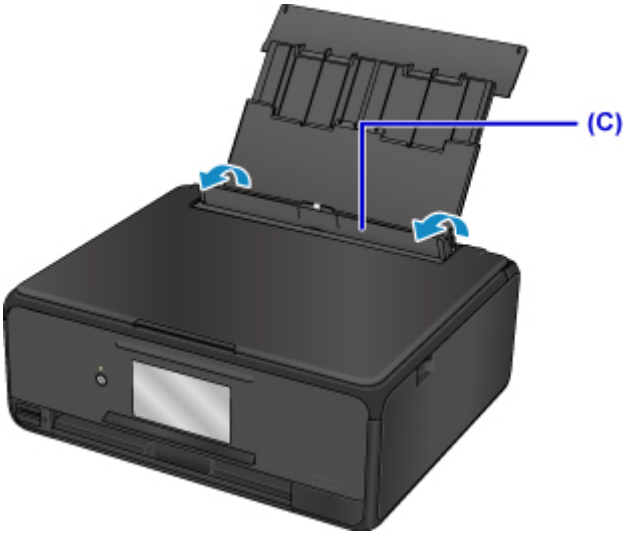
パソコンで写真を印刷する

My Image Garden（マイ・イメージ・ガーデン）を使って、写真を印刷する方法を説明します。

1. 後トレイカバー(A)を開き、用紙サポート(B)を引き出す

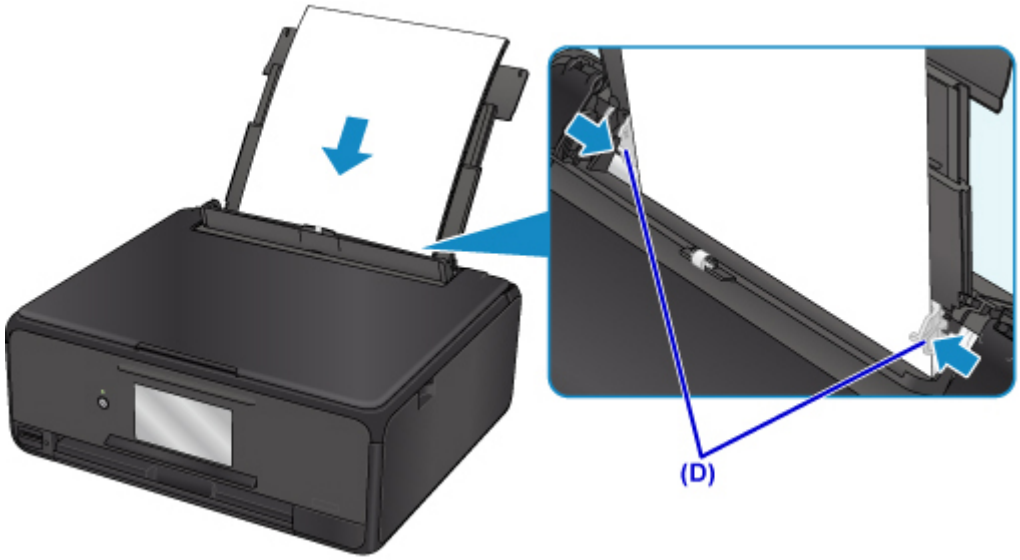


2. 給紙口カバー(C)を開く

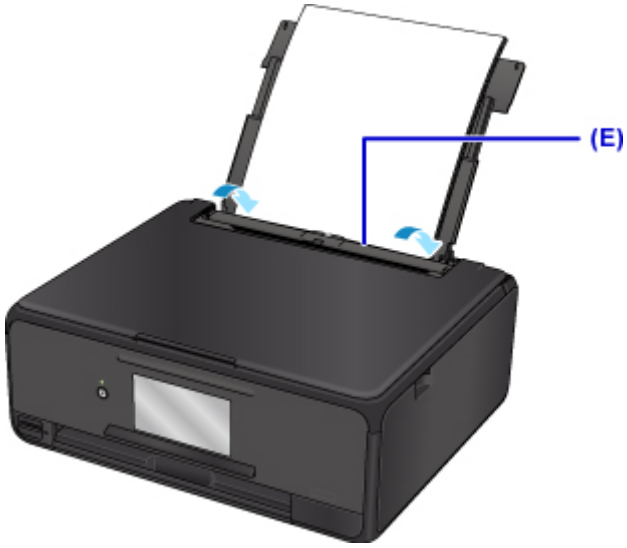


3. **印刷したい面を上に**して、用紙を縦にセットする

4. 用紙ガイド（D）を動かし、用紙の両端に合わせる

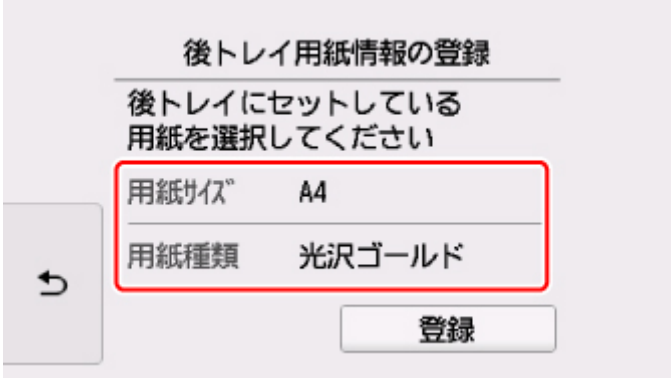


5. 給紙口カバー（E）をゆっくり閉じる



給紙口カバーを閉じると、タッチスクリーンに後トレイの用紙情報の登録画面が表示されます。

6. 後トレイにセットした用紙に合わせて［用紙サイズ］と［用紙種類］を設定し、［登録］を選ぶ



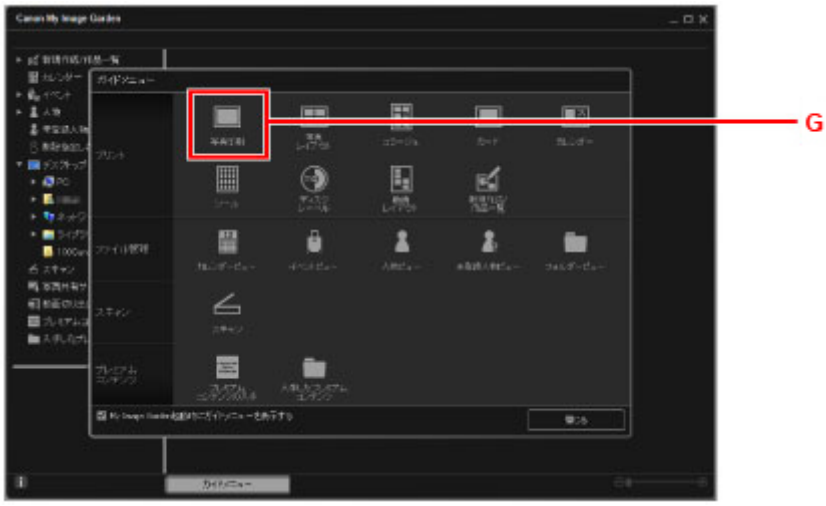
7. Quick Menu（クイック・メニュー）の My Image Garden アイコン（F）をクリックする

［ガイドメニュー］画面が表示されます。

参考

- 表示されるアイコンの数や種類は、ご使用の地域、設定しているプリンターやスキャナー、インストールされているアプリケーションソフトによって異なります。

8. ［写真印刷］アイコン（G）をクリックする



9. 印刷したい写真が入ったフォルダー（H）をクリックする

10. 印刷する写真（I）をクリックする

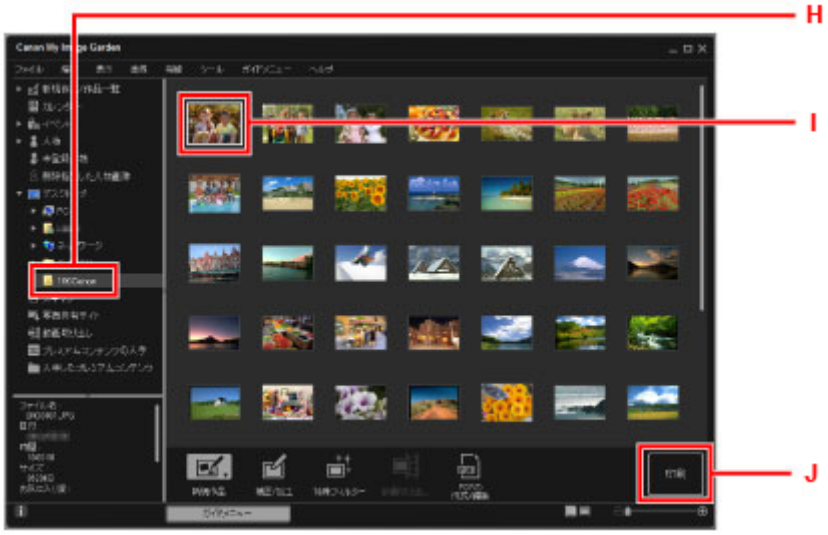
Windows をお使いの場合

複数の写真を同時に選びたいときは、Ctrl キーを押しながら写真をクリックします。

Mac OS をお使いの場合

複数の写真を同時に選びたいときは、command キーを押しながら写真をクリックします。

11. ［印刷］（J）をクリックする



12. 印刷部数やお使いの製品名、用紙の種類（K）などを設定する

13. ［印刷］（L）をクリックする

Mac OS をお使いの場合

表示されたメッセージを確認して［OK］をクリックし、［プリント］をクリックします。

自動的に操作パネルが開き排紙トレイが出てきて、印刷が始まります。

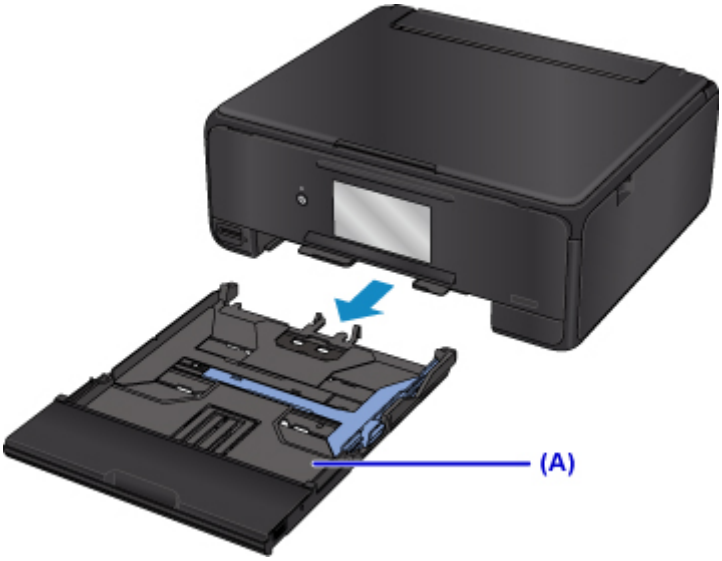
参考

- My Image Garden は、パソコンに保存されているデジタルカメラで撮影した写真などの画像を、さまざまな用途で幅広く活用できます。
  - Windows をご使用の場合：
    - My Image Garden ガイド
  - Mac OS をご使用の場合：
    - My Image Garden ガイド

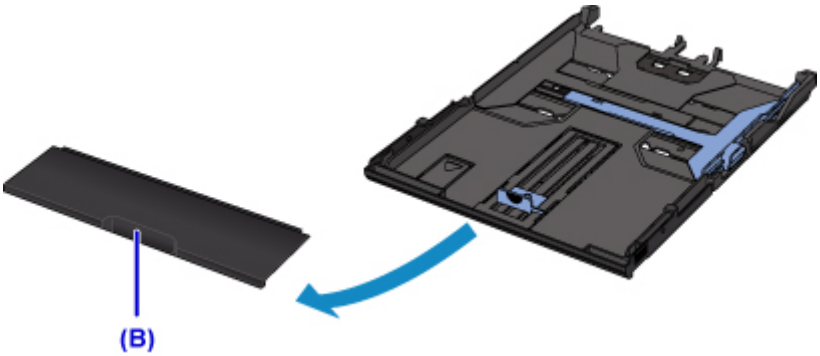
文書をコピーする

原稿をセットして、普通紙にコピーする方法を説明します。

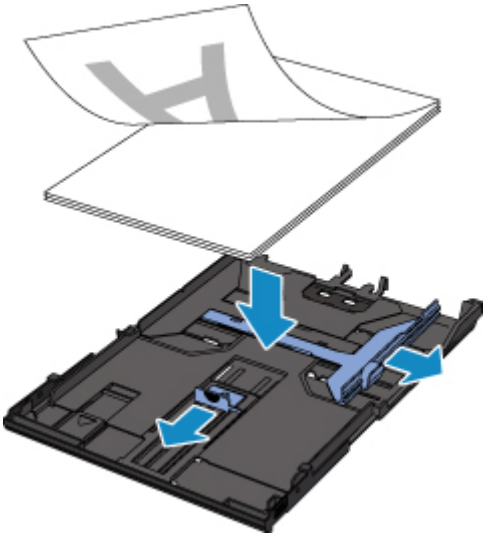
1. カセット(A)を手前に引き出す



2. カセットカバー(B)を取り外す



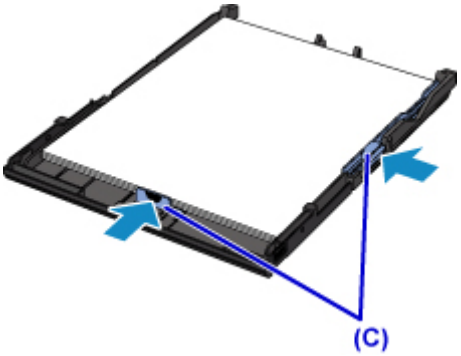
3. **印刷したい面を下に**して、用紙をセットする



参考

- A4 サイズの用紙をセットする場合は、カセットを伸ばしてください。

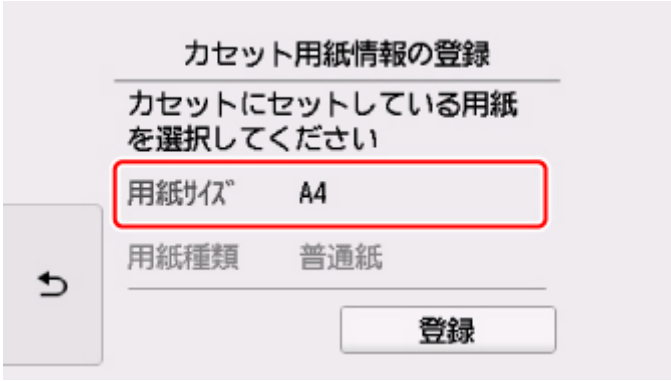
4. 用紙ガイド（C）を用紙の長さと幅に合わせる



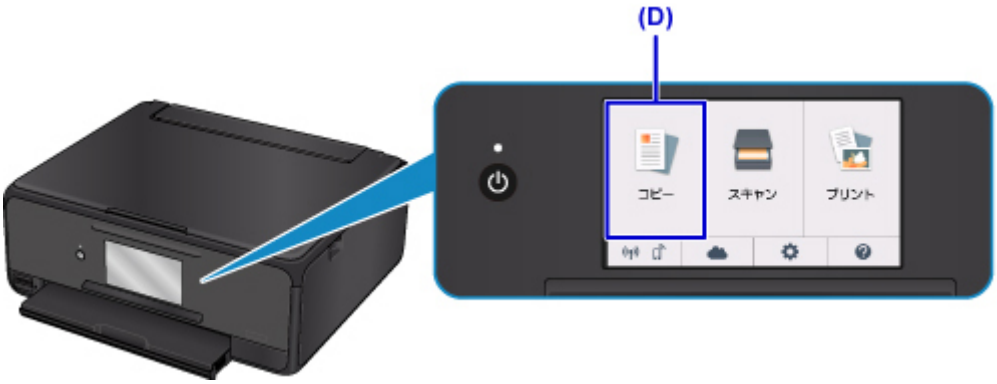
5. カセットカバーを取り付け、カセットを本体に差し込む

カセットを差し込むと、タッチスクリーンにカセットの用紙情報の登録画面が表示されます。

6. カセットにセットした用紙に合わせて［用紙サイズ］を設定し、［登録］を選ぶ



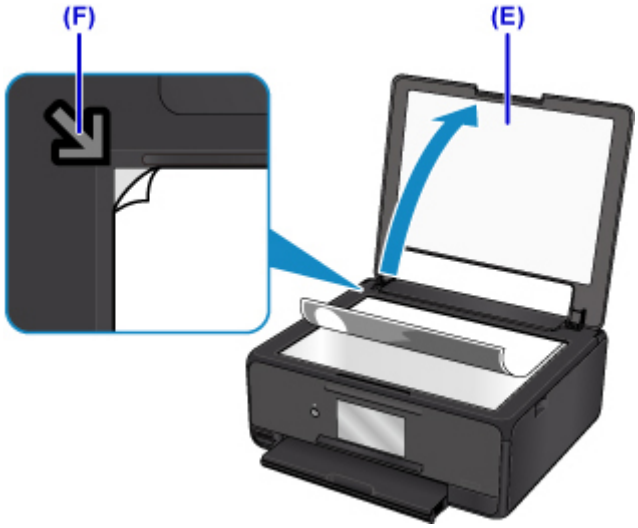
7. ホーム画面から ［コピー］(D)を選ぶ



8. ［標準コピー］を選ぶ

9. 原稿台カバー（E）を開く

10. **<u>コピーしたい面を下に</u>**して、原稿を原稿位置合わせマーク（F）に合わせる



11. 原稿台カバーを閉じる

12. 用紙の設定を確認して、モノクロボタンまたはカラーボタン（G）を押す

自動的に操作パネルが開き排紙トレイが出てきて、コピーが始まります。

重要

- コピーが終わるまで、原稿台カバーを開かないでください。

参考

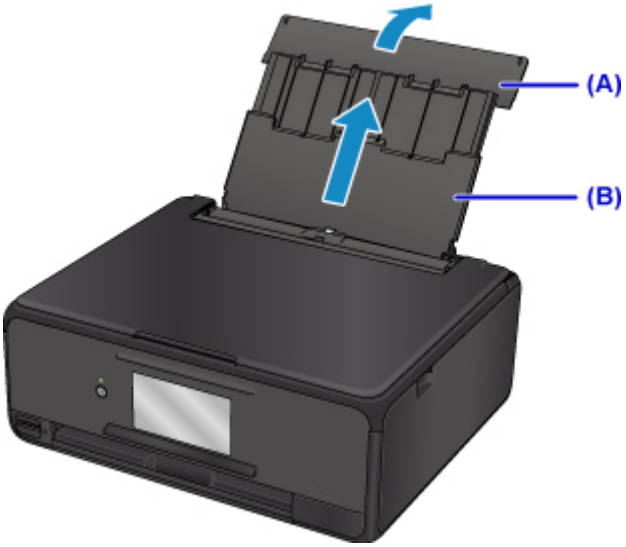
- このほか、本製品にはさまざまなコピー機能が用意されています。

  ■ コピー

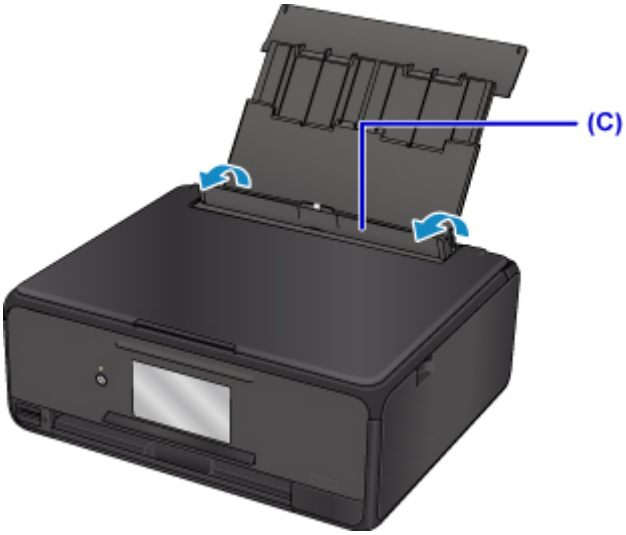
写真を印刷する

メモリーカードに保存された写真の印刷を説明します。

1. 後トレイカバー(A)を開き、用紙サポート(B)を引き出す

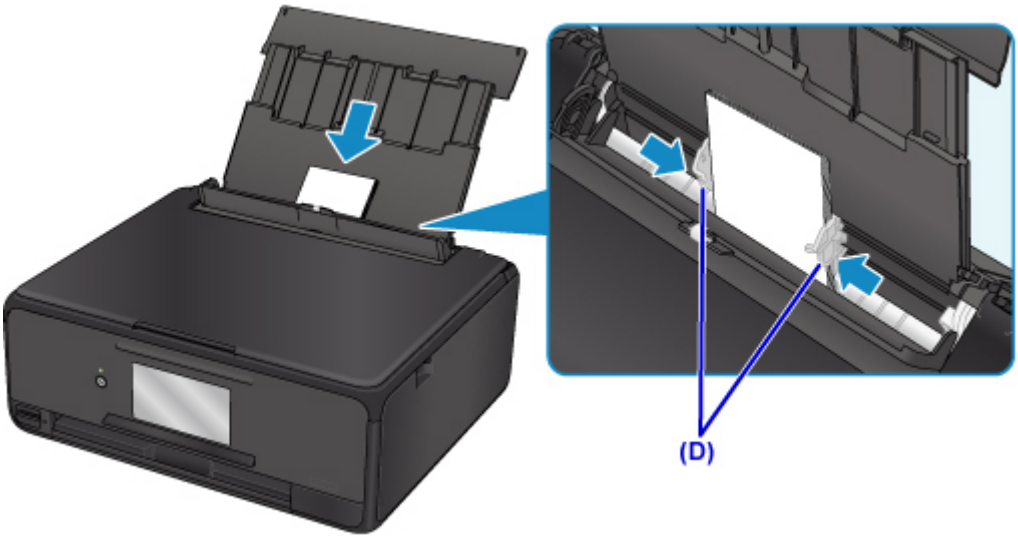


2. 給紙口カバー(C)を開く

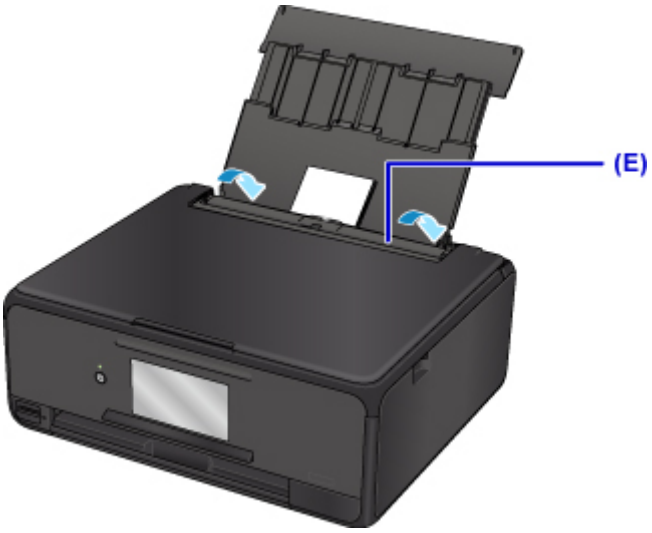


3. **印刷したい面を上に**して、用紙を縦にセットする

4. 用紙ガイド（D）を動かし、用紙の両端に合わせる

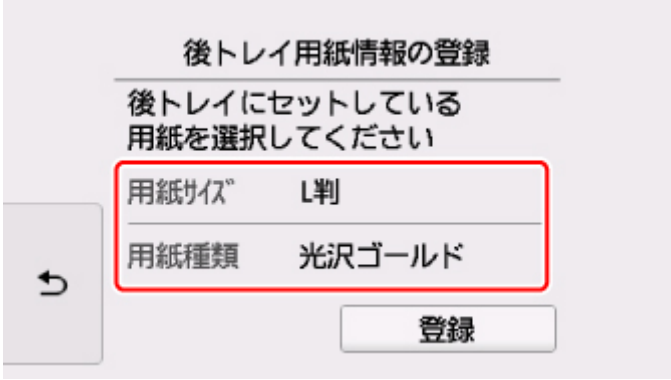


5. 給紙口カバー（E）をゆっくり閉じる



給紙口カバーを閉じると、タッチスクリーンに後トレイの用紙情報の登録画面が表示されます。

6. 後トレイにセットした用紙に合わせて［用紙サイズ］と［用紙種類］を設定し、［登録］を選ぶ



7. メモリーカードを差し込む

※図は例として、SD/SDHC メモリーカードをセットしています。

参考

- SD/SDHC メモリーカード以外のセットについては、以下を参照してください。

  メモリーカードをセットする

8. 写真(F)の上で左右にフリックし、写真を選ぶ

9. 用紙の設定を確認して、カラーボタン（G）を押す

自動的に操作パネルが開き排紙トレイが出てきて、印刷が始まります。

重要

- 印刷中はメモリーカードを取り出さないでください。メモリーカードのデータが破損することがあります。

参考

- このほか、本製品にはさまざまな写真印刷の機能が用意されています。

  写真データを印刷してみよう

パソコンでディスクレーベルを印刷する

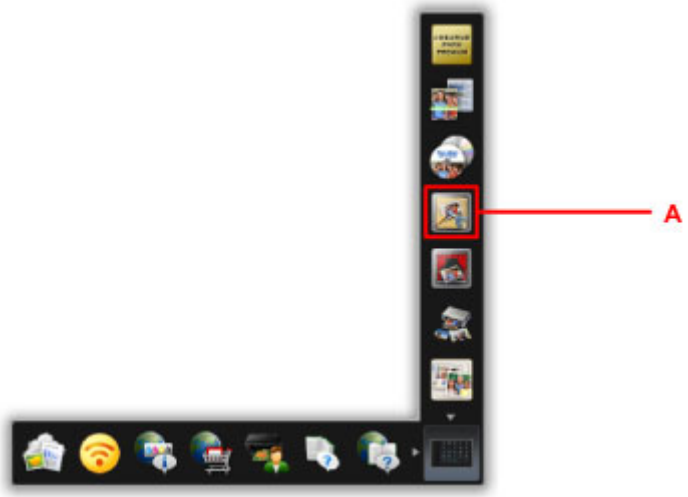
My Image Garden（マイ・イメージ・ガーデン）を使って、プリンタブルディスクに写真を印刷する方法を説明します。

重要

- プリンタブルディスクのセットを促すメッセージが表示されるまでは、ディスクトレイはセットしないでください。動作中にディスクトレイをセットすると本製品を損傷するおそれがあります。

1. Quick Menu（クイック・メニュー）の My Image Garden アイコン（A）をクリックする

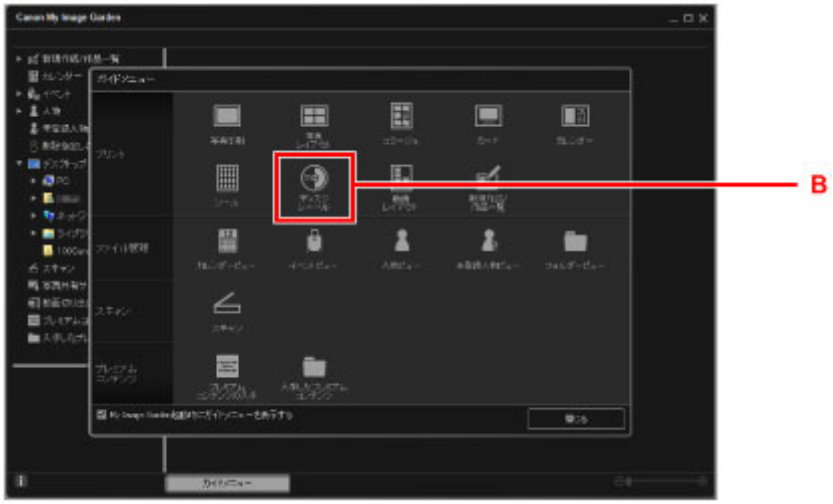
   ［ガイドメニュー］画面が表示されます。



参考

- 表示されるアイコンの数や種類は、ご使用の地域、設定しているプリンターやスキャナー、インストールされているアプリケーションソフトによって異なります。

2. ［ディスクレーベル］アイコン（B）をクリックする



3. テーマや［用紙サイズ］など（C）を設定する

4. ［OK］（D）をクリックする

5. ダイアログ画面が表示されたら、［OK］をクリックする

6. ［画像の追加］（E）をクリックし、ディスクレーベルに印刷したい写真を選ぶ

参考

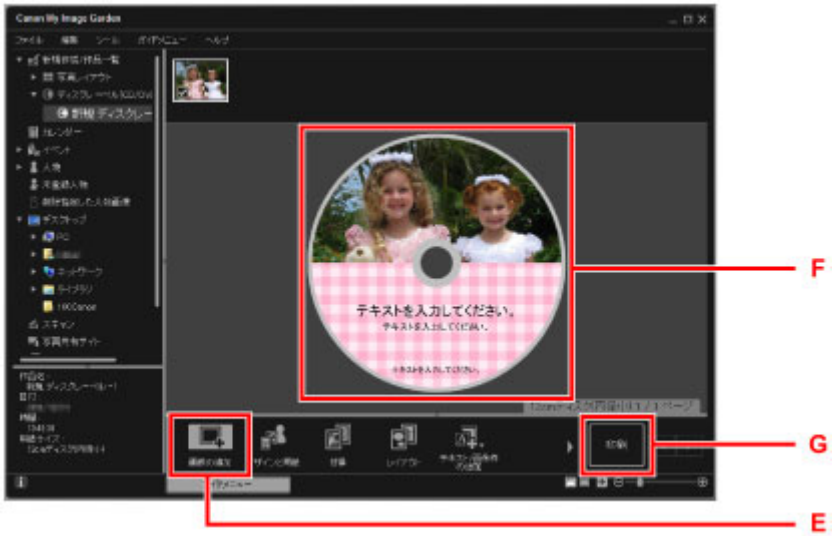
- 選んだ画像の撮影情報や解析結果によっては、期待したレイアウトにならない場合があります。

7. ディスクレーベル（F）を編集する

背景を変えたり、文字を入れることができます。

- Windows をご使用の場合：
  - My Image Garden ガイド
- Mac OS をご使用の場合：
  - My Image Garden ガイド

8. ［印刷］（G）をクリックする



9. 印刷部数やお使いの製品名など（H）を設定する

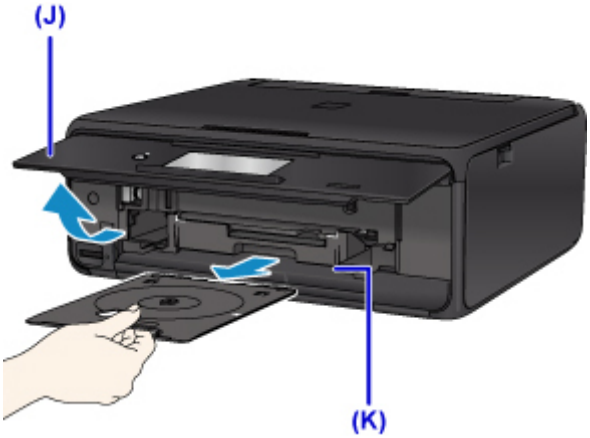
10. ［印刷］（I）をクリックする

Mac OS をお使いの場合

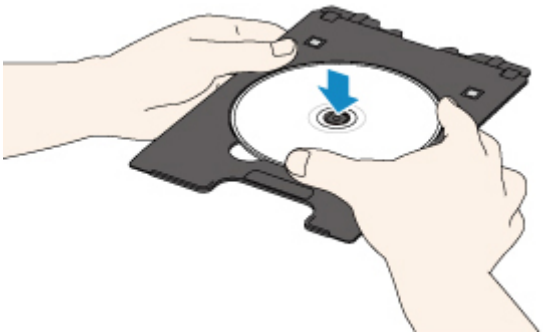
表示されたメッセージを確認して［OK］をクリックし、［プリント］をクリックします。

再度、表示されたメッセージを確認して［OK］をクリックします。

11. プリンタブルディスクのセットを促すメッセージが表示されたら、操作パネル（J）を開き、ディスクトレイ収納部（K）からディスクトレイを取り出す

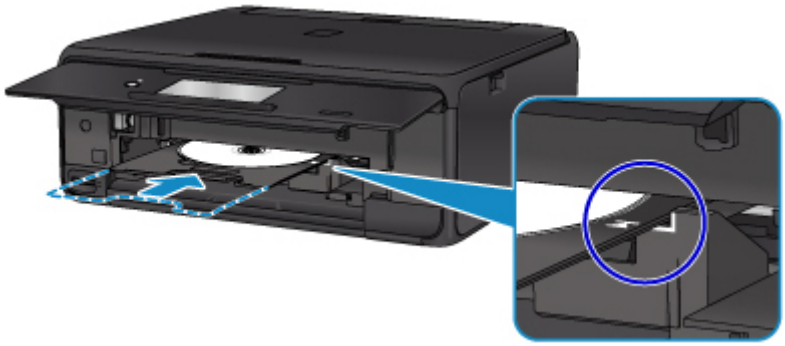


12. 印刷面を上にして、プリンタブルディスクをディスクトレイにセットする



13. ディスクトレイをディスクトレイガイドにセットする

ディスクトレイの矢印（▲）と、ディスクトレイガイドの白い線がほぼ合うところまで、まっすぐ挿入します。



14. 印刷を開始する

Windows をお使いの場合

ダイアログ画面の［印刷開始］をクリックします。

Mac OS をお使いの場合

［OK］をタップします。

ディスクトレイが引き込まれ、印刷が開始されます。

印刷が終わったら、ディスクトレイを手前に引いて取り出してください。

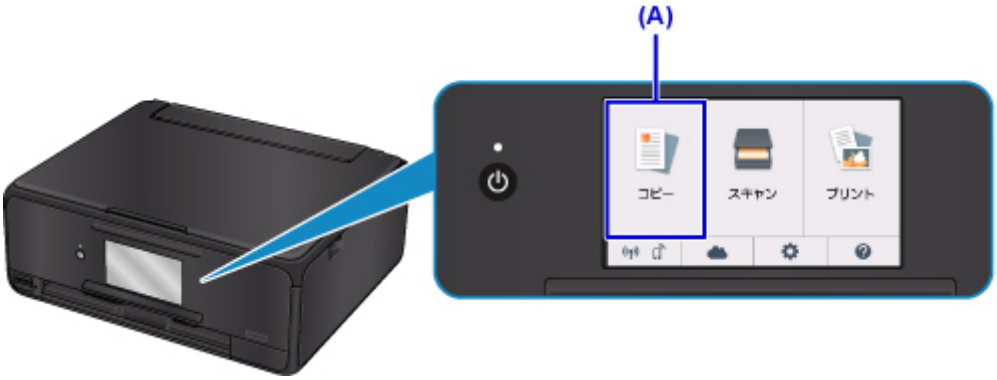
参考

- My Image Garden では、さまざまなレイアウトでディスクレーベルに写真などを印刷することができます。
  - Windows をご使用の場合：
    - My Image Garden ガイド
  - Mac OS をご使用の場合：
    - My Image Garden ガイド

ディスクレーベルをコピーする

既存のディスク（BD/DVD/CD など）のレーベル面をプリンタブルディスクにコピーする方法を説明します。

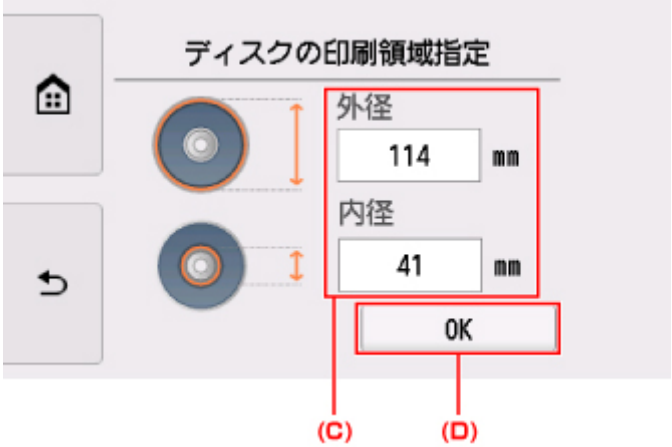
1. ホーム画面から ［コピー］(A)を選ぶ



2. ［ディスクレーベルコピー］（B）を選ぶ

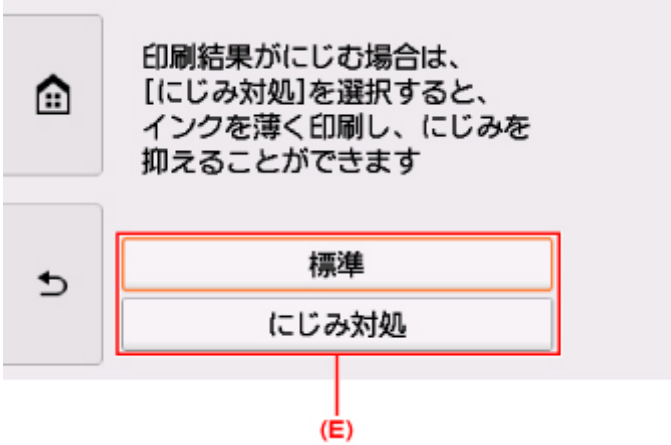
3. 必要に応じて、プリンタブルディスクの印刷領域を設定する

［外径］または［内径］（C）をタップし、印刷領域を設定して［OK］（D）をタップします。



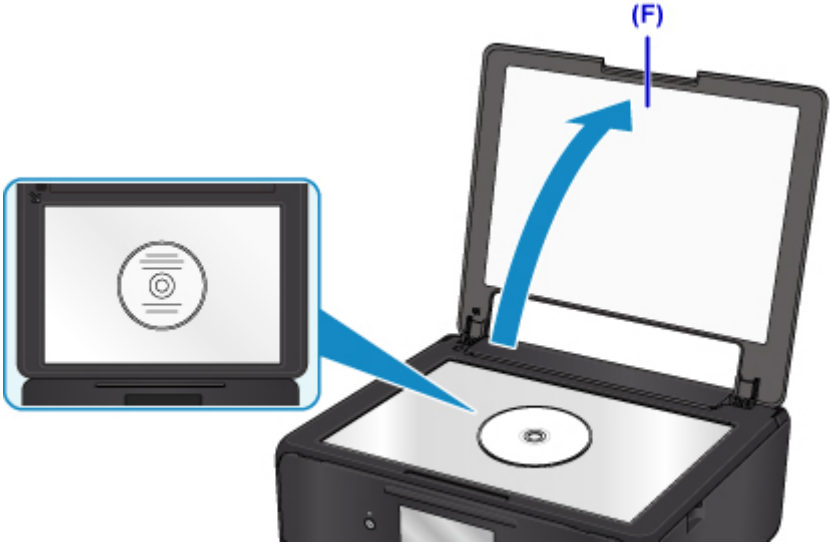
4. インク量（E）を指定する

印刷結果がにじむ場合は、［にじみ対処］を選んでください。インクを薄く印刷してにじみを抑えることができます。



5. 原稿台カバー（F）を開く

6. **<u>コピーする面を下に</u>**して、コピー元のディスクを原稿台ガラスにセットする

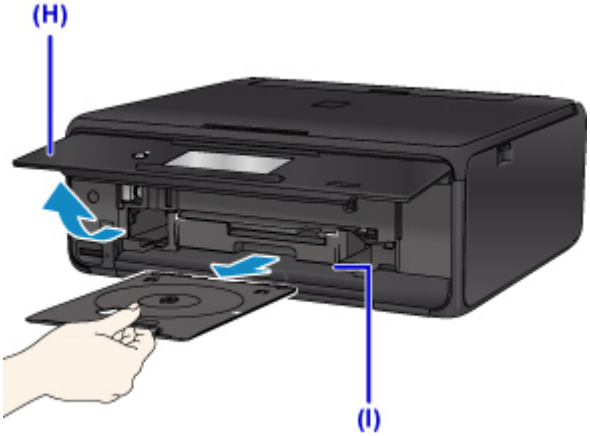


7. 原稿台カバーを閉じる

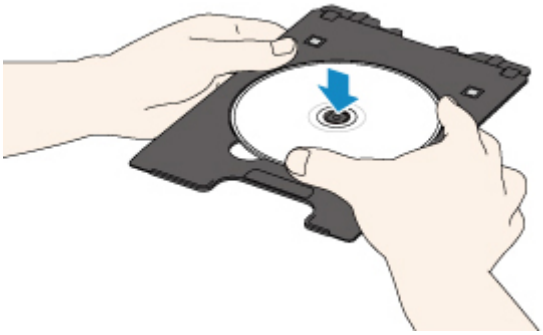
8. タッチスクリーンの［OK］をタップする

9. 印刷設定を確認して、モノクロボタンまたはカラーボタン（G）をタッチする

10. プリンタブルディスクのセットを促すメッセージが表示されたら、操作パネル（H）を開き、ディスクトレイ収納部（I）からディスクトレイを取り出す

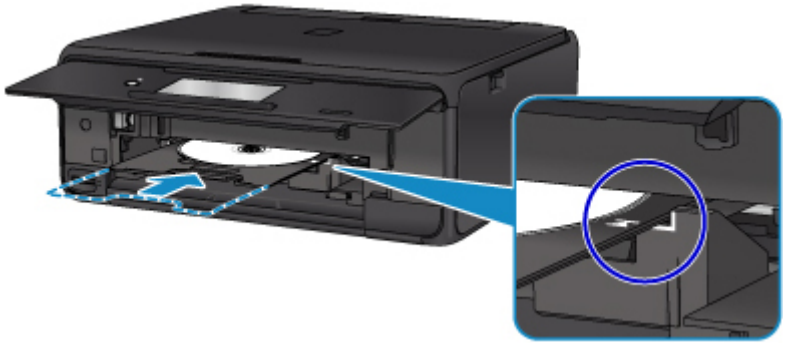


11. 印刷面を上にして、プリンタブルディスクをディスクトレイにセットする



12. ディスクトレイをディスクトレイガイドにセットする

ディスクトレイの矢印（▲）と、ディスクトレイガイドの白い線がほぼ合うところまで、まっすぐ挿入します。



13. タッチスクリーンの［OK］をタップする

ディスクトレイが引き込まれ、コピーが開始されます。

コピーが終わったら、ディスクトレイを手前に引いて取り出してください。

重要

- コピーが終わるまで、原稿台カバーを開かないでください。

参考

- このほか、本製品にはさまざまなディスクレーベル印刷の機能が用意されています。

■ ディスクレーベル印刷について

セット方法

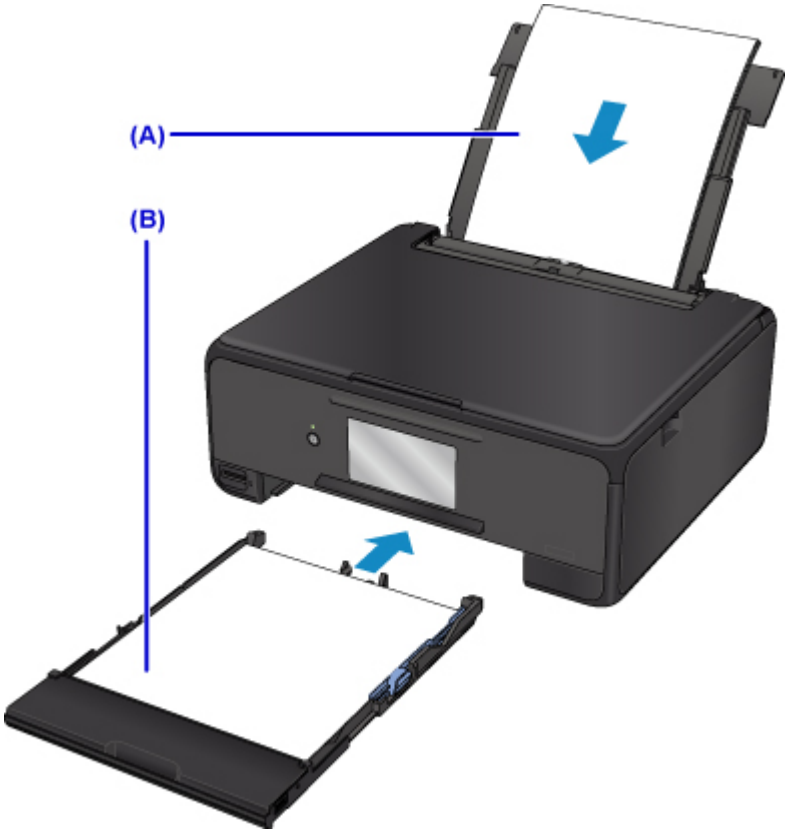
- 用紙をセットする
- プリンタブルディスクをセットする
- 原稿をセットする
- メモリーカードをセットする
- インクタンクを交換する

用紙をセットする

- 用紙のセットについて
- 後トレイに用紙をセットする
- カセットに用紙をセットする
- 封筒をセットする

用紙のセットについて

用紙は、後トレイ（A）とカセット（B）の 2 箇所にセットすることができます。



用紙サイズや用紙の種類によって、セットする給紙箇所が決められています。

- 使用できる用紙について

参考

- 印刷する際は、用紙サイズと用紙の種類を正しく設定してください。用紙サイズと用紙の種類を間違えると、給紙箇所が違ったり、正しい印刷品質で印刷されなかったりする場合があります。

  それぞれの給紙箇所への用紙のセット方法については、以下を参照してください。

  - 後トレイに用紙をセットする
  - カセットに用紙をセットする
  - 封筒をセットする

後トレイに用紙をセットする

普通紙や写真用紙、はがきをセットします。

はがきに印刷するときは、「はがきに印刷するときの注意」の内容を確認してからはがきをセットしてください。

封筒も後トレイにセットします。

封筒をセットする

重要

- 普通紙を L 判、2L 判、KG サイズ、はがきの大きさに切って試し印刷すると、紙づまりの原因になります。

参考

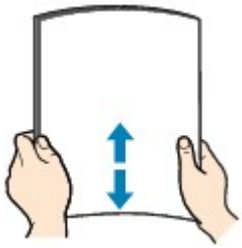
- 写真を印刷するときは、キヤノン純正の写真専用紙のご使用をお勧めします。キヤノン純正紙については、「使用できる用紙について」を参照してください。
- 複写機などで使用される一般的なコピー用紙やキヤノン普通紙・ホワイト SW-101、キヤノン普通紙・ビジネス FB-101 が使用できます。用紙の両面に印刷する場合は、キヤノン普通紙・ホワイト 両面厚口 SW-201 がお勧めです。

  本製品で使用できる用紙サイズ、重さについては、「使用できる用紙について」を参照してください。

用紙セットの操作

1. 用紙の準備をする

   セットする用紙をそろえます。用紙に反りがあるときは、反りを直してください。



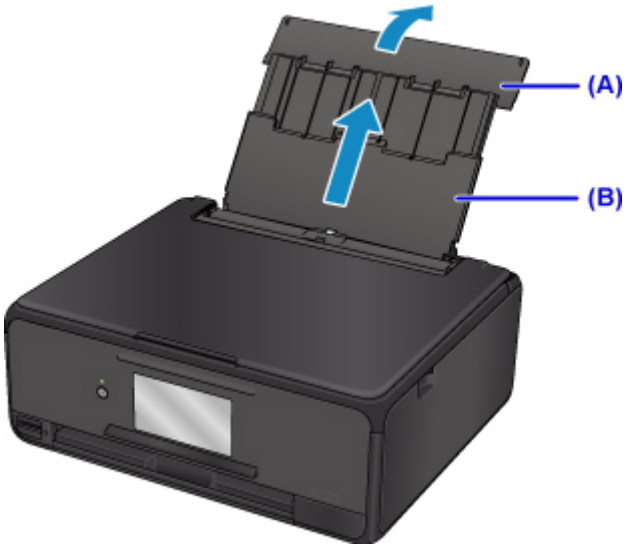
   参考

   - 用紙の端をきれいにそろえてからセットしてください。用紙の端をそろえずにセットすると、紙づまりの原因となることがあります。
   - 用紙に反りがあるときは、逆向きに曲げて反りを直してから（表面が波状にならないように）セットしてください。

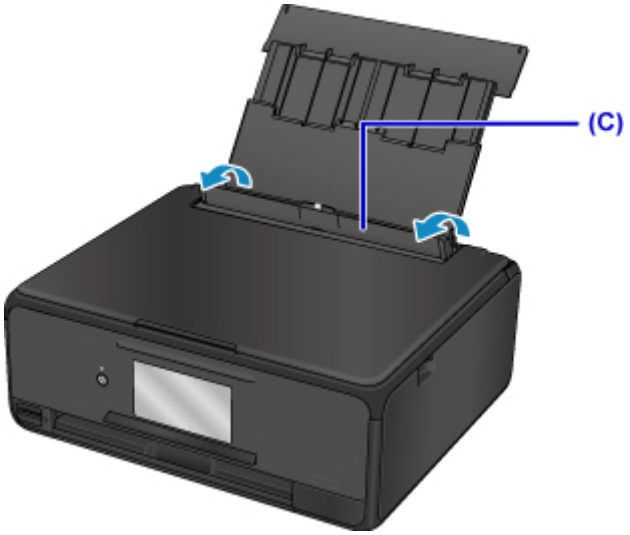
     反りの直しかたについては「その用紙、反っていませんか？」を参照してください。

2. 用紙をセットする

   1. 後トレイカバー(A)を開き、用紙サポート(B)を引き出す



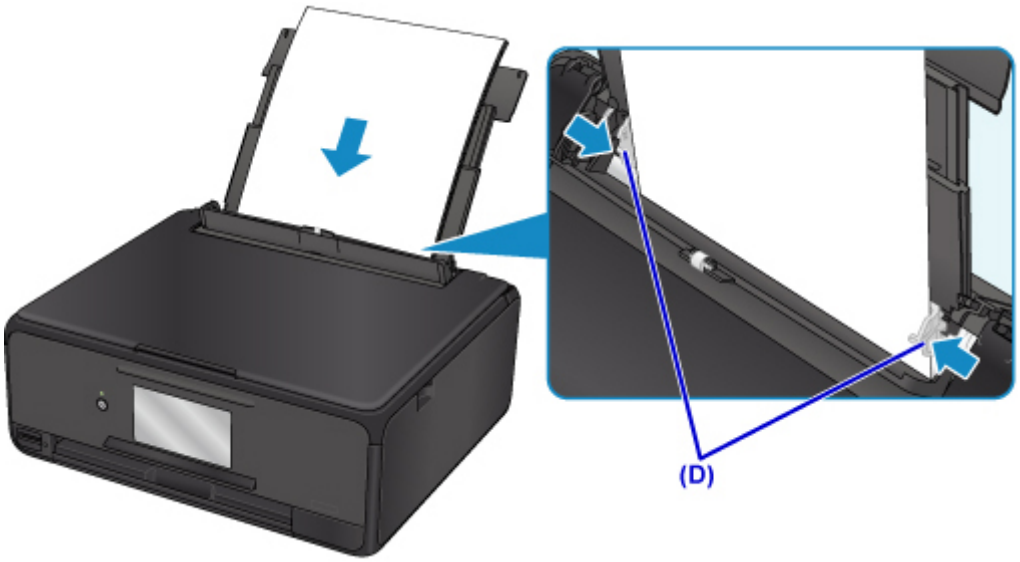
2. 給紙口カバー(C)を開く



3. **印刷したい面を上に**して、用紙を縦にセットする

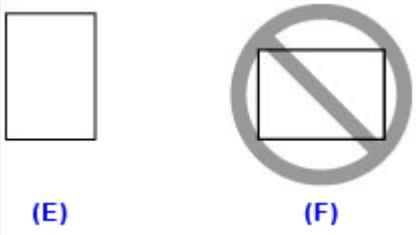
4. 用紙ガイド（D）を動かし、用紙の両端に合わせる

用紙ガイドを用紙に強く突き当てすぎないようにしてください。うまく給紙されない場合があります。



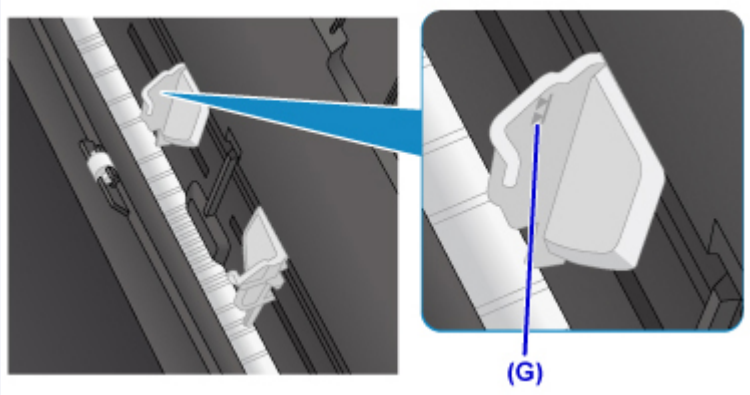
重要

- 用紙（往復はがきを除く）は縦方向（E）にセットしてください。横方向（F）にセットすると紙づまりの原因となります。



参考

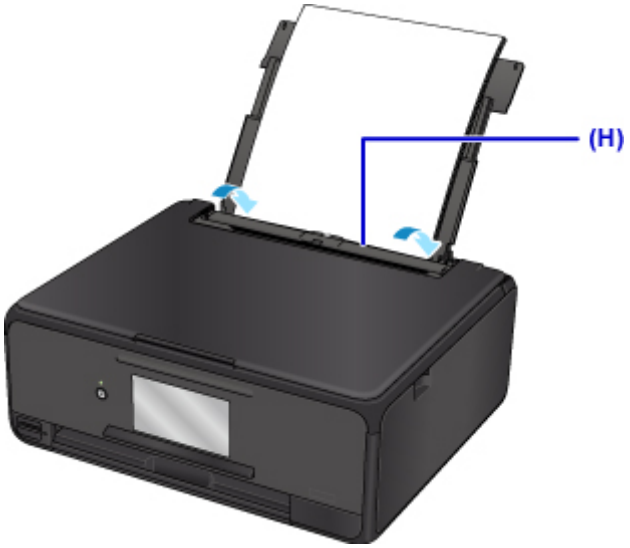
- 用紙は最大用紙量のマーク（G）の線を超えないようにセットしてください。



5. 給紙口カバー（H）をゆっくり閉じる

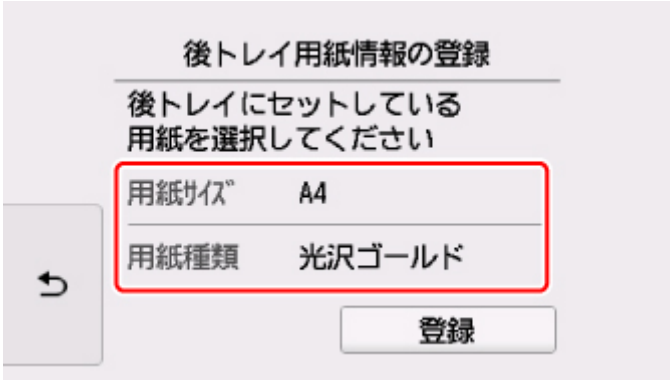
重要

- 給紙口カバーが開いていると、給紙されません。かならず、給紙口カバーを閉じてください。



給紙口カバーを閉じると、タッチスクリーンに後トレイの用紙情報の登録画面が表示されます。

6. 後トレイにセットした用紙に合わせて［用紙サイズ］と［用紙種類］を設定し、［登録］を選ぶ



印刷が開始される前に、自動的に操作パネルが開き、排紙トレイが出てきます。

参考

- 印刷するときは、操作パネルまたはプリンタードライバーの印刷設定で、セットした用紙に合わせて用紙サイズと用紙の種類を設定します。

はがきに印刷するときの注意

重要

- 操作パネルを使った印刷、および PictBridge（Wireless LAN）対応機器からの印刷には対応していないはがきもあります。

  使用できる用紙について

- あて名面は、操作パネルを使った印刷、および PictBridge（Wireless LAN）対応機器からの印刷には対応していません。
- 写真付きはがきやステッカーが貼ってあるはがきには印刷できません。
- 往復はがきは以下の印刷には対応していません。
  - 操作パネルを使った印刷
  - PictBridge（Wireless LAN）対応機器からの印刷
  - フチなし全面印刷
- 往復はがきは折り曲げないでください。折り目が付くと、正しく給紙できず印字ずれや紙づまりの原因になります。

参考

- 往復はがきは、自動両面印刷には対応していません。
- はがきの両面に 1 面ずつ印刷するときは、きれいに印刷するために、通信面を印刷したあとにあて名面を印刷することをお勧めします。
- はがきを持つときは、できるだけ端を持ち、インクが乾くまで印刷面に触れないでください。
- 写真を印刷するときは、キヤノン純正の写真専用紙のご使用をお勧めします。キヤノン純正紙については、「使用できる用紙について」を参照してください。

キヤノン製プリンタードライバーから印刷する場合

用紙の種類ではがきに対応した種類を設定します。

印刷を実行すると、設定に従った印刷ガイドが表示されますので、メッセージに従って、**はがきの印刷したい面を表に**してセットしてください。

用紙セットの操作

ただし、ご使用のアプリケーションソフトによっては、印刷ガイドが表示されないことがあります。

- Windows をご使用の場合：

  ■ はがきに印刷する

- Mac OS をご使用の場合：

  ■ はがきに印刷する

キヤノン製プリンタードライバー以外から印刷する場合

はがきの通信面にコピーや印刷する場合は、**はがきのあて名面を裏に**して**郵便番号欄を下に**向けてセットします。

■ 用紙セットの操作

カセットに用紙をセットする

カセットには A4、B5、A5、レターサイズの普通紙をセットします。

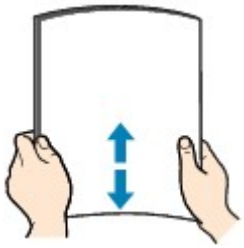
参考

- カセットには普通紙のみセットできます。
- 複写機などで使用される一般的なコピー用紙やキヤノン普通紙・ホワイト SW-101、キヤノン普通紙・ビジネス FB-101 が使用できます。用紙の両面に印刷する場合は、キヤノン普通紙・ホワイト 両面厚口 SW-201 がお勧めです。

  本製品で使用できる用紙サイズ、重さについては、「使用できる用紙について」を参照してください。

1. 用紙の準備をする

   セットする用紙をそろえます。用紙に反りがあるときは、反りを直してください。

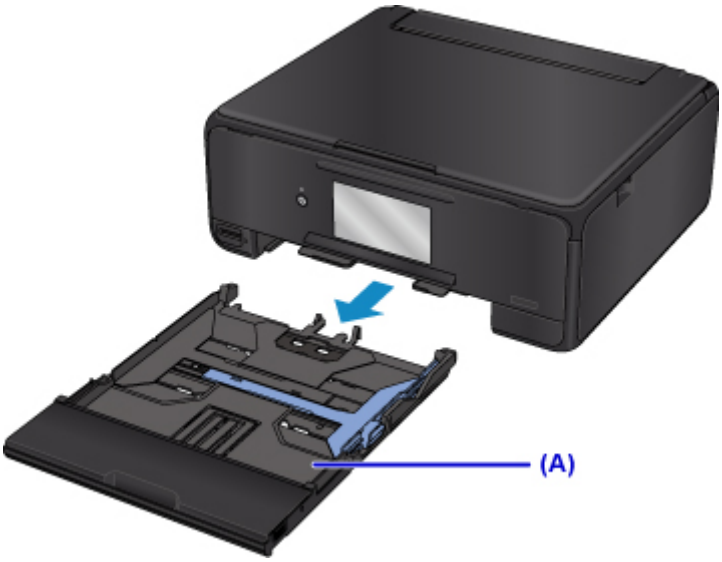


   参考

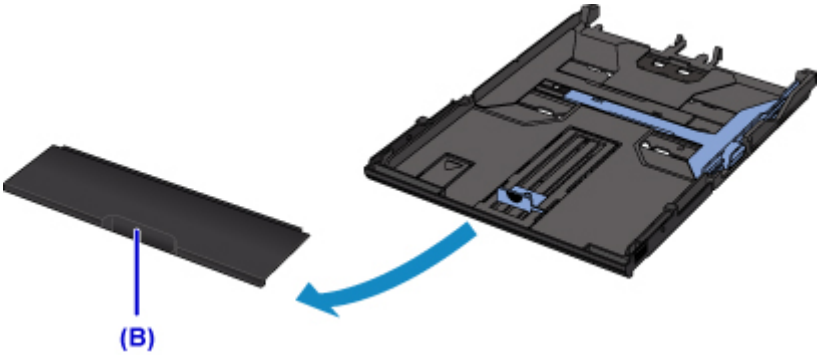
   - 用紙の端をきれいにそろえてからセットしてください。用紙の端をそろえずにセットすると、紙づまりの原因となることがあります。
   - 用紙に反りがあるときは、逆向きに曲げて反りを直してから（表面が波状にならないように）セットしてください。

     反りの直しかたについては「その用紙、反っていませんか？」を参照してください。

2. カセット(A)を手前に引き出す

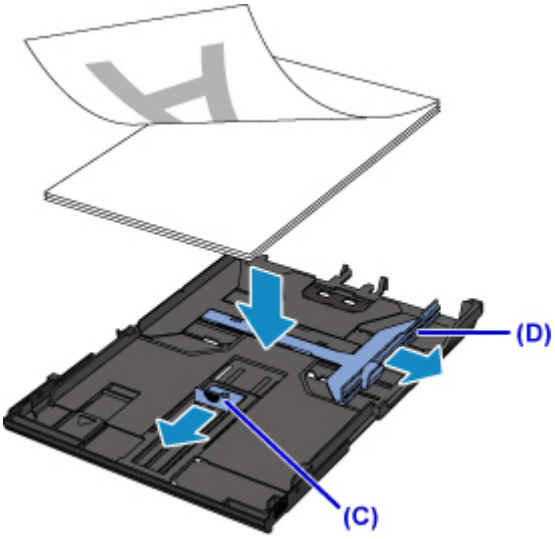


3. カセットカバー(B)を取り外す



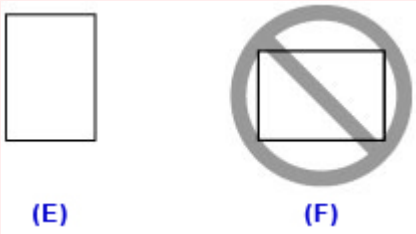
4. 手前の用紙ガイド（C）と右の用紙ガイド（D）を広げる

5. **印刷したい面を下に**して、カセットの中央に合わせて用紙をセットする



重要

- 用紙は縦方向（E）にセットしてください。横方向（F）にセットすると紙づまりの原因となります。

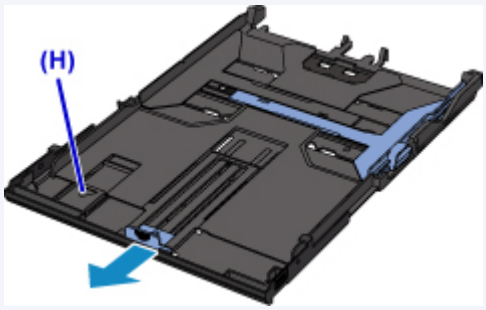


参考

- 用紙は、図のようにカセットの縁に合わせて重ねてください。

  用紙を突起（G）に突き当てると、正しく給紙されない場合があります。

- A4 サイズの用紙をセットする場合は、カセットのロック（H）を押して、手前に引き出します。

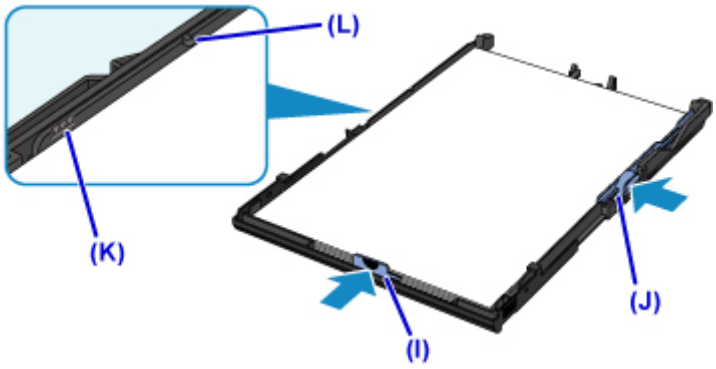


6. 手前の用紙ガイド（I）を用紙の端に合わせる

用紙ガイド（I）が「カチッ」と音がして止まる位置に合わせます。

7. 右の用紙ガイド（J）を動かし、用紙の両端に合わせる

用紙ガイドを用紙に強く突き当てすぎないようにしてください。うまく給紙されない場合があります。



参考

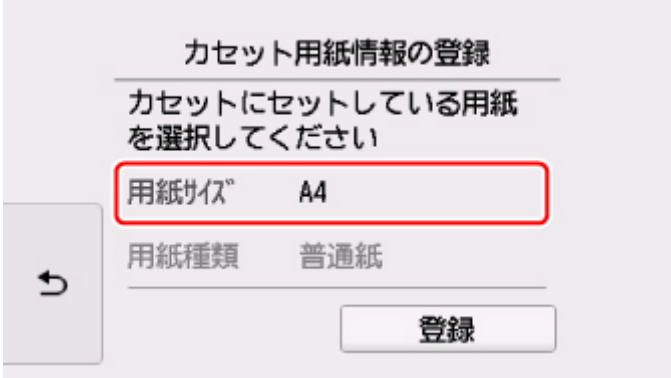
- 用紙は最大用紙量のマーク（K）の線を超えないようにセットしてください。
- 用紙は用紙ガイドのツメ（L）より下にセットしてください。

8. カセットカバーを取り付け、カセットを本体に差し込む

奥に突き当たるまでまっすぐ押し込んでください。

カセットを差し込むと、タッチスクリーンにカセットの用紙情報の登録画面が表示されます。

9. カセットにセットした用紙に合わせて［用紙サイズ］を設定し、［登録］を選ぶ



印刷が開始される前に、自動的に操作パネルが開き、排紙トレイが出てきます。

参考

- 印刷するときは、操作パネルまたはプリンタードライバーの印刷設定で、セットした用紙に合わせて用紙サイズと用紙の種類を設定します。

封筒をセットする

封筒は後トレイにセットします。

プリンタードライバーで適切に設定することにより、あて名は封筒の向きに合わせて、自動的に回転して印刷されます。

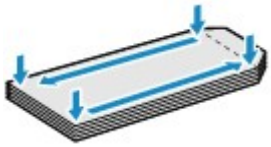
重要

- 操作パネルを使った印刷、および PictBridge（Wireless LAN）対応機器からの印刷には対応していません。
- 次のような封筒は、紙づまりや故障の原因になるため使用できません。
  - 角形封筒
  - 型押しやコーティングなどの加工された封筒
  - ふたが二重になっている封筒
  - ふたがシールになっている長形封筒
  - ふた部分の乾燥糊が湿って、粘着性が出てしまった封筒

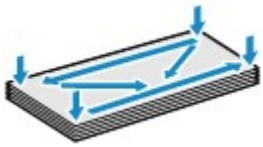
1. 封筒の準備をする

   - 封筒の四隅と縁を押して平らにします。

     長形封筒

     洋形封筒

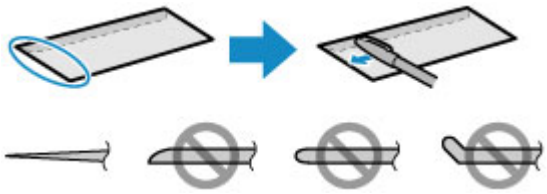
     

   - 封筒が反っている場合は、両手で対角線上の端を持って、逆方向に軽く曲げます。

   - 封筒のふた部分が折れ曲がっている場合は平らにします。
   - 挿入方向の先端部をペンで押して平らに伸ばします。

     長形封筒

洋形封筒



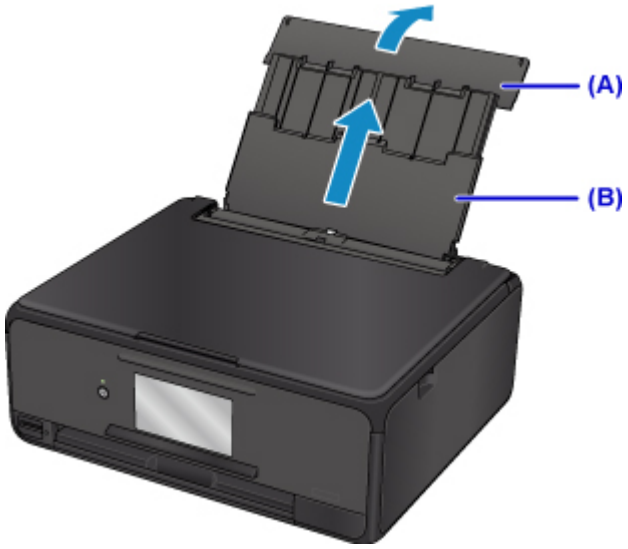
上の図は、封筒の先端部の断面図です。

重要

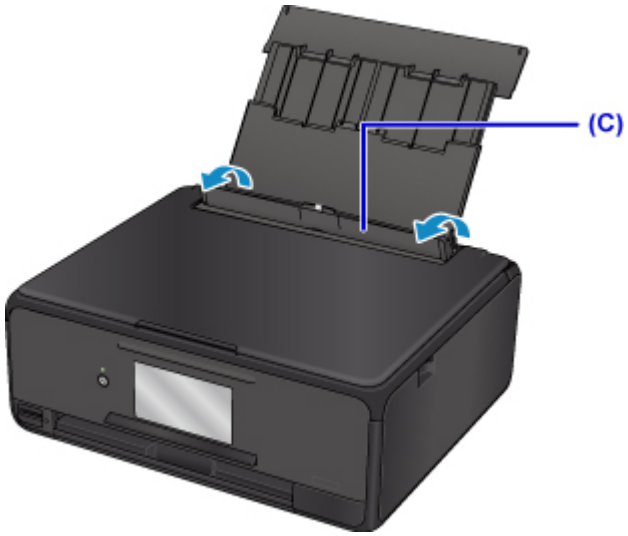
- 平らになっていなかったり、端がそろっていなかったりすると、紙づまりの原因になることがあります。反りやふくらみが 3 mm（0.12 inch）を超えないようにしてください。

2. 封筒をセットする

1. 後トレイカバー(A)を開き、用紙サポート(B)を引き出す



2. 給紙口カバー(C)を開く



3. 用紙ガイドを広げ、**封筒の印刷したい面を表に**して、後トレイの中央にセットする

一度に 10 枚までセットできます。

- **長形封筒**

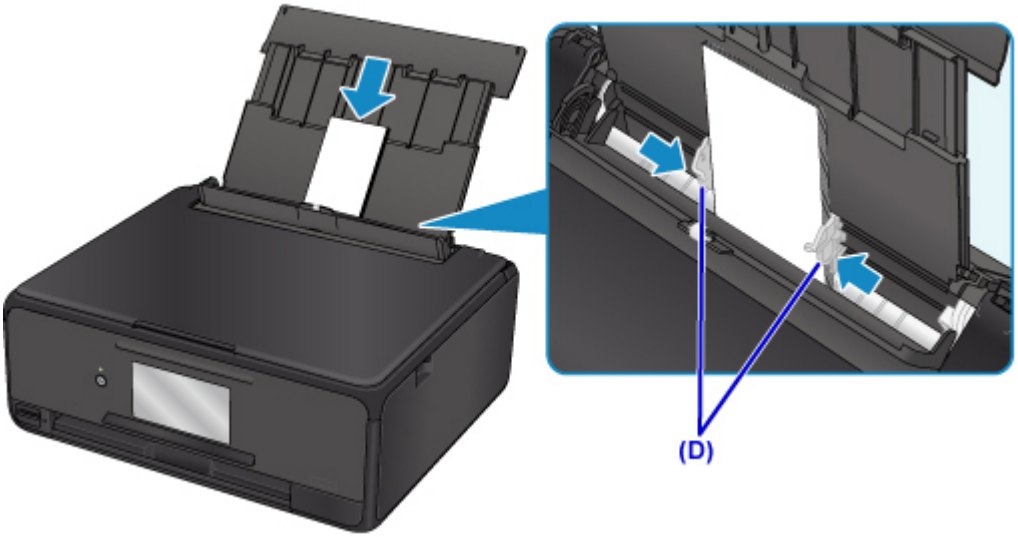
  ふたを折りたたまずに手前に向け、縦置きでセットします。

- **洋形封筒**

  あて名面を表にし、ふたを折りたたんで、縦置きでセットします。

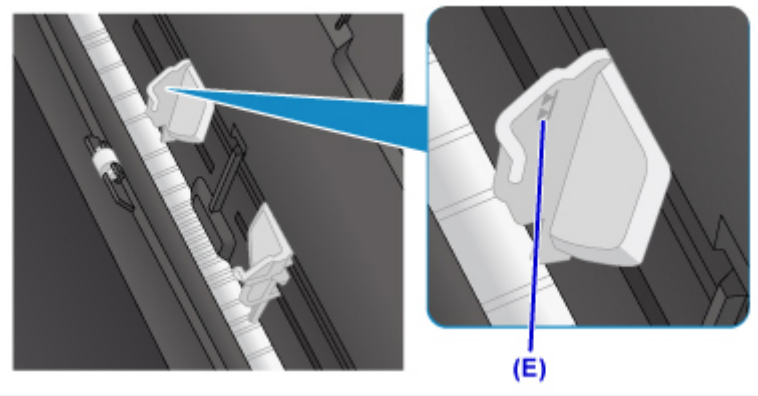
4. 用紙ガイド（D）を動かし、封筒の両端に合わせる

   用紙ガイドを封筒に強く突き当てすぎないようにしてください。うまく給紙されない場合があります。



参考

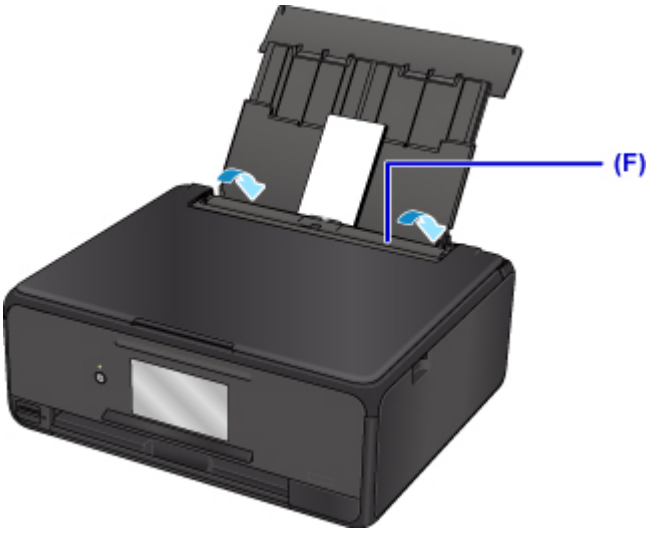
- 封筒は最大用紙量のマーク（E）の線を超えないようにセットしてください。



5. 給紙口カバー（F）をゆっくり閉じる

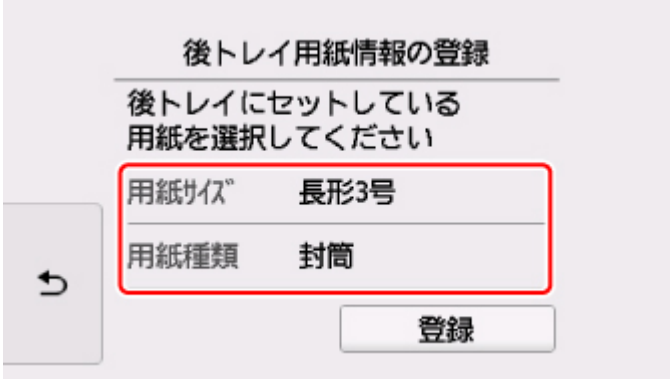
重要

- 給紙口カバーが開いていると、給紙されません。かならず、給紙口カバーを閉じてください。



給紙口カバーを閉じると、タッチスクリーンに後トレイの用紙情報の登録画面が表示されます。

6. 後トレイにセットした封筒に合わせて［用紙サイズ］を設定し、［用紙種類］で［封筒］を選んで［登録］を選ぶ



印刷が開始される前に、自動的に操作パネルが開き、排紙トレイが出てきます。

参考

- 印刷するときは、プリンタードライバーの印刷設定で、セットした封筒に合わせて封筒の種類や印刷の向きなどを設定します。

プリンタブルディスクをセットする

- プリンタブルディスクに印刷するときの注意
- プリンタブルディスクをセットする前に
- プリンタブルディスクをセットする
- プリンタブルディスクを取り出す

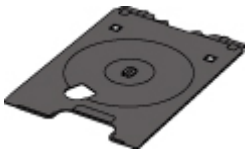
プリンタブルディスクに印刷するときの注意

- ディスクトレイは、本製品に付属のものをご使用ください（表面に「M」のマークがあります）。
- インクジェット方式に対応していないプリンタブルディスクに印刷しないでください。インクが乾かずプリンタブルディスク自体や、DVD プレーヤーなどのセットする機器に支障をきたす場合があります。
- プリンタブルディスクの記録面には印刷しないでください。記録したデータが読めなくなることがあります。
- プリンタブルディスクはできるだけ端を持ち、レーベル面（印刷面）、記録面に触れないでください。
- ディスクトレイにゴミなどがある場合は、プリンタブルディスクをセットする前に取り除いてください。そのままセットすると、プリンタブルディスクの記録面が傷つくことがあります。
- 印刷後はドライヤーの熱や直射日光を避け、自然乾燥させてください。また、インクが乾くまで印刷面に触れないでください。
- 本製品の動作中にディスクトレイを取り付けないでください。
- プリンタブルディスクの印刷中にディスクトレイを取り外さないでください。破損の原因になります。
- ディスクトレイに付いている反射板を汚したり、傷つけたりしないでください。プリンタブルディスクがセットされていることを認識できなかったり、印字位置がずれてしまったりする場合があります。ディスクトレイが汚れた場合には、反射板が傷つかないように柔らかくて乾いた布などで拭いてください。
- My Image Garden（マイ・イメージ・ガーデン）以外のアプリケーションソフトを使って印刷すると、ディスクトレイが汚れることがあります。
- 印刷品質を保つため、10 枚以上連続して印刷する場合は、10 枚ごとに一度、印刷を中断することをお勧めします。その場合は、本製品からディスクトレイを取り外してください。3 分経過したあとでディスクトレイをセットして印刷を再開してください。

プリンタブルディスクをセットする前に

プリンタブルディスクに印刷するには次のものが必要です。

- ディスクトレイ（本製品に付属）



※本製品では表面に「M」マークのあるディスクトレイが使用できます。

ディスクトレイは、排紙トレイのディスクトレイ収納部に収納されています。

- 市販の 12 cm（4.72 inches）プリンタブルディスク

レーベル面がインクジェット方式のプリンターに対応したもの

参考

- プリンタブルディスクとは、レーベル面に特殊な加工が施された印刷が可能なディスクです。推奨のプリンタブルディスクを使うと、よりきれいな印刷結果を得ることができます。

  推奨品についての最新情報は、キヤノンのホームページでご確認ください。

プリンタブルディスクをセットする

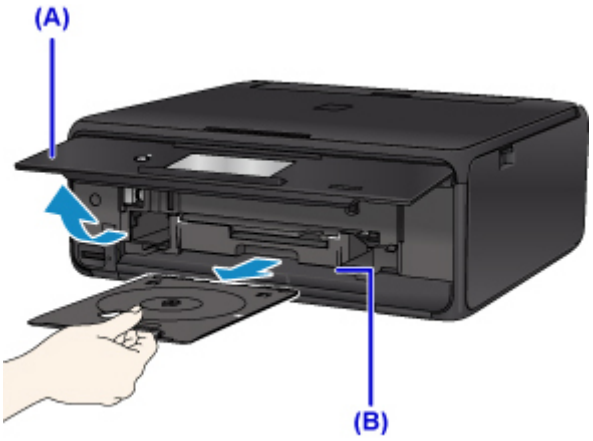
プリンタブルディスクに印刷するには、付属のディスクトレイにプリンタブルディスクをセットして本体に差し込みます。

パソコンからプリンタブルディスクに印刷する場合も、同様の方法でセットしてください。

重要

- プリンタブルディスクのセットを促すメッセージが表示されるまでは、ディスクトレイはセットしないでください。動作中にディスクトレイをセットすると本製品を損傷するおそれがあります。

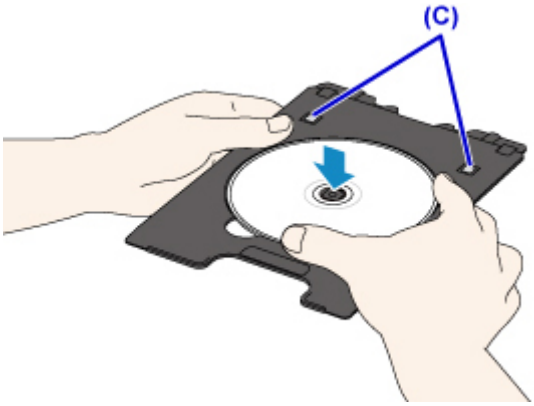
1. プリンタブルディスクのセットを促すメッセージが表示されたら、操作パネル（A）を開き、ディスクトレイ収納部（B）からディスクトレイを取り出す



2. 印刷面を上にして、プリンタブルディスクをディスクトレイにセットする

重要

- ディスクトレイにゴミなどがないことを確認してからセットしてください。
- セットするときにプリンタブルディスクの印刷面や反射板（C）に触れないでください。



3. ディスクトレイをディスクトレイガイドにセットする

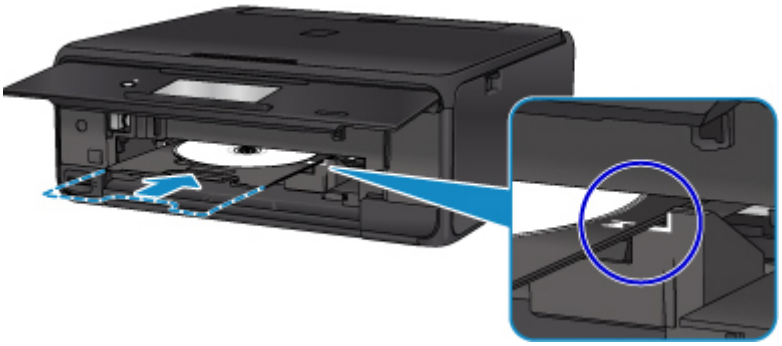
参考

- ディスクトレイをセット後、一定時間を経過すると、セットしたディスクトレイが排出されることがあります。その場合は、画面の指示に従って、ディスクトレイをセットし直してください。

4. ディスクトレイの矢印（▲）と、ディスクトレイガイドの白い線がほぼ合うところまで、まっすぐ挿入する

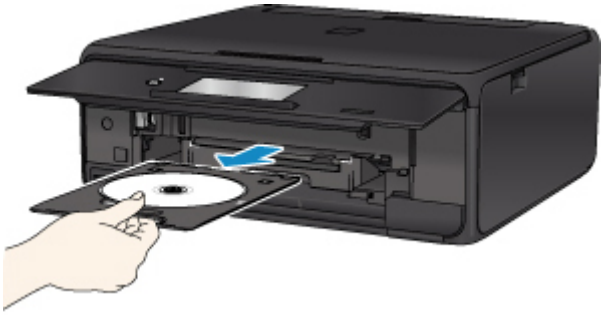
重要

- ディスクトレイガイドの白い線の位置より奥にディスクトレイを押し込まないでください。



プリンタブルディスクを取り出す

1. ディスクトレイを手前に引いて取り出す



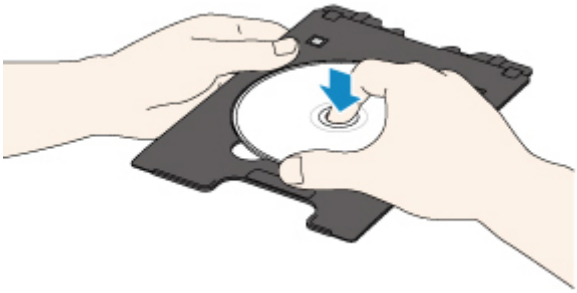
2. ディスクトレイからプリンタブルディスクを取り外す

重要

- 取り外す際に印刷面に触れないでください。

参考

- 印刷面が十分に乾いてから、取り外してください。ディスクトレイ上に印刷された場合や、プリンタブルディスクの外側および内側の透明部分に印刷された場合は、印刷面が乾いてから拭き取ってください。



3. ディスクトレイをディスクトレイ収納部へ収納する

ディスクトレイを使用しないときは、ディスクトレイ収納部にまっすぐ挿入して収納してください。

原稿をセットする

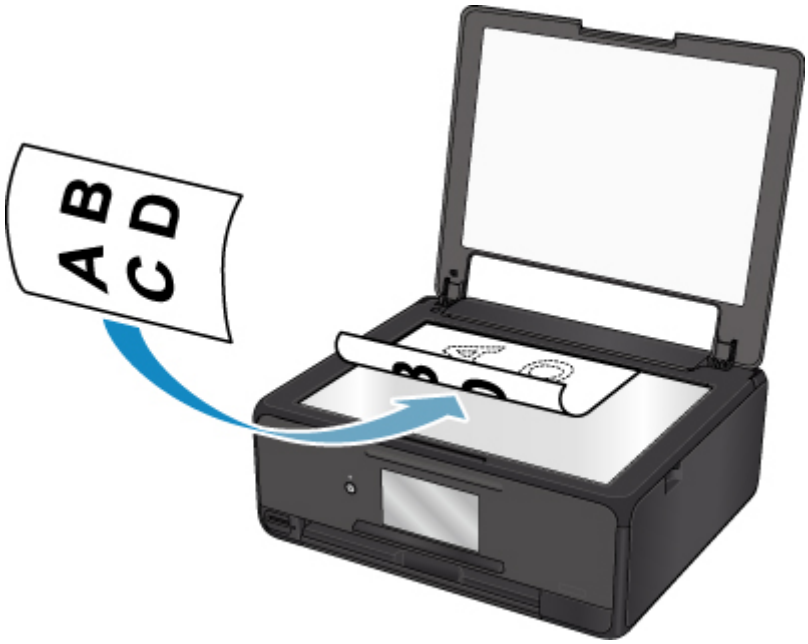
- 原稿台ガラスに原稿をセットする
- 機能ごとの原稿のセット方法
- セットできる原稿について
- 原稿台カバーの取り外しかた／取り付けかた

原稿台ガラスに原稿をセットする

1. 原稿台カバーを開ける

2. **原稿の読み取る面を下に**して、原稿台ガラスにセットする

   ■ 機能ごとの原稿のセット方法



重要

- 原稿をセットするときには、以下のことに注意してください。スキャナーが正しく動作しなくなったり、ガラスが破損したりすることがあります。
  - 原稿台ガラスに 2.0 kg 以上の物をのせない
  - 原稿を強く押さえる（2.0 kg を超える力で）など、原稿台ガラスに重みをかけない

3. 原稿台カバーをゆっくり閉じる

重要

- 原稿台ガラスに原稿をセットしたあと、原稿台カバーをきちんと閉じてコピーやスキャンをしてください。

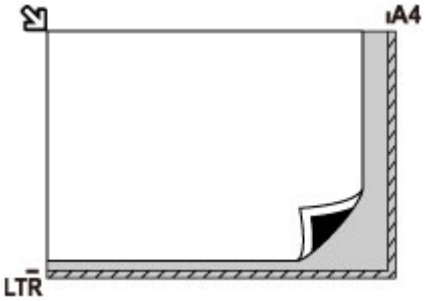
機能ごとの原稿のセット方法

ご使用になる機能に合わせて原稿をセットしてください。正しくセットしないと、原稿によっては、正しく読み取れない場合があります。

原稿位置合わせマーク（⇲）に合わせてセットする

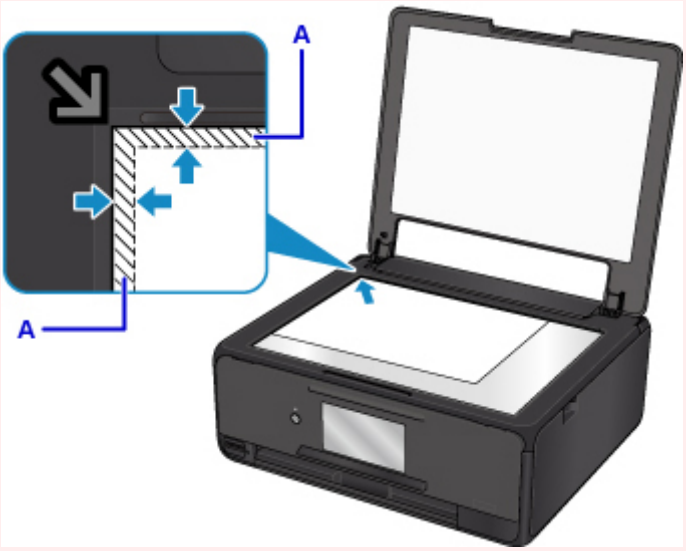
- コピーする原稿をセットする場合
- ［スキャン］の［原稿種類］で、
  - ［おまかせスキャン］を選び、文書／雑誌／新聞をスキャンする場合
  - ［文書］または［写真］を選び、読取サイズに A4、レターなどの定型サイズを指定した場合
- パソコンからアプリケーションソフトを使用して、
  - 文書／雑誌／新聞をスキャンする場合
  - A4、レターなどの定型サイズを指定してスキャンする場合
- 手書きナビシート／ディスクレーベル手書きナビシートをスキャンする場合

原稿位置合わせマーク（⇲）に合わせ、**読み取る面を下に**して原稿を置いてください。斜線部分は、原稿を読み取ることができません。



重要

- 原稿台ガラスの端から 1 mm（0.04 inch）の部分（A）は読み取れません。

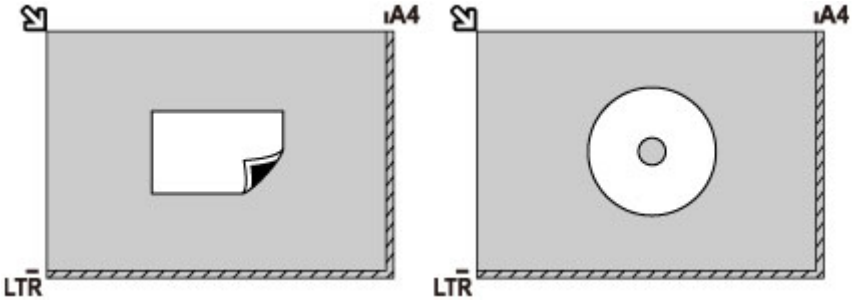


原稿台ガラスの中央にセットする

- ［ディスクレーベルコピー］でディスクを 1 枚スキャンする場合
- ［写真コピー］でプリント写真を 1 枚スキャンする場合
- ［スキャン］の［原稿種類］で、

- ［おまかせスキャン］を選び、プリント写真／はがき／名刺／ディスク（BD/DVD/CD）を 1 枚スキャンする場合
- ［写真］を選び、読取サイズに［自動読取］を指定して 1 枚スキャンする場合

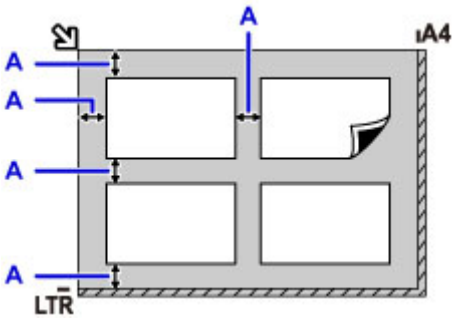
原稿台の端の斜線部分から 1 cm（0.4 inch）以上離し、**読み取る面を下に**して原稿を置いてください。斜線部分は、原稿を読み取ることができません。



複数枚の原稿をセットする

- ［写真コピー］でプリント写真を複数枚スキャンする場合
- ［スキャン］の［原稿種類］で、
  - ［おまかせスキャン］を選び、プリント写真／はがき／名刺を複数枚スキャンする場合
  - ［写真］を選び、読取サイズに［自動読取（複数）］を指定して複数枚スキャンする場合
- パソコンからアプリケーションソフトを使用して、プリント写真／はがき／名刺を複数枚スキャンする場合

原稿台の端の斜線部分から 1 cm（0.4 inch）以上離し、**読み取る面を下に**して原稿を置いてください。原稿と原稿の間も 1 cm（0.4 inch）以上離してください。斜線部分は、原稿を読み取ることができません。最大 12 枚まで置くことができます。



A：1 cm（0.4 inch）以上

参考

- 傾き補正機能により、約 10 度までの傾きは自動的に補正されます。長い辺が約 180 mm（7.1 inches）以上の写真の傾きは補正できません。
- 長方形以外の変形した写真（いろいろな形に切り抜いた写真など）は正しくスキャンできない場合があります。

セットできる原稿について

項目	内容
原稿の種類	文書、雑誌、新聞 プリント写真、はがき、名刺、ディスク（BD/DVD/CD など）
サイズ（幅 x 長さ）	最大 216 mm x 297 mm（8.5 inches x 11.7 inches）

参考

- 分厚い本などをセットする場合は、原稿台カバーを取り外してセットすることができます。

  原稿台カバーの取り外しかた／取り付けかた

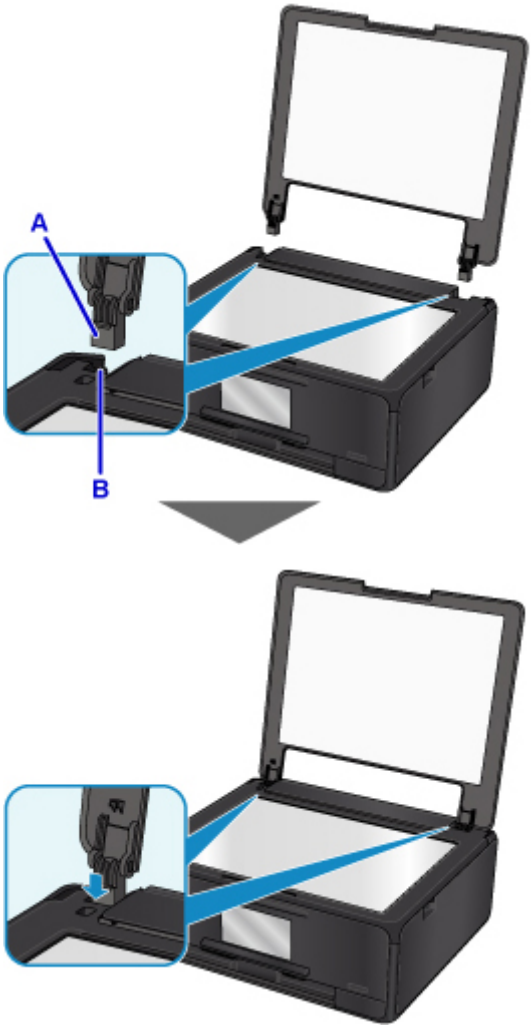
原稿台カバーの取り外しかた／取り付けかた

原稿台カバーを取り外す

原稿台カバーを垂直に持ち上げ、後ろに倒して取り外してください。

原稿台カバーを取り付ける

下の図のように、原稿台カバーの取り付け部分（A）を本体の差し込み口（B）にはめ込み、垂直に押し込んでください。



メモリーカードをセットする

- メモリーカードをセットする前に
- メモリーカードをセットする
- メモリーカードを取り出す

メモリーカードをセットする前に

本製品で使用できるメモリーカードと画像データは以下のとおりです。

重要

- PictBridge（Wireless LAN）対応機器で動作が保証されていないメモリーカードに撮影／保存されている写真は、本製品で読み込めない場合やデータが破損する場合があります。PictBridge（Wireless LAN）対応機器で動作が保証されているメモリーカードについては、PictBridge（Wireless LAN）対応機器に付属の取扱説明書を参照してください。
- メモリーカードは、DCF Ver.1.0/2.0 規格のデジタルカメラでフォーマットしてください。パソコン固有のフォーマットには対応していません。

カードスロットに直接セットできるメモリーカード：

- SD/SDHC メモリーカード

カードアダプターを使用してセットするメモリーカード：

以下のメモリーカードは、かならず専用のカードアダプターに取り付けてからカードスロットにセットしてください。

- miniSD/miniSDHC カード

  専用の「SD カードアダプター」を使用してください。

- microSD/microSDHC カード

  専用の「SD カードアダプター」を使用してください。

重要

- カードアダプターに取り付けずに直接カードスロットにセットすると、メモリーカードが取り出せなくなる場合があります。

  ■ メモリーカードが取り出せない

印刷できる画像データ：

- 本製品は DCF Ver.1.0/2.0 規格のデジタルカメラで撮影した画像データ（Exif ver.2.2/2.21/2.3 準拠）および TIFF（Exif ver.2.2/2.21/2.3 準拠）に対応しています。そのほかの静止画（RAW 画像等）や動画は印刷できません。
- 本製品で原稿種類を［写真］、データ形式を［JPEG］に設定してスキャンし、保存した画像データ（拡張子「.jpg」）に対応しています。

参考

- 本製品には、Microsoft 社より使用を許諾された exFAT ファイルシステムの技術が組み込まれています。

メモリーカードをセットする

重要

- メモリーカードをカードスロットにセットすると、カードスロットのアクセスランプが点灯します。このアクセスランプが点滅しているときは、メモリーカードの読み込みなどが行われていますので、カードスロットの周りには触れないでください。

参考

- ［カード書き込み状態］を［USB 接続 PC から可能］に設定している場合は、本製品のパネル操作でメモリーカードから印刷することはできません。本製品のカードスロットをパソコンのメモリーカード用ドライブとして操作したあとは、メモリーカードを抜き、［本体設定］の［本体の基本設定］を選び、［カード書き込み状態］を［PC から書き込み禁止］に設定してください。

  ■ カードスロットをパソコンのドライブに設定する

- メモリーカードに保存されている写真をパソコンで編集・加工したときは、かならずパソコンから印刷してください。操作パネルから印刷を行うと、正しく印刷できないことがあります。

1. メモリーカードを準備する

   カードアダプターが必要なメモリーカードは、専用のカードアダプターに取り付けます。

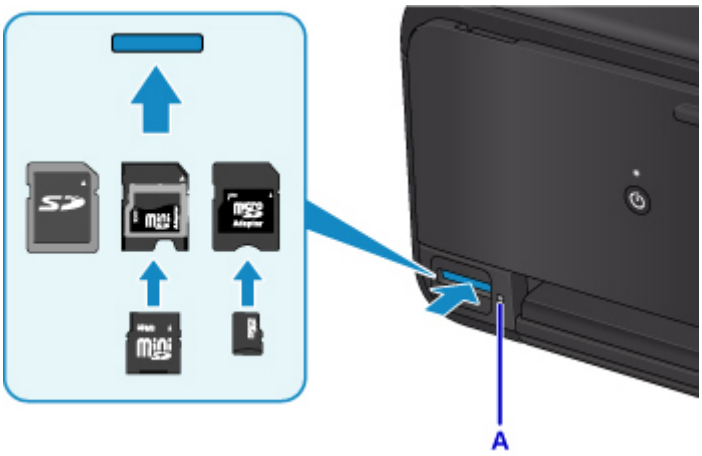
   ■ メモリーカードをセットする前に

2. 電源を入れる

3. メモリーカードをセットする

   ラベル面を上にしてカードスロットにまっすぐ差し込んでください。

   メモリーカードが正しくセットされると、アクセスランプ（A）が点灯します。



   以下のメモリーカードはカードアダプターに取り付けてから、カードスロットにセットしてください。

   - miniSD/miniSDHC カード
   - microSD/microSDHC カード

   重要

   - メモリーカードはカードスロットから少しはみ出した状態でセットされます。それ以上は無理に押し込まないでください。本製品やメモリーカードが破損するおそれがあります。
   - メモリーカードの向きをよく確認して、カードスロットにセットしてください。間違った向きで無理にセットすると、本製品やメモリーカードが破損するおそれがあります。

メモリーカードを取り出す

重要

- カードスロットをパソコン用メモリーカードドライブとして使用していた場合は、メモリーカードを本製品から取り出す前にパソコン側での取り出し操作が必要になります。

  カードスロットをパソコンのドライブに設定する

1. アクセスランプが点灯していることを確認して、カードを取り出す

   メモリーカードをつまんで、まっすぐ引き出します。

   重要

   - アクセスランプの点滅中は、メモリーカードを取り出さないでください。ランプが点滅しているときは、メモリーカードからデータを読み込み／書き込みしています。ランプの点滅中にメモリーカードを取り出したり電源を切ったりすると、カードのデータが破損することがあります。

インクタンクを交換する

- インクタンクを交換する
- インクの状態をタッチスクリーンで確認する
- インクの状態をインクランプで確認する

インクタンクを交換する

インクの残量に関する警告やエラーが発生すると、タッチスクリーンにエラーメッセージが表示されてお知らせします。インクの残量に関する警告やエラーが発生している状態では本製品を使って印刷したりスキャンしたりすることはできません。エラーメッセージの内容を確認してから、エラーの対処をしてください。

■ トラブルが発生したときは

参考

- インクが残っているのに印刷がかすれたり、白すじが入ったりする場合は、「お手入れの手順について」を参照してください。
- インクタンクの取り扱い上のご注意については、「インクタンクについてのご注意」を参照してください。

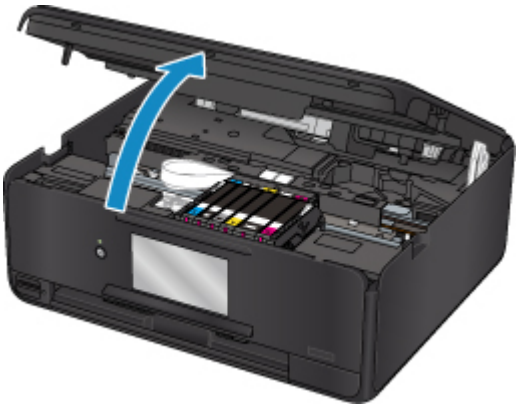
交換の操作

インクタンクの交換が必要な場合は、次の手順で行います。

1. 電源が入っていることを確認する

2. スキャナーユニット/カバーを開く

   プリントヘッドホルダーが交換位置に移動します。



注意

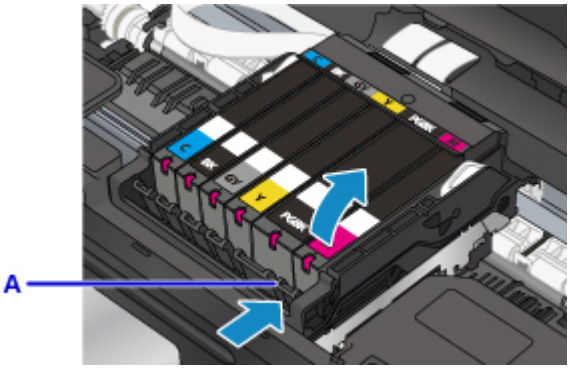
- プリントヘッドホルダーが動いている間はプリントヘッドホルダーを手で止めたり、無理に動かしたりしないでください。プリントヘッドホルダーの動きが止まるまでは、手を触れないでください。

重要

- 本体内部の金属部分やそのほかの部分に触れないでください。
- スキャナーユニット/カバーを 10 分以上開けたままにすると、プリントヘッドホルダーが右側へ移動します。その場合は、いったんスキャナーユニット/カバーを閉じ、再度開けてください。

3. インクランプの点滅が速いインクタンクを取り外す

   インクタンクの固定つまみ（A）を押し、インクタンクを上に持ち上げて外します。



重要

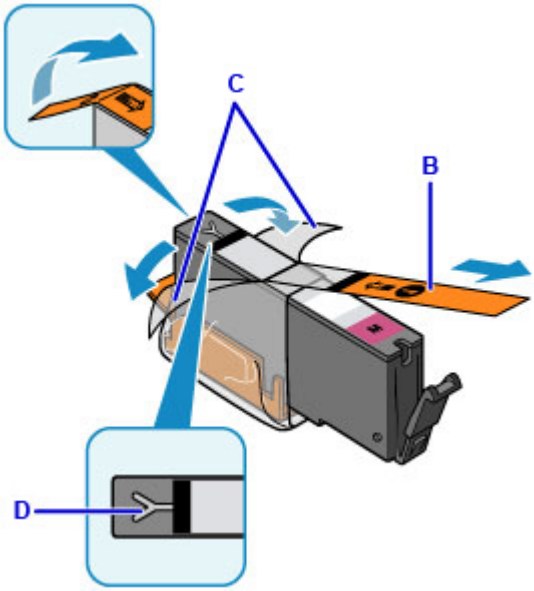
- インクタンク以外の部分には触れないでください。
- 衣服や周囲を汚さないよう、インクタンクの取り扱いには注意してください。
- 空になったインクタンクは地域の条例に従って処分してください。

  また、キヤノンでは使用済みインクタンクの回収を推進しています。

参考

- 一度に複数のインクタンクを外さず、かならず 1 つずつ交換してください。
- インクランプの点滅速度については、「インクの状態をインクランプで確認する」を参照してください。

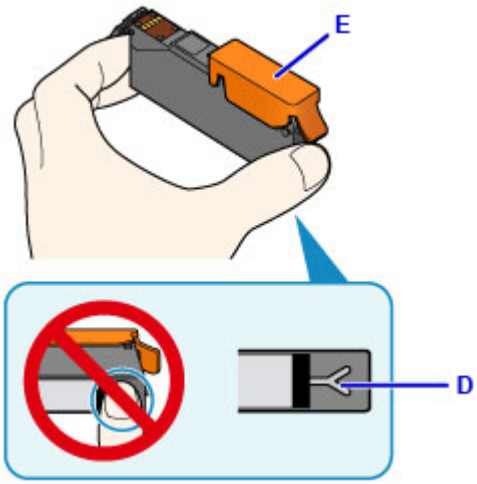
4. 新しいインクタンクをパッケージから取り出し、オレンジ色のテープ（B）をすべてはがしてから、保護フィルム（C）をすべてはがす



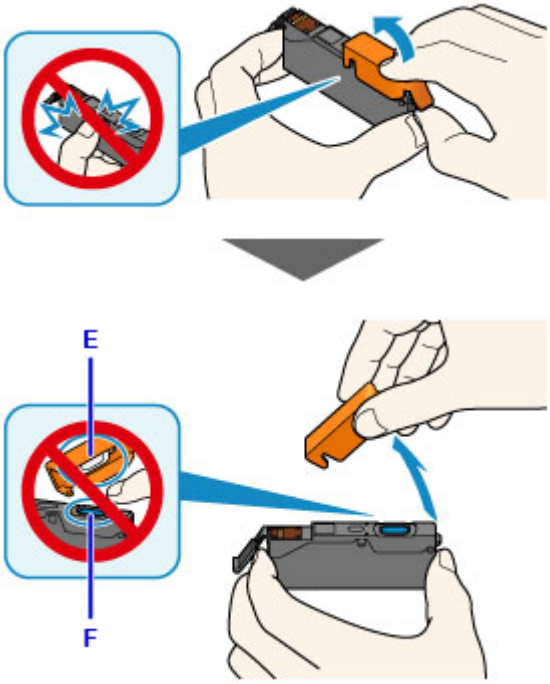
重要

- インクタンクを落としたり、力を加えたりするなど乱暴に扱うことは避けてください。
- Y 字の空気溝（D）にオレンジ色のテープが残っていると、インクが飛び散ったり、正しく印刷できなかったりする場合があります。

5. Y 字の空気溝（D）をふさがないように、オレンジ色の保護キャップ（E）を上にして持つ



6. オレンジ色の保護キャップ（E）のレバーを引き上げて、**ゆっくり**取り外す

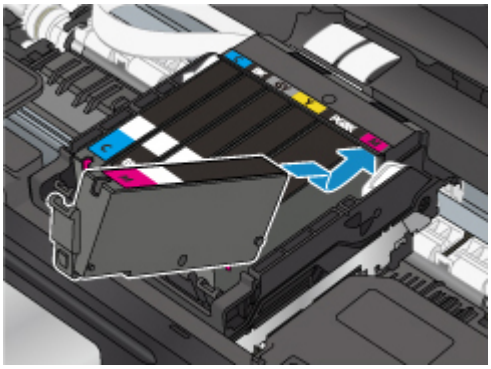


重要

- インクタンクの側面を強く押さないでください。Y 字の空気溝（D）をふさいだ状態でインクタンクの側面を押すと、インクが飛び散る場合があります。
- 保護キャップ（E）の内側やインク出口（F）には触れないでください。インクで手が汚れる場合があります。
- 取り外した保護キャップ（E）は、再装着しないでください。地域の条例に従って処分してください。

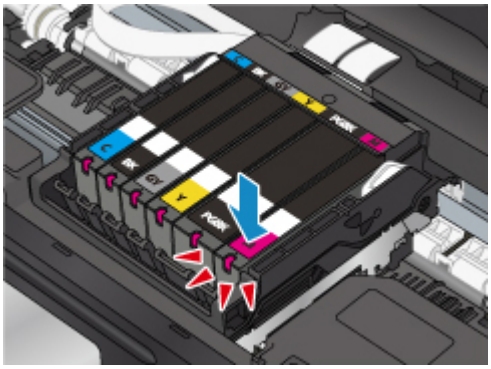
7. 新しいインクタンクをプリントヘッドに向かって斜めに差し込む

ラベルに合わせて取り付けます。



8. インクタンク上面を「カチッ」と音がするまでしっかり押して、インクタンクを固定する

取り付けたら、インクランプが点灯したことを確認してください。



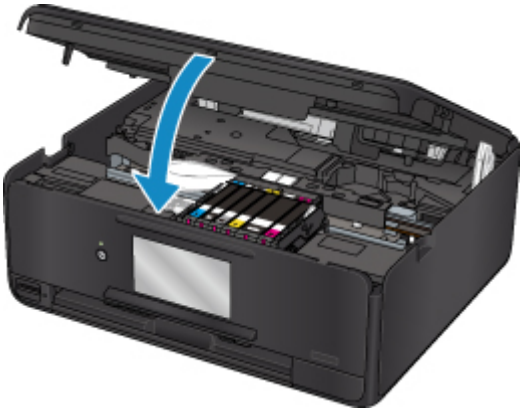
重要

- インクタンクの取り付け位置を間違えると印刷できません。プリントヘッドホルダーに付いているラベルに合わせ、インクタンクを正しい位置に取り付けてください。
- ひとつでもセットされていないインクタンクがあると印刷できません。かならずすべてのインクタンクをセットしてください。

9. スキャナーユニット/カバーを閉じる

スキャナーユニット/カバーはいったん持ち上げて、ゆっくりと下ろします。

画面にメッセージが表示されたら、［OK］を選びます。



注意

- スキャナーユニット/カバーを閉じる際は、指などはさまないように注意してください。

参考

- スキャナーユニット/カバーを閉じたあとにタッチスクリーンにエラーメッセージが表示されている場合は、エラーの対処をしてください。

  トラブルが発生したときは

- 次回印刷を開始すると、自動的にプリントヘッドのクリーニングが開始されます。終了するまでほかの操作を行わないでください。
- 罫線がずれて印刷されるなど、プリントヘッドの位置ずれが確認されたときには、プリントヘッドの位置を調整します。
- 操作中に動作音がする場合がありますが、正常な動作です。

インクタンクについてのご注意

重要

- インクタンクに穴を開けるなどの改造や分解をすると、インクが漏れ、本製品の故障の原因となることがあります。改造・分解はお勧めしません。
- インクの詰め替えなどによる非純正インクのご使用は、印刷品質の低下やプリントヘッドの故障の原因となることがあります。安全上問題はありませんが、まれに、純正品にないインク成分によるとみられるプリントヘッド部分の発熱・発煙事例*も報告されています。キヤノン純正インクのご使用をお勧めします。

  (* すべての非純正インクについて上記事例が報告されているものではありません。)

- 非純正インクタンクまたは非純正インクのご使用に起因する不具合への対応については、保守契約期間内または保証期間内であっても有償となります。
- 非純正インクタンクまたは非純正インクを使用した製品の修理においては、保守契約の有無や有償修理・無償修理を問わず、追加の特殊点検等のための、特別料金をいただく場合があります。
- インクタンクの交換は速やかに行い、インクタンクを取り外した状態で放置しないでください。
- 交換用インクタンクは新品のものを装着してください。インクを消耗しているものを装着すると、ノズルがつまる原因になります。また、インクタンクの交換時期を正しくお知らせできません。
- 最適な印刷品質を保つため、インクタンクは梱包箱に記載されている「取付期限」までに本製品に取り付けてください。また、開封後 6 ヶ月以内に使い切るようにしてください（本製品に取り付けた年月日を、控えておくことをお勧めします）。

参考

- 黒のみの文章を印刷したり、モノクロ写真を印刷したりするときにも、ブラック以外のインクが使われることがあります。また、本製品の性能を維持するために行うクリーニングや強力クリーニングでも、各色のインクが使われます。

  インクがなくなった場合は、速やかに新しいインクタンクに交換してください。

  インクについて知っておきたいこと

インクの状態をタッチスクリーンで確認する

1. 電源が入っていることを確認し、ホーム画面を表示する

   ホーム画面が表示されていない場合は、ホームボタンを押してして表示させてください。

2. ホーム画面で （セットアップ）を選ぶ

   操作パネルの使いかた

   セットアップメニュー画面が表示されます。

3. ［推定インクレベル］を選ぶ

   インクの残量についてお知らせがあるときは、図の A の部分にマークが表示されます。

例：

インクが少なくなっています。新しいインクタンクをご用意ください。

この状態で印刷を続けると、十分な印刷品位が得られなくなるおそれがあります。

参考

- この画面は、インクの推定残量を表示しています。
- ［インクの型番］を選ぶと、［インクの型番］画面が表示され、インクタンクの型番を確認できます。この画面で、［型番印刷］を選ぶと、インクの型番を印刷できます。また、［インクを購入］を選ぶと、QR コードが表示され、インク購入サイトへアクセスすることができます。インターネットの接続料金はお客様のご負担になります。
- 印刷中にタッチスクリーンに表示される画面でも、インクの状態を確認することができます。
- パソコンでインクの状態を確認することができます。
  - Windows をご使用の場合：

    パソコンでインクの状態を確認する

  - Mac OS をご使用の場合：

    パソコンでインクの状態を確認する

インクの状態をインクランプで確認する

1. 電源が入っていることを確認する

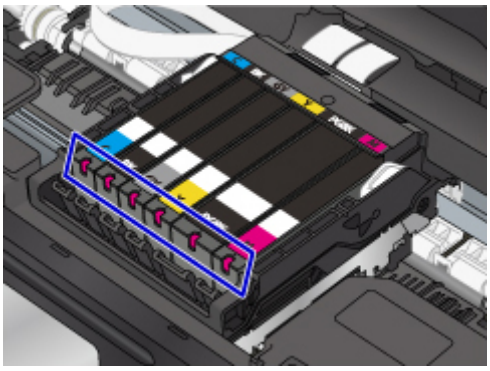
2. スキャナーユニット/カバーを開く

   ■ 交換の操作

3. インクランプの状態を確認する

   インクランプの状態を確認したら、スキャナーユニット/カバーを閉じてください。

   ■ 交換の操作



- **点灯**

  インクタンクは正しく取り付けられています。

- **点滅**

  ゆっくり点滅（約 3 秒間隔）

  3 秒間点灯（A）を繰り返し

  インクが少なくなっています。新しいインクタンクをご用意ください。

  この状態で印刷を続けると、十分な印刷品位が得られなくなるおそれがあります。

  はやく点滅（約 1 秒間隔）

  1 秒間点灯（B）を繰り返し

  インクタンクが間違った位置に取り付けられているか、インクがなくなりました。プリントヘッドホルダーに付いているラベルのとおりに正しい位置に取り付けられているか確認してください。
  取り付け位置が正しいのにインクランプが点滅している場合は、エラーが発生し、印刷できない状態です。タッチスクリーンに表示されているエラー内容をご確認ください。

  ■ トラブルが発生したときは

- **消灯**

  インクタンクがしっかり取り付けられていないか、インク残量検知機能を無効にしています。インクタンクがしっかり取り付けられていない場合は、インクタンクの底部にあるオレンジ色の保護キャップが外れているか確認し、インクタンク上面を「カチッ」と音がするまでしっかり押してください。

インクタンクを取り付け直してもインクランプが点灯しない場合は、エラーが発生し、印刷できない状態です。タッチスクリーンに表示されているエラー内容をご確認ください。

■ トラブルが発生したときは

参考

- パソコンでインクの状態を確認することができます。
  - Windows をご使用の場合：

    ■ パソコンでインクの状態を確認する
  - Mac OS をご使用の場合：

    ■ パソコンでインクの状態を確認する

お手入れ（メンテナンス）

- 印刷にかすれやむらがあるときには
- パソコンからメンテナンス機能を実行する（Windows）
- パソコンからメンテナンス機能を実行する（Mac OS）
- 本製品を清掃する

印刷にかすれやむらがあるときには

- お手入れの手順について
- ノズルチェックパターンを印刷する
- ノズルチェックパターンを確認する
- プリントヘッドをクリーニングする
- プリントヘッドを強力クリーニングする
- プリントヘッド位置を調整する

お手入れの手順について

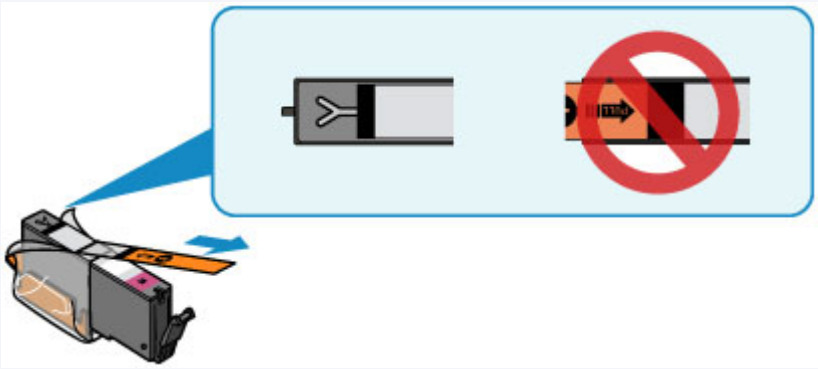
印刷結果がかすれるときや、色が正しく印刷されないとき、罫線がずれるなど印刷結果が思わしくないときは、以下の手順に沿ってお手入れを行ってください。

重要

- プリントヘッドやインクタンクを洗浄したり、ふいたりしないでください。プリントヘッドやインクタンクの故障の原因になります。

参考

- インクタンクにオレンジ色のテープが残っていないかを確認してください。



- スキャナーユニット/カバーを開き、インクランプが点灯していることを確認してください。

  点滅または消灯しているインクランプがある場合は、必要な対処を行ってください。

  インクの状態をインクランプで確認する

- プリンタードライバーで印刷品質の設定を上げることで、印刷結果が改善される場合があります。
  - Windows をご使用の場合：

    印刷品質の変更や画像データの補正

  - Mac OS をご使用の場合：

    印刷品質の変更や画像データの補正

印刷がかすれている、むらがある場合：

ステップ 1 ノズルチェックパターンを印刷する

本製品から行う

ノズルチェックパターンを印刷する

パソコンから行う

- Windows をご使用の場合：

  ノズルチェックパターンを印刷する

- Mac OS をご使用の場合：

  ノズルチェックパターンを印刷する

ステップ 2 ノズルチェックパターンを確認する

パターンに欠けや白い横すじがある場合

ステップ 3 プリントヘッドをクリーニングする

本製品から行う

- プリントヘッドをクリーニングする

パソコンから行う

- Windows をご使用の場合：
  - プリントヘッドをクリーニングする
- Mac OS をご使用の場合：
  - プリントヘッドをクリーニングする

クリーニング後、ノズルチェックパターンを印刷して確認：➡ ステップ 1

ステップ 1 からステップ 3 の手順を 2 回繰り返しても改善されない場合

ステップ 4 プリントヘッドを強力クリーニングする

本製品から行う

- プリントヘッドを強力クリーニングする

パソコンから行う

- Windows をご使用の場合：
  - プリントヘッドをクリーニングする
- Mac OS をご使用の場合：
  - プリントヘッドをクリーニングする

参考

- ステップ 4 までの操作を行っても症状が改善されない場合は、電源を切ってから電源プラグを抜かずに 24 時間以上経過したあとに、もう一度強力クリーニングを行ってください。それでも改善されない場合は、プリントヘッドが故障している可能性があります。キヤノンホームページまたはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

罫線がずれるなど印刷に均一感がない場合：

ステップ プリントヘッド位置を調整する

本製品から行う

- プリントヘッド位置を調整する

パソコンから行う

- Windows をご使用の場合：
  - プリントヘッドの位置を調整する
- Mac OS をご使用の場合：
  - プリントヘッドの位置を調整する

ノズルチェックパターンを印刷する

プリントヘッドのノズルからインクが正しく出ているかを確認するために、ノズルチェックパターンを印刷します。

参考

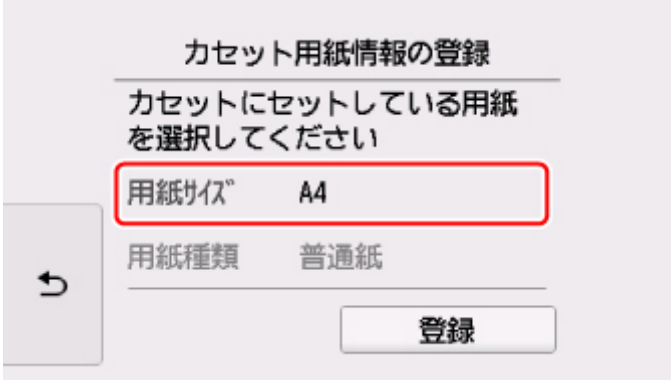
- インク残量が少ないとノズルチェックパターンが正しく印刷されません。インク残量が少ない場合はインクタンクを交換してください。

用意するもの：A4 サイズの普通紙 1 枚

1. 電源が入っていることを確認する

2. カセットに A4 サイズの普通紙を 1 枚セットする

   カセットを本体に差し込むと、カセットの用紙情報の登録画面が表示されます。［用紙サイズ］で［A4］を設定し［登録］を選びます。



   画面にメッセージが表示された場合は、メッセージに従って登録を終了します。

   参考

   - 必ず用紙をカセットにセットしてください。後トレイに用紙をセットしても、ノズルチェックパターンは印刷されません。

3. ホーム画面で （セットアップ）を選ぶ

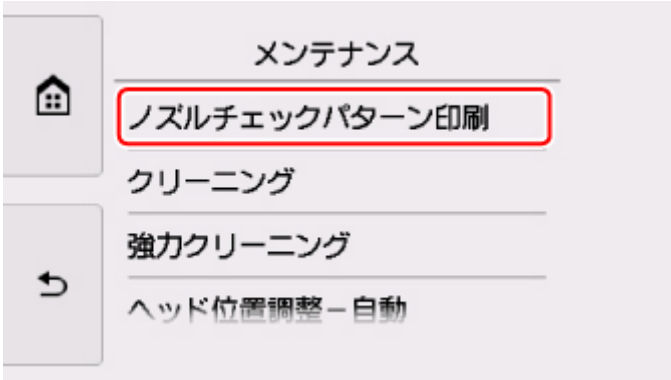
   操作パネルの使いかた

   セットアップメニュー画面が表示されます。

4. ［メンテナンス］を選ぶ

   ［メンテナンス］画面が表示されます。

5. ［ノズルチェックパターン印刷］を選ぶ



確認画面が表示されます。

6. ［はい］を選ぶ

自動的に操作パネルが開き、排紙トレイが出てきます。

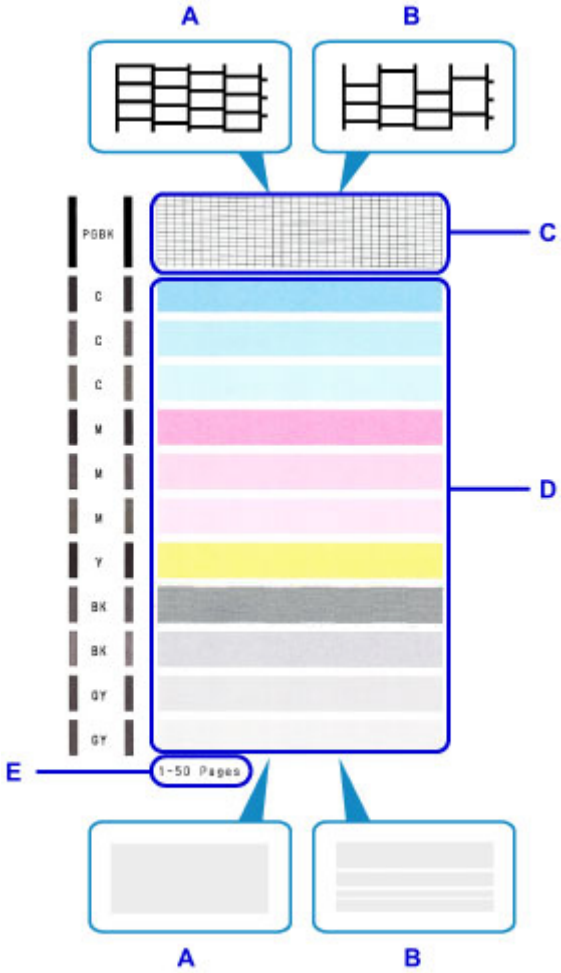
ノズルチェックパターンが印刷され、タッチスクリーンに 2 つのパターン確認画面が表示されます。

7. ノズルチェックパターンを確認する

ノズルチェックパターンを確認する

ノズルチェックパターンを確認し、必要な場合はクリーニングを行います。

1. パターン C に欠けがないか、パターン D に白い横すじが入っていないかを確認する

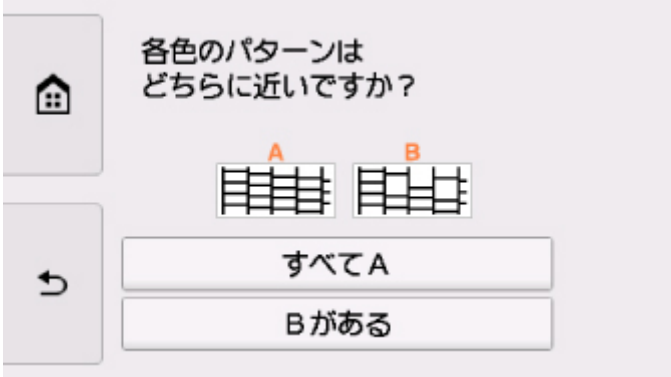


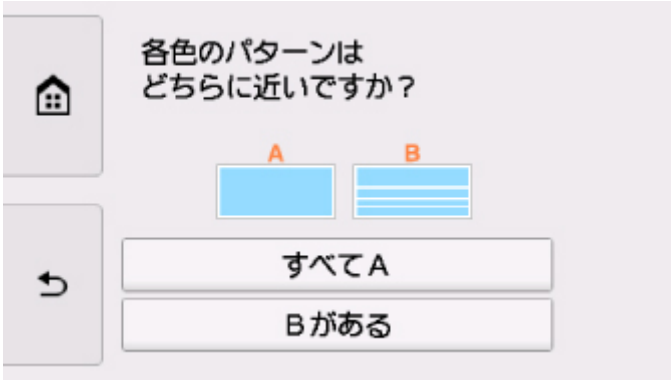
A：欠けがない／白い横すじがない

B：欠けがある／白い横すじがある

E：これまで印刷を行った用紙の総枚数

2. パターン確認画面で、印刷されたパターンに近いものを選ぶ





パターンCとDのどちらにも、欠け／白い横すじがない（A）場合：

クリーニングの必要がないので、［すべてA］を選び、メッセージを確認して［OK］を選びます。

［メンテナンス］画面に戻ります。

パターンCとDのどちらか、または両方に、欠け／白い横すじがある（B）場合：

クリーニングが必要なので、［Bがある］を選び、クリーニング確認画面で［はい］を選びます。

プリントヘッドのクリーニングが開始されます。

- プリントヘッドをクリーニングする

パターンDまたはパターンCのいずれかの色が印刷されない場合：

（マゼンタのパターンが印刷されない例）

クリーニングが必要なので、［Bがある］を選び、クリーニング確認画面で［はい］を選びます。

プリントヘッドのクリーニングが開始されます。

- プリントヘッドをクリーニングする

参考

- ノズルチェックパターンの印刷結果には、これまで印刷を行った用紙の総枚数が印刷されます（50枚単位の概算枚数）。

プリントヘッドをクリーニングする

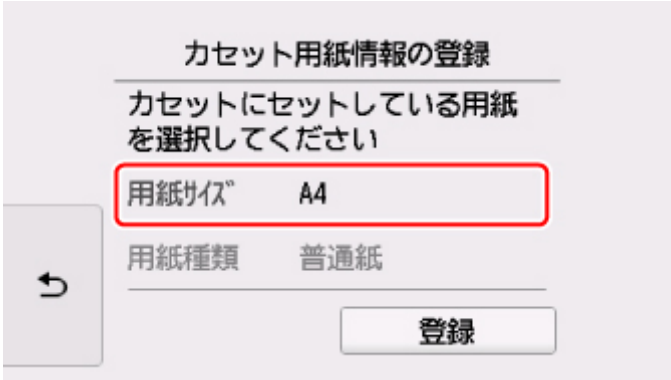
ノズルチェックパターンに欠けや白い横すじがある場合は、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。ノズルのつまりを解消し、プリントヘッドを良好な状態にします。インクを消耗しますので、クリーニングは必要な場合のみ行ってください。

用意するもの：A4 サイズの普通紙 1 枚

1. 電源が入っていることを確認する

2. カセットに A4 サイズの普通紙を 1 枚セットする

   カセットを本体に差し込むと、カセットの用紙情報の登録画面が表示されます。［用紙サイズ］で［A4］を設定し［登録］を選びます。



   画面にメッセージが表示された場合は、メッセージに従って登録を終了します。

   参考

   - 必ず用紙をカセットにセットしてください。後トレイに用紙をセットしても、ノズルチェックパターンは印刷されません。

3. ホーム画面で（セットアップ）を選ぶ

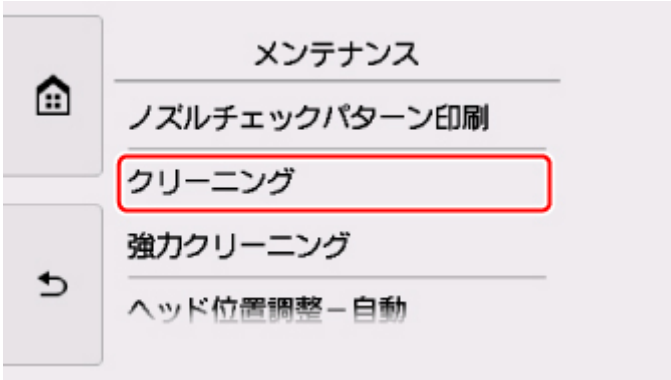
   操作パネルの使いかた

   セットアップメニュー画面が表示されます。

4. ［メンテナンス］を選ぶ

   ［メンテナンス］画面が表示されます。

5. ［クリーニング］を選ぶ



確認画面が表示されます。

6. ［はい］を選ぶ

プリントヘッドのクリーニングが開始されます。

クリーニングが終了するまで、ほかの操作を行わないでください。終了まで約 1 分かかります。

ノズルチェックパターン印刷の確認画面が表示されます。

7. ［はい］を選ぶ

自動的に操作パネルが開き、排紙トレイが出てきます。

ノズルチェックパターンが印刷されます。

8. ノズルチェックパターンを確認する

参考

- クリーニングを 2 回繰り返しても改善されないときは、強力クリーニングを行ってください。

プリントヘッドを強力クリーニングする

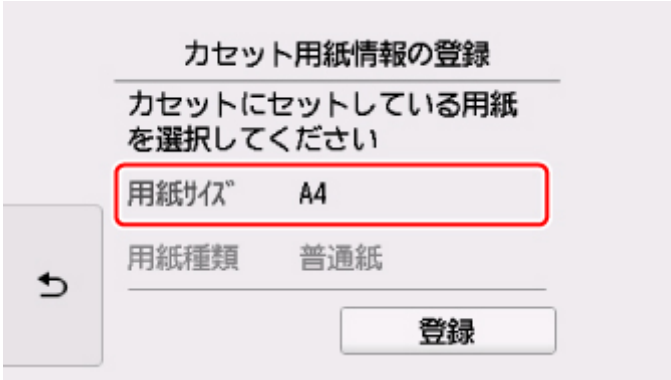
プリントヘッドのクリーニングを行っても効果がない場合は、強力クリーニングを行ってください。強力クリーニングは、通常のクリーニングよりインクを消耗しますので、必要な場合のみ行ってください。

用意するもの：A4 サイズの普通紙 1 枚

1. 電源が入っていることを確認する

2. カセットに A4 サイズの普通紙を 1 枚セットする

   カセットを本体に差し込むと、カセットの用紙情報の登録画面が表示されます。［用紙サイズ］で［A4］を設定し［登録］を選びます。



   画面にメッセージが表示された場合は、メッセージに従って登録を終了します。

   参考

   - 必ず用紙をカセットにセットしてください。後トレイに用紙をセットしても、ノズルチェックパターンは印刷されません。

3. ホーム画面で（セットアップ）を選ぶ

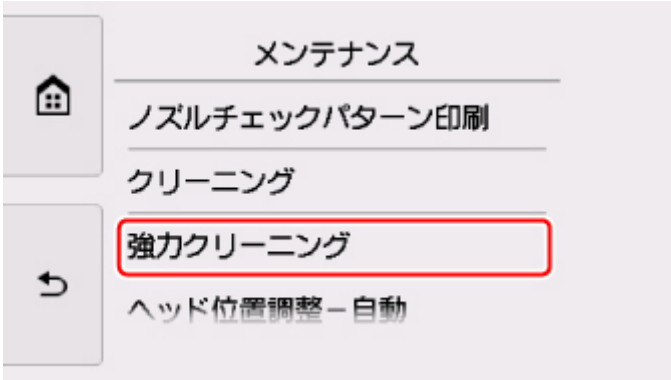
   操作パネルの使いかた

   セットアップメニュー画面が表示されます。

4. ［メンテナンス］を選ぶ

   ［メンテナンス］画面が表示されます。

5. ［強力クリーニング］を選ぶ



確認画面が表示されます。

6. ［はい］を選ぶ

プリントヘッドの強力クリーニングが開始されます。

強力クリーニングが終了するまで、ほかの操作を行わないでください。終了まで約 1～2 分かかります。

ノズルチェックパターン印刷の確認画面が表示されます。

7. ［はい］を選ぶ

自動的に操作パネルが開き、排紙トレイが出てきます。

ノズルチェックパターンが印刷されます。

8. 強力クリーニング終了のメッセージが表示されたら、［OK］を選ぶ

9. ノズルチェックパターンを確認する

特定の色だけが印刷されない場合は、そのインクタンクを交換します。

改善されない場合は、電源を切って 24 時間以上経過したあとに、もう一度強力クリーニングを行います。

それでも改善されない場合は、プリントヘッドが故障している可能性があります。キヤノンホームページまたはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

プリントヘッド位置を調整する

罫線がずれるなど、印刷結果に均一感が見られないときには、プリントヘッド位置を調整します。

参考

- インク残量が少ないとプリントヘッド位置調整シートが正しく印刷されません。

  インク残量が少ない場合はインクタンクを交換してください。

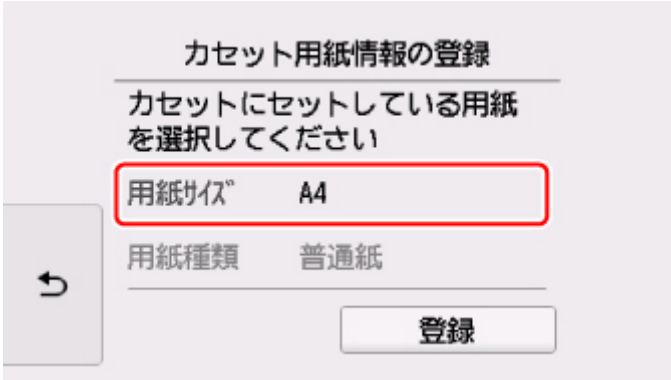
用意するもの：A4 サイズの普通紙（再生紙を含む）＊1 枚

＊ 表裏ともに白いきれいな用紙を用意してください。

1. 電源が入っていることを確認する

2. カセットに A4 サイズの普通紙を 1 枚セットする

   カセットを本体に差し込むと、カセットの用紙情報の登録画面が表示されます。［用紙サイズ］で［A4］を設定し［登録］を選びます。



   画面にメッセージが表示された場合は、メッセージに従って登録を終了します。

   参考

   - 必ず用紙をカセットにセットしてください。後トレイに用紙をセットしても、プリントヘッド位置調整シートは印刷されません。

3. ホーム画面で（セットアップ）を選ぶ

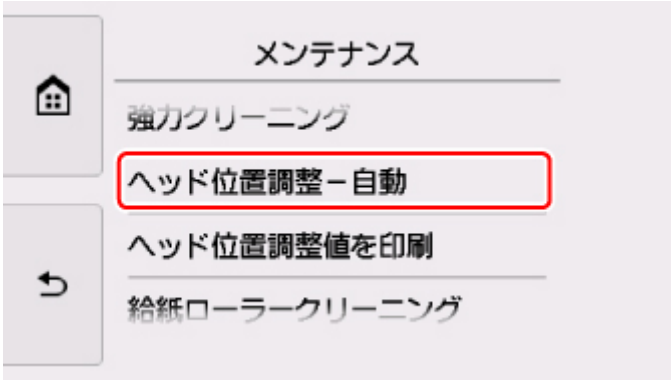
   操作パネルの使いかた

   セットアップメニュー画面が表示されます。

4. ［メンテナンス］を選ぶ

   ［メンテナンス］画面が表示されます。

5. ［ヘッド位置調整－自動］を選ぶ

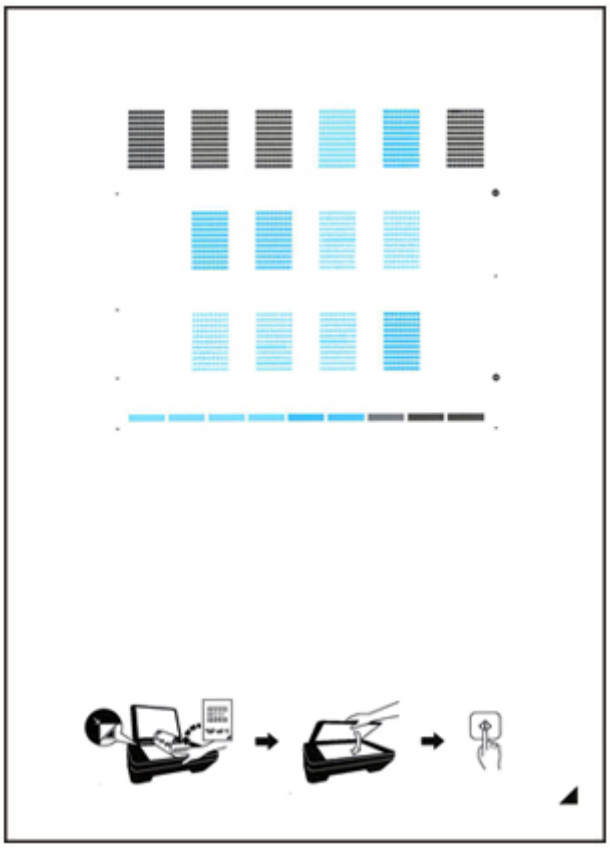


確認画面が表示されます。

6. メッセージの内容を確認し、［はい］を選ぶ

自動的に操作パネルが開き、排紙トレイが出てきます。

プリントヘッド位置調整シートが印刷されます。



重要

- プリントヘッド位置調整シートの印刷部分には触らないでください。シートに汚れやシワなどがあると正しく読み取れない場合があります。

7. ［パターンは、正常に印刷されましたか?］のメッセージが表示されたら、正常に印刷されていることを確認し、［はい］を選ぶ

8. メッセージの内容を確認し、印刷されたプリントヘッド位置調整シートを原稿台ガラスにセットする

調整パターンが印刷された面を下にして、シートの右下隅の◢マークを原稿位置合わせマーク（⇲）に合わせます。

9. 原稿台カバーをゆっくり閉じて、［OK］を選ぶ

プリントヘッド位置調整シートのスキャンが開始され、自動的にプリントヘッド位置が調整されます。

重要

- プリントヘッド位置の調整中は、原稿台カバーを開けたり、セットしたプリントヘッド位置調整シートを動かしたりしないでください。
- タッチスクリーンにエラーメッセージが表示された場合は、［OK］を選んでエラーを解除し、必要な対処をしてください。

  トラブルが発生したときは

10. ヘッド位置調整終了のメッセージが表示されたら、［OK］を選ぶ

原稿台ガラスからプリントヘッド位置調整シートを取り出してください。

参考

- 記載の手順でプリントヘッド位置調整を行っても印刷結果が思わしくない場合は、パソコンから手動でプリントヘッドの位置調整を行ってください。
  - Windows をご使用の場合：

    プリントヘッドの位置を調整する
  - Mac OS をご使用の場合：

    プリントヘッドの位置を調整する
- ［メンテナンス］画面で［ヘッド位置調整値を印刷］を選ぶと、現在の調整値を印刷して確認することができます。

本製品を清掃する

- 本製品の外側を清掃する
- 原稿台の周辺部分を清掃する
- 給紙ローラーをクリーニングする
- インクふき取りクリーニングを行う
- カセットの内部を清掃する

給紙ローラーをクリーニングする

給紙ローラーに紙粉や汚れがつくと、用紙がうまく送られないことがあります。そのような場合は、給紙ローラーのクリーニングを行います。給紙ローラーのクリーニングは給紙ローラーが磨耗しますので、必要な場合のみ行ってください。

用意するもの：A4 サイズの普通紙 3 枚

1. 電源が入っていることを確認する

2. ホーム画面で （セットアップ）を選ぶ

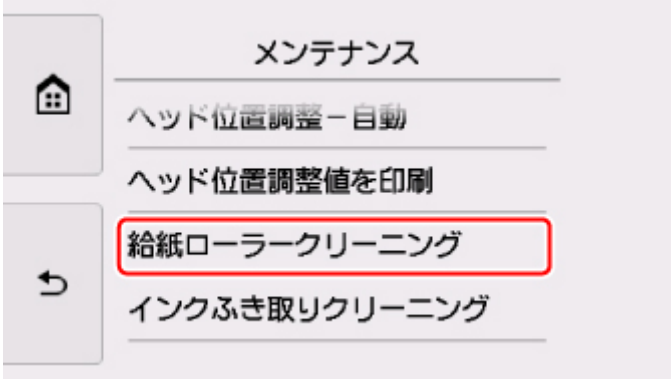
   操作パネルの使いかた

   セットアップメニュー画面が表示されます。

3. ［メンテナンス］を選ぶ

   ［メンテナンス］画面が表示されます。

4. ［給紙ローラークリーニング］を選ぶ



   確認画面が表示されます。

5. ［はい］を選ぶ

6. 給紙ローラーをクリーニングする給紙箇所（［後トレイ］または［カセット］）を選ぶ

7. メッセージに従って、選んだ給紙箇所にセットされている用紙をすべて取り除く

   カセットの給紙ローラーをクリーニングする場合は、カセットの用紙を取り除いてから、カセットを元に戻してください。

8. ［OK］を選ぶ

   自動的に操作パネルが開き、排紙トレイが出てきます。

   給紙ローラーが回転し、用紙を使用しないクリーニングが開始されます。

9. 給紙ローラーの回転が停止したことを確認し、メッセージに従って、給紙ローラーをクリーニングしている給紙箇所に A4 サイズの普通紙を 3 枚セットする

10. ［はい］を選ぶ

クリーニングが開始されます。用紙が排出されるとクリーニングが終了します。

11. クリーニング終了のメッセージが表示されたら、［OK］を選ぶ

上記の操作を行っても改善されない場合は、キヤノンホームページまたはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

インクふき取りクリーニングを行う

本製品内部の汚れを取ります。本製品内部が汚れていると、印刷した用紙が汚れる場合がありますので、定期的に行うことをお勧めします。

用意するもの：A4 サイズの普通紙（再生紙を含む）*1 枚

* 新しい用紙を用意してください。

1. 電源が入っていることを確認する

2. ホーム画面で （セットアップ）を選ぶ

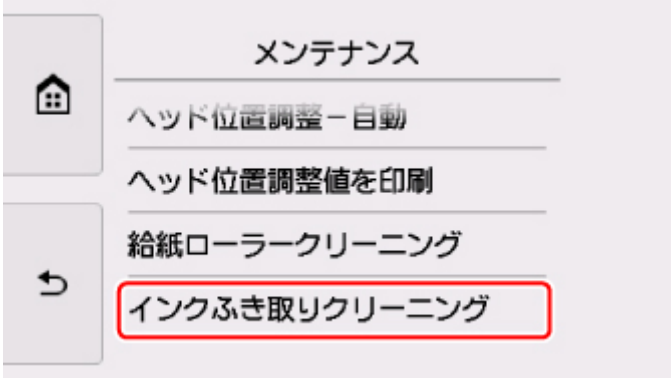
   操作パネルの使いかた

   セットアップメニュー画面が表示されます。

3. ［メンテナンス］を選ぶ

   ［メンテナンス］画面が表示されます。

4. ［インクふき取りクリーニング］を選ぶ



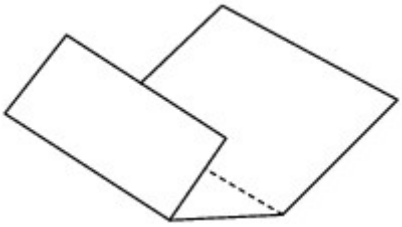
   確認画面が表示されます。

5. ［はい］を選ぶ

6. メッセージに従って、セットされている用紙をすべて取り除き、［OK］を選ぶ

7. A4 サイズの普通紙を横半分に折ってから開く

8. 開いた片側を中央の折り目に合わせて折ってから開き、［OK］をタップする



9. 開いた面（谷折り）を下にし、折りしろの広いほうが奥になるように、カセットに 1 枚だけセットする

10. ［OK］を選ぶ

自動的に操作パネルが開き、排紙トレイが出てきます。

インクふき取りクリーニングが実行され、用紙が排出されます。

排出された用紙の山折り部分を確認し、インクが付いている場合は再度クリーニングを行います。

11. インクふき取りクリーニング終了のメッセージが表示されたら、［OK］を選ぶ

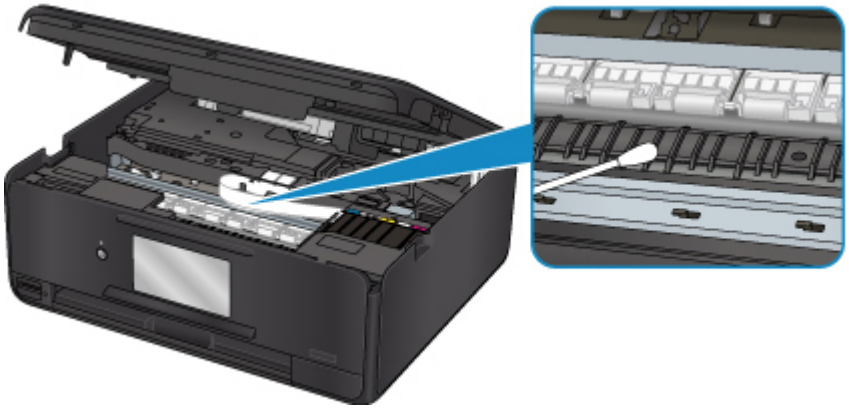
参考

- 再度インクふき取りクリーニングを行う場合は、新しい用紙をご使用ください。

再度クリーニングを行ってもインクが付くときは、本製品内部の突起が汚れている場合があります。綿棒などを使って突起からインク汚れを丁寧にふき取ってください。

重要

- 清掃する前に、電源を切り、電源プラグを抜いてください。



本製品の基本情報

- **安全ガイド**
  - 安全にお使いいただくために
  - 法規制情報
- **各部の名称と使いかた**
  - 各部の名称と役割
  - 本製品の電源について
  - 操作パネルの使いかた
- **本製品の設定を変更する**
  - パソコンで設定を変更する（Windows）
  - パソコンで設定を変更する（Mac OS）
  - 本製品の操作パネルで設定を変更する
  - ウェブブラウザーから本製品の設定を変更する
- **ネットワーク接続に関する情報**
  - ネットワーク接続で役立つ情報
- **ネットワークの設定について（IJ Network Device Setup Utility）（Windows）**
  - IJ Network Device Setup Utility について
  - IJ Network Device Setup Utility を起動する
- **きれいに印刷するためのヒント集**
  - インクについて知っておきたいこと
  - 印刷を失敗しないためのポイント
  - 印刷するときには用紙設定の確認を忘れずに
  - 用紙をセットしたあとは、後トレイ／カセットの用紙情報の登録を忘れずに
  - 印刷を中止するときは
  - 使用時の注意
  - いつもきれいな印刷を楽しむためのポイント
  - 本製品を移送するときの注意
- **原稿をスキャンするときの注意事項**

➤ **仕様**

安全ガイド

- 安全にお使いいただくために
- 法規制情報

安全にお使いいただくために

設置場所について

- 不安定な場所や振動のある場所に置かないでください。
- 湿気やほこりの多い場所、屋外、直射日光の当たる場所、高温の場所、火気の近くには置かないでください。
  使用環境については、「仕様」を参照してください。
- 毛足の長いじゅうたんやカーペットの上には置かないでください。
  毛やほこりなどが製品の内部に入り込むことがあります。
- プリンター背面を壁につけて置かないでください。

電源について

- いつでも電源プラグが抜けるように、コンセントの周囲にはものを置かないでください。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
  コードを引っ張ると、電源コードが傷つくことがあります。
- 延長電源コードは使用しないでください。
- 万一の感電を防止するために、コンピューターのアース接続をお勧めします。

取扱いについて

- 印刷中はプリンターの中に手を入れないでください。
- プリンターを運ぶときは、必ず両側下部分を両手でしっかりと持ってください。
  ただし、プリンターの重さが 14kg を超える場合は、できるだけ 2 人で持ち運んでください。
  なお、プリンターの重さについては、「仕様」を参照してください。
- プリンターの上にものを置かないでください。
  特にクリップやホチキス針などの金属物や液体・引火性溶剤（アルコール・シンナーなど）の入った容器を置かないでください。
- プリンターを使用／輸送するときは、傾けたり、立てたり、逆さにしないでください。インクが漏れるおそれがあります。
- 原稿台ガラスに厚い本などをセットするときは、原稿台カバーを強く押さえないでください。
  原稿台ガラスが破損することがあります。

プリントヘッド／インクタンク／FINE カートリッジについて

- お子様の手の届かないところに保管してください。
  誤ってインクをなめたり、飲んだりした場合は、口をすすがせるか、コップ 1、2 杯の水を飲ませてください。万一、刺激や不快感が生じた場合には、直ちに医師にご相談ください。
- インクが目に入ってしまった場合は、すぐに水で洗い流してください。インクが皮膚に付着した場合は、すぐに水や石けん水で洗い流してください。万一、目や皮膚に刺激が残る場合は、直ちに医師にご相談ください。
- 印刷後、プリントヘッドや FINE カートリッジの金属部分には触れないでください。
  熱くなっている場合があります。
- インクタンクや FINE カートリッジを火中に投じないでください。
- プリントヘッドやインクタンク、FINE カートリッジを分解したり、改造したりしないでください。

法規制情報

電波障害自主規制について

この装置は、一般財団法人 VCCI 協会の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

電波について

使用上の注意

- 本プリンターは日本国内仕様です。日本国外では使用できません。
- 本プリンターは、電波法に基づく技術基準適合証明を受けた無線設備であり、筐体内部を開けること、および内部の回路等を改造することは法律で禁じられています。
- 医療用の装置や電子機器の近くで本プリンターを使用しないでください。
  電波によりそれらの装置や電子機器の動作に影響を与える恐れがあります。

電波干渉に関するご注意

本プリンターの使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本プリンターを使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本プリンターから移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、「サポートガイド」を参照し、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）について相談してください。
3. その他、本プリンターから移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、「サポートガイド」を参照し、お問い合わせください。
4. 2.4 DS/OF 4
   この表示のある無線機器は 2.4GHz 帯を使用しています。変調方式として DS-SS または OFDM 変調方式を採用し、移動体識別装置の構内無線局に対して想定される与干渉距離は 40m です。全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。

環境および化学安全情報

製品の環境情報および化学安全情報（SDS）につきましては、キヤノンのウェブサイト（canon.jp/ecology）にてご覧いただけます。

使用済み製品の廃棄について

プリンターをご家庭で使用された場合は「一般廃棄物」、業務上使用された場合は「産業廃棄物」として廃棄処理をお願いしております。
ご家庭で使用された場合は、お住まいの地方自治体のルールに従い、一般廃棄物として廃棄をお願いいたします。
業務上使用された場合は、産業廃棄物として廃棄をお願いいたします。

また、キヤノンのウェブサイト（canon.jp/ecology）でも処理についてのご案内をしておりますので、ご確認ください。

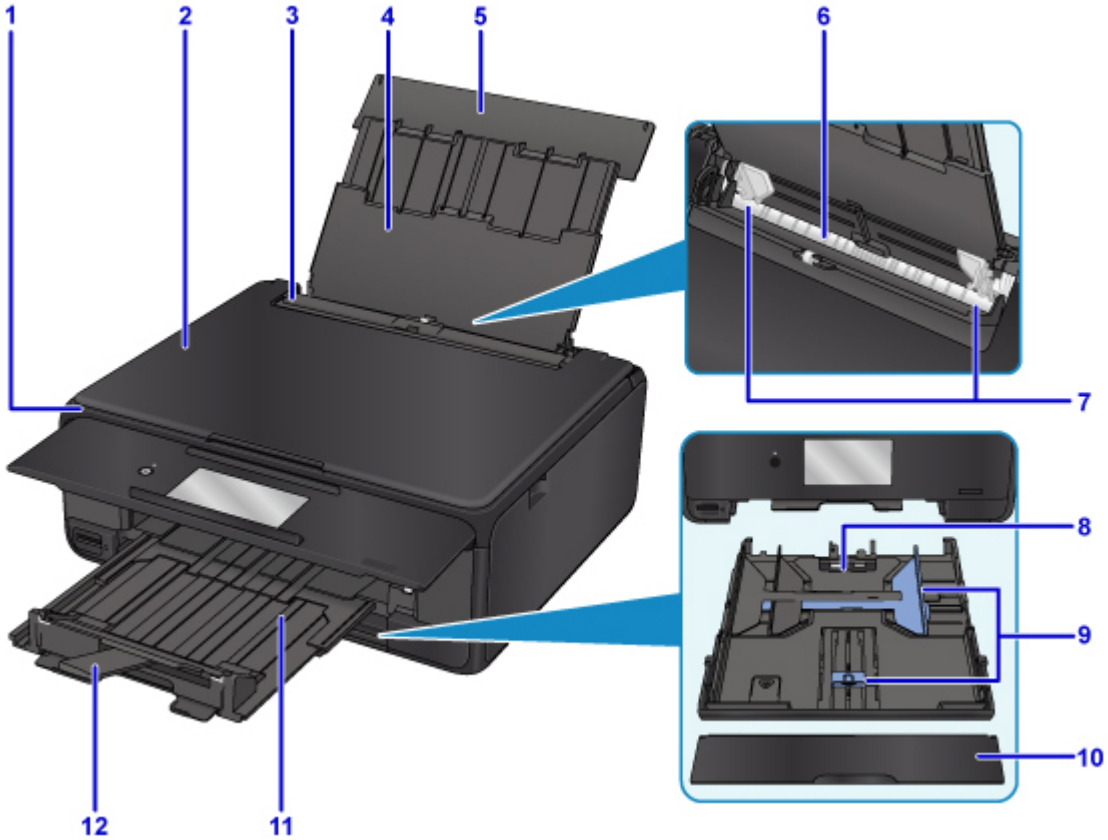
各部の名称と使いかた

- 各部の名称と役割
- 本製品の電源について
- 操作パネルの使いかた

各部の名称と役割

- 前面
- 背面
- 内部
- 操作パネル

前面



(1) 操作パネル

本製品の設定や操作をするときに使用します。印刷を開始すると、自動で開きます。

- 操作パネル

(2) 原稿台カバー

原稿台ガラスに原稿をセットするときに開きます。

(3) 給紙口カバー

給紙口に物が落ちるのを防ぎます。

用紙ガイドを動かすときは開き、印刷する前に閉じてください。

(4) 用紙サポート

後トレイに用紙をセットするときに引き伸ばします。

(5) 後トレイカバー

後トレイに用紙をセットするときに開きます。

(6) 後トレイ

一度に同じサイズ、種類の用紙を複数枚セットでき、自動的に 1 枚ずつ給紙されます。

- 後トレイに用紙をセットする
- 封筒をセットする

(7) 用紙ガイド

用紙の両端に合わせます。

(8) カセット

A4、B5、A5、レターサイズなどの普通紙をセットして、本体へ差し込みます。

- カセットに用紙をセットする

(9) 用紙ガイド

用紙の両端および手前に合わせます。

(10) カセットカバー

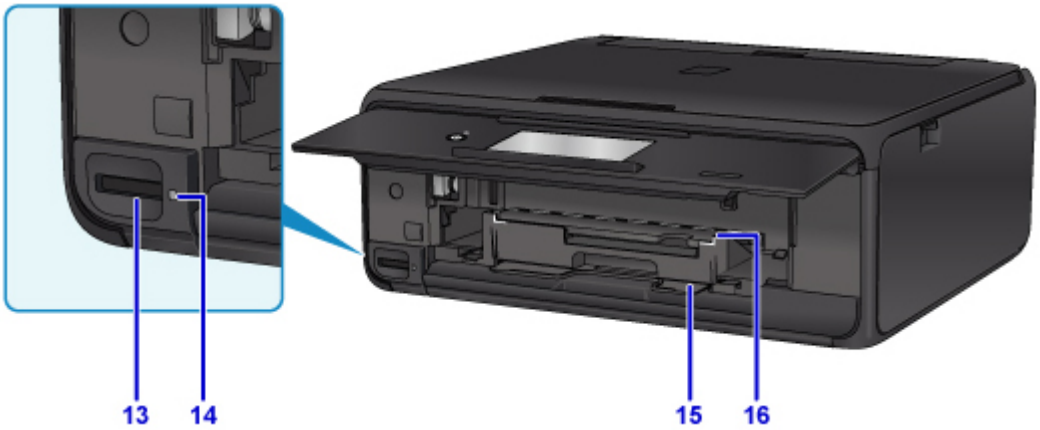
カセットに用紙をセットするときに外します。

(11) 排紙トレイ

印刷を開始すると、自動で出てきます。印刷された用紙が排紙されます。

(12) 排紙サポート

排紙された用紙を支えるために手前に引き出します。



(13) カードスロット

メモリーカードをセットします。

■ メモリーカードをセットする前に

(14) アクセスランプ

点灯または点滅して、メモリーカードの状態を知らせます。

■ メモリーカードをセットする

(15) ディスクトレイ収納部

付属のディスクトレイを収納します。

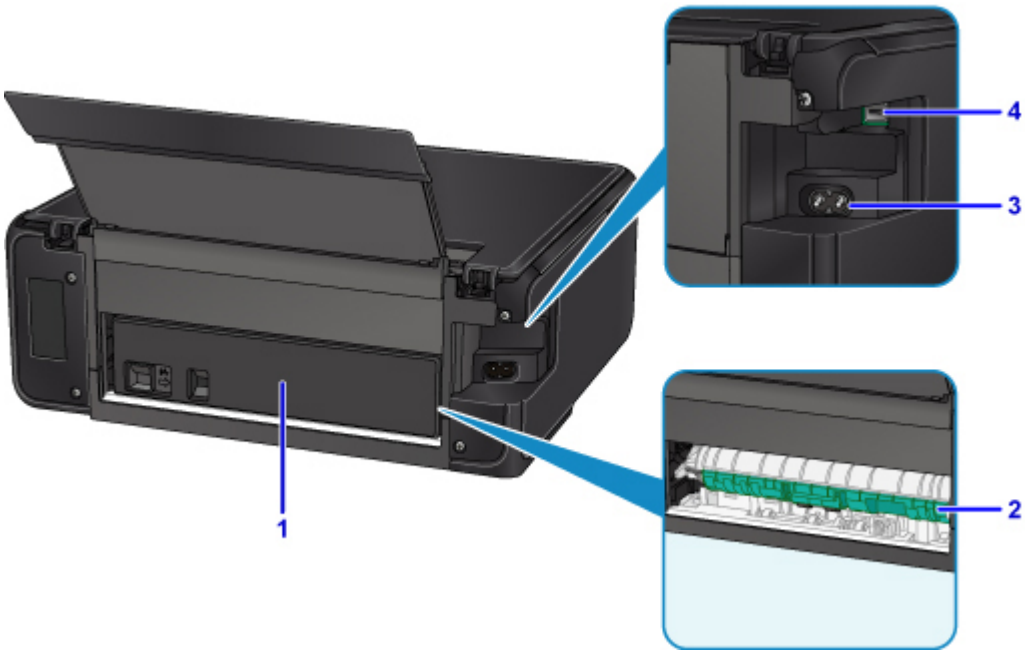
(16) ディスクトレイガイド

ディスクトレイをセットします。

(17) 原稿台ガラス

原稿をセットします。

背面



(1) 背面カバー

紙づまりのときに取り外し、つまった用紙を取り除きます。

(2) 搬送ユニットカバー

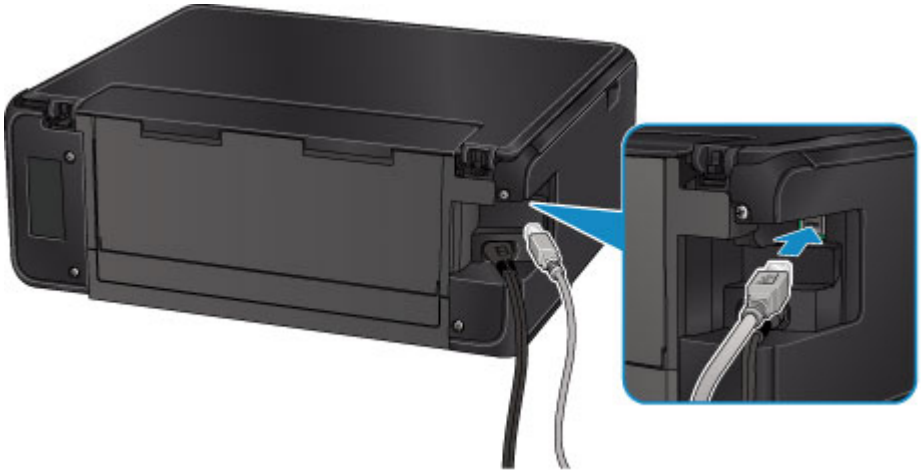
紙づまりのときに取り外し、つまった用紙を取り除きます。

(3) 電源コード接続部

付属の電源コードを接続するためのコネクタです。

(4) USB ケーブル接続部

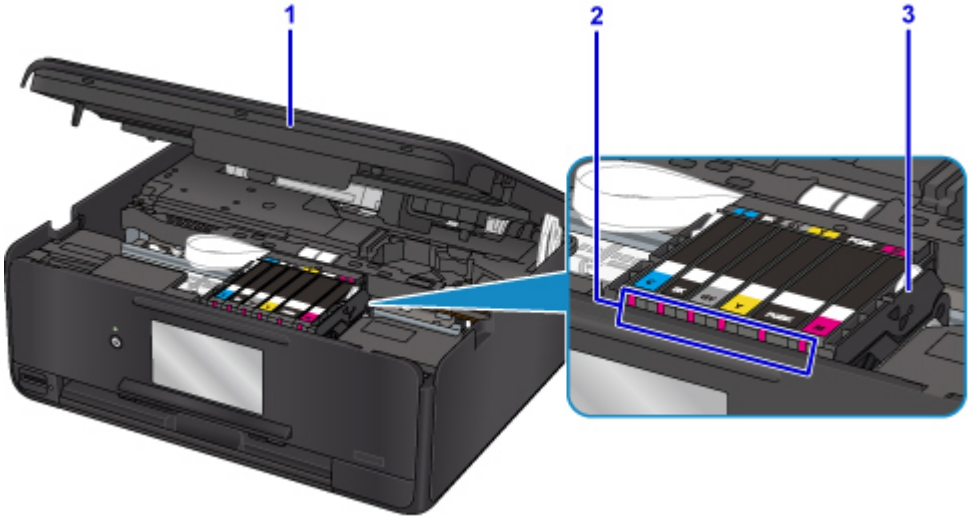
USB ケーブルでパソコンと接続するためのコネクタです。



重要

- 金属部分に触れないでください。
- パソコンに本製品を接続して印刷または画像をスキャンしているときに、USB ケーブルを抜き差ししないでください。

内部



(1) スキャナーユニット/カバー

原稿を読み取ります。また、インクタンクを交換するときやインクランプを確認するとき、内部につまった用紙を取り除くときに持ち上げて開きます。

(2) インクランプ

点灯または点滅して、インクタンクの状態を知らせます。

■ インクの状態をインクランプで確認する

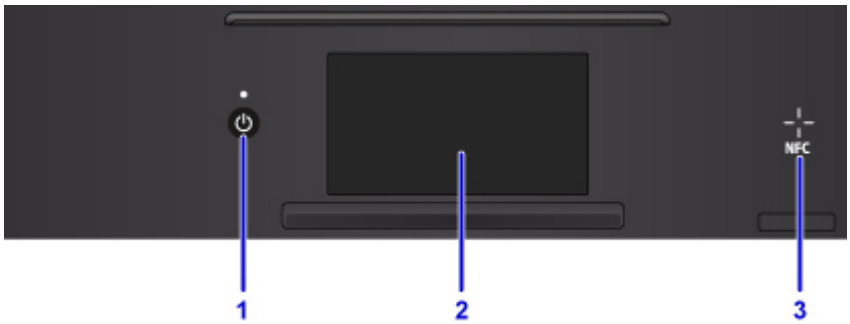
(3) プリントヘッドホルダー

プリントヘッドが取り付けられています。

参考

- インクタンクの交換方法は、「インクタンクを交換する」を参照してください。

操作パネル



(1) 電源ボタン／電源ランプ

電源を入れる／切るときに押します。電源を入れると点滅した後、点灯します。電源を入れるときは、原稿台カバーを閉じてください。

(2) タッチスクリーン

メッセージやメニュー項目、動作状況などが表示されます。画面に直接指先で軽く触れてメニュー項目や表示ボタンを選ぶことができます。

タッチスクリーンの基本操作

(3) NFC（Near Field Communication）マーク

キヤノンの NFC 対応アプリがインストールされている NFC 対応スマートフォンなどをこのマークにかざすと、印刷などを行うことができます。

本製品の電源について

- 電源が入っているか確認する
- 電源を入れる／切る
- 電源プラグ／電源コードについて
- 電源プラグを抜く

電源が入っているか確認する

電源が入っているときは、電源ランプが点灯します。

電源ランプが点灯しているときは、タッチスクリーンが消えていても、電源が入っている状態です。

参考

- 電源を入れた直後は、印刷が開始されるまで少し時間がかかります。
- 約 10 分間操作をしないと、タッチスクリーンの表示が消えます。そのときは、操作パネルで電源ボタン以外のボタンまたはタッチスクリーンをタッチすると画面が表示されます。また、パソコンなどから印刷を開始しても、タッチスクリーンの表示が復帰します。

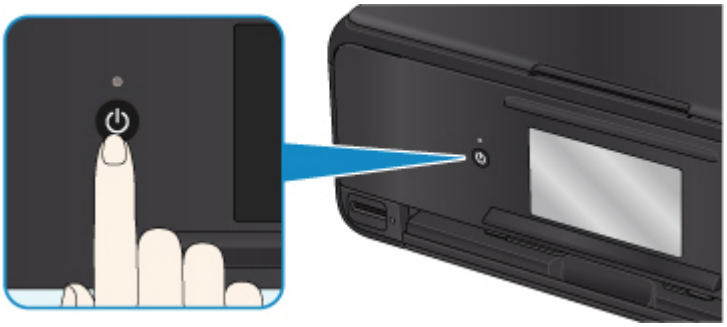
電源を入れる／切る

電源を入れる

1. 本製品の電源ボタンを押して、電源を入れる

   電源ランプが点滅した後、点灯します。

   電源が入っているか確認する



参考

- 電源を入れた直後は、印刷が開始されるまで少し時間がかかります。
- タッチスクリーンにエラーメッセージが表示された場合は、「トラブルが発生したときは」を参照してください。
- USB 接続または無線 LAN のネットワーク経由で印刷やスキャンなどを開始したとき、自動的に本製品の電源が入るように設定することができます。お買い上げ時は、自動で電源が入る設定にはなっていません。

  本製品から行う

  ECO 設定について

  パソコンから行う

  - Windows をご使用の場合：

    プリンターの電源を操作する

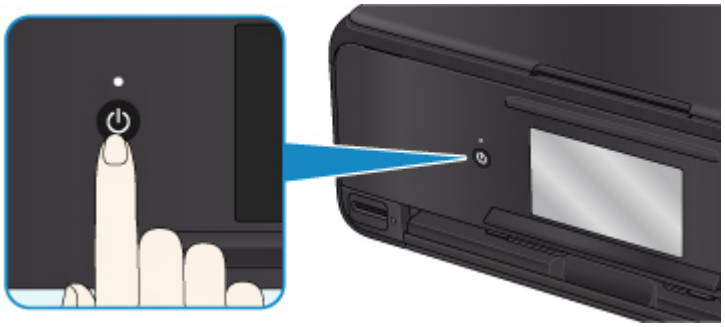
  - Mac OS をご使用の場合：

    プリンターの電源を操作する

電源を切る

1. 本製品の電源ボタンを押して、電源を切る

   電源ランプの点滅が終わると電源が切れます。



重要

- 電源を切ったあと電源プラグを抜くときは、電源ランプが消えたことを確認してください。

参考

- 一定時間、本製品の操作をしなかったり、パソコンなどから印刷が開始されなかったりする場合は、自動的に電源を切るように設定することができます。お買い上げ時は、自動で電源を切る設定になっています。

  本製品から行う

  - ECO 設定について

  パソコンから行う

  - Windows をご使用の場合：
    - プリンターの電源を操作する
  - Mac OS をご使用の場合：
    - プリンターの電源を操作する

電源プラグ／電源コードについて

電源プラグや電源コードは１ヶ月に一度コンセントを抜いて、下記のような異常な状態になっていないか確認してください。

- 発熱していないか
- さびていないか
- 曲がっていないか
- 擦れていないか
- 裂けていないか

⚠注意

- 電源プラグや電源コードが上記のように異常な状態になっている場合は、そのまま使用すると火災や感電の原因となることがあります。電源プラグをコンセントから抜き、キヤノンホームページまたはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

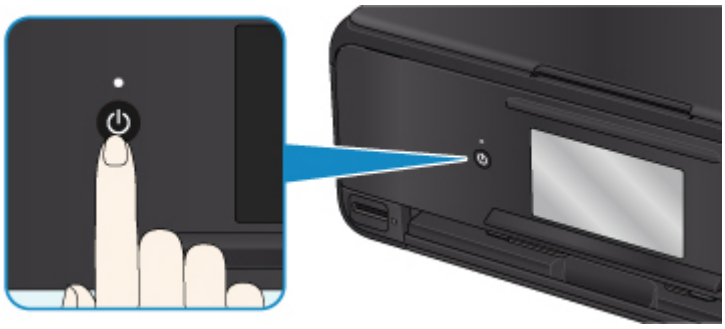
電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜くときは、かならず以下の手順に従ってください。

重要

- 電源プラグは、電源ボタンを押して電源ランプが消えたことを確認してから抜いてください。電源ランプが点灯または点滅中に電源プラグを抜くと、プリントヘッドの乾燥や目づまりの原因となり、きれいに印刷できなくなる場合があります。

1. 本製品の電源ボタンを押して、電源を切る

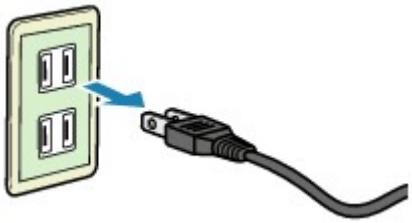


参考

- 電源ボタンを押すと、排紙トレイを収納するか確認画面がタッチスクリーンに表示されます。排紙トレイを収納する場合は、［はい］を選んでください。

2. 電源ランプが消えたことを確認する

3. 電源プラグをコンセントから抜く

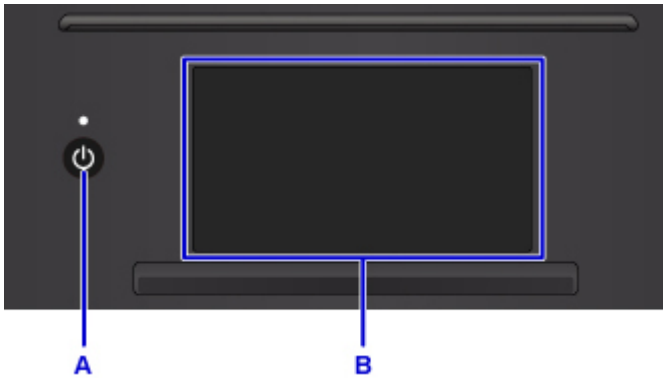


操作パネルの使いかた

操作パネルには、電源ボタン（A）とタッチスクリーン（B）とがあります。

タッチスクリーンに表示されるホーム画面を指で操作して、コピーやスキャンなどを行うメニューを選びます。

ホーム画面の操作



A. 電源ボタン

B. タッチスクリーン

タッチスクリーンの基本操作
タッチスクリーンに表示されるボタン

タッチスクリーンの基本操作

タッチスクリーンに指先で軽く触れたり、触れた指を動かしたりすることで、いろいろな機能や設定などを選ぶことができます。

重要

- タッチスクリーンを操作するときには、以下のことに注意してください。タッチスクリーンが誤動作したり、破損したりすることがあります。
  - タッチスクリーンを指で強く押さない
  - タッチスクリーンを指以外のもの（特にボールペンや鉛筆、爪など先の鋭いもの）で押さない
  - タッチスクリーンに濡れた手や、汚れた手で触れない
  - タッチスクリーン上には何も物を乗せない
- タッチスクリーンに保護フィルムを貼らないでください。はがす際にタッチスクリーンを傷付けるおそれがあります。

タップ

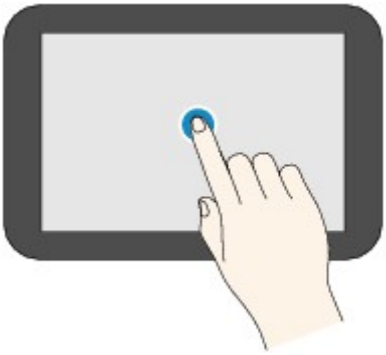
指先で軽く触れ、すぐに離します。

画面の項目や写真を選ぶときなどに使います。

タッチ

指先で軽く触れます。

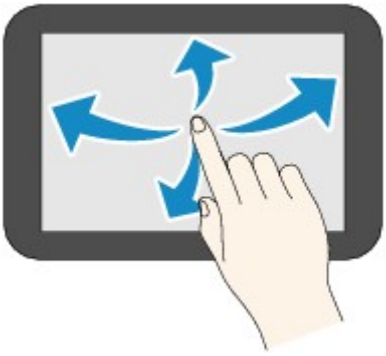
メニューや写真などを連続で進める（戻す）ときは、その方向のマークをタッチしたままにします。



フリック

画面に触れた指を上下左右にはらいます。

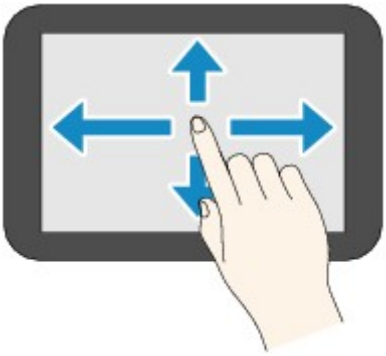
メニュー表示の切り替えや、写真を進める（戻す）ときに使います。



ドラッグ

指先で軽く触れたまま、上下左右に動かします。

項目のリストを見るときや、スライダーを動かすときに使います。



ホーム画面の操作

ホーム画面から各メニューや設定画面を表示します。

C. 基本メニュー

本製品の操作パネルからコピーやスキャンなどを行うときに選びます。基本メニューを選んだあと、それぞれ詳細なメニューが表示されます。

D. ネットワーク状況

ご利用のネットワークが表示されます。選ぶと、ネットワークの基本情報の表示や、ネットワークの設定を行うことができます。

ご利用のネットワークや状況によって、表示されるアイコンが異なります。

無線 LAN が有効になっていて、無線 LAN ルーターと接続できています。

参考

- 電波の状態によって、表示されるアイコンは変化します。

  （電波強度：81%以上）：通常に使用できます。

  （電波強度：51%以上）：ネットワーク状況によっては印刷できないなど、不具合が発生する可能性があります。プリンターと無線 LAN ルーターを近づけることをお勧めします。

  （電波強度：50%以下）：印刷できないなど、不具合が発生する可能性があります。プリンターと無線 LAN ルーターを近づけて、ご使用ください。

無線 LAN は有効になっていますが、無線 LAN ルーターと接続できていません。

無線ダイレクトが有効になっています。

無線 LAN が無効になっています。

E. クラウド

クラウドのメイン画面を表示します。PIXUS/MAXIFY クラウドリンクのサービスを利用することができます。

F. セットアップ

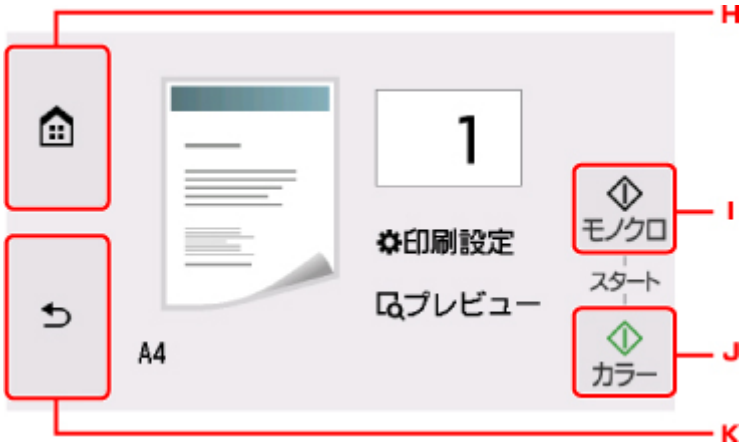
本製品の設定の変更や、お手入れをするためのメニューを選べます。

G. クイックガイド

用紙のセット方法や、インクタンクの交換方法、エラーが発生したときの対処方法などを表示できます。

タッチスクリーンに表示されるボタン

タッチスクリーンで操作しているときに、いくつかのボタンがタッチスクリーンに表示されます。



H. ホームボタン

ホーム画面を表示するときにタッチします。

I. モノクロボタン

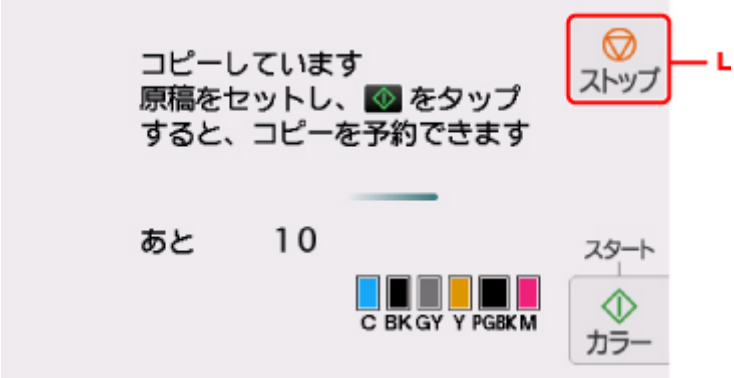
モノクロでコピー、スキャンするときなどにタッチします。

J. カラーボタン

カラーでコピー、スキャンするときなどにタッチします。

K. 戻るボタン

前の画面に戻ります。



L. ストップボタン

印刷中やコピー中、スキャン中にタッチすると、それぞれの動作を中止します。

本製品の設定を変更する

- パソコンで設定を変更する（Windows）
- パソコンで設定を変更する（Mac OS）
- 本製品の操作パネルで設定を変更する
- ウェブブラウザーから本製品の設定を変更する

パソコンで設定を変更する（Windows）

- 印刷オプションの設定を変更する
- よく使う印刷設定を登録する
- プリンターの電源を操作する
- プリンターの設定を変更する

印刷オプションの設定を変更する

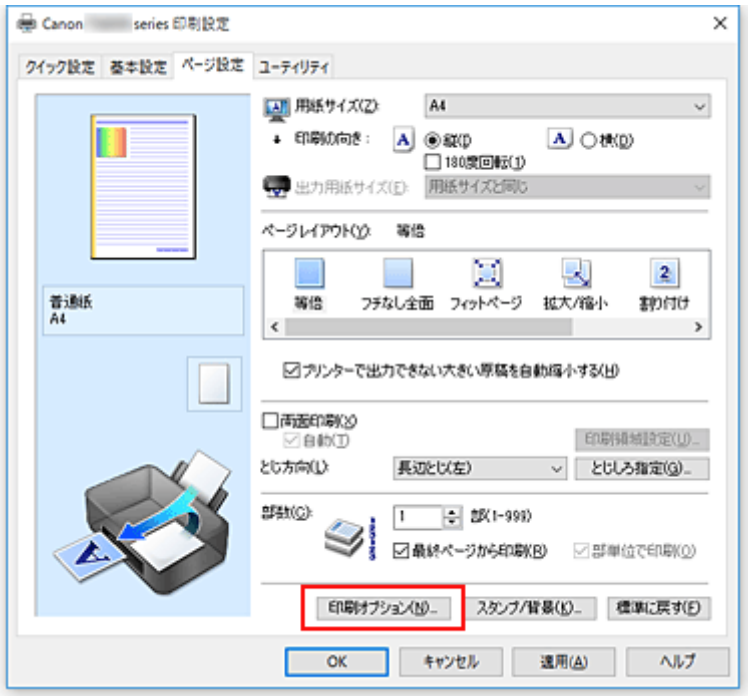
アプリケーションソフトから送信される印刷データに対して、プリンタードライバーの詳細設定を変更します。

画像データが抜け落ちたり、印刷時の給紙方法がドライバーの設定と異なったりするときなど、うまく印刷できない場合に設定してください。

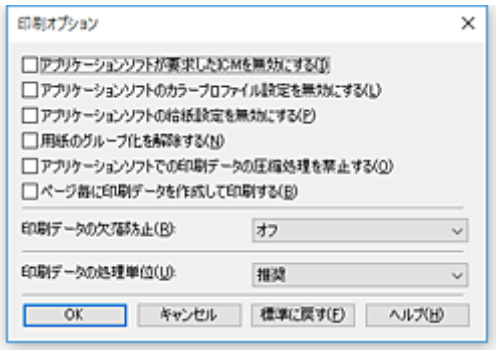
印刷オプションを設定する手順を説明します。

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

2. ［ページ設定］シートの［印刷オプション...］をクリック



［印刷オプション］ダイアログボックスが表示されます。



参考

- XPS プリンタードライバーをお使いの場合は、使用できる機能が異なります。

3. 各設定を変更

必要に応じて各項目の設定を変更し、［OK］をクリックします。

［ページ設定］シートに戻ります。

よく使う印刷設定を登録する

よく使う印刷設定を、［クイック設定］シートの［よく使う設定］に登録して使用することが可能です。不要になった印刷設定は削除できます。

印刷設定を登録する手順を説明します。

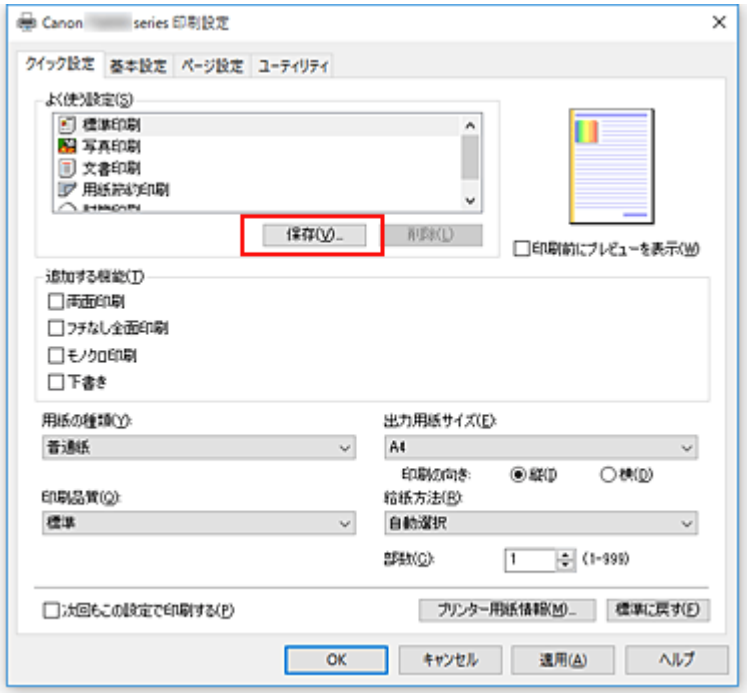
印刷設定を登録する

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

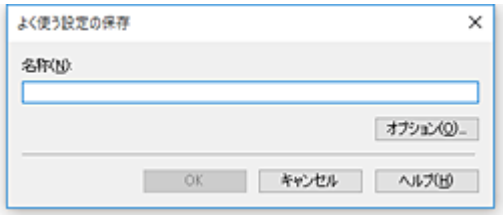
2. 必要な項目を設定

   ［クイック設定］シートの［よく使う設定］で使用する印刷設定を選び、必要に応じて［追加する機能］以降を変更します。
   ［基本設定］シート、［ページ設定］シートの設定も登録できます。

3. ［保存...］をクリック



   ［よく使う設定の保存］ダイアログボックスが表示されます。



4. 設定を保存

   ［名称］を入力します。必要に応じて［オプション...］をクリックし、各項目を設定して、［OK］をクリックしてください。
   ［よく使う設定の保存］ダイアログボックスで［OK］をクリックすると、印刷設定が保存され、［クイ

ック設定］シートに戻ります。
［よく使う設定］に名称とアイコンが表示されます。

重要

- 各シートで設定した用紙サイズ、印刷の向き、部数を保存するには、［オプション...］をクリックして、各項目にチェックマークを付ける必要があります。

参考

- プリンタードライバーの再インストールやバージョンアップを行うと、登録した印刷設定は［よく使う設定］から削除されます。
  また、登録した印刷設定だけを保存することはできません。削除された場合は、印刷設定の登録をやり直してください。

不要になった印刷設定を削除する

1. 削除する印刷設定を選択

   ［クイック設定］シートの［よく使う設定］から、削除したい印刷設定の名前を選びます。

2. 印刷設定を削除

   ［削除］をクリックし、メッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。
   選んだ印刷設定が［よく使う設定］から削除されます。

参考

- 初期設定で登録されている印刷設定は削除できません。

プリンターの電源を操作する

プリンタードライバーから、プリンターの電源を操作します。

電源を操作する手順を説明します。

［電源オフ］

［電源オフ］は、プリンターの電源を切る機能です。プリンタードライバーからプリンターの電源を再度入れることはできません。

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

2. 電源オフを実行

   ［ユーティリティ］シートの［電源オフ］をクリックし、確認のメッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。

   プリンターの電源がオフになり、［ユーティリティ］シートに戻ります。

［自動電源設定］

［自動電源設定］では、［自動電源オン］、［自動電源オフ］の設定を行うことができます。
［自動電源オン］は、データが送られてくると自動的にプリンターの電源が入る機能です。
［自動電源オフ］は、プリンタードライバーやプリンターからの操作が一定時間行われていないときに、自動的にプリンターの電源を切る機能です。

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

2. プリンターの電源が入っていることを確認して、［ユーティリティ］シートの［自動電源設定］をクリック

   ［自動電源設定］ダイアログボックスが表示されます。

   参考

   - プリンターの電源が入っていなかったり、プリンターとパソコンの通信をしない設定にしていたりすると、パソコンはプリンターの情報を取得できず、エラーメッセージが表示されることがあります。
     この場合、［OK］をクリックすると、お使いのパソコンで最後に設定した内容が表示されます。

3. 必要に応じて、以下の項目を設定

   ［自動電源オン］
   一覧から［有効］を指定します。データが送られてくると自動的にプリンターの電源が入るようになります。

   ［自動電源オフ］
   一覧から設定したい時間を指定します。プリンタードライバーやプリンターからの操作が指定した時間内に行われなかったとき、プリンターの電源が自動的に切れるようになります。

4. 設定を適用

［OK］をクリックし、確認のメッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。
［ユーティリティ］シートに戻ります。

これ以降は設定が有効になります。これらの機能が必要なくなった場合は、同様の手順でそれぞれの一覧から［無効］を選んでください。

参考

- ［自動電源オン］の設定によって、プリンターの電源が入っていない場合の Canon IJ ステータスモニタのメッセージが異なります。
  設定が［有効］のときは『プリンターは待機中です』と表示され、［無効］のときは『プリンターはオフラインです』と表示されます。

プリンターの設定を変更する

必要に応じてプリンターの設定を変更します。

［特殊設定］を行う手順を説明します。

［特殊設定］

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

2. プリンターの電源が入っていることを確認して、［ユーティリティ］シートの［特殊設定］をクリック

   ［特殊設定］ダイアログボックスが表示されます。

   参考

   - プリンターの電源が入っていなかったり、プリンターとパソコンの通信をしない設定にしていたりすると、パソコンはプリンターの情報を取得できず、エラーメッセージが表示されることがあります。
     この場合、［OK］をクリックすると、お使いのパソコンで最後に設定した内容が表示されます。

3. 必要に応じて、次の項目を設定

   ［ディスクレーベル印刷時にプリンタブルディスクの有無を判別する］

   ディスクレーベル印刷時にプリンタブルディスクがディスクトレイにセットされているか判別し、セットされていない場合にはメッセージを表示します。
   プリンタブルディスクの有無を判別して印刷を行うときは、チェックマークを付けます。
   プリンタブルディスクの有無を判別しないで印刷を行うときは、チェックマークを外します。

   重要

   - チェックマークを外したままにしておくと、ディスクトレイにプリンタブルディスクがセットされていない状態でディスクトレイに印字してしまうことがあります。そのため、通常はチェックマークを付けた状態で使用してください。
   - すでに印刷されたプリンタブルディスクをディスクトレイにセットすると、プリンタブルディスクがディスクトレイにない状態と判断されることがあります。その場合には、このチェックマークを外してください。

   ［用紙のこすれを改善する］

   高濃度のページを印刷する場合に、プリントヘッドと用紙の間隔を広げて、用紙のこすれを改善することができます。
   用紙のこすれを改善するときはチェックマークを付けます。

   ［手動でヘッド位置を調整する］

   通常、［ユーティリティ］シートの［ヘッド位置調整］の機能は、自動ヘッド位置調整に設定されていますが、手動ヘッド位置調整に変更することができます。
   自動ヘッド位置調整を行っても印刷結果が思わしくない場合は、手動ヘッド位置調整を行ってください。
   手動ヘッド位置調整に変更するときはチェックマークを付け、自動ヘッド位置調整を行うときはチェックマークを外します。

［印刷の向き[横]の回転方向を左 90 度にする］

［ページ設定］シートの［印刷の向き］の［横］に対する回転方向を変更することができます。
左 90 度に回転させて印刷するときはチェックマークを付け、右 90 度に回転させて印刷するときはチェックマークを外します。

重要

- 印刷ジョブが印刷待ち一覧に表示されている間は、設定を変更しないでください。印字が欠けたり、レイアウトが崩れたりする場合があります。

［パソコンからの印刷時に用紙の設定不一致を検知しない］

パソコンからの印刷時に、プリンタードライバーで設定した用紙設定と、プリンター本体で登録する用紙情報が異なっていても、メッセージを表示させずに印刷を続けることができます。
用紙設定の不一致を検知させない場合はチェックマークを付けます。

［インク乾燥待ち時間］

次ページの印刷開始までに、プリンターが休止する時間の長さを設定できます。スライドバーを右にドラッグするほど長く、左にドラッグするほど短くなります。
印刷面が完全に乾かないうちに次ページが排紙されて、用紙が汚れるような場合は、インク乾燥待ち時間を長く設定してください。
短く設定した場合は、印刷時間が速くなります。

4. 設定を適用

［OK］をクリックし、確認のメッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。

これ以降、プリンターは変更した設定で動作するようになります。

本製品の操作パネルで設定を変更する

- 本製品の操作パネルで設定を変更する
- 本製品の操作パネルで設定できる項目
- 印刷設定
- LAN 設定
- 本体の基本設定
- PictBridge 印刷設定
- 言語選択
- ファームウェアのアップデート
- 給紙設定
- 設定リセット
- Web サービス設定
- システム情報
- ECO 設定について
- 夜間利用モードについて

本製品の操作パネルで設定を変更する

ここでは、コピーのフチはみ出し量を設定する操作を例に、本体設定画面の設定変更の手順について説明します。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する

2. ホーム画面で （セットアップ）を選ぶ

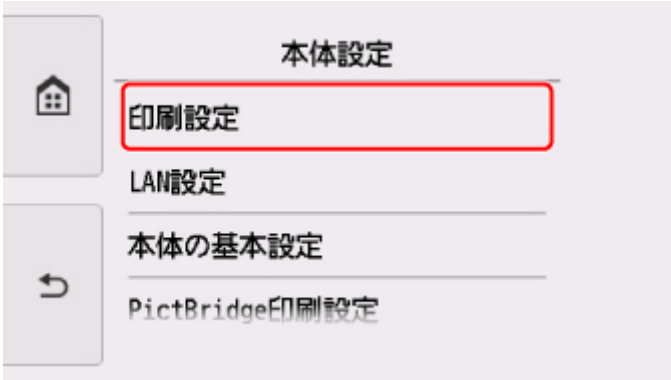
   操作パネルの使いかた

3. ［設定］を選ぶ

4. ［本体設定］を選ぶ

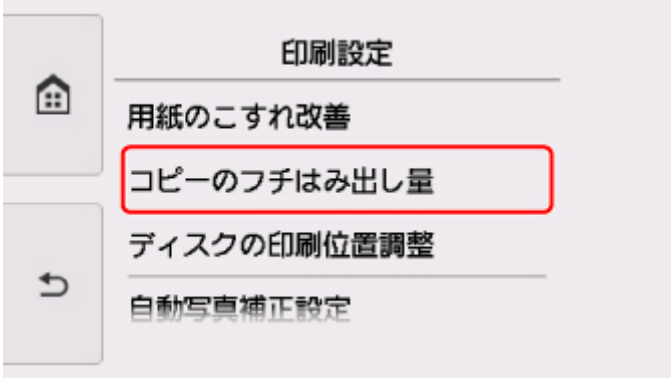
   ［本体設定］画面が表示されます。

5. 設定したい項目を選ぶ

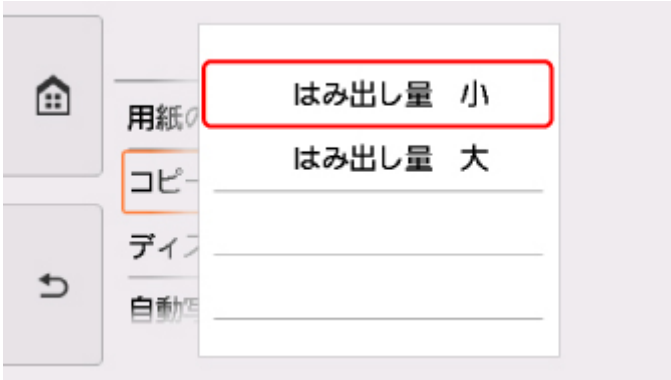


   選んだメニューの設定画面が表示されます。

6. 設定項目を選ぶ



7. 指定したい設定選ぶ



本製品の操作パネルで設定できる項目については、以下を参照してください。

- 本製品の操作パネルで設定できる項目

本製品の操作パネルで設定できる項目

本体に関する項目

- 本体の基本設定
- Web サービス設定
- 言語選択
- ECO 設定について
- 夜間利用モードについて

用紙／印刷に関する項目

- 印刷設定
- 給紙設定
- PictBridge 印刷設定

保守／管理に関する項目

- システム情報
- ファームウェアのアップデート
- LAN 設定
- 設定リセット

印刷設定

- **用紙のこすれ改善**

  印刷面がこすれてしまった場合のみ設定します。

  重要

  - 印刷速度が遅くなったり、画質が低下したりする場合があるので、印刷終了後は［しない］に戻してください。

- **コピーのフチはみ出し量**

  フチなしコピーのときのはみ出し量を設定します。

  フチなしコピーでは画像は用紙全体にコピーされるように少し拡大されるため、画像の周囲がわずかに欠けます。必要に応じてはみ出し量を設定してください。

  重要

  - 以下の場合に設定が有効になります。
    - フチなしコピーをするとき
    - 写真をコピーするときに、印刷設定の［フチ指定］で［フチなし］を選んだとき

  参考

  - フチなし全面印刷をしてもフチありで印刷される場合は、［はみ出し量　大］に設定すると改善される場合があります。

- **ディスクの印刷位置調整**

  プリンタブルディスクに画像がずれて印刷されるときに、印刷位置を調整します。

  印刷位置は、-0.9 mm（0.04 inch）から+0.9 mm（0.04 inch）の間で 0.1 mm（0.01 inch）刻みで調整できます。

- **自動写真補正設定**

  ［する］を選ぶと、以下の場合に写真データに記録されている Exif 情報を優先して印刷できます。

  - メモリーカードから印刷するときに［写真補正］で［自動写真補正］を選んでいる場合
  - 手書きナビシートを使って印刷するときに、手書きナビシートの「自動写真補正をしないで印刷する」にマークを付けていない場合
  - PictBridge（Wireless LAN）対応機器から印刷するときに、PictBridge（Wireless LAN）対応機器側の印刷設定を［標準設定］*、または［入］を選んでいる場合

    * PictBridge（Wireless LAN）対応機器側の印刷設定を［標準設定］にした場合は、本製品の［PictBridge 印刷設定］の［写真補正］で［自動写真補正］を選んでください。

- **左右の印刷位置調整**

  左右の余白が均一でない場合に、印刷位置を調整します。

  用紙の左右中央を中心として、左右プラスマイナス 3 mm（0.12 inch）の範囲で 0.1 mm（0.01 inch）刻みで印刷位置を調整できます。

重要

- レターサイズまたはリーガルサイズの用紙の場合は、1.5 mm（0.06 inch）より大きい設定値を指定した場合でも、印刷位置を調整できる範囲は左右プラスマイナス 1.5 mm（0.06 inch）までになります。

LAN 設定

- 無線 LAN
- 無線ダイレクト
- 共通設定

無線 LAN

- **無線 LAN の有効/無効**

  無線 LAN を有効または無効に設定します。

- **無線 LAN セットアップ**

  無線 LAN 接続の設定方法を選びます。

  - PC/スマホでかんたん接続

    無線 LAN ルーターを操作せず、各種機器機器（スマートフォンなど）から直接プリンターに、 無線 LAN ルーターの情報を設定したい場合に選びます。セットアップの手順などについては各種機器（スマートフォンなど）に表示される案内に従ってください。

  - プリンターで手動設定

    無線 LAN 接続の設定を手動で行うときに選びます。

  - ルーターのボタンで接続

    - AOSS（バッファロー）

      AirStation One-Touch Secure System （AOSS）に対応している無線 LAN ルーターを利用して、無線 LAN 接続の設定をするときに選びます。

    - らくらく無線スタート（NEC）

      らくらく無線スタートに対応している無線 LAN ルーターを利用して、無線 LAN 接続の設定をするときに選びます。

    - WPS（プッシュボタン方式）

      Wi-Fi Protected Setup（WPS）プッシュボタン方式に対応している無線 LAN ルーターを使用して無線 LAN 接続の設定をするときに選びます。表示される案内に従って操作してください。

  - その他の設定

    - 詳細設定

      無線 LAN 接続の設定を手動で行うときに選びます。複数の WEP キーを設定することができます。

    - WPS（PIN コード方式）

      Wi-Fi Protected Setup（WPS）PIN コード方式に対応している無線 LAN ルーターを使用して無線 LAN 接続の設定をするときに選びます。表示される案内に従って操作してください。

- **無線 LAN 設定表示**

  無線 LAN 接続時の本製品のネットワーク設定情報をタッチスクリーンに表示します。

  ［詳細情報印刷］を選んで［はい］を選ぶと、LAN 設定情報の印刷をすることができます。

  - 本製品のネットワーク設定情報を印刷する

重要

- ネットワーク設定情報を印刷した用紙には、ご使用のパソコンに関する重要な情報が記載されております。お取り扱いには、十分ご注意ください。

タッチスクリーンには以下のような設定情報が表示されます。（本製品の設定によっては表示されない項目もあります。）

表示される項目名	設定内容
SSID	XXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXX（32 文字以内）
無線 LAN セキュリティ	無効／WEP(64bit)／WEP(128bit)／WPA-PSK(TKIP)／WPA-PSK(AES)／WPA2-PSK(TKIP)／WPA2-PSK(AES)
電波強度［%］	XXX
IPv4 アドレス	XXX. XXX. XXX. XXX（12 文字）
IPv4 サブネットマスク	XXX. XXX. XXX. XXX（12 文字）
IPv4 デフォルトゲートウェイ	XXX. XXX. XXX. XXX（12 文字）
IPv6 アドレス	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX（32 文字）
無線 LAN の MAC アドレス	XX:XX:XX:XX:XX:XX（12 文字）
プリンター名	XXXXXXXXXXXXXXX（15 文字以内）
Bonjour サービス名	XXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXX（52 文字以内）
ルート証明書の拇印（SHA-1）	XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX
ルート証明書の拇印（SHA-256）	XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX

（XX は半角英数字を示す）

無線ダイレクト

- **無線ダイレクトの有効/無効**

  無線ダイレクトを有効または無効に設定します。

- **SSID/パスワードの更新**

  無線ダイレクト時の識別名（SSID）とパスワードを更新します。

- **デバイス名の変更**

  Wi-Fi Direct 対応の各種機器に表示される本製品の名称を変更します。

- **接続要求の確認設定**

  Wi-Fi Direct 対応機器が本製品に接続したときに本製品のタッチスクリーンに確認画面を表示するかを設定します。

- **無線ダイレクトの設定表示**

  無線ダイレクト時の本製品のネットワーク設定情報をタッチスクリーンに表示します。

  ［詳細情報印刷］を選んで［はい］を選ぶと、LAN 設定情報の印刷をすることができます。

  本製品のネットワーク設定情報を印刷する

重要

- ネットワーク設定情報を印刷した用紙には、ご使用のパソコンに関する重要な情報が記載されております。お取り扱いには、十分ご注意ください。

タッチスクリーンには以下のような設定情報が表示されます。（本製品の設定によっては表示されない項目もあります。）

表示される項目名	設定内容
SSID	DIRECT-XXXX-TS8000series
パスワード	XXXXXXXXXX（10 文字）
無線 LAN セキュリティ	WPA2-PSK(AES)
IPv4 アドレス	XXX. XXX. XXX. XXX（12 文字）
IPv4 サブネットマスク	XXX. XXX. XXX. XXX（12 文字）
IPv4 デフォルトゲートウェイ	XXX. XXX. XXX. XXX（12 文字）
IPv6 アドレス	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX（32 文字）
無線 LAN の MAC アドレス	XX:XX:XX:XX:XX:XX（12 文字）
プリンター名	XXXXXXXXXXXXXXX（15 文字以内）
Bonjour サービス名	XXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXX（52 文字以内）
無線ダイレクトのデバイス名	XXXXXX-XXXXXXseries
現在の接続台数	XX/XX
ルート証明書の拇印（SHA-1）	XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX
ルート証明書の拇印（SHA-256）	XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX

（XX は半角英数字を示す）

共通設定

- **プリンター名設定**

  プリンター名を設定します。最大 15 文字まで入力できます。

  参考

  - すでに LAN 接続されている機器と同じプリンター名は使用できません。
  - プリンター名の最初と最後の文字に、-（ハイフン）は使用できません。

- **TCP/IP 設定**

  IPv4 または IPv6 の設定を行います。

- **WSD 設定**

  WSD（Windows がサポートするネットワークプロトコルの一つ）を利用するときの設定項目です。

  - WSD の有効/無効

    WSD の有効／無効を選びます。

    参考

    - 本設定を有効にした場合、Windows のネットワークエクスプローラーにプリンターアイコンが表示されます。

  - WSD 受信の最適化

    ［有効］に設定すると、WSD 印刷のデータ受信を高速で行います。

  - 本機からの WSD スキャン

    ［有効］に設定すると、WSD を利用して、スキャンしたデータをパソコンに転送します。

  - タイムアウト設定

    タイムアウトの時間を設定します。

- **Bonjour 設定**

  Mac OS から Bonjour を使用してネットワークの設定を行うときの設定項目です。

  - Bonjour の有効/無効

    ［有効］に設定すると、Bonjour を使用してネットワークの設定ができるようになります。

  - サービス名

    Bonjour のサービス名を設定します。最大 48 文字まで入力できます。

    参考

    - すでに LAN 接続されている機器と同じサービス名は使用できません。

- **LPR プロトコル設定**

  LPR の設定（有効／無効）を切り替えます。

- **RAW プロトコル**

  RAW 印刷をする／しないを切り替えます。

- **LLMNR**

  LLMNR（Link-Local Multicast Name Resolution）の有効／無効を切り替えます。［有効］を選ぶと、DNS サーバーがない環境でも、プリンター名からプリンターの IP アドレスを割り出すことができます。

- **PictBridge 通信設定**

  PictBridge（Wireless LAN）対応機器から写真を印刷するときの設定項目です。

  - 通信の有効/無効

    ［有効］に設定すると、PictBridge（Wireless LAN）対応機器から印刷することができます。

  - タイムアウト設定

    タイムアウトの時間を設定します。

- **IPsec 設定**

  ［有効］に設定すると、IPsec のセキュリティを設定できます。

本体の基本設定

- **日付表示形式**

  印刷する日付の並び順を変更します。

  参考

  - メモリーカードから印刷するときの印刷設定画面で［日付印刷］を［ON］に設定しているときは、選んだ日付の並び順で日付が印字されます。

    本製品の操作パネルを使って写真印刷するときの設定項目

- **カード書き込み状態**

  パソコンからメモリーカードに書き込みできるようにするか選びます。

  重要

  - この設定は、メモリーカードを抜いてから行ってください。

    カードスロットをパソコンのドライブに設定する

  - ［USB 接続 PC から可能］に設定した場合は、本製品の操作パネルからはメモリーカードの写真を印刷することはできません。メモリーカード専用ドライブの操作を終了後、かならず同様の操作で［PC から書き込み禁止］に戻してください。また、本製品の電源を切った場合は［USB 接続 PC から可能］は解除され、次に電源を入れたときには［PC から書き込み禁止］に設定が戻ります。
  - ［USB 接続 PC から可能］を選んでいる場合は、自動電源オフの設定は無効になります。

    自動電源オフの設定については、以下を参照してください。

    ECO 設定について

- **音の調整**

  音量を調節します。

  - キータッチ音量設定

    タッチスクリーンをタップしたときに出る音の音量を選びます。

  - アラーム音量設定

    アラーム音の音量を選びます。

- **本体情報の送信設定**

  本製品の使用状況をキヤノンのサーバーに送信するかを選びます。送信された使用状況に関する情報は、よりよい製品の企画、開発のために活用されます。送信をするかどうかを選ぶ前に、『安全・重要事項ガイド』の記載内容を確認してください。［同意する］を選ぶと、本製品の使用状況がキヤノンのサーバーに送信されます。

- **NFC 設定**

  ［有効］を選ぶと、NFC（Near Field Communication：近距離無線通信）を利用して印刷、スキャンを行うことができます。

- **省電力設定**

  節電のために本製品の電源を自動的にオン／オフしたりするようにできます。

  - 自動電源オフ

操作がされなかった場合やパソコンから印刷データが送られなかった場合に、自動的に本製品の電源を切るまでの時間を設定することができます。

- 自動電源オン

  ［する］を選ぶと、印刷データが送られたり、パソコンからスキャンの動作がされたりしたときに、自動的に本製品の電源が入るように設定することができます。

参考

- ホーム画面から［ECO］を選び、［省電力設定］を選んでも本設定を選ぶことができます。

  ECO 設定について

- **原稿取り忘れ通知設定**

  スキャンした後読み取った原稿を原稿台ガラスから取り忘れたときに、通知画面を表示するように設定できます。

重要

- 原稿の種類や原稿台カバーの状態によっては、原稿の取り忘れを検知できない場合があります。

- **排紙トレイを自動収納**

  ［する］を選ぶと、本製品の電源ボタンを押して電源を切ったときに自動で排紙トレイを収納するか確認画面が表示されます。

言語選択

タッチスクリーンに表示する言語を変更します。

ファームウェアのアップデート

本製品のファームウェアのアップデート、ファームウェアのバージョンの確認、アップデートの通知、DNS サーバーおよびプロキシサーバーの設定を行います。

参考

- ［LAN 設定］の［無線 LAN］の［無線 LAN の有効/無効］で［無効］を選んでいる場合は、［現在のバージョンを確認］のみ使用できます。

- **アップデートの実行**

  本製品のファームウェアのアップデートを行います。［はい］を選ぶとアップデートを開始します。表示される案内に従ってアップデートを行ってください。

  重要

  - この機能を使用する場合は、本製品がインターネットに接続されていることを確認してください。

  参考

  - アップデートに失敗したときは以下を確認し、対処してください。
    - 無線 LAN ルーターなど、ネットワークの設定を確認してください。
    - タッチスクリーンに［サーバーに接続できません］と表示された場合は、［OK］を選んで、しばらく待ってから操作をやり直してください。

- **現在のバージョンを確認**

  現在のファームウェアのバージョンを確認できます。

- **アップデートの通知設定**

  ［はい］を選ぶと、ファームウェアのアップデートが可能なときに、タッチスクリーンにアップデートの通知画面が表示されます。

- **DNS サーバー設定**

  DNS サーバーの設定を行います。［自動設定］または［手動設定］を選んでください。［手動設定］を選んだ場合は、表示に従って設定を行ってください。

- **プロキシサーバー設定**

  プロキシサーバーの設定を行います。表示に従って設定を行ってください。

給紙設定

本製品では、後トレイやカセットにセットした用紙のサイズや種類をあらかじめ本製品に登録することで、セットした用紙と印刷時の用紙設定が合っていない場合に、印刷前にメッセージを表示して印刷ミスを防止することができます。

詳しくは以下を参照してください。

■ 印刷時の用紙設定

- **用紙情報の登録**

  後トレイとカセットそれぞれでセットする用紙のサイズ、種類を登録します。

  参考

  - カセットには普通紙のみセットできます。
  - カセットにセットした用紙のサイズと種類を登録すると、コピーの印刷設定を、登録した用紙の設定と同じにするかを選ぶ画面が表示されます。同じ設定にする場合は、［はい］を選んでください。
  - プリンタードライバーで指定できる用紙の設定と、本製品のタッチスクリーンで指定できる用紙の設定の適切な組み合わせについては、以下を参照してください。
    - Windows をご使用の場合：

      ■ プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙の種類）
      ■ プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙のサイズ）

    - Mac OS をご使用の場合：

      ■ プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙の種類）
      ■ プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙のサイズ）

- **用紙の設定不一致を検知**

  ［はい］を選ぶと、［用紙情報の登録］で登録した用紙のサイズ、種類と印刷設定が一致しているかを検知します。一致しない状態で印刷を開始した場合は、エラーメッセージが表示されます。

  参考

  - ［いいえ］を選んだ場合は、［用紙情報の登録］が無効になります。

設定リセット

本製品の設定をご購入時の設定に戻すことができます。

- **Web サービス設定のみ**

  Web サービスの設定のみをご購入時の設定に戻します。

- **LAN 設定のみ**

  LAN の設定をご購入時の設定に戻します。

- **設定値のみ**

  用紙サイズや用紙の種類、各設定の項目などをご購入時の設定に戻します。

- **本体情報の送信設定のみ**

  本体情報の送信設定のみをリセットします。

- **すべてリセット**

  上記の設定のすべてをご購入時の設定に戻します。リモート UI や IJ Network Device Setup Utility（アイジェイ・ネットワーク・デバイス・セットアップ・ユーティリティ）で設定した管理者パスワードも、初期設定に戻ります。

参考

- 次の設定項目は、ご購入時の設定には戻りません。
  - 表示する言語
  - プリントヘッド位置調整結果
  - SSL/TLS（暗号通信）設定の CSR（証明書署名要求）の生成状態

システム情報

このメニューを表示するには、 ［セットアップ］の中の ［システム情報］を選んでください。

- **現在のバージョン**

  現在のファームウェアのバージョンを表示します。

- **プリンター名**

  現在設定されているプリンター名を表示します。

- **シリアル番号**

  本製品のシリアルナンバーを表示します。

- **無線 LAN の MAC アドレス**

  本製品を無線 LAN で使用するときの MAC アドレスを表示します。

ECO 設定について

ECO 設定を使うと、用紙の節約のためにあらかじめ自動両面印刷するように設定したり、節電のために本製品の電源を自動的にオン／オフしたりするようにできます。

- 両面印刷を設定する
- 省電力に設定する

両面印刷を設定する

以下の手順であらかじめ両面印刷を行う機能を設定します。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する

2. ホーム画面で （セットアップ）を選ぶ

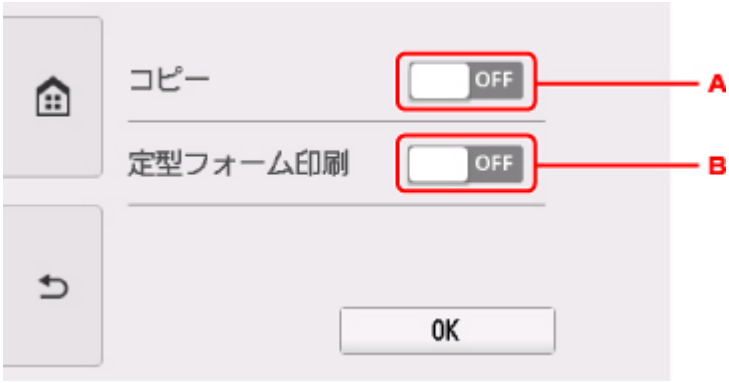
   - 操作パネルの使いかた

3. ［設定］を選ぶ

4. ［ECO］を選ぶ

5. ［両面印刷設定］を選ぶ

6. 必要に応じて設定する



A. コピーするときの両面印刷を設定します。

B. 本製品に内蔵されている定型フォームを印刷をするときの両面印刷を設定します。

参考

- 両面印刷を設定すると、各機能の印刷設定画面の両面設定の項目に が表示されます。

省電力に設定する

以下の手順で省電力機能を設定します。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する

2. ホーム画面で （セットアップ）を選ぶ

   操作パネルの使いかた

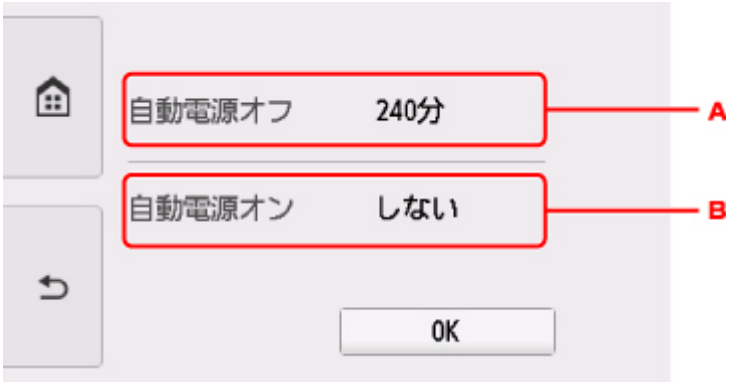
3. ［設定］を選ぶ

4. ［ECO］を選ぶ

5. ［省電力設定］を選ぶ

6. 表示されるメッセージを確認して、［次へ］を選ぶ

7. 必要に応じて設定する



A. 操作がされなかった場合やパソコンから印刷データが送られなかった場合に、自動的に本製品の電源を切るまでの時間を設定します。

B. ［する］を選ぶと、印刷データが送られたり、パソコンからスキャンの動作がされたりしたときに、自動的に本製品の電源が入るように設定することができます。

ネットワーク接続に関する情報

- ネットワーク接続で役立つ情報

ネットワーク接続で役立つ情報

- 工場出荷時初期値（ネットワーク）
- 同じ名前のプリンターを検出したときは
- 他のパソコンに LAN 接続する／USB 接続を LAN 接続に切り替える
- 本製品のネットワーク設定情報を印刷する
- 無線 LAN の接続方法を切り替える

工場出荷時初期値（ネットワーク）

LAN 接続の初期値

項目名	初期値
LAN の有効／無効	LAN 無効
［SSID］	BJNPSETUP
［無線 LAN セキュリティ］	［無効］
［IP アドレス］（［IPv4］）	［自動設定］
［IP アドレス］（［IPv6］）	［自動設定］
［プリンター名設定］＊	XXXXXXXXXXXX
［IPv6 の有効/無効］	［有効］
［WSD の有効/無効］	［有効］
［タイムアウト設定］	［15 分］
［Bonjour の有効/無効］	［有効］
［サービス名］	Canon TS8000 series
［LPR プロトコル設定］	［有効］
［RAW プロトコル］	［有効］
［LLMNR］	［有効］
［PictBridge 通信設定］	［有効］

（XX は英数字を示す）

＊ ご使用のプリンターにより異なります。本製品の操作パネルから設定を確認することができます。

LAN 設定

無線ダイレクトの初期値

項目名	初期値
［SSID］　（無線ダイレクト時の識別名）	DIRECT-abXX-TS8000series *1
［パスワード］	YYYYYYYYYY *2
［無線 LAN セキュリティ］	［WPA2-PSK (AES)］
［無線ダイレクトのデバイス名］	ZZZZZZ-TS8000series *3
［接続要求の確認設定］	表示する

*1 "ab"はランダムに生成、"XX"は本製品の MAC アドレスの下 2 桁。（本製品の電源を初めて入れたときに設定されます。）

*2 本製品の電源を初めて入れたときに、自動的に設定されます。

*3 "ZZZZZZ"は本製品の MAC アドレスの下 6 桁

同じ名前のプリンターを検出したときは

本製品を検出したときに、検出結果で同じ名前のプリンターが複数表示される場合があります。

本製品の設定と検出結果を照合して、使用するプリンターを選んでください。

- Windows をご使用の場合：

  本製品に設定されている MAC アドレスや本製品のシリアルナンバーと、検出結果の画面に表示されている MAC アドレスやシリアルナンバーを照合して、使用するプリンターを選んでください。

- Mac OS をご使用の場合：

  検出結果の画面のプリンター名は、プリンター名の末尾に MAC アドレスが付加されて表示される、または Bonjour を使用して設定したプリンター名で表示されます。

  本製品に設定されている MAC アドレス、Bonjour を使用して設定したプリンター名や本製品のシリアルナンバーと、検出結果の画面に表示されている MAC アドレス、Bonjour を使用して設定したプリンター名やシリアルナンバーを照合して、使用するプリンターを選んでください。

参考

- 検出結果の画面にシリアルナンバーが表示されない場合があります。

本製品の MAC アドレスやシリアルナンバーは、以下の方法で確認することができます。

- 本製品のタッチスクリーンに表示する。

  MAC アドレス

  LAN 設定

  シリアルナンバー

  システム情報

- ネットワーク設定情報を印刷する。

  本製品のネットワーク設定情報を印刷する

他のパソコンに LAN 接続する／USB 接続を LAN 接続に切り替える

- Windows をご使用の場合：
- Mac OS をご使用の場合：

Windows をご使用の場合：

本製品と LAN 接続するパソコンを追加したい場合や、本製品を USB 接続で使用しているときに LAN 接続に切り替える場合は、セットアップ CD-ROM から、またはウェブページの指示に従ってセットアップを行います。

Mac OS をご使用の場合：

本製品と LAN 接続するパソコンを追加したい場合や、本製品を USB 接続で使用しているときに LAN 接続に切り替える場合は、ウェブページの指示に従ってセットアップを行います。

本製品のネットワーク設定情報を印刷する

本製品の操作パネルから、現在の LAN 設定を印刷して確認することができます。

重要

- ネットワーク設定情報を印刷した用紙には、お使いのネットワークに関する重要な情報が記載されております。お取り扱いには、十分ご注意ください。

1. 電源が入っていることを確認し、ホーム画面を表示する

   ホーム画面が表示されていない場合は、ホームボタンを押して表示させてください。

2. A4 サイズの普通紙を 2 枚セットする

3. （ネットワーク状況）アイコンをタップする

   操作パネルの使いかた

4. 表示されたメッセージを確認して、［はい］をタップする

5. ［詳細情報印刷］をタップする

6. ［はい］をタップする

   ネットワーク設定情報の印刷が開始されます。

   確認できる項目は以下のとおりです。（本製品の設定によっては設定値が表示されない項目もあります。）

項目	項目の内容	現在の状態
Product Information	製品情報	—
Product Name	製品名	XXXXXXXX
ROM Version	ROM バージョン	XXXXXXXX
Serial Number	シリアルナンバー	XXXXXXXX
Wireless LAN	無線 LAN の動作モード	Enable（有効）／Disable（無効）
Infrastructure	インフラストラクチャー	Enable（有効）／Disable（無効）
MAC Address	MAC アドレス	XX:XX:XX:XX:XX:XX
Connection	接続状態	Active（有効）／Inactive（無効）
SSID	SSID	無線 LAN の SSID
Channel	無線チャンネル	XX（1～13）
Encryption	暗号方式の種類	none／WEP／TKIP／AES
WEP Key Length	WEP の bit 数	Inactive／128／64

Authentication	認証方式の種類	none（なし）／auto（自動）／open（オープン）／shared／WPA-PSK／WPA2-PSK
Signal Strength	電波強度	0～100（%）
TCP/IPv4	TCP/IPv4 の動作モード	Enable（有効）
IP Address	IP アドレス	XXX.XXX.XXX.XXX
Subnet Mask	サブネットマスク	XXX.XXX.XXX.XXX
Default Gateway	デフォルトゲートウェイ	XXX.XXX.XXX.XXX
TCP/IPv6	TCP/IPv6 の動作モード	Enable（有効）／Disable（無効）
Link Local Address	リンクローカルアドレス	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
Link Local Prefix Length	リンクローカルプレフィックス長	XXX
Stateless Address1	ステートレスアドレス 1	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
Stateless Prefix Length1	ステートレスプレフィックス長 1	XXX
Stateless Address2	ステートレスアドレス 2	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
Stateless Prefix Length2	ステートレスプレフィックス長 2	XXX
Stateless Address3	ステートレスアドレス 3	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
Stateless Prefix Length3	ステートレスプレフィックス長 3	XXX
Stateless Address4	ステートレスアドレス 4	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
Stateless Prefix Length4	ステートレスプレフィックス長 4	XXX
Default Gateway1	デフォルトゲートウェイ 1	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
Default Gateway2	デフォルトゲートウェイ 2	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
Default Gateway3	デフォルトゲートウェイ 3	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
Default Gateway4	デフォルトゲートウェイ 4	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
IPsec	IPsec 設定	Active
Security Protocol	セキュリティ方法	ESP／ESP & AH／AH
Wireless Direct	無線ダイレクトの動作モード	Enable（有効）／Disable（無効）
MAC Address	MAC アドレス	XX:XX:XX:XX:XX:XX

Connection	接続状態	Active（有効）／Inactive（無効）
SSID	SSID	無線ダイレクトの SSID
Password	パスワード	無線ダイレクトのパスワード（半角英数字で 10 文字）
Channel	無線チャンネル	3
Encryption	暗号方式の種類	AES
Authentication	認証方式の種類	WPA2-PSK
TCP/IPv4	TCP/IPv4 の動作モード	Enable（有効）
IP Address	IP アドレス	XXX.XXX.XXX.XXX
Subnet Mask	サブネットマスク	XXX.XXX.XXX.XXX
Default Gateway	デフォルトゲートウェイ	XXX.XXX.XXX.XXX
TCP/IPv6	TCP/IPv6 の動作モード	Enable（有効）／Disable（無効）
Link Local Address	リンクローカルアドレス	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
Link Local Prefix Length	リンクローカルプレフィックス長	XXX
IPsec	IPsec 設定	Active
Security Protocol	セキュリティ方法	—
Other Settings	その他の設定	—
Printer Name	プリンター名	プリンター名（半角英数字で最大 15 文字）
Wireless Direct DevName	無線ダイレクトのデバイス名	無線ダイレクトのデバイス名（半角英数字で最大 32 文字）
WSD Printing	WSD 印刷設定	Enable（有効）／Disable（無効）
WSD Timeout	タイムアウト時間	1／5／10／15／20 （分）
LPD Printing	LPD 印刷設定	Enable（有効）／Disable（無効）
RAW Printing	RAW 印刷設定	Enable（有効）／Disable（無効）
Bonjour	Bonjour 設定	Enable（有効）／Disable（無効）
Bonjour Service Name	Bonjour のサービス名	Bonjour のサービス名（半角英数字で最大 52 文字）
LLMNR	LLMNR 設定	Enable（有効）／Disable（無効）
SNMP	SNMP 設定	Enable（有効）／Disable（無効）
PictBridge Commun.	PictBridge 通信設定	Enable（有効）／Disable（無効）
DNS Server	DNS サーバーの自動取得	Auto／Manual

Primary Server	プライマリサーバーアドレス	XXX.XXX.XXX.XXX
Secondary Server	セカンダリサーバーアドレス	XXX.XXX.XXX.XXX
Proxy Server	プロキシサーバー	Enable（使用する）／Disable（使用しない）
Proxy Address	プロキシアドレス	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
Proxy Port	ポート指定	1～65535
Cert. Fingerprt(SHA-1)	証明書の拇印（SHA-1）	xxxxxxxx xxxxxxxx xxxxxxxx xxxxxxxx xxxxxxxx
Cert. Fingerprt(SHA-256)	証明書の拇印（SHA-256）	xxxxxxxx xxxxxxxx xxxxxxxx xxxxxxxx xxxxxxxx xxxxxxxx xxxxxxxx xxxxxxxx

（XX は英数字を示す）

無線 LAN の接続方法を切り替える

本製品を無線 LAN 接続で使用しているときに接続方法（インフラストラクチャー接続または無線ダイレクト）を切り替えたい場合は、以下のいずれかの方法で行ってください。

- **Windows をご使用の場合：**
  - セットアップ CD-ROM から、またはウェブページの指示に従って再度セットアップを行う。
  - IJ Network Device Setup Utility の［ネットワーク設定］画面で設定を行う。

重要

- IJ Network Device Setup Utility で設定を行う場合は、あらかじめプリンターの［PC/スマホでかんたん接続］を有効にする必要があります。以下の手順で行います。
  1. 電源が入っていることを確認し、ホーム画面を表示する

     ホーム画面が表示されていない場合は、ホームボタンを押して表示させてください。
  2. （ネットワーク状況）アイコンをタップする

     操作パネルの使いかた
  3. 表示されたメッセージを確認して、［はい］をタップする
  4. ［LAN 設定］をタップする
  5. ［無線 LAN］をタップする
  6. ［無線 LAN セットアップ］をタップする
  7. ［PC/スマホでかんたん接続］をタップする
  8. 表示されたメッセージを確認して、［OK］をタップする

     スマートフォンやタブレットの案内に従って操作してください。
  9. 設定完了のメッセージが表示されたら、［OK］をタップする

- **Mac OS をご使用の場合：**

  ウェブページの指示に従って再度セットアップを行ってください。

きれいに印刷するためのヒント集

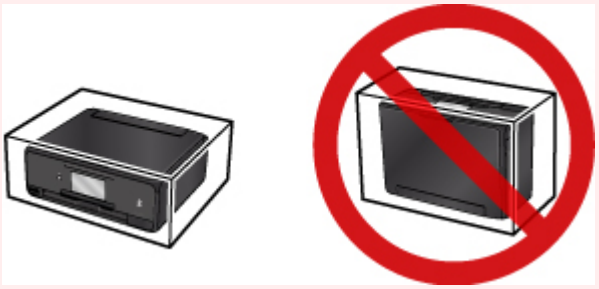
- インクについて知っておきたいこと
- 印刷を失敗しないためのポイント
- 印刷するときには用紙設定の確認を忘れずに
- 用紙をセットしたあとは、後トレイ／カセットの用紙情報の登録を忘れずに
- 印刷を中止するときは
- 使用時の注意
- いつもきれいな印刷を楽しむためのポイント
- 本製品を移送するときの注意

本製品を移送するときの注意

引越しや修理などで本製品を別の場所に移送するときは、次のことに注意してください。

重要

- 丈夫な箱に本製品の底面が下になるように入れ、保護材を十分につめて梱包し、本製品が安全に移送されるようにしてください。
- プリントヘッド、インクタンクは取り付けた状態で、本製品の電源ボタンを押して電源をお切りください。プリントヘッドの乾燥を防ぐため自動的にキャップをして保護します。
- 梱包後は、箱を傾けたり、立てたり、逆さにしたりしないでください。輸送中にインクが漏れるおそれがあります。
- 運送業者に輸送を依頼するときは、本製品の底面を下にした状態で、「精密機器」および「天地無用」を指定してください。



1. 本製品の電源を切る

2. 電源ランプが消えていることを確認して、電源プラグをコンセントから抜く

   重要

   - 電源ランプが点灯／点滅しているときは、電源プラグをコンセントから抜かないでください。本製品の不良や故障の原因になり、印刷できなくなることがあります。

3. 排紙トレイを収納する

4. 操作パネルと後トレイを閉じる

5. カセットを伸ばしていた場合は、短くする

6. 接続ケーブルと電源コードを取り外す

7. 各カバー類が開かないようにテープを貼って固定し、袋に入れる

8. 本製品の周囲を保護材ではさんで箱に入れる

原稿をスキャンするときの注意事項

以下を原稿としてスキャンするか、あるいは複製し加工すると、法律により罰せられる場合がありますのでご注意ください。

著作物など

他人の著作物を権利者に無断で複製などすることは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合をのぞき違法となります。また、人物の写真などを複製などする場合には肖像権が問題になることがあります。

通貨、有価証券など

以下のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしい物を作成することは法律により罰せられます。

- 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
- 郵便為替証書
- 株券、社債券
- 定期券、回数券、乗車券
- 国債証券、地方債証券
- 郵便切手、印紙
- 手形、小切手
- その他の有価証券

公文書など

以下のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

- 公務員または役所が作成した免許書、登記簿謄本その他の証明書や文書
- 私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
- 役所または公務員の印影、署名または記号
- 私人の印影または署名

[関係法律]

- 刑法
- 著作権法
- 通貨及証券模造取締法
- 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律
- 郵便法
- 郵便切手類模造等取締法
- 印紙犯罪処罰法
- 印紙等模造取締法

仕様

装置の概要

印刷解像度（dpi）	9600*（横） x 2400（縦） * 最小 1/9600 インチのドット（インク滴）間隔で印刷します。
インターフェース	**プリンター接続部：** Hi-Speed USB *1 **LAN 接続部：** 無線 LAN　IEEE802.11n / IEEE802.11g / IEEE802.11b *2 *1 Hi-Speed USB でのご使用は、パソコン側が Hi-Speed USB に対応している必要があります。 また、Hi-Speed USB インターフェースは USB 1.1 の完全上位互換ですので、パソコン側のインターフェースが USB 1.1 でも接続してご使用いただけます。 *2 AOSS、らくらく無線スタート、WPS（Wi-Fi Protected Setup）、WCN（Windows Connect Now）、PC/スマホでかんたん接続、手動による設定で接続が可能です。 USB と LAN は同時に使用することができます。
印字幅	最長 203.2 mm（フチなし時：最長 216 mm）
印刷可能領域	**フチなし全面印刷時：**上下左右マージン：0.0 mm **通常印刷時：** -上マージン：3.0 mm * アート紙印刷の場合：35.0 mm -下マージン：5.0 mm * アート紙印刷の場合：35.0 mm -左マージン： • レター／リーガル：6.4 mm • 上記以外：3.4 mm -右マージン： • レター／リーガル：6.3 mm • 上記以外：3.4 mm **自動両面印刷時：** -上マージン：5.0 mm -下マージン：5.0 mm -左マージン： • レター／リーガル：6.4 mm • 上記以外：3.4 mm -右マージン： • レター／リーガル：6.3 mm • 上記以外：3.4 mm
動作環境	**温度：**5 ～ 35 ℃ **湿度：**10 ～ 90 % RH（結露しないこと） * 温度・湿度条件によっては、プリンターの性能を発揮できず、印刷品質の低下が起きる場合があります。 推奨環境は、以下のとおりです。

	温度：15 ～ 30 ℃ **湿度：**10 ～ 80 % RH（結露しないこと） * 写真印刷用紙などの温度・湿度条件については、用紙のパッケージまたは用紙に付属の取扱説明書を参照してください。
保存環境	**温度：**0 ～ 40 ℃ **湿度：**5 ～ 95 % RH（結露しないこと）
電源	AC 100 V 50/60 Hz （付属の電源コードは AC 100 V 用です）
消費電力	**印刷時（コピー時）：**約 16 W **待機時（スリープ時）：**約 1.0 W *1*2 **電源 OFF 時：**約 0.3 W *1*3 *1 USB 接続時 *2 スリープへの移行時間は変更できません。 *3 電源を切った状態でも若干の電力が消費されています。電力消費をなくすためには、電源プラグをコンセントから抜いてください。
外形寸法	約 372 mm（横） x 324 mm（奥行き） x 139 mm（高さ） * 用紙サポートと排紙トレイを格納した状態
質量	本体 約 6.5 kg * プリントヘッド/インクタンクを取り付けた状態
プリントヘッド/インク	6656 ノズル （顔料 BK 1024 ノズル、GY / 染料 BK 各 1024 ノズル、Y 512 ノズル、C / M 各 1536 ノズル）

コピー仕様

連続コピー枚数	最大 99 枚
濃度調整	9 段階、自動濃度調整あり（AE コピー）
拡大/縮小	25 % ～ 400 %（1 %刻み）

スキャナー仕様

スキャナードライバー	**Windows：**TWAIN 1.9 Specification に準拠、WIA **Mac OS：**ICA
最大原稿サイズ	A4/レター、216 x 297 mm
読み取り解像度	**光学（主走査、副走査）最大：**2400 x 4800 dpi *1 **ソフトウェア補間（主走査、副走査）最大：**19200 x 19200 dpi *2 *1 光学解像度は、ISO 14473 規格をもとに、原稿を読み取る際の最大のサンプリングレートを表しています。 *2 読み取り解像度が高解像度になると読み取り範囲は制限されます。
読み取り階調（入力/出力）	**グレースケール：**16 bit/8 bit

	カラー：48 bit/24 bit（RGB 各色 16 bit/8 bit）

ネットワーク仕様

通信プロトコル	TCP/IP
無線 LAN 部	**準拠規格：**IEEE802.11n / IEEE802.11g / IEEE802.11b **周波数帯域：**2.4 GHz 帯 **チャンネル：**1-13 **有効範囲：**屋内 50 m（164 フィート） * 環境条件により異なります。 **セキュリティ：** WEP（64/128 bit） WPA-PSK（TKIP/AES） WPA2-PSK（TKIP/AES） **セットアップ：** AOSS らくらく無線スタート WPS（プッシュボタン方式/PIN コード方式） WCN（WCN-NET） PC/スマホでかんたん接続 **その他：**管理パスワード

動作条件

OS の動作条件が高い場合はそれに準じます。

Windows

対応 OS	Windows 10、Windows 8.1*、Windows 8 Windows 7 SP1 Windows Vista SP2 * Windows 8.1 は Windows 8.1 Update を含みます。
ハードディスク空き容量	3.1 GB 以上 注） 付属のソフトウェアのインストールに必要な容量。 容量は予告なく変更となる場合があります。
表示環境	XGA 1024 x 768 以上

Mac OS

対応 OS	OS X v10.8.5 - OS X v10.11
ハードディスク空き容量	1.5 GB 以上 注） 付属のソフトウェアのインストールに必要な容量。 容量は予告なく変更となる場合があります。

表示環境	XGA 1024 x 768 以上

その他

iOS、Android、Windows RT、Windows 10 Mobile で使用できる機能に制限があります。 詳細は、キヤノンのホームページでご確認ください。

モバイル印刷機能

Apple AirPrint
Google Cloud Print
PIXUS クラウドリンク

- オンラインマニュアルの使用および読取革命 Lite、お知らせメッセンジャー、Easy-WebPrint EX のインストールには、インターネット接続が必要です。
- Windows Vista 以降がプレインストールされているコンピューターが必要です。
- Windows OS でご使用になる場合、ソフトウェアのインストールには、CD-ROM ドライブまたはネットワーク接続が必要になります。
- Easy-WebPrint EX をご使用になる場合は、Internet Explorer 8/9/10/11（Windows）が必要です。
- Windows Media Center では、一部の制限があります。
- Windows OS でご使用になる場合、.NET Framework 4.5.2 または 4.6 のインストールが必要です。
- TWAIN ドライバー（ScanGear）は TWAIN 規格 V1.9 に準拠しています。

  TWAIN ドライバー（ScanGear）を使用する場合は OS 提供の Data Source Manager が必要です。

- Mac OS でご使用になる場合、ソフトウエアのインストールには、ネットワーク接続が必要になります。
- 企業内ネットワーク環境でご使用になる場合、5222 ポートが解放されている必要があります。確認方法については、ネットワークの管理者にお問い合わせください。

このマニュアルの内容は、予告なく変更することがあります。

用紙に関する情報

- **使用できる用紙について**
  - 用紙の最大積載枚数
- **使用できない用紙について**
- **用紙の取り扱いについて**
- **アート紙に印刷する前に**
- **印刷できる範囲**

使用できる用紙について

最適な印刷結果を得るために、印刷に適した用紙をお選びください。キヤノンでは、文書のための用紙はもちろん、写真やイラストなどの印刷に適したさまざまな種類の用紙をご用意しています。大切な写真の印刷には、キヤノン純正紙のご使用をお勧めします。

用紙の種類

キヤノン純正紙

参考

- 用紙の裏表や使用上の注意については、各用紙の取扱説明書を参照してください。
- 用紙の種類やサイズについて詳しくは、キヤノンのウェブサイトを参照してください。

文書やレポートの印刷に適する用紙：

- キヤノン普通紙・ホワイト <SW-101>
- キヤノン普通紙・ホワイト 両面厚口 <SW-201>
- キヤノン普通紙・ビジネス <FB-101>
- 高品位専用紙 <HR-101S>*1

写真の印刷に適する用紙：

- キヤノン写真用紙・光沢 プロ ［プラチナグレード］ <PT-201>
- キヤノン写真用紙・光沢 スタンダード <SD-201>
- キヤノン写真用紙・光沢 ゴールド <GL-101>
- キヤノン写真用紙・微粒面光沢 ラスター <LU-101>
- キヤノン写真用紙・絹目調 <SG-201>
- マットフォトペーパー <MP-101>

年賀状や挨拶状の印刷に適する用紙：

- キヤノン写真はがき・マット <MH-101>*2 *3
- キヤノン写真はがき・光沢 <KH-401>*2 *3

オリジナルグッズが作れる用紙：

- ピクサスプチシール <PS-101>（16 面光沢フォトシール）
- ピクサスプチシール・フリーカット <PS-201>
- フォトシールセット <PSHRS>（2 面/4 面/9 面/16 面）
- 両面マット名刺用紙 <MM-101>

キヤノン純正紙以外の用紙

- 普通紙（再生紙を含む）
- はがき／年賀はがき*1
- インクジェットはがき／インクジェット紙年賀はがき*2 *3
- インクジェット光沢はがき／写真用年賀はがき*2 *3
- 往復はがき*1
- 封筒*1
- T シャツ転写紙*1

*1 操作パネルを使った印刷、および PictBridge（Wireless LAN）対応機器からの印刷には対応していません。

*2 あて名面は、操作パネルを使った印刷、および PictBridge（Wireless LAN）対応機器からの印刷には対応していません。
*3 『キヤノンピクサスかんたん印刷』（はがき両面印刷）に対応したアプリケーションソフトを使うことで、両面印刷ができるようになります。アプリケーションソフトについては、キヤノンのホームページをご覧ください。ただし、ご使用の OS により、使用できるアプリケーションソフトは異なります。

- 用紙の最大積載枚数
- プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙の種類）（Windows）
- プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙の種類）（Mac OS）

参考

- 付属のディスクトレイを使い、プリンタブルディスクに印刷することができます。
  - プリンタブルディスクをセットする
- PictBridge（Wireless LAN）対応機器などの写真を印刷するときは、用紙サイズと用紙の種類を設定してください。
  - デジタルカメラから印刷してみよう
- 本製品では他社製のアート紙もご使用になれます。詳しくは、キヤノンのホームページをご覧ください。

  また、アート紙をご使用になる場合は、印刷方向に対して、用紙の上下端 35 mm（1.38 inches）は印刷されません。
  - アート紙専用の用紙サイズ
  - アート紙に印刷する前に

サイズ

使用できる用紙サイズは、以下のとおりです。

参考

- ご使用の OS により、使用できる用紙サイズや用紙の種類は異なります。

定型：

- レター
- リーガル
- A4
- B5
- A5
- L 判
- KG/10x15cm(4x6)
- 2L/13x18cm(5x7)
- スクエアサイズ（127mm×127mm）
- はがき
- 往復はがき
- 名刺
- 六切/8"x10"
- 商用 10 号封筒
- DL 封筒
- 長形 3 号
- 長形 4 号
- 洋形 4 号

- 洋形 6 号

非定型：

以下の範囲内で、定型サイズ以外の用紙に印刷できます。

- 後トレイ
  - 最小サイズ：55.0 mm x 89.0 mm（2.17 inches x 3.50 inches）
  - 最大サイズ：215.9 mm x 676.0 mm（8.50 inches x 26.61 inches）
- カセット
  - 最小サイズ：148.0 mm x 210.0 mm（5.83 inches x 8.27 inches）
  - 最大サイズ：215.9 mm x 297.0 mm（8.50 inches x 11.69 inches）

重さ

使用できる用紙の重さは以下のとおりです。

- 64～105 g /m^2（キヤノン純正紙以外の普通紙）

用紙の最大積載枚数

キヤノン純正紙

文書やレポートの印刷に適する用紙：

用紙の名称 <型番>	後トレイ	カセット	排紙トレイ
キヤノン普通紙・ホワイト <SW-101>	約 90 枚	約 90 枚	約 50 枚
キヤノン普通紙・ホワイト 両面厚口 <SW-201>	約 80 枚	約 80 枚	約 50 枚
キヤノン普通紙・ビジネス <FB-101>	約 100 枚	約 100 枚	約 50 枚
高品位専用紙 <HR-101S>*1	約 80 枚	使用不可	約 50 枚

写真の印刷に適する用紙：

用紙の名称 <型番>	後トレイ	排紙トレイ
キヤノン写真用紙・光沢 プロ ［プラチナグレード］ <PT-201>*2	A4、六切：10 枚 2L 判：10 枚 L 判、KG：20 枚	*3
キヤノン写真用紙・光沢 スタンダード <SD-201>*2	2L 判：10 枚 L 判：20 枚 A4：10 枚	*3
キヤノン写真用紙・光沢 ゴールド <GL-101>*2	2L 判：10 枚 L 判、KG、はがき、スクエアサイズ：20 枚 A4、六切：10 枚	*3
キヤノン写真用紙・微粒面光沢 ラスター <LU-101>*2	A4：10 枚	*3
キヤノン写真用紙・絹目調 <SG-201>*2	2L 判：10 枚 L 判：20 枚 A4、六切：10 枚	*3
マットフォトペーパー <MP-101>	L 判：20 枚 A4：10 枚	*3

年賀状、挨拶状の印刷に適する用紙：

用紙の名称 <型番>	後トレイ	排紙トレイ
キヤノン写真はがき・マット <MH-101>	20 枚	20 枚
キヤノン写真はがき・光沢 <KH-401>	20 枚	20 枚

オリジナルグッズ作りに適する用紙：

用紙の名称 <型番>	後トレイ	排紙トレイ
ピクサスプチシール <PS-101>（16 面光沢フォトシール）	1 枚	*3
ピクサスプチシール・フリーカット <PS-201>	1 枚	*3
フォトシールセット <PSHRS>（2 面/4 面/9 面/16 面）	1 枚	*3

両面マット名刺用紙 <MM-101>	20 枚	*3

キヤノン純正紙以外の用紙

用紙の名称	後トレイ	カセット	排紙トレイ
普通紙（再生紙を含む）*1	約 100 枚（リーガル：10 枚）	約 100 枚	約 50 枚（リーガル：10 枚）
はがき／年賀はがき	40 枚	使用不可	20 枚
インクジェットはがき／インクジェット紙年賀はがき	40 枚	使用不可	20 枚
インクジェット光沢はがき／写真用年賀はがき	20 枚	使用不可	20 枚
往復はがき*1	20 枚	使用不可	*3
封筒	10 枚	使用不可	*3
T シャツ転写紙	A4：1 枚	使用不可	*3

*1 用紙の種類やご使用の環境（高温・多湿や低温・低湿の場合）によっては、正常に紙送りできない場合があります。この場合は、セットする枚数を半分以下に減らしてください。
*2 用紙を重ねてセットすると、用紙を引き込む際に印刷面に跡が付いたり、用紙がうまく送られなかったりする場合があります。その場合は、用紙を 1 枚ずつセットしてください。
*3 にじみや変色を防ぐため、続けて印刷するときは、先に印刷した用紙を排紙トレイから取り出すことをお勧めします。

使用できない用紙について

以下の用紙は使用しないでください。きれいに印刷できないだけでなく、紙づまりや故障の原因になります。

- 折れている／反りのある／しわが付いている用紙
- 濡れている用紙
- 薄すぎる用紙（重さ 64 g /m^2 未満）
- 厚すぎる用紙（キヤノン純正紙以外の普通紙で重さ 105 g /m^2 を超えるもの）
- はがきより薄い紙、普通紙やメモ用紙を裁断した用紙（はがき／L 判など、A5 サイズより小さい用紙に印刷する場合）
- 絵はがき
- 一度折り曲げた往復はがき
- 写真付きはがきやステッカーを貼ったはがき
- 角形封筒
- ふたが二重になっている封筒
- ふたがシールになっている長形封筒
- 型押しやコーティングなどの加工された封筒
- ふた部分の乾燥糊が湿って、粘着性が出てしまった封筒
- 穴のあいている用紙
- 長方形または正方形以外の形状の用紙
- ホチキスや粘着剤などでとじている用紙
- ラベルシールなど裏面に粘着剤が付いている用紙
- 表面にラメなどが付いている用紙

用紙の取り扱いについて

- すべての用紙は、こすったり、傷をつけたりしないように丁寧に扱ってください。
- できるだけ用紙の端を持ち、印刷面に触れないようにしてください。手についた汗や油分が印刷面に付くと、印刷品質が低下する場合があります。
- 印刷後は、インクが十分に乾いてから取り扱ってください。また乾いたあとも、できるだけ印刷した面に触れないよう丁寧に扱ってください。顔料インクの特性上、こすったり、引っかいたりすると、インクがはがれる場合があります。
- 用紙は印刷する直前に、印刷する枚数だけをパッケージから取り出して使用してください。
- 反りを防ぐため、使用しない用紙は用紙が入っていたパッケージに入れ、水平に置いて保管してください。また、高温・多湿・直射日光を避けて保管してください。

パソコンから印刷してみよう

- アプリケーションソフトで印刷する（Windows プリンタードライバー）
- アプリケーションソフトで印刷する（Mac OS プリンタードライバー）
- キヤノンのアプリケーションソフトを使って印刷してみよう
- ウェブサービスを使って印刷してみよう
- Mac を使って AirPrint 対応プリンターから印刷してみよう

アプリケーションソフトで印刷する（Windowsプリンタードライバー）

- かんたんな設定で印刷を行う 基本
- いろいろな印刷
- 印刷品質の変更や画像データの補正
- プリンタードライバーの概要
- プリンタードライバーの画面説明
- MP ドライバーの更新

かんたんな設定で印刷を行う

プリンターで適切な印刷を行うために、［クイック設定］シートの設定でかんたんな手順を説明します。

かんたんな設定で印刷する

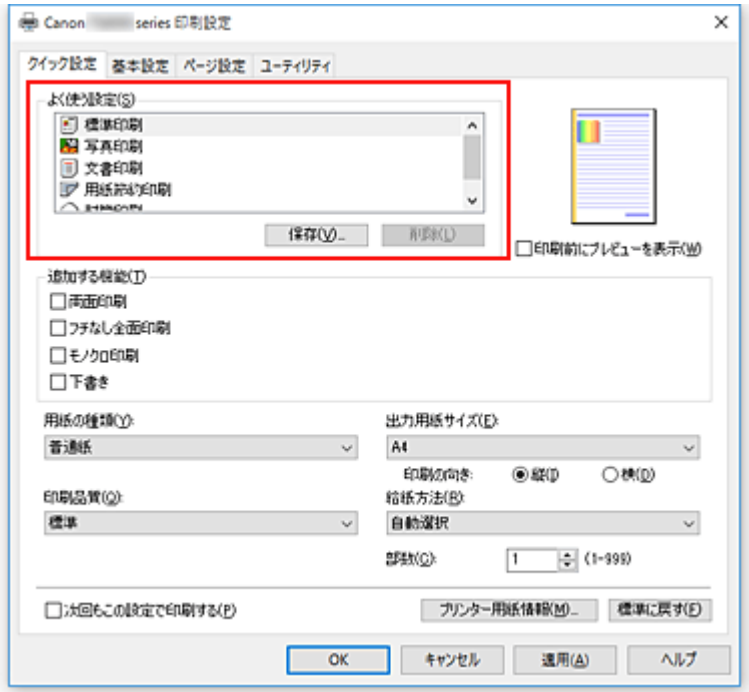
1. プリンターの電源が入っていることを確認

2. プリンターに用紙をセット

3. プリンタードライバーの設定画面を開く

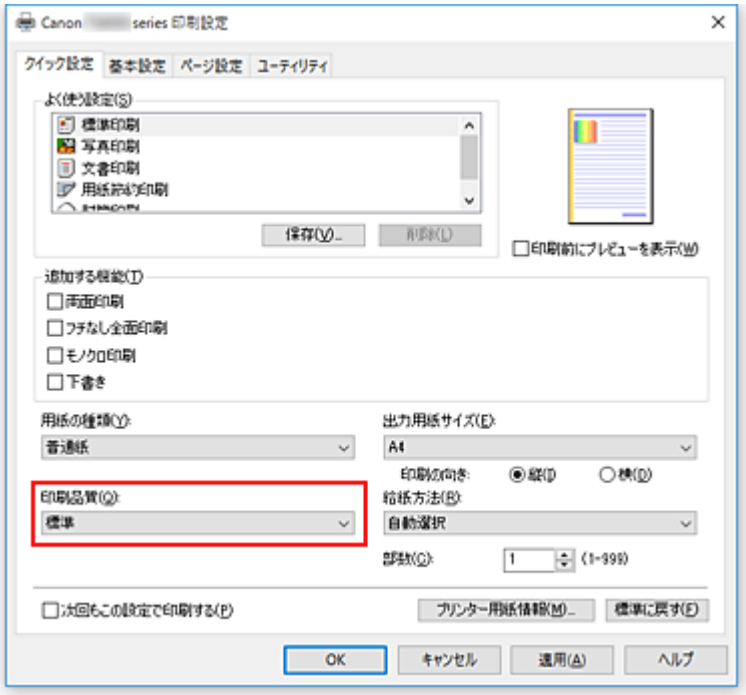
4. よく使う設定を選択

   ［クイック設定］シートの［よく使う設定］で、目的に合った印刷設定を選びます。
   印刷設定を選ぶと、［追加する機能］、［用紙の種類］、［出力用紙サイズ］があらかじめ設定された内容に自動的に切り替わります。



5. 印刷品質を選択

   ［印刷品質］で、［きれい］、［標準］、［下書き］の中から目的に合ったものを選びます。

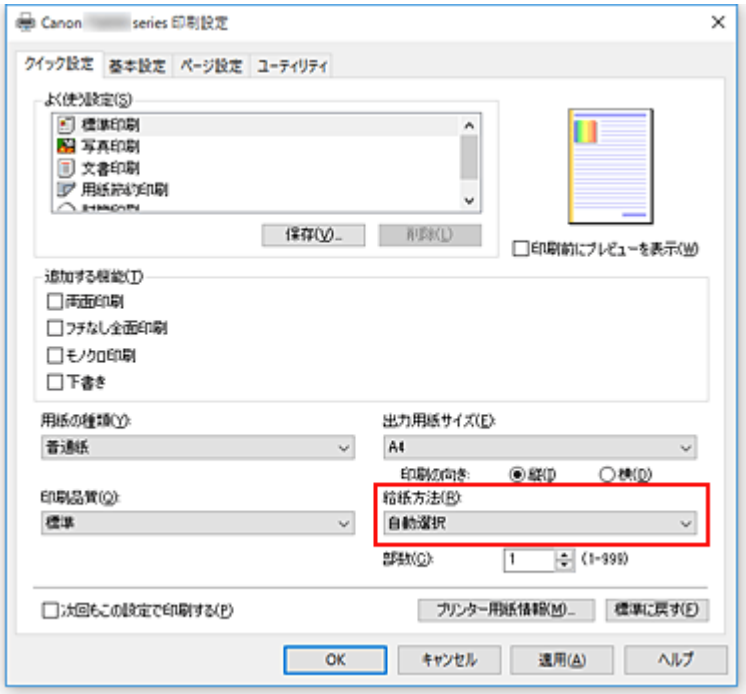


重要

- 印刷設定によっては、選べる印刷品質が異なります。

6. 給紙方法を選択

［給紙方法］で、［自動選択］、［後トレイ］、［カセット］の中から目的に合ったものを選びます。

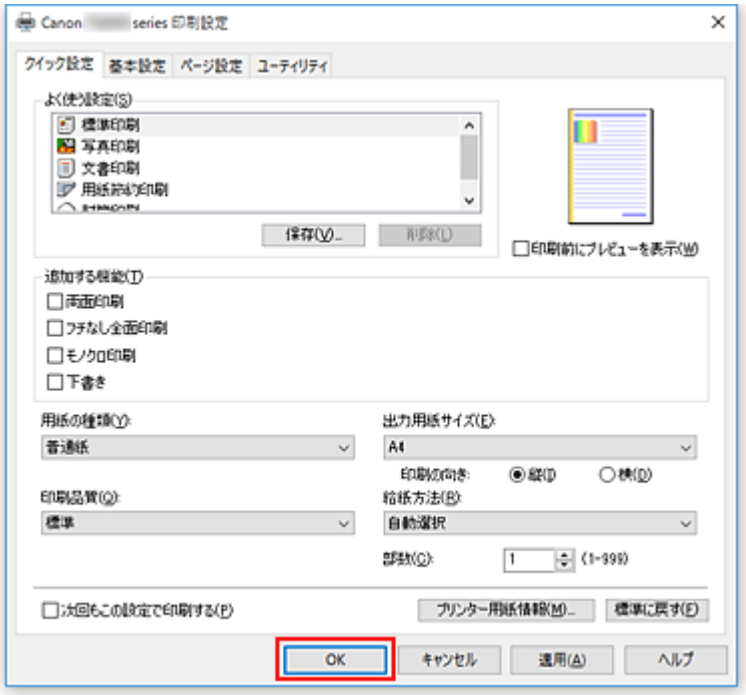


重要

- 用紙の種類やサイズによっては、選べる給紙方法が異なります。

7. ［OK］をクリック

印刷を実行すると、目的に合った設定で印刷を行います。



重要

- ［次回もこの設定で印刷する］にチェックマークを付けると、［クイック設定］シート、［基本設定］シート、および［ページ設定］シートで設定した内容が保存され、同じ設定で次回以降も印刷できます。
- ［よく使う設定］の［保存...］をクリックすると、設定した内容を登録できます。

参考

- プリンタードライバーで設定した用紙設定と、プリンター本体で登録する用紙情報が異なる場合、エラーが発生することがあります。エラーが発生した場合の対処方法については、「印刷時の用紙設定」を参照してください。
  現在のプリンター本体の設定を確認したり、プリンター本体の設定をプリンタードライバーに反映したい場合は、［クイック設定］シートから［プリンター用紙情報...］をクリックし、表示されたダイアログで設定を行ってください。
  プリンター本体で登録する用紙情報については、以下を参照してください。
  - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙の種類）
  - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙のサイズ）

プリンター本体の設定を確認し、プリンタードライバーに反映する

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

2. ［クイック設定］シートの［プリンター用紙情報...］をクリック
   ［プリンター用紙情報］ダイアログが表示されます。

3. ［給紙方法］を選択

   ［給紙方法］から設定を確認、または変更したい給紙方法を選びます。
   ［用紙の種類］、［出力用紙サイズ］に現在のプリンター本体の設定が表示されます。

4. 設定を反映

［設定］をクリックすると、プリンター本体の設定がプリンタードライバーに反映されます。

参考

- プリンター本体の用紙の種類で、はがき、インクジェットはがき、インクジェット写真ハガキを設定している、または、プリンター本体の出力用紙サイズで、2L/13x18cm(5x7)を設定している場合、［設定］をクリックすると、ダイアログが表示されます。
  目的に合った用紙の種類や用紙サイズを選んで［OK］をクリックしてください。
- プリンター本体の用紙の種類や、出力用紙サイズが設定されていなかったり、その他を設定している場合、［設定］はグレー表示となり、設定できません。
- プリンターと通信できない状態の場合、［プリンター用紙情報...］は表示されないか、プリンターからの用紙情報を取得できません。

プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙の種類）

プリンターを使用するときは、最適な印刷結果を得るために、印刷に適した用紙の種類と用紙サイズを選んでください。
プリンターでは以下の用紙が使用できます。

キヤノン純正紙（書類の印刷）

用紙の名称 <型番>	プリンタードライバーでの［用紙の種類］	プリンター本体で登録する用紙情報
キヤノン普通紙・ホワイト <SW-101>	［普通紙］	普通紙
キヤノン普通紙・ホワイト両面厚口 <SW-201>	［普通紙］	普通紙
キヤノン普通紙・ビジネス <FB-101>	［普通紙］	普通紙

キヤノン純正紙（写真の印刷）

用紙の名称 <型番>	プリンタードライバーでの［用紙の種類］	プリンター本体で登録する用紙情報
キヤノン写真用紙・光沢 ゴールド <GL-101>	［写真用紙 光沢ゴールド］	光沢ゴールド
キヤノン写真用紙・光沢 プロ ［プラチナグレード］ <PT-201>	［光沢プロ プラチナグレード］	プラチナグレード
キヤノン写真用紙・微粒面光沢 ラスター <LU-101>	［写真用紙 微粒面光沢 ラスター］	微粒面光沢 ﾗｽﾀｰ
キヤノン写真用紙・絹目調 <SG-201>	［写真用紙 絹目調］	絹目調
キヤノン写真用紙・光沢 スタンダード <SD-201>	［写真用紙 光沢 スタンダード］	光沢スタンダード
マットフォトペーパー <MP-101>	［マットフォトペーパー］	マットフォト

キヤノン純正紙（年賀状、挨拶状の印刷）

用紙の名称 <型番>	プリンタードライバーでの［用紙の種類］	プリンター本体で登録する用紙情報
キヤノン写真はがき・マット <MH-101>	通信面：［インクジェットはがき(通信面)］ あて名面：［インクジェットはがき(あて名面)］、または［はがき］	ｲﾝｸｼﾞｪｯﾄはがき
キヤノン写真はがき・光沢 <KH-401>	通信面：［インクジェット写真用はがき(通信面)］ あて名面：［インクジェット写真用はがき(あて名面)］、または［はがき］	ｲﾝｸｼﾞｪｯﾄ写真ﾊｶﾞｷ

キヤノン純正紙（ビジネス文書の印刷）

用紙の名称 <型番>	プリンタードライバーでの［用紙の種類］	プリンター本体で登録する用紙情報
高品位専用紙 <HR-101S>	［高品位専用紙］	高品位専用紙

キヤノン純正紙（オリジナルグッズ作り）

用紙の名称 <型番>	プリンタードライバーでの［用紙の種類］	プリンター本体で登録する用紙情報
ピクサスプチシール（16 面光沢フォトシール） <PS-101>	［写真用紙 光沢 スタンダード］	光沢スタンダード
ピクサスプチシール・フリーカット <PS-201>	［写真用紙 光沢 スタンダード］	光沢スタンダード
フォトシールセット <PSHRS>（2 面/4 面/9 面/16 面）	［写真用紙 光沢 スタンダード］	光沢スタンダード
両面マット名刺用紙 <MM-101>	写真・イラスト：［写真用紙 光沢ゴールド］ 文字：［普通紙］	写真・イラスト：光沢ゴールド 文字：普通紙

市販の用紙

用紙の名称	プリンタードライバーでの［用紙の種類］	プリンター本体で登録する用紙情報
普通紙（再生紙を含む）	［普通紙］	普通紙
はがき／年賀はがき	通信面：［はがき］ あて名面：［はがき(あて名面)］、または［はがき］	はがき
インクジェットはがき／インクジェット紙年賀はがき	通信面：［インクジェットはがき(通信面)］ あて名面：［インクジェットはがき(あて名面)］、または［はがき］	ｲﾝｸｼﾞｪｯﾄはがき
インクジェット光沢はがき／写真用年賀はがき	通信面：［インクジェット写真用はがき(通信面)］ あて名面：［インクジェット写真用はがき(あて名面)］、または［はがき］	ｲﾝｸｼﾞｪｯﾄ写真ﾊｶﾞｷ
往復はがき	［はがき］	はがき
封筒	［封筒］	封筒
T シャツ転写紙	［T シャツ転写紙］	その他

プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙のサイズ）

プリンターを使用するときは、最適な印刷結果を得るために、印刷に適した用紙サイズを選んでください。
プリンターでは以下の用紙サイズが使用できます。

プリンタードライバーでの［出力用紙サイズ］	プリンター本体で登録する用紙情報
［レター］	レター
［レター (アート紙 余白 35mm)］	レターサイズ
［リーガル］	リーガル
［A5］	A5
［A4］	A4
［アート A4 (余白 35mm)］	A4
［B5］	B5
［KG/10x15cm(4x6)］	KG/10x15cm(4x6)
［5x7］	2L/13x18cm(5x7)
［六切］	六切/8"x10"
［L 判］	L 判
［2L 判］	2L/13x18cm(5x7)
［スクエア 127x127mm］	ｽｸｴｱ(127x127mm)
［はがき］	はがき
［往復はがき］	往復はがき
［商用 10 号封筒］	商用 10 号封筒
［DL 封筒］	DL 封筒
［長形 3 号］	長形 3 号
［長形 4 号］	長形 4 号
［洋形 4 号］	洋形 4 号
［洋形 6 号］	洋形 6 号
［名刺］	名刺(55x91mm)
ユーザー定義用紙	その他

いろいろな印刷

- 用紙サイズと印刷の向きを設定する
- 部数と印刷順序を設定する
- フチなし全面印刷を行う
- 拡大/縮小印刷を行う
- 割り付け印刷を行う
- 分割/ポスター印刷を行う
- 両面印刷を行う
- 封筒に印刷する
- はがきに印刷する
- 用紙の縦横サイズを設定する（ユーザー定義用紙）

用紙サイズと印刷の向きを設定する

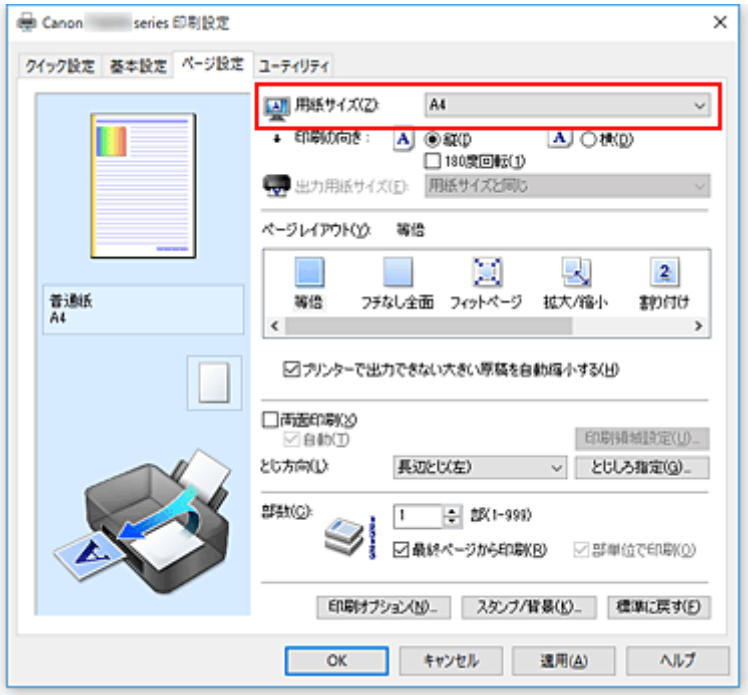
用紙のサイズや印刷の向きの設定は、基本的にアプリケーションソフトで行います。［ページ設定］シートの［用紙サイズ］、［印刷の向き］の設定が、アプリケーションソフトの設定と同じであれば、特に設定する必要はありません。

アプリケーションソフトで設定できないときは、次の手順で設定してください。
用紙サイズと印刷の向きは［クイック設定］シートで設定することも可能です。

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

2. 用紙サイズを選択

   ［ページ設定］シートの［用紙サイズ］で使用する用紙サイズを選びます。



3. ［印刷の向き］を設定

   ［印刷の向き］で［縦］、または［横］を選びます。原稿を 180 度回転させて印刷したいときは、［180 度回転］にチェックマークを付けます。

4. ［OK］をクリック

   印刷を実行すると、設定した用紙サイズと印刷の向きで印刷されます。

参考

- ［ページレイアウト］で［等倍］を選んでいる場合は［プリンターで出力できない大きい原稿を自動縮小する］が表示されます。
  通常はチェックマークを付けたままで構いません。プリンターで出力できない大きさの原稿を印刷するときに縮小したくない場合は、チェックマークを外してください。

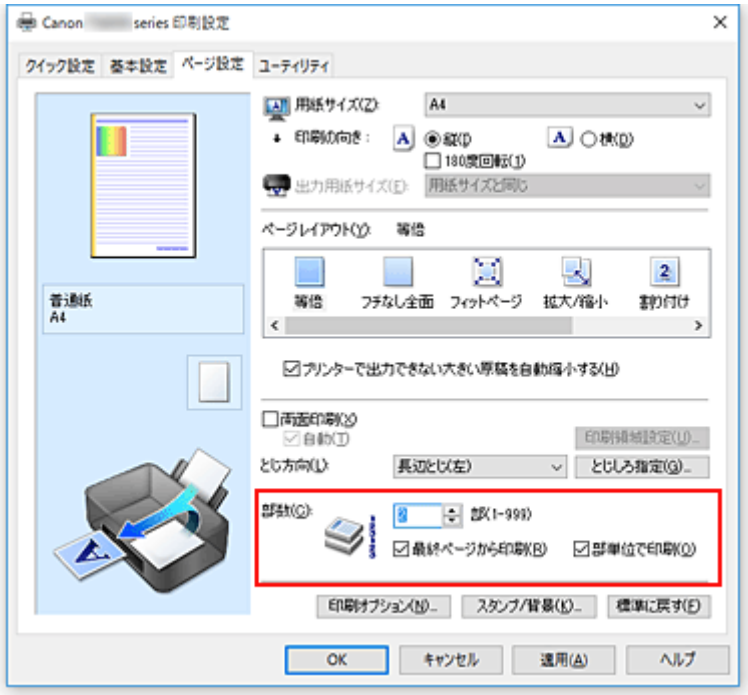
部数と印刷順序を設定する

部数と印刷する順序を設定する手順を説明します。
部数は［クイック設定］シートで設定することも可能です。

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

2. 部数を設定

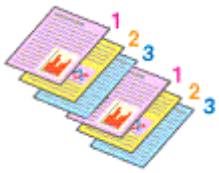
   ［ページ設定］シートの［部数］で印刷する部数を設定します。



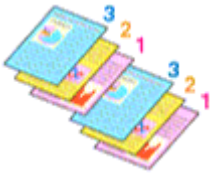
3. 印刷順序を設定

   最終ページから印刷したいときは［最終ページから印刷］にチェックマークを付け、先頭ページから印刷したいときはチェックマークを外します。
   2 部以上印刷する場合で、1 部ずつまとまるように印刷したいときは［部単位で印刷］にチェックマークを付け、同一ページでまとまるように印刷したいときはチェックマークを外します。

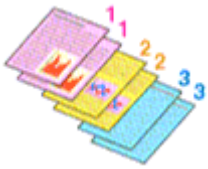
   - ［最終ページから印刷］：☑ ／［部単位で印刷］：☑



   - ［最終ページから印刷］：☐ ／［部単位で印刷］：☑



   - ［最終ページから印刷］：☑ ／［部単位で印刷］：☐



- ［最終ページから印刷］： ／［部単位で印刷］：

4. ［OK］をクリック

印刷を実行すると、設定した部数や印刷順序で印刷されます。

重要

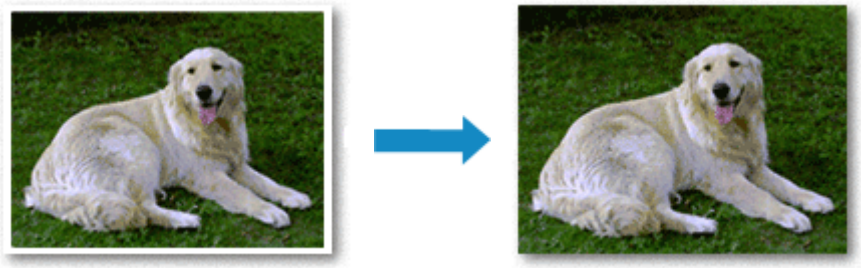
- 原稿を作成したアプリケーションソフトに同様の機能がある場合は、プリンタードライバーで設定を行ってください。印刷結果が思わしくない場合は、アプリケーションソフトで設定を行ってください。両方で設定すると、印刷枚数が 2 つの設定をかけた数になったり、印刷順序の指定が無効になったりすることがあります。
- ［ページレイアウト］で［分割/ポスター］を選んでいる場合、［最終ページから印刷］はグレー表示となり、設定できません。
- ［ページレイアウト］で［冊子］を選んでいる場合、［最終ページから印刷］と［部単位で印刷］はグレー表示となり、設定できません。
- ［両面印刷］にチェックを入れている場合、［最終ページから印刷］はグレー表示となり、設定できません。

参考

- ［最終ページから印刷］と［部単位で印刷］を同時に設定することで、ページ順に 1 部ずつまとめて印刷できます。
  この設定は、［等倍］、［フチなし全面］、［フィットページ］、［拡大/縮小］、または［割り付け］と組み合わせて使用できます。

フチなし全面印刷を行う

フチなし全面印刷は、用紙からわずかにはみ出す大きさに原稿を拡大して、紙面いっぱいに印刷する機能です。通常の印刷は原稿の周囲に余白ができますが、フチなし全面印刷ではこの余白ができません。写真などを用紙の全面に印刷したいときに設定してください。



フチなし全面印刷の手順を説明します。

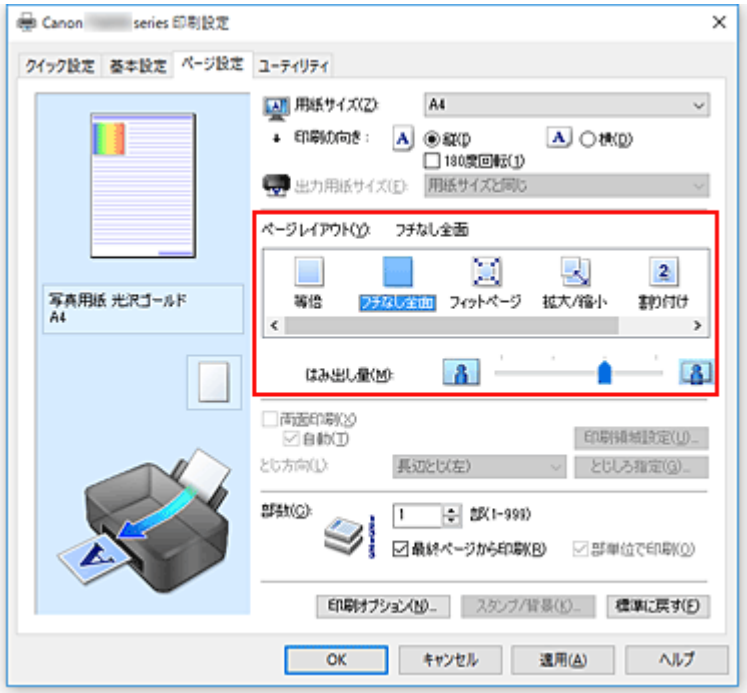
フチなし全面印刷は［クイック設定］シートの［追加する機能］で設定することも可能です。

フチなし全面印刷の設定

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

2. フチなし全面印刷を設定

   ［ページ設定］シートの［ページレイアウト］で［フチなし全面］を選びます。



   確認メッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。
   用紙の種類の変更を促すメッセージが表示されたら、使用する用紙の種類を一覧から選び、［OK］をクリックします。

3. 用紙サイズを確認

   ［用紙サイズ］を確認し、変更する場合は一覧から選びます。一覧にはフチなし全面印刷ができるサイズのみ表示されます。

4. 用紙からはみ出す量を調整

必要に応じて、［はみ出し量］を調整します。
スライドバーを右にドラッグするほどはみ出し量は多く、左にドラッグするほど少なくなります。
通常は、右から 2 番目に設定することをお勧めします。

重要

- ［はみ出し量］のスライドバーの位置を右端に設定した場合、用紙の裏面が汚れることがあります。

5. ［OK］をクリック

印刷を実行すると、紙面いっぱいに原稿が印刷されます。

重要

- フチなし全面印刷ができない用紙サイズを選んでいる場合は、フチなし全面印刷ができるサイズに変更されます。
- ［フチなし全面］を選ぶと、［ページ設定］シートの［出力用紙サイズ］、［両面印刷］、［とじ方向］、［スタンプ/背景...］（［スタンプ...］）はグレー表示となり、設定できなくなります。
- ［基本設定］シートの［用紙の種類］で［他社ファインアート紙］、［封筒］、［高品位専用紙］、［T シャツ転写紙］を選んでいる場合、フチなし全面印刷は実行できません。
- 用紙の種類によっては、フチなし全面印刷を行うと用紙の上端や下端の印刷品質が低下したり、汚れが発生したりすることがあります。
- 用紙サイズによっては、画像データとの縦横の比率が異なるため、画像の一部が用紙に納まらないことがあります。
  その場合は、用紙サイズに合わせてアプリケーションソフトで画像データをトリミングしてください。

参考

- ［基本設定］シートの［用紙の種類］で［普通紙］を選んでいる場合は、フチなし全面印刷を推奨しません。そのため、用紙の種類を選ぶメッセージが表示されます。
  試し印刷などで普通紙を使用する場合は、［普通紙］を選び、［OK］をクリックしてください。

印刷範囲を広げたいときは

確実にフチなし全面印刷を実行するためには、原稿のはみ出し量を多くしておけば安心ですが、はみ出した部分の原稿は紙面に印刷されません。そのため、端のほうにある被写体が用紙に納まらないことがあります。

フチなし全面印刷の結果に満足できなかった場合は、はみ出し量を少なくしてください。［はみ出し量］のスライドバーを左にドラッグするほど、はみ出し量が少なくなります。

重要

- はみ出し量を少なくした場合は、用紙のサイズによっては余白ができることがあります。

参考

- ［はみ出し量］のスライドバーを左端に設定すると、画像データは原寸で印刷されます。はがきのあて名面を印刷する場合に設定すると、差出人の郵便番号が正しい位置に印刷されます。

- ［基本設定］シートの［印刷前にプレビューを表示］にチェックマークを付けると、余白が残らないか印刷前に確認できます。

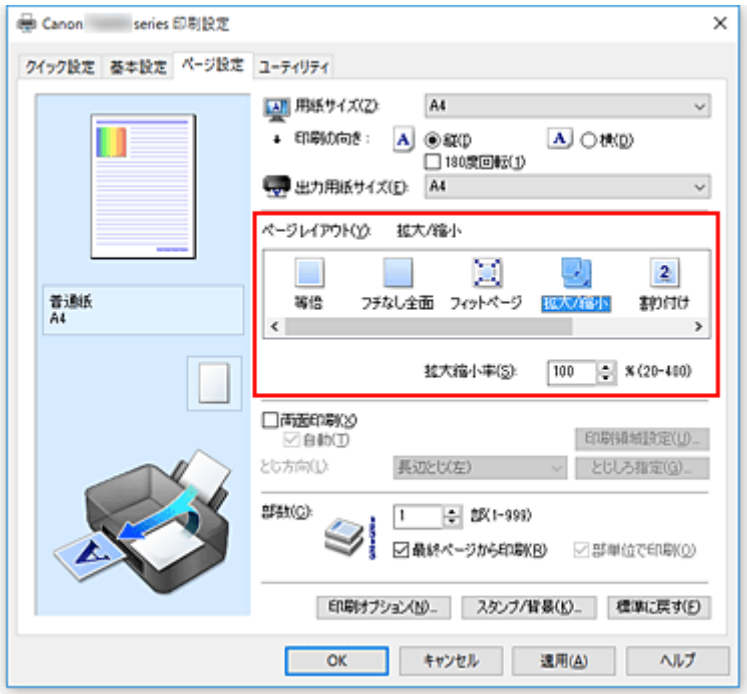
拡大/縮小印刷を行う

原稿を拡大または縮小して印刷する手順を説明します。

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

2. 拡大/縮小印刷を設定

   ［ページ設定］シートの［ページレイアウト］で［拡大/縮小］を選びます。



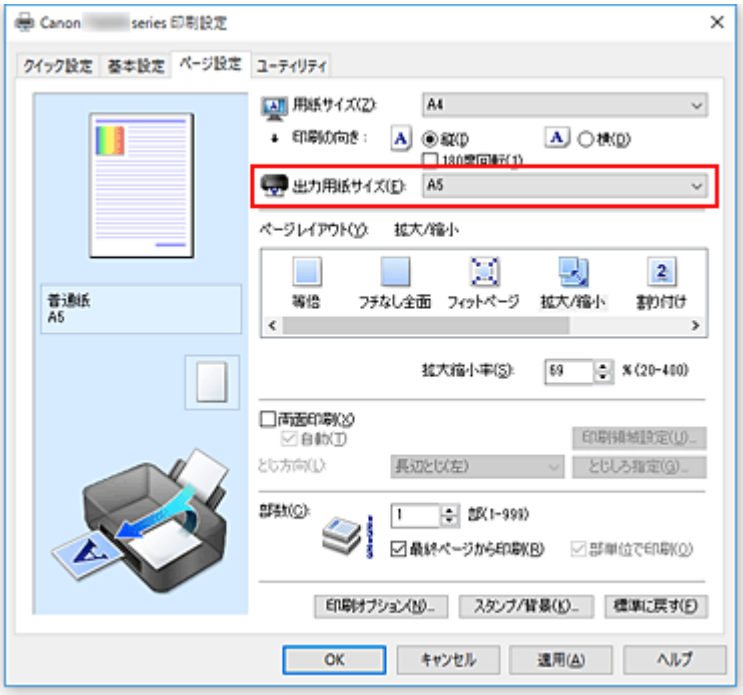
3. 原稿の用紙サイズを選択

   ［用紙サイズ］でアプリケーションソフトで指定した用紙サイズを選びます。

4. 次のいずれかの方法で倍率を設定

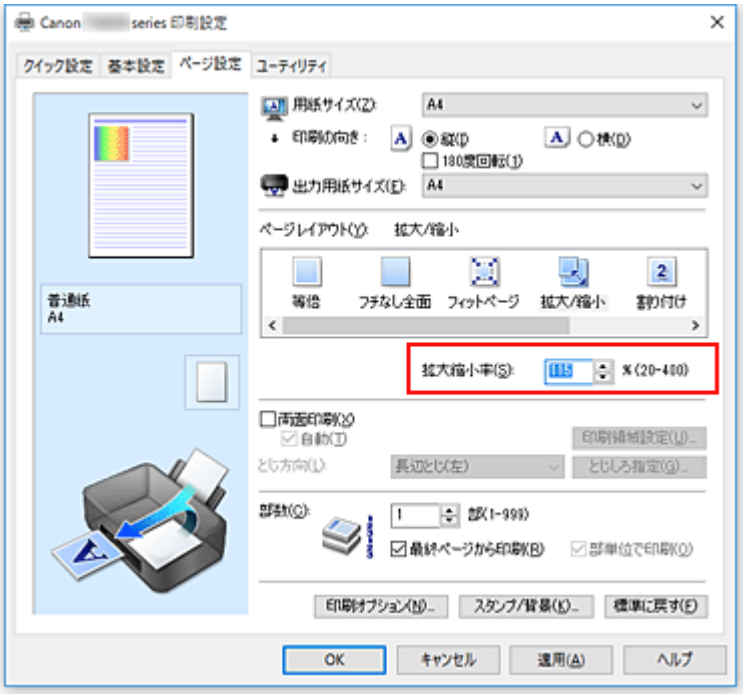
   - ［出力用紙サイズ］を選ぶ

     ［用紙サイズ］より小さいサイズを選ぶと縮小、大きいサイズを選ぶと拡大して印刷されます。



- 倍率を指定する

  ［拡大縮小率］に直接、数値を入力します。



  設定の状態は、左側の設定ビューに表示されます。

5. ［OK］をクリック

   印刷を実行すると、拡大または縮小して印刷されます。

重要

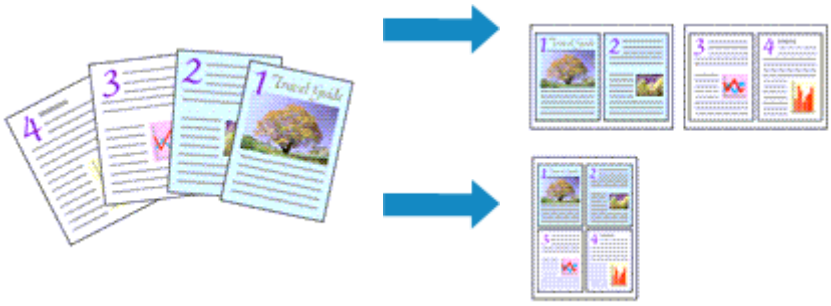
- 原稿を作成したアプリケーションソフトに拡大縮小印刷機能がある場合は、アプリケーションソフトで設定してください。プリンタードライバーで設定する必要はありません。

参考

- ［拡大/縮小］を選ぶと、原稿の印刷可能範囲が変わります。

割り付け印刷を行う

1 枚の用紙に複数ページの原稿を並べて印刷します。

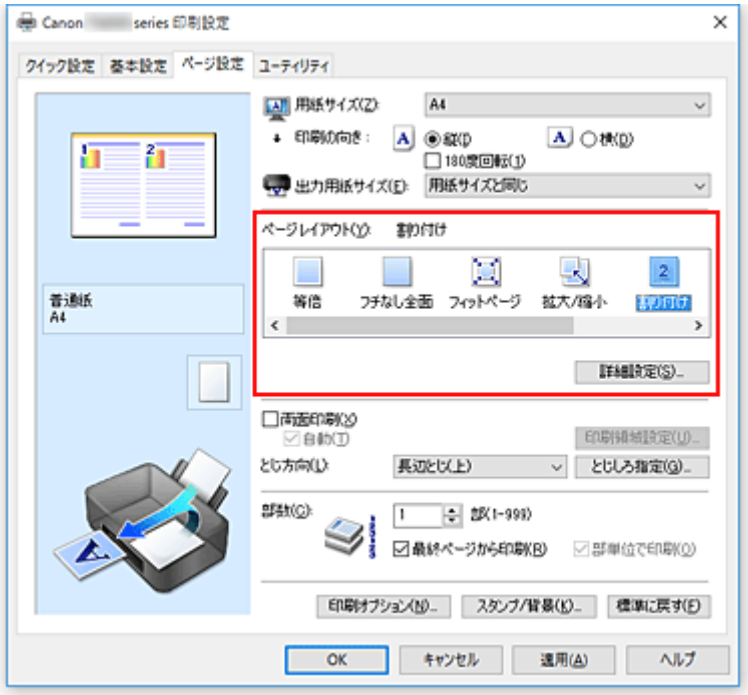


割り付け印刷の手順を説明します。

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

2. 割り付け印刷を設定

   ［ページ設定］シートの［ページレイアウト］で［割り付け］を選びます。
   設定の状態は、左側の設定ビューに表示されます。

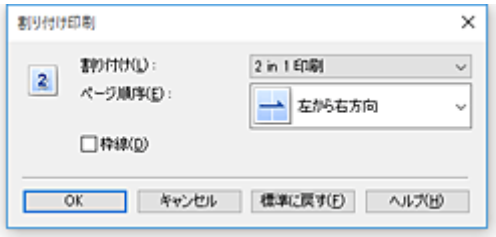


3. 印刷する用紙サイズを選択

   ［出力用紙サイズ］で実際にプリンターにセットしている用紙サイズを選びます。

4. 1 枚の用紙に納めるページ数やページ順序を設定

   必要に応じて、［詳細設定...］をクリックし、［割り付け印刷］ダイアログボックスで以下の項目を設定して、［OK］をクリックします。



[割り付け]

1 枚の用紙に納めるページ数を変更するときは、一覧からページ数を選びます。

[ページ順序]

原稿を配置する順序を変えるときは、一覧から配置のしかたを選びます。

[枠線]

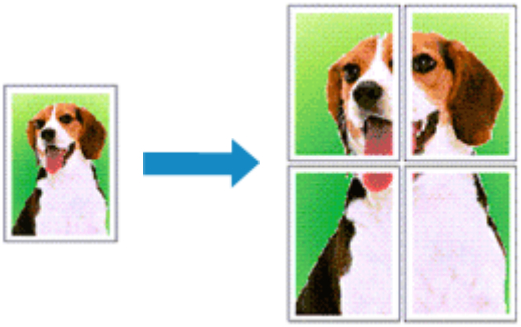
原稿のページのまわりを枠線で囲むときは、チェックマークを付けます。

5. 設定を完了

[ページ設定] シートの [OK] をクリックします。
印刷を実行すると、指定したページ数、ページ順序で原稿が割り付けられます。

分割/ポスター印刷を行う

印刷する画像データを拡大し、複数の用紙に分割して印刷する機能です。用紙を貼り合わせると、ポスターのような大判の印刷物に仕上げることもできます。



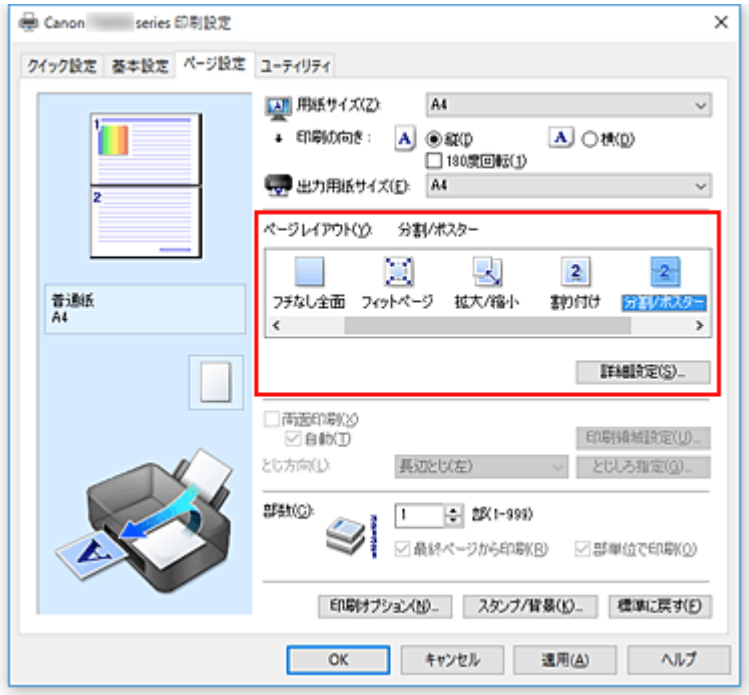
分割/ポスター印刷の手順を説明します。

分割/ポスター印刷の設定

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

2. 分割/ポスター印刷を設定

   ［ページ設定］シートの［ページレイアウト］で［分割/ポスター］を選びます。
   設定の状態は、左側の設定ビューに表示されます。

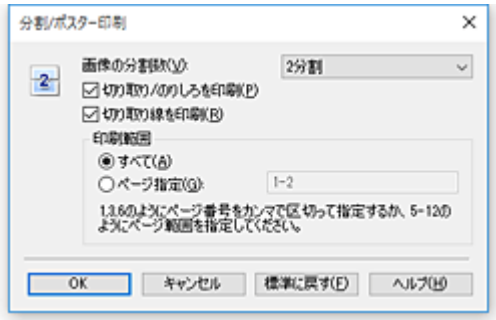


3. 印刷する用紙サイズを選択

   ［出力用紙サイズ］で実際にプリンターにセットしている用紙サイズを選びます。

4. 画像の分割数や印刷するページなどを設定

   必要に応じて、［詳細設定...］をクリックし、［分割/ポスター印刷］ダイアログボックスで以下を設定して［OK］をクリックします。



[画像の分割数]

縦×横の分割数を選びます。
数字が大きいほど印刷に使用する用紙の枚数が増えます。ポスターとして貼り合わせる場合は、分割数を多くするほど大きなポスターを作成できます。

[切り取り/のりしろを印刷]

「切り取り」や「のりしろ」の文字を印刷したくないときは、チェックマークを外します。

参考

- お使いのプリンタードライバーの種類や環境によっては、この機能は使用できないことがあります。

[切り取り線を印刷]

切り取り線を印刷したくないときは、チェックマークを外します。

[印刷範囲]

印刷範囲を指定します。通常は［すべて］を選びます。
特定のページのみ印刷し直すときは［ページ指定］を選び、印刷したいページ番号を入力します。
複数ページを指定する場合は、カンマ（,）で区切ってページ番号を入力するか、ページ番号の間にハイフン（-）を入力します。

参考

- 設定ビュー上でページをクリックしても印刷範囲を指定できます。

5. 設定を完了

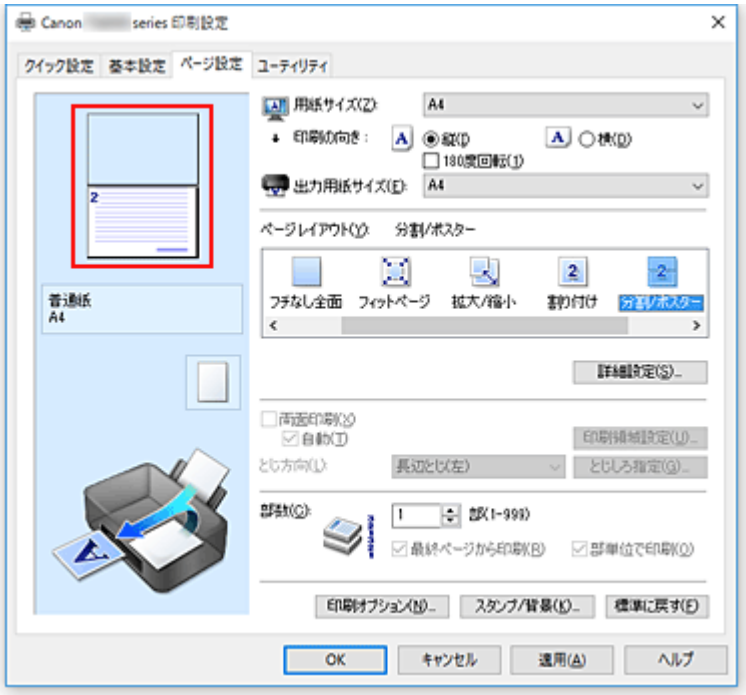
［ページ設定］シートの［OK］をクリックします。
印刷を実行すると、原稿は分割して印刷されます。

特定のページのみ印刷するには

途中で印刷がかすれたり、インクがなくなったりした場合は、次の手順で特定のページのみ印刷し直すことができます。

1. 印刷範囲を設定

［ページ設定］シート左側の設定ビュー上で、印刷したくないページをクリックします。
クリックしたページの表示が消えて、印刷するページだけが表示されます。



参考

- 表示が消えたページをクリックすると、再度表示させることができます。
- 設定ビュー上を右クリックすると、[全ページ選択]、[全ページ削除] が選べます。

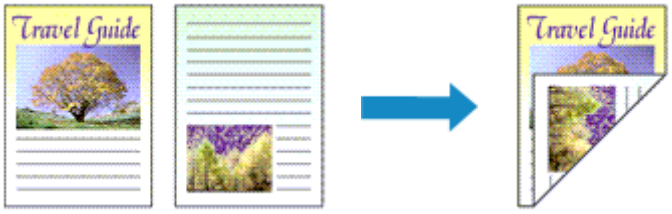
2. 設定を完了

印刷するページが確定したら、[OK] をクリックします。
印刷を実行すると、特定のページのみ印刷されます。

重要

- 分割/ポスター印刷では原稿を拡大して印刷するため、印刷結果が粗くなることがあります。

両面印刷を行う



用紙の両面に印刷する手順を説明します。
両面印刷は［クイック設定］シートの［追加する機能］で設定することも可能です。

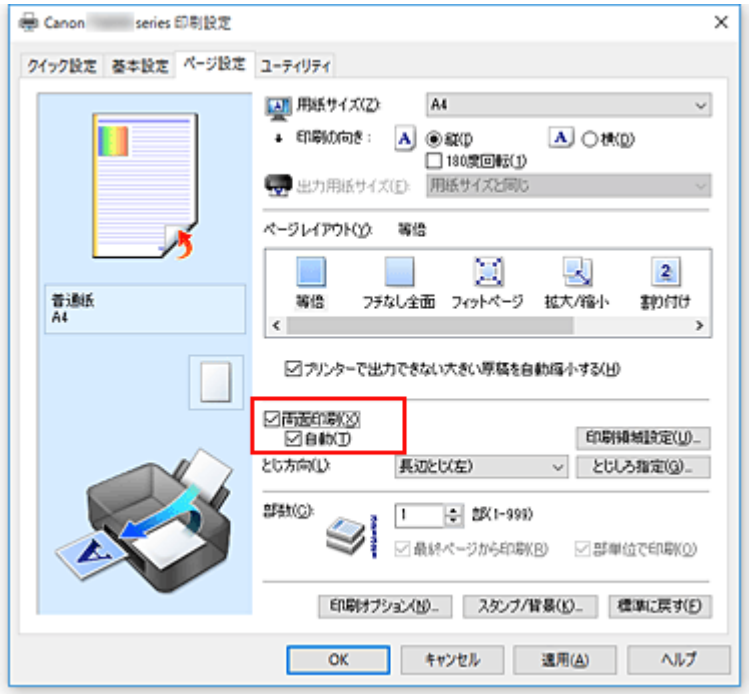
自動両面印刷を行う

用紙を差し替えることなく両面に印刷することができます。

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

2. 自動両面印刷を設定

   ［ページ設定］シートの［両面印刷］にチェックマークを付け、［自動］にチェックマークが付いていることを確認します。

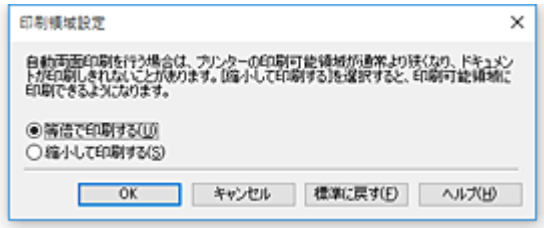


3. レイアウトを選択

   ［ページレイアウト］で［等倍］、［フィットページ］、［拡大/縮小］、または［割り付け］を選びます。

4. 印刷領域を設定

   両面印刷では、原稿の印刷領域が通常よりわずかに狭くなり、原稿が 1 ページに入りきらないことがあります。
   ［印刷領域設定...］をクリックし、以下から処理方法を選んで［OK］をクリックします。



[等倍で印刷する]
ページを縮小せずに印刷します。

[縮小して印刷する]
ページをわずかに縮小して印刷します。

5. とじしろの位置を確認

   [印刷の向き] や [ページレイアウト] の設定から、最適な [とじ方向] が自動的に選ばれています。
   変更する場合は、一覧から選びます。

6. とじしろの幅を設定

   必要に応じて [とじしろ指定...] をクリックし、とじしろの幅を指定して [OK] をクリックします。

7. 設定を完了

   [ページ設定] シートの [OK] をクリックします。
   印刷を実行すると、両面印刷が開始されます。

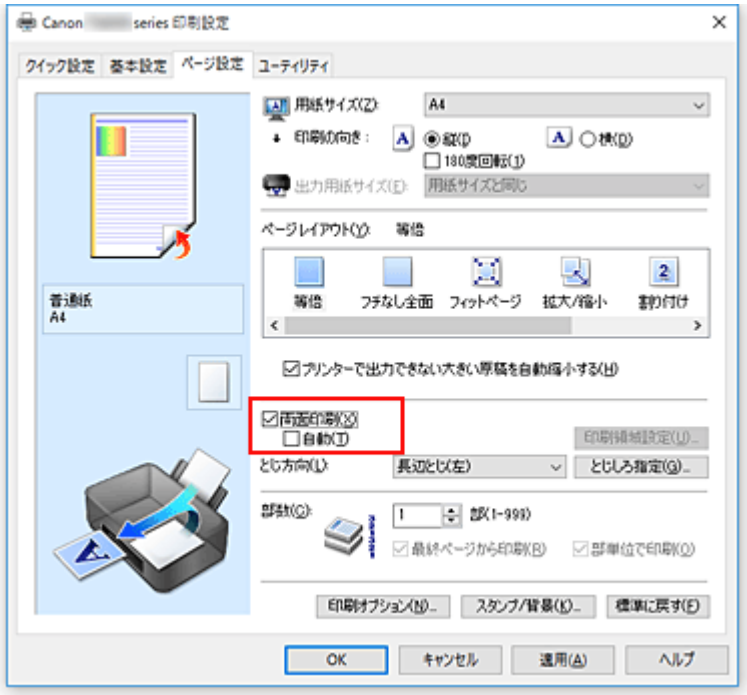
手動で両面印刷を行う

手動で用紙の両面に印刷します。

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

2. 両面印刷を設定

   [ページ設定] シートの [両面印刷] にチェックマークを付け、[自動] のチェックマークを外します。



3. レイアウトを選択

［ページレイアウト］で［等倍］、［フィットページ］、［拡大/縮小］、または［割り付け］を選びます。

4. とじしろの位置を確認

［印刷の向き］や［ページレイアウト］の設定から、最適な［とじ方向］が自動的に選ばれています。変更する場合は、一覧から選びます。

5. とじしろの幅を設定

必要に応じて［とじしろ指定...］をクリックし、とじしろの幅を指定して［OK］をクリックします。

6. 設定を完了

［ページ設定］シートの［OK］をクリックします。
印刷を実行すると、まず用紙の片面が印刷されます。完了したら、メッセージに従って用紙を正しくセットしてください。
［印刷開始］をクリックすると、反対側の面が印刷されます。

重要

- ［基本設定］シートの［用紙の種類］で［普通紙］、［インクジェットはがき(あて名面)］、［インクジェット写真用はがき(あて名面)］、［はがき(あて名面)］、または［はがき］以外を選んでいる場合は、［両面印刷］はグレー表示となり、設定できません。
- ［ページレイアウト］で［フチなし全面］、［分割/ポスター］、または［冊子］を選んでいる場合は、［両面印刷］、［とじ方向］はグレー表示となり、設定できません。
- ［ページ設定］シートの［用紙サイズ］で以下のサイズが選ばれている場合のみ、［両面印刷］が実行できます。
  - ［レター］、［A5］、［A4］、［B5］、［はがき］
- 表面の印刷が終わってから裏面の印刷を開始するまでの間に、インクの乾燥待ち時間があります（動作が一時停止します）。このとき、用紙に触れないでください。インクの乾燥待ち時間は、［ユーティリティ］シートの［特殊設定］から変更することができます。

- 自動両面印刷機能を使用して、はがきに印刷するときは、あて名面を印刷したあとに通信面を印刷してください。

関連項目

- プリンターの設定を変更する

封筒に印刷する

封筒印刷の手順を説明します。
長形封筒と洋形封筒で、印刷方法が異なります。

長形封筒に印刷する場合

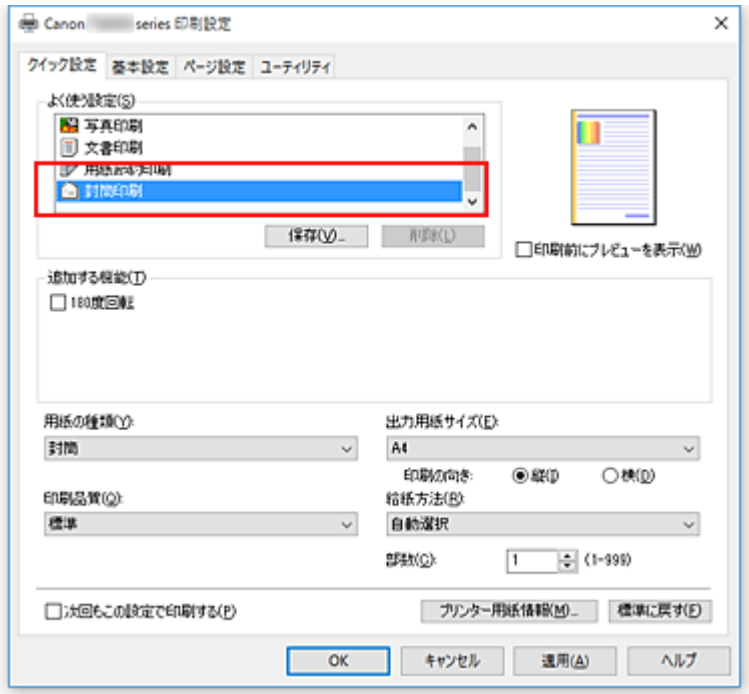
原稿が自動的に 180 度回転され、はがきのあて名を印刷するときとは上下逆向きに印刷されます。

1. プリンターに封筒をセット

2. プリンタードライバーの設定画面を開く

3. 用紙の種類を選択

   ［クイック設定］シートの［よく使う設定］で［封筒印刷］を選びます。



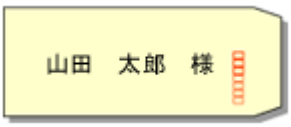
4. 用紙サイズを選択

   ［封筒サイズの設定］ダイアログボックスが表示された場合は［長形 3 号］、または［長形 4 号］を選び、［OK］をクリックします。

5. 必要に応じて、次の項目を設定

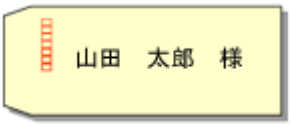
   - あて名を横書きにして、ふたの位置を右側にして印刷したいとき

     ［印刷の向き］で［横］を選び、［追加する機能］で［180 度回転］にチェックマークを付けます。



   - あて名を横書きにして、ふたの位置を左側にして印刷したいとき

［印刷の向き］で［横］を選び、［追加する機能］で［180 度回転］のチェックマークを外します。



6. 印刷品質を選択

   ［印刷品質］で、［きれい］、［標準］の中から目的に合ったものを選びます。

7. ［OK］をクリック

   印刷を実行すると、長形封筒に印刷されます。

重要

- 封筒のサイズや印刷の向きを正しく選ばないと、上下逆さまに印刷されたり、90 度回転して印刷されたりします。
- 使用しているアプリケーションソフトによっては、原稿が自動的に回転されず、上下逆向きに印刷されることがあります。その場合は、［追加する機能］で［180 度回転］にチェックマークを付けてください。

洋形封筒に印刷する場合

通常の印刷と同じ向きに印刷されます。

1. プリンターに封筒をセット

2. プリンタードライバーの設定画面を開く

3. 用紙の種類を選択

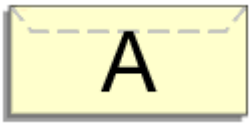
   ［クイック設定］シートの［よく使う設定］で［封筒印刷］を選びます。

4. 用紙サイズを選択

   ［封筒サイズの設定］ダイアログボックスが表示された場合は［洋形 4 号］、［洋形 6 号］、［商用 10 号封筒］、または［DL 封筒］を選び、［OK］をクリックします。

5. 印刷の向きを設定

   あて名を横書きで印刷する場合は、［印刷の向き］で［横］を選びます。



参考

- ［出力用紙サイズ］で［洋形 4 号］、［洋形 6 号］、［商用 10 号封筒］、または［DL 封筒］を選んでいる場合、［ユーティリティ］シートの［特殊設定］の［印刷の向き[横]の回転方向を左 90 度にする］の設定に関わらず、印刷の向きを左 90 度に回転して印刷します。

6. 印刷品質を選択

［印刷品質］で、［きれい］、［標準］の中から目的に合ったものを選びます。

7. ［OK］をクリック

印刷を実行すると、洋形封筒に印刷されます。

重要

- 封筒印刷を実行すると、ガイドメッセージが表示される場合があります。
  このガイドメッセージは、［今後、このメッセージを表示しない］にチェックマークを付けると、表示されなくなります。
  ガイドを再び表示するには、［ユーティリティ］シートの［プリンター状態の確認］をクリックし、Canon IJ ステータスモニタを起動します。
  ［オプション］メニューの［ガイドメッセージを表示］から［封筒印刷］をクリックして、設定を有効にしてください。

参考

- プリンタードライバーで設定した用紙設定と、プリンター本体で登録する用紙情報が異なる場合、エラーが発生することがあります。エラーが発生した場合の対処方法については、「印刷時の用紙設定」を参照してください。
  現在のプリンター本体の設定を確認したり、プリンター本体の設定をプリンタードライバーに反映したい場合は、［クイック設定］シートから［プリンター用紙情報...］をクリックし、表示されたダイアログで設定を行ってください。
  プリンター本体で登録する用紙情報については、以下を参照してください。
  - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙の種類）
  - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙のサイズ）

はがきに印刷する

はがき印刷の手順を説明します。

1. プリンターにはがきをセット

2. プリンタードライバーの設定画面を開く

3. よく使う設定を選択

   ［クイック設定］シートの［よく使う設定］で［標準印刷］を選びます。

4. 用紙の種類を選択

   ［用紙の種類］で、［インクジェットはがき(あて名面)］、［インクジェットはがき(通信面)］、［インクジェット写真用はがき(あて名面)］、［インクジェット写真用はがき(通信面)］、［はがき(あて名面)］、または［はがき］を選びます。

   重要

   - 写真付きはがきやステッカーが貼ってあるはがきには印刷できません。
   - 自動両面印刷機能を使用して、はがきに印刷するときは、あて名面を印刷したあとに通信面を印刷してください。
   - はがきの両面に 1 面ずつ印刷するときは、きれいに印刷するために、通信面を印刷したあとにあて名面を印刷することをお勧めします。
   - あて名面を印刷する場合と、通信面を印刷する場合では、プリンタードライバーでの用紙設定が異なります。
     現在のプリンター本体の設定を確認したり、プリンター本体の設定をプリンタードライバーに反映したい場合は、［クイック設定］シートから［プリンター用紙情報...］をクリックし、表示されたダイアログで設定を行ってください。
     プリンタードライバーやプリンター本体で登録する用紙情報については、以下を参照してください。
     - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙の種類）
     - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙のサイズ）
   - 自動両面印刷機能を使用する場合は、先に印刷する面の用紙情報を登録してください。

5. 用紙サイズを選択

   ［出力用紙サイズ］で［はがき］、または［往復はがき］を選びます。

   重要

   - 往復はがきは、パソコンからの印刷にのみ使用できます。
   - 往復はがきに印刷するときは、お使いのアプリケーションソフトおよびプリンタードライバーで用紙サイズをかならず［往復はがき］に設定してください。
   - 往復はがきは折り曲げないでください。折り目が付くと、正しく給紙できず印字ずれや紙づまりの原因になります。
   - 往復はがきに自動両面印刷、フチなし全面印刷はできません。

6. 印刷の向きを設定

   あて名を横書きで印刷する場合は、［印刷の向き］で［横］を選びます。

7. 印刷品質を選択

［印刷品質］で、［きれい］、［標準］の中から目的に合ったものを選びます。

8. ［OK］をクリック

印刷を実行すると、はがきに印刷されます。

重要

- はがき印刷を実行すると、ガイドメッセージが表示されます。
  このガイドメッセージは、［今後、このメッセージを表示しない］にチェックマークを付けると、表示されなくなります。
  ガイドを再び表示するには、［ユーティリティ］シートの［プリンター状態の確認］をクリックし、Canon IJ ステータスモニタを起動します。
  ［オプション］メニューの［ガイドメッセージを表示］から［はがき印刷］をクリックして、設定を有効にしてください。
- はがき以外の用紙に印刷する場合は、その用紙の使用方法に従ってセットし、［印刷開始］をクリックしてください。

印刷品質を設定する（ユーザー設定）

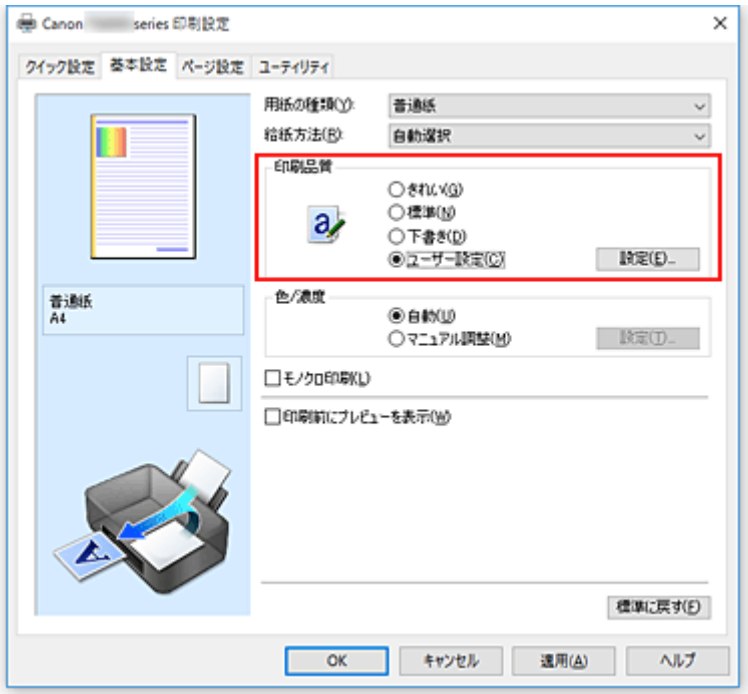
［ユーザー設定］で、印刷品質のレベルを設定することができます。

印刷品質のレベルを設定する手順を説明します。

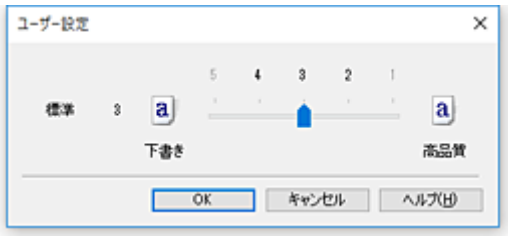
1. プリンタードライバーの設定画面を開く

2. 印刷品質を選択

   ［基本設定］シートの［印刷品質］で［ユーザー設定］を選び、［設定...］をクリックします。



   ［ユーザー設定］ダイアログボックスが表示されます。



3. 印刷品質のレベルを設定

   スライドバーをドラッグし、印刷品質のレベルを選び、［OK］をクリックします。

4. 設定を完了

   ［基本設定］シートの［OK］をクリックします。
   印刷を実行すると、選んだ印刷品質のレベルで印刷されます。

重要

- ［用紙の種類］で選んでいる用紙によっては、選べない印刷品質のレベルがあります。

関連項目

- 色補正の方法を指定する

- カラーバランスを調整する
- 明るさを調整する
- 濃度を調整する
- コントラストを調整する

プリンタードライバーの概要

- Canon IJ プリンタードライバー
- プリンタードライバーの設定画面の開きかた
- Canon IJ ステータスモニタ
- パソコンでインクの状態を確認する
- Canon IJ プレビュー
- 不要になった印刷ジョブを削除する
- 使用上の注意（プリンタードライバー）

Canon IJ プリンタードライバー

Canon IJ プリンタードライバー（以下、プリンタードライバーといいます。）は、プリンターで印刷を行うためにパソコンにインストールするソフトウェアです。

プリンタードライバーは、アプリケーションソフトが作成した印刷データを、プリンターが認識できるデータ形式に変換してプリンターに送ります。

印刷できるデータの形式はプリンターによって違うため、使用するプリンターに対応するプリンタードライバーが必要になります。

プリンタードライバーの種類

Windows Vista SP1 以降では、通常のプリンタードライバーに加えて、XPS プリンタードライバーをインストールすることができます。
XPS プリンタードライバーは、XPS 印刷をサポートするアプリケーションソフトからの印刷に適しています。

重要

- XPS プリンタードライバーを使用するには、通常のプリンタードライバーがインストールされている必要があります。
- 「キヤノンピクサスかんたん印刷」は、XPS プリンタードライバーでは使用できません。

プリンタードライバーをインストールする

- 通常のプリンタードライバーをインストールする場合は、プリンターに付属のセットアップ CD-ROM の［セットアップからやり直す］からインストールしてください。
- XPS プリンタードライバーをインストールする場合は、プリンターに付属のセットアップ CD-ROM の［ソフトウェアを追加する］から［XPS ドライバー］を選んでインストールしてください。

プリンタードライバーを指定する

プリンタードライバーを指定するには、お使いのアプリケーションソフトの［印刷］ダイアログボックスを開き、通常のプリンタードライバーを指定する場合は「Canon XXX」（「XXX」は機種名）を、XPS プリンタードライバーを指定する場合は「Canon XXX XPS」（「XXX」は機種名）を選んでください。

プリンタードライバーからマニュアルを表示する

プリンタードライバーの設定画面から、各シートにある［ヘルプ］をクリックすると、シートの説明が表示されます。

関連項目

- プリンタードライバーの設定画面の開きかた

プリンタードライバーの設定画面の開きかた

プリンタードライバーの設定画面は、お使いのアプリケーションソフトまたはプリンターのアイコンから表示できます。

プリンタードライバーの設定画面をアプリケーションソフトから開く

印刷時に印刷設定を行う場合、この方法を使います。

1. アプリケーションソフトで印刷を実行するコマンドを選択

   一般的に、［ファイル］メニューから［印刷］を選ぶと、［印刷］ダイアログボックスを開くことができます。

2. 「お使いの機種名」を選び、［詳細設定］（または［プロパティ］）をクリック

   プリンタードライバーの設定画面が表示されます。

   参考

   - 使用しているアプリケーションソフトによっては、コマンド名やメニュー名が異なったり、手順が多くなったりする場合があります。詳しい操作方法については、お使いのアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

プリンタードライバーの設定画面をプリンターのアイコンから開く

プリントヘッドのクリーニングなど、プリンターのメンテナンス操作を行う場合や、すべてのアプリケーションソフトに共通する印刷設定を行う場合、この方法を使います。

1. 以下のように選択

   - Windows 10、Windows 8.1、または Windows 8 をご使用の場合は、［コントロールパネル］→［ハードウェアとサウンド］→［デバイスとプリンター］を選びます。
   - Windows 7 をご使用の場合は、［スタート］メニューから［デバイスとプリンター］を選びます。
   - Windows Vista をご使用の場合は、［コントロール パネル］→［ハードウェアとサウンド］→［プリンタ］を選びます。

2. 「お使いの機種名」アイコンを右クリックし、表示されたメニューから［印刷設定］を選択

   プリンタードライバーの設定画面が表示されます。

   重要

   - プリンタードライバーの設定画面を［プリンターのプロパティ］（Windows 10、Windows 8.1、Windows 8、Windows 7）、または［プロパティ］（Windows Vista）から開くと、［ポート］（または［詳細設定］）シートなど、Windows の機能に関するシートが表示されます。それらのシートは、［印刷設定］やアプリケーションソフトから開いたときには表示されません。Windows の機能に関するシートについては、Windows の取扱説明書を参照してください。

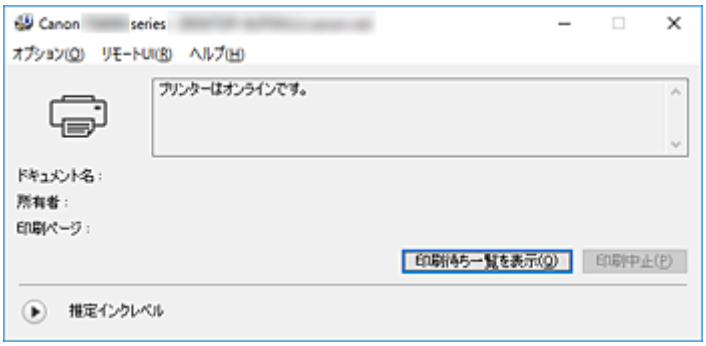
パソコンでインクの状態を確認する

インクの残量や、お使いの機種に合ったインクタンクの名称などを確認できます。

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

2. Canon IJ ステータスモニタの起動

   ［ユーティリティ］シートの［プリンター状態の確認］をクリックします。
   Canon IJ ステータスモニタが起動し、インクの状態がイラストで表示されます。



3. ［推定インクレベル］を表示

   ［推定インクレベル］の（開閉用三角ボタン）をクリックするとインクの状態がイラストで表示されます。

使用上の注意（プリンタードライバー）

このプリンタードライバーの使用および印刷に際しては、以下のような制限事項があります。使用にあたっては、あらかじめこれらの点に注意してください。

プリンタードライバーの制限事項

- 印刷する原稿によっては、プリンタードライバーで設定した給紙方法が正しく動作しないことがあります。
  この場合、アプリケーションソフトの［印刷］ダイアログボックスからプリンタードライバーの設定画面を開き、［基本設定］シートの［給紙方法］で設定を確認してください。
- 一部のアプリケーションソフトでは、プリンタードライバーで設定した［ページ設定］シートの［部数］が正しく機能しないことがあります。
  この場合、アプリケーションソフトの［印刷］ダイアログボックスで部数を設定してください。
- ［ユーティリティ］シートの［バージョン情報］ダイアログボックスの［言語］で OS 言語と異なる言語を選ぶと、プリンタードライバーの設定画面が正しく表示されないことがあります。
- プリンターのプロパティで［詳細設定］シートの項目を変更しないでください。変更すると、以下の機能が正しく使用できなくなります。
  また、アプリケーションソフトの［印刷］ダイアログボックスで［ファイルへ出力］を選んだ場合や、Adobe Photoshop LE、MS Photo Editor など EMF スプールを禁止する一部のアプリケーションソフトでは、以下の機能は働きません。
  - ［基本設定］シートの［印刷前にプレビューを表示］
  - ［ページ設定］シートの［印刷オプション］ダイアログボックスの［印刷データの欠落防止］
  - ［ページ設定］シートの［割り付け］、［分割/ポスター］、［冊子］、［両面印刷］、［とじしろ指定...］、［最終ページから印刷］、［部単位で印刷］、［スタンプ/背景...］（［スタンプ...］）
  - ［マニュアル色調整］ダイアログボックスの［色調整］シートの［色調整用のパターンを印刷する］
- プレビュー表示時の解像度は、印刷時の解像度と異なるため、プレビュー上の文章や細線などの表示が印刷結果と異なる場合があります。
- 一部のアプリケーションソフトでは、印刷が複数の印刷ジョブに分割される場合があります。
  印刷を中止する場合は、分割されたすべての印刷ジョブを削除してください。
- 画像などが正常に印刷されない場合は、［ページ設定］シートの［印刷オプション］ダイアログボックスで［アプリケーションソフトが要求した ICM を無効にする］の設定を変更すると、回避できることがあります。

  参考

  - XPS プリンタードライバーをお使いの場合は、［アプリケーションソフトが要求した ICM を無効にする］は使用できません。

- プリンターのカードスロットにアクセスができなくなることがあります。その場合は、プリンターの電源を入れ直すか、プリンターの電源を切ってから、USB ケーブルを抜き差ししてください。

ご使用の際に制限のあるアプリケーションソフトについて

- Microsoft Word（マイクロソフト株式会社）では以下の制限があります。
  - プリンタードライバーと同じ印刷機能がある場合は、プリンタードライバーでは設定せずに Word で設定してください。
  - プリンタードライバーから［ページ設定］シートの［ページレイアウト］で［フィットページ］、［拡大/縮小］、［割り付け］を使用する場合、 Word のバージョンによっては、正常に印刷されないことがあります。

- Word で［用紙サイズ］を「XXX (拡大縮小)」に設定している場合、Word のバージョンによっては正常に印刷されないことがあります。
  この場合は、以下の操作を行ってください。
  1. Word の［印刷］ダイアログボックスを開きます。
  2. プリンタードライバーの設定画面を開き、［ページ設定］シートの［用紙サイズ］に Word で指定した用紙サイズと同じものを選びます。
  3. 希望する［ページレイアウト］を設定し、［OK］をクリックして閉じます。
  4. 印刷を実行しないで、いったん［印刷］ダイアログボックスを閉じます。
  5. もう一度、Word の［印刷］ダイアログボックスを開きます。
  6. プリンタードライバーの設定画面を開き、［OK］をクリックして閉じます。
  7. 印刷を実行します。

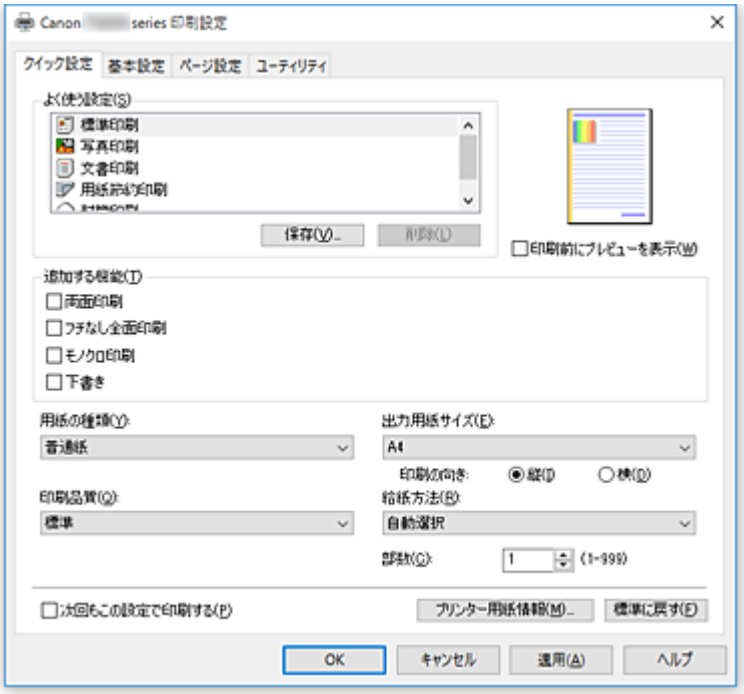
- Adobe Illustrator（アドビ システムズ株式会社）では、ビットマッププリントを有効にしていると、印刷に時間がかかったり、データの一部が印刷されなかったりすることがあります。［プリント］ダイアログボックスの［ビットマッププリント］のチェックマークを外してから印刷してください。

プリンタードライバーの画面説明

- ［クイック設定］シートの画面説明
- ［基本設定］シートの画面説明
- ［ページ設定］シートの画面説明
- ［ユーティリティ］シートの画面説明
- Canon IJ プレビューの画面説明
- Canon IJ ステータスモニタの画面説明

［クイック設定］シートの画面説明

［クイック設定］シートには、一般的に使う印刷設定が登録されています。登録された設定を選ぶと、あらかじめ設定された内容に自動的に切り替わります。



［よく使う設定］

一般的によく使う印刷設定の名称とアイコンが登録してあります。目的に応じて印刷設定を選ぶと、それに合った設定が適用されます。

また、選んだ印刷設定に対して便利な機能が［追加する機能］に表示されます。

印刷設定を変更し、名称を付けて登録することもできます。登録した印刷設定は削除できます。

各設定をドラッグするか、Ctrl キーを押したまま上矢印キーまたは下矢印キーを押すと、並び替えることができます。

［標準印刷］

工場出荷時の設定です。

アプリケーションソフトから［用紙サイズ］、［印刷の向き］、［部数］の設定を行っている場合は、その設定が優先されます。

［写真印刷］

写真を印刷するときに選ぶと、一般的に使用される写真用紙と写真サイズが設定されます。［フチなし全面印刷］にチェックマークが付きます。

アプリケーションソフトから［印刷の向き］や［部数］の設定を行っている場合は、その設定が優先されます。

［文書印刷］

一般的な文書を印刷するときに選びます。

アプリケーションソフトから［用紙サイズ］、［印刷の向き］、［部数］の設定を行っている場合は、その設定が優先されます。

［用紙節約印刷］

一般的な文書を、用紙を節約して印刷するときに選びます。［2 in 1 印刷］、［両面印刷］にチェックマークが付きます。

アプリケーションソフトから［用紙サイズ］、［印刷の向き］、［部数］の設定を行っている場合は、その設定が優先されます。

[封筒印刷]

封筒印刷するときに選ぶと、自動的に［用紙の種類］が［封筒］に設定されます。［封筒サイズの設定］ダイアログボックスで、使用する封筒のサイズを選んでください。

参考

- 保存するときに選んでいた印刷設定で表示される［追加する機能］の組み合わせが、追加した印刷設定を選んだときにも表示されます。

[保存...]

［よく使う設定の保存］ダイアログボックスを表示します。
［クイック設定］シート、［基本設定］シート、および［ページ設定］シートで設定した内容を［よく使う設定］に保存したいときにクリックしてください。

[削除]

登録されている印刷設定を削除します。
［よく使う設定］から削除したい設定の名称を選び、［削除］をクリックすると確認のメッセージが表示されます。［OK］をクリックすると、指定した印刷設定は削除されます。

参考

- 初期設定で登録されている印刷設定は削除できません。

設定ビュー

用紙のイラストは、原稿が用紙にどのようにレイアウトされるかを表示しています。
全体のレイアウトをおおまかなイメージで確認することができます。

[印刷前にプレビューを表示]

印刷を実行する前に、どのような印刷結果になるかを表示します。
印刷前にプレビューを表示するときは、チェックマークを付けてください。
プレビューを表示しないときは、チェックマークを外してください。

重要

- Canon IJ XPS プレビューを使用するためには、お使いのパソコンに Microsoft .NET Framework 4.5.2 以上がインストールされている必要があります。

[追加する機能]

［クイック設定］シートの［よく使う設定］で選んだ印刷設定に応じて、よく使われる便利な機能を表示します。
変更可能な機能にマウスポインターを近づけると、機能の説明が表示されます。
各機能を有効にする場合はチェックマークを付けてください。
機能によっては、［基本設定］シート、［ページ設定］シートから詳細な設定を行うことができます。

重要

- 印刷設定によっては、グレー表示となり変更できない機能があります。

[2 in 1 印刷]

1 枚の用紙に 2 ページの原稿を並べて印刷します。
ページ順序を変更する場合は、［ページ設定］シートの［ページレイアウト］で［割り付け］を選び、［詳細設定...］をクリックします。表示される［割り付け印刷］ダイアログボックスで［ページ順序］を指定してください。

[4 in 1 印刷]

1 枚の用紙に 4 ページの原稿を並べて印刷します。
ページ順序を変更する場合は、［ページ設定］シートの［ページレイアウト］で［割り付け］を選び、［詳細設定...］をクリックします。表示される［割り付け印刷］ダイアログボックスで［ページ順序］を指定してください。

［両面印刷］

用紙の両面に印刷するか、片面に印刷するかを選びます。

とじ方向やとじしろを変更する場合は、［ページ設定］シートから設定してください。

［フチなし全面印刷］

用紙に余白部分のないフチなし全面印刷を行います。

フチなし全面印刷では、用紙からわずかにはみ出す大きさに原稿が拡大されます。そのため、余白部分（フチ）ができない印刷が可能になります。

用紙からはみ出す原稿の量を調整する場合は、［ページ設定］シートで［フチなし全面］を選び、［はみ出し量］から設定してください。

［モノクロ印刷］

印刷時に原稿をモノクロのデータに変換して印刷する機能です。

［下書き］

試し印刷に適しています。

［180 度回転］

用紙の紙送りに対して、原稿を 180 度回転させて印刷します。

アプリケーションソフトで設定した印刷領域の幅とはみ出し量の上下、左右がそれぞれ逆になります。

［色/濃度のマニュアル調整］

［色補正］の方法を選んだり、［シアン］、［マゼンタ］、［イエロー］、［モノクロ色調］、［明るさ］、［濃度］、［コントラスト］などを個別に設定したりするときに選びます。

［用紙の種類］

印刷に使用する用紙の種類を選びます。

実際にプリンターにセットしているものと一致させるようにしてください。その用紙の材質に合った印刷ができるようになります。

［出力用紙サイズ］

実際にプリンターにセットしている用紙サイズを選びます。

通常は出力用紙サイズの設定に合わせて用紙サイズが自動的に設定され、等倍で印刷されます。

［追加する機能］の［2 in 1 印刷］、［4 in 1 印刷］を設定した場合、［ページ設定］シートの［用紙サイズ］で原稿のサイズを個別に設定することができます。

［用紙サイズ］より小さいサイズを選ぶと用紙に合わせて原稿を縮小して印刷し、大きいサイズを選ぶと拡大して印刷します。

また、［ユーザー定義用紙...］を選ぶと［ユーザー定義用紙］ダイアログボックスが表示され、用紙の縦、横のサイズを任意に指定することができます。

［印刷の向き］

用紙に対する印刷方向を選びます。

原稿を作成したアプリケーションソフトに同様の機能がある場合は、アプリケーションソフトと同じものを選んでください。

［縦］

紙送りに対して、原稿の上下が変わらないように印刷します。通常はこの設定になっています。

［横］

紙送りに対して、原稿を 90 度回転させて印刷します。

回転方向は、［ユーティリティ］シートの［特殊設定］ダイアログボックスの［印刷の向き[横]の回転方向を左 90 度にする］で変更することができます。

左 90 度に回転させて印刷するときは、［印刷の向き[横]の回転方向を左 90 度にする］のチェックマークを付けてください。

[印刷品質]

目的に合った印刷の品質を選びます。

いずれかを選ぶと、目的にふさわしい印刷品質のレベルが設定されます。

印刷品質のレベルを個別に設定するときは、[基本設定] シートの [印刷品質] で [ユーザー設定] を選びます。[設定...] が有効になり、[ユーザー設定] ダイアログボックスを開いて、設定ができるようになります。

[きれい]

印刷のスピードよりも品位を優先して印刷します。

[標準]

標準的なスピードと品位で印刷します。

[下書き]

試し印刷に適しています。

[給紙方法]

用紙の給紙方法を選びます。

[自動選択]

プリンタードライバーで設定した用紙設定と、プリンター本体で登録した用紙情報に応じて、使用する給紙方法を自動的に判断して給紙を行います。

[後トレイ]

常に後トレイから給紙を行います。

[カセット]

常にカセットから給紙を行います。

重要

- 用紙の種類やサイズによって、選べる [給紙方法] が異なります。

[部数]

印刷する部数を指定します。1～999 部まで指定可能です。

重要

- 原稿を作成したアプリケーションソフトに同様の機能がある場合は、プリンタードライバーで設定を行ってください。印刷結果が思わしくない場合は、アプリケーションソフトで設定を行ってください。

[次回もこの設定で印刷する]

現在の設定で次回以降も印刷を行います。

この機能にチェックマークを付けてからプリンタードライバーの設定画面を閉じると、[クイック設定] シート、[基本設定] シート、および [ページ設定] シートで設定した内容が保存され、同じ設定で次回以降も印刷できます。

重要

- 別のユーザー名でログオンした場合は、この機能にチェックマークを付けたときの設定は反映されません。
- アプリケーションソフトで設定を行っている場合は、その設定が優先されます。

[プリンター用紙情報...]

[プリンター用紙情報] ダイアログボックスを表示します。

プリンター本体の設定を確認したり、確認した設定をプリンタードライバーに反映することができます。

［標準に戻す］

変更した設定を、標準の設定に戻します。
クリックすると、［クイック設定］シート、［基本設定］シート、［ページ設定］シートのすべての設定は、標準の設定（工場出荷時の設定）に戻ります。

［よく使う設定の保存］ダイアログボックス

［クイック設定］シート、［基本設定］シート、［ページ設定］シートで設定した内容を保存して、［クイック設定］シートの［よく使う設定］に追加します。

［名称］

登録する印刷設定の名称を入力します。
半角、全角ともに 255 文字まで入力できます。
入力した名称はアイコンとともに、［クイック設定］シートの［よく使う設定］に表示されます。

［オプション...］

［よく使う設定の保存］ダイアログボックスを表示します。
保存する印刷設定の詳細を変更します。

［よく使う設定の保存］ダイアログボックス

［よく使う設定］に登録する印刷設定のアイコンを選んだり、印刷設定に保存する項目を変更したりします。

［アイコン］

登録する印刷設定のアイコンを選びます。
選んだアイコンは名称とともに、［クイック設定］シートの［よく使う設定］に表示されます。

［用紙サイズを保存する］

［よく使う設定］の印刷設定に用紙サイズを保存します。
印刷設定を選んだとき、保存された用紙サイズを適用したい場合はチェックマークを付けます。
チェックマークを外すと、用紙サイズは保存されないため、印刷設定を選んだときに用紙サイズの設定は適用されません。アプリケーションソフトで指定した用紙サイズで印刷します。

［印刷の向きを保存する］

［よく使う設定］の印刷設定に［印刷の向き］を保存します。
印刷設定を選んだとき、保存された印刷の向きを適用したい場合はチェックマークを付けます。
チェックマークを外すと、印刷の向きは保存されないため、印刷設定を選んだときに［印刷の向き］の設定は適用されません。アプリケーションソフトで選んだ印刷の向きで印刷します。

［部数を保存する］

［よく使う設定］の印刷設定に［部数］を保存します。
印刷設定を選んだとき、保存された部数を適用したい場合はチェックマークを付けます。
チェックマークを外すと、部数は保存されないため、印刷設定を選んだときに［部数］の設定は適用されません。アプリケーションソフトで設定した部数で印刷します。

［ユーザー定義用紙］ダイアログボックス

使用する用紙の横の幅と縦の長さを入力します。

［単位］

ユーザー定義用紙のサイズを入力する単位を選びます。

［用紙サイズ］

用紙の［幅］と［長さ］を指定します。単位は［単位］で選ばれた状態で表示されます。

［プリンター用紙情報］ダイアログボックス

プリンター本体の設定を確認したり、確認した設定をプリンタードライバーに反映します。

［給紙方法］

設定を確認、または変更したい給紙方法を選びます。

［用紙の種類］

現在、プリンター本体で設定している［用紙の種類］が表示されます。
［設定］をクリックすると、表示された設定がプリンタードライバーに反映されます。

［出力用紙サイズ］

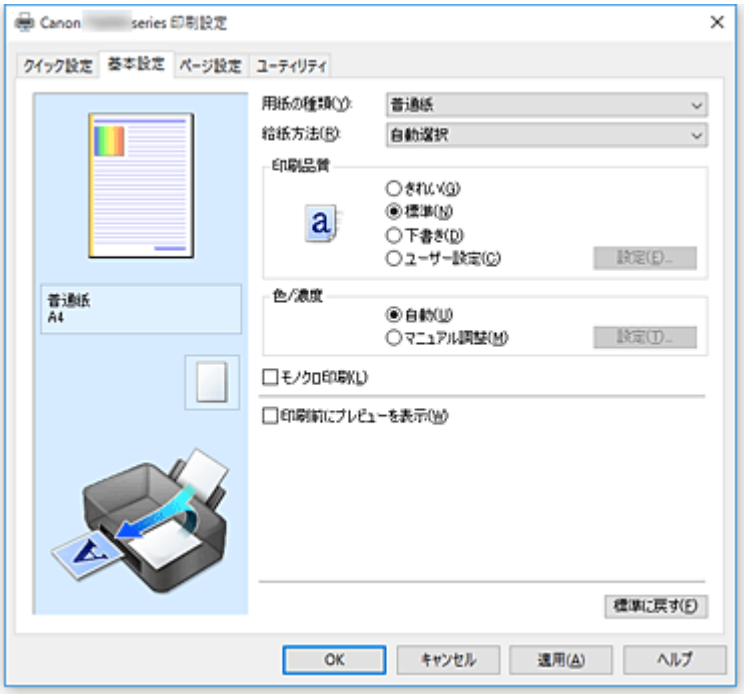
現在、プリンター本体で設定している［出力用紙サイズ］が表示されます。
［設定］をクリックすると、表示された設定がプリンタードライバーに反映されます。

関連項目

- かんたんな設定で印刷を行う
- 用紙サイズと印刷の向きを設定する
- 部数と印刷順序を設定する
- フチなし全面印刷を行う
- 両面印刷を行う
- 封筒に印刷する
- はがきに印刷する
- 目的に合わせて給紙方法を切り替える
- 印刷前に印刷結果を表示する
- 用紙の縦横サイズを設定する（ユーザー定義用紙）
- カラーの原稿をモノクロで印刷する
- 色補正の方法を指定する
- カラーバランスを調整する
- パターンを見て、カラーバランスを調整する（プリンタードライバー）
- 明るさを調整する
- 濃度を調整する
- コントラストを調整する
- パターンを見て、濃度/コントラストを調整する（プリンタードライバー）
- よく使う印刷設定を登録する

［基本設定］シートの画面説明

［基本設定］シートでは、プリンターにセットしている用紙の種類に合わせて、基本的な印刷設定を行います。特殊な印刷をしない限り、このシートの項目だけ設定すれば、通常の印刷を行うことができます。



設定ビュー

用紙のイラストは、原稿が用紙にどのようにレイアウトされるかを表示しています。
全体のレイアウトをおおまかなイメージで確認することができます。
プリンターのイラストは、プリンタードライバーの設定に合った用紙のセット方法を表示しています。
印刷を開始する前に、プリンターにセットした用紙がイラストと合っていることを確認してください。

［用紙の種類］

印刷に使用する用紙の種類を選びます。
実際にプリンターにセットしているものと一致させるようにしてください。その用紙の材質に合った印刷ができるようになります。

［給紙方法］

用紙の給紙方法を表示しています。
プリンタードライバーで給紙方法を切り替えることができます。

［自動選択］

プリンタードライバーで設定した用紙設定と、プリンター本体で登録した用紙情報に応じて、使用する給紙方法を自動的に判断して給紙を行います。

［後トレイ］

常に後トレイから給紙を行います。

［カセット］

常にカセットから給紙を行います。

重要

- 用紙の種類やサイズによって、選べる［給紙方法］が異なります。

［印刷品質］

目的に合った印刷の品質を選びます。
いずれかを選ぶと、目的にふさわしい印刷品質のレベルが設定されます。

重要

- ［用紙の種類］の設定によっては、［印刷品質］を変更しても同じ印刷結果になることがあります。

［きれい］

印刷のスピードよりも品位を優先して印刷します。

［標準］

標準的なスピードと品位で印刷します。

［下書き］

試し印刷に適しています。

［ユーザー設定］

印刷品質のレベルを個別に設定するときに選びます。

［設定...］

［印刷品質］で［ユーザー設定］を選ぶと、クリックできるようになります。
［ユーザー設定］ダイアログボックスを開いて、印刷品質のレベルを個別に設定することができます。

［色/濃度］

色の調整のしかたを選びます。

［自動］

［シアン］、［マゼンタ］、［イエロー］、［明るさ］、［濃度］、［コントラスト］などを自動的に調整します。

［マニュアル調整］

［シアン］、［マゼンタ］、［イエロー］、［モノクロ色調］、［明るさ］、［濃度］、［コントラスト］などを個別に設定したり、［色補正］の方法を選んだりするときに選びます。

［設定...］

［色/濃度］で［マニュアル調整］を選ぶと、クリックできるようになります。
［マニュアル色調整］ダイアログボックスの［色調整］シートで［シアン］、［マゼンタ］、［イエロー］、［モノクロ色調］、［明るさ］、［濃度］、［コントラスト］などの色に関する設定を個別に調整したり、［マッチング］シートで［色補正］の方法を選んだりすることができます。

参考

- ICC プロファイルを利用して色の補正をしたい場合は、［マニュアル色調整］ダイアログボックスで設定できます。

［モノクロ印刷］

印刷時に原稿をモノクロのデータに変換して印刷する機能です。
カラーの原稿をモノクロで印刷するときは、チェックマークを付けてください。

［印刷前にプレビューを表示］

印刷を実行する前に、どのような印刷結果になるかを表示します。
印刷前にプレビューを表示するときは、チェックマークを付けてください。

重要

- Canon IJ XPS プレビューを使用するためには、お使いのパソコンに Microsoft .NET Framework 4.5.2 以上がインストールされている必要があります。

［標準に戻す］

変更した設定を、標準の設定に戻します。
クリックすると、この画面のすべての設定は、標準の設定（工場出荷時の設定）に戻ります。

［ユーザー設定］ダイアログボックス

品位を設定して、好みの印刷品質を選びます。

品位

スライドバーを使用して印刷の品位レベルを調整できます。

重要

- ［用紙の種類］で選んでいる用紙によっては、選べない印刷品質のレベルがあります。

参考

- スライドバーに連動して［きれい］、［標準］、［下書き］の品位と数値が左に表示されます。これは、［基本設定］シートの［印刷品質］で該当するラジオボタンを選んだ場合と同じであることを示しています。

［色調整］シート

印刷の色合いを決定する［シアン］、［マゼンタ］、［イエロー］、［モノクロ色調］、［明るさ］、［濃度］、［コントラスト］などの設定を変更して、好みの色に調整します。

プレビュー画像

現在の色調整の状態を表示します。
各項目を調整すると、色や明るさが変わります。

参考

- ［モノクロ印刷］にチェックマークが付いているときは、モノクロで表示されます。

［カラーパターン表示］

色調整による色の変化量が確認できるパターンを表示します。
プレビュー画像をカラーパターンで表示するときは、チェックマークを付けてください。

［シアン］、［マゼンタ］、［イエロー］

［シアン］、［マゼンタ］、［イエロー］の強弱を調整します。
スライドバーを右にドラッグするほど強く、左にドラッグするほど弱くなります。
スライドバーに連動した数値を直接入力することもできます。入力する数値は-50～50 の範囲で設定してください。
調整を行うと、各色のインク量のバランスが変わるため、原稿全体の色相が変わります。大きく色相を変えたい場合は、アプリケーションソフトで行い、プリンタードライバーでは微調整にとどめてください。

重要

- ［基本設定］シートの［モノクロ印刷］にチェックマークが付いているとき、［シアン］、［マゼンタ］、［イエロー］はグレー表示となり設定できません。

［モノクロ色調］

モノクロ印刷時の色調を設定します。
スライドバーを右にドラッグするほど暖色系の色合い（温黒）に、左にドラッグするほど寒色系の色合い（冷黒）になります。
スライドバーに連動した数値を直接入力することもできます。入力する数値は-50～50 の範囲で設定してください。

重要

- ［用紙の種類］の設定によっては、使用できない場合があります。

[明るさ]

印刷結果の明るさを選びます。
完全な白と黒は変化せず、その中間の色の明るさが変わります。

[濃度]

印刷の濃度を調整します。
スライドバーを右にドラッグするほど濃く、左にドラッグするほど薄くなります。
スライドバーに連動した数値を直接入力することもできます。入力する数値は-50～50 の範囲で設定してください。

[コントラスト]

印刷する画像の明暗の差を調整します。
スライドバーを右にドラッグするほど明暗の差が大きく、左にドラッグするほど明暗の差が小さくなります。
スライドバーに連動した数値を直接入力することもできます。入力する数値は-50～50 の範囲で設定してください。

[色調整用のパターンを印刷する]

パターン印刷とは、原稿のカラーバランスや濃度/コントラストを変更した場合の調整結果を、調整値と合わせて一覧に印刷する機能です。
色調整用のパターンを印刷するときはチェックマークを付けてください。

[パターン印刷の設定...]

[色調整用のパターンを印刷する] にチェックマークを付けると、クリックできるようになります。
[パターン印刷] ダイアログボックスを表示し、パターン印刷に関する設定ができます。

[パターン印刷] ダイアログボックス

原稿のカラーバランスや濃度/コントラストを確認できるパターンを印刷するための設定を行います。

[調整項目]

パターン印刷で確認したい項目を選びます。

[シアン/マゼンタ/イエロー]

シアン/マゼンタ/イエローのバランスを確認できるパターンを印刷します。

重要

- [基本設定] シートの [モノクロ印刷] にチェックマークが付いているとき、[シアン/マゼンタ/イエロー] はグレー表示となり設定できません。

[濃度/コントラスト]

濃度/コントラストを確認できるパターンを印刷します。

[出力用紙サイズ]

パターン印刷に使用する用紙のサイズを選びます。
[ページ設定] シートの [出力用紙サイズ] と連動しています。

参考

- [ページ設定] シートで選んだ用紙サイズによっては選べないサイズがあります。

[パターンの数]

印刷するパターンの数を設定します。
[多い]、[やや多い]、[少ない] から選べます。各パターンサイズを選んだ場合に印刷されるパターン数は、以下のとおりです。

参考

- [多い]、[やや多い] は、選んでいる用紙サイズ、出力用紙サイズによっては選べません。

- ［基本設定］シートの設定ビューにレイアウトを表示しています。全体のレイアウトをおおまかなイメージで確認することができます。

［多い］

［シアン/マゼンタ/イエロー］ 37
［濃度/コントラスト］ 49

［やや多い］

［シアン/マゼンタ/イエロー］ 19
［濃度/コントラスト］ 25

［少ない］

［シアン/マゼンタ/イエロー］ 7
［濃度/コントラスト］ 9

［パターン間の色の変化量］

隣接するパターン間の色の変化量を設定します。
［大］、［中］、［小］から選べます。［大］は変化量が大きく、［小］は変化量が小さくなります。

参考

- ［大］は［中］の 2 倍程度、［小］は［中］の 1/2 程度の変化量の幅があります。

［マッチング］シート

印刷する原稿の種類に合った色の補正方法を選びます。

［色補正］

［ドライバー補正］、［ICM］（［ICC プロファイル補正］）、［なし］の中から目的に合ったものを選びます。

重要

- ［基本設定］シートの［モノクロ印刷］にチェックマークが付いているとき、［色補正］はグレー表示となり設定できません。

［ドライバー補正］

sRGB データを、キヤノンデジタルフォトカラーにより、人が好ましいと感じる色合いで印刷します。

［ICM］（［ICC プロファイル補正］）

印刷時に ICC プロファイルを利用して色の補正を行います。

重要

- アプリケーションソフトで ICM を使用しない設定にしている場合、［色補正］の［ICM］（［ICC プロファイル補正］）は機能しません。また、正常に印刷できないことがあります。

［なし］

プリンタードライバーで色の補正を行いません。

［マッチング方法］

［色補正］で［ICM］（［ICC プロファイル補正］）を選んだときに使用するマッチング方法を指定します。

［彩度］

［知覚的］に比べ、より鮮やかに画像を再現します。

［知覚的］

人が好ましいと感じる色合いを重視した画像を再現します。写真を印刷したい場合に選びます。

［相対的な色域を維持］

画像データをプリンターの色空間に変換したときに、共通の色域で色再現が近似するように画像データを変換します。画像データが本来持っている色に近づけて印刷したい場合に選びます。
白点の再現は用紙の白点（地色）になります。

［絶対的な色域を維持］

入力と出力の ICC プロファイル中の白点の定義を利用して、画像データを変換します。
白点の色やカラーバランスは変化しますが、プロファイルの組み合わせによっては希望する出力結果が得られない場合があります。

重要

- 用紙の種類によっては、［マッチング方法］を変更しても同じ印刷結果になることがあります。

参考

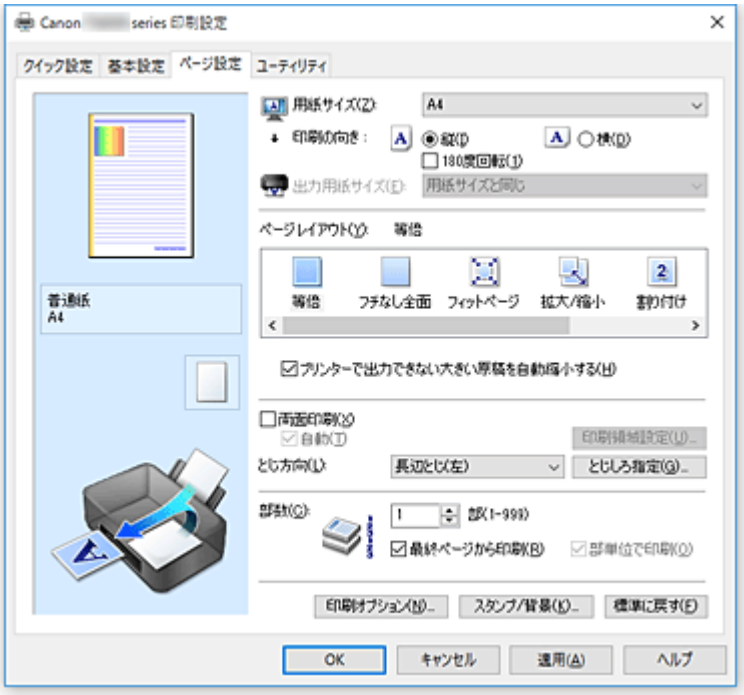
- ［ICM］は、XPS プリンタードライバーでは［ICC プロファイル補正］となります。

関連項目

- 印刷品質を設定する（ユーザー設定）
- カラーバランスを調整する
- 明るさを調整する
- 濃度を調整する
- コントラストを調整する
- パターンを見て、カラーバランスを調整する（プリンタードライバー）
- パターンを見て、濃度/コントラストを調整する（プリンタードライバー）
- 色補正の方法を指定する
- プリンタードライバーで色の補正を行う
- ICC プロファイルを使用して印刷する
- カラーの原稿をモノクロで印刷する
- 印刷前に印刷結果を表示する

［ページ設定］シートの画面説明

［ページ設定］シートでは、原稿を用紙にどのように配置するかを設定します。また印刷する部数や順序の設定もできます。原稿を作成したアプリケーションソフトに同様の機能がある場合は、アプリケーションソフトで指定してください。



設定ビュー

用紙のイラストは、原稿が用紙にどのようにレイアウトされるかを表示しています。
全体のレイアウトをおおまかなイメージで確認することができます。
プリンターのイラストは、プリンタードライバーの設定に合った用紙のセット方法を表示しています。
印刷を開始する前に、プリンターにセットした用紙がイラストと合っていることを確認してください。

［用紙サイズ］

用紙サイズを選びます。
アプリケーションソフトで指定した用紙サイズと同じものを選んでください。
［ユーザー定義用紙...］を選ぶと［ユーザー定義用紙］ダイアログボックスが表示され、用紙の縦、横のサイズを任意に指定することができます。

［印刷の向き］

用紙に対する印刷方向を選びます。
原稿を作成したアプリケーションソフトに同様の機能がある場合は、アプリケーションソフトと同じものを選んでください。

［縦］

紙送りに対して、原稿の上下が変わらないように印刷します。通常はこの設定になっています。

［横］

紙送りに対して、原稿を 90 度回転させて印刷します。
回転方向は、［ユーティリティ］シートの［特殊設定］ダイアログボックスの［印刷の向き[横]の回転方向を左 90 度にする］で変更することができます。
左 90 度に回転させて印刷するときは、［印刷の向き[横]の回転方向を左 90 度にする］のチェックマークを付けてください。

［180 度回転］

用紙の紙送りに対して、原稿を 180 度回転させて印刷します。
アプリケーションソフトで設定した印刷領域の幅とはみ出し量の上下、左右がそれぞれ逆になります。

［出力用紙サイズ］

実際にプリンターにセットする用紙サイズを選びます。
通常は［用紙サイズと同じ］と表示され、等倍で印刷する設定になっています。
［ページレイアウト］から［フィットページ］、［拡大/縮小］、［割り付け］、［分割/ポスター］、［冊子］を選ぶと設定できるようになります。
［用紙サイズ］より小さいサイズを選ぶと用紙に合わせて原稿を縮小して印刷し、大きいサイズを選ぶと拡大して印刷します。
また、［ユーザー定義用紙...］を選ぶと［ユーザー定義用紙］ダイアログボックスが表示され、用紙の縦、横のサイズを任意に指定することができます。

［ページレイアウト］

原稿をどのような大きさで、どのように用紙に配置して印刷するかを選びます。

［等倍］

通常の印刷方法です。特定のページレイアウトを設定しない場合に選んでください。

［プリンターで出力できない大きい原稿を自動縮小する］

プリンターで出力できない用紙サイズの原稿を、自動で縮小して印刷します。
縮小して印刷するときは、チェックマークを付けてください。

［フチなし全面］

用紙に余白部分のないフチなし全面印刷を行うか、余白部分のある印刷を行うかを選びます。
フチなし全面印刷では、用紙からわずかにはみ出す大きさに原稿が拡大されます。そのため、余白部分（フチ）ができない印刷が可能になります。
［はみ出し量］で、フチなし全面印刷時に用紙からはみ出す原稿の量を調整します。

［はみ出し量］

フチなし全面印刷時に用紙からはみ出す原稿の量を調整します。
右にドラッグするほどはみ出し量が多くなり、確実にフチのない印刷をすることができます。
左にドラッグするほどはみ出し量が少なくなり、印刷できる原稿の範囲が広がります。

［フィットページ］

アプリケーションソフトで指定した用紙サイズを変更せずに、プリンターにセットした用紙サイズに合わせて原稿を拡大または縮小して印刷します。

［拡大/縮小］

原稿を拡大または縮小して印刷することができます。
［出力用紙サイズ］を指定するか、［拡大縮小率］に倍率を入力します。

［拡大縮小率］

原稿を拡大または縮小するときの倍率を指定します。

［割り付け］

1 枚の用紙に複数ページの原稿を並べて印刷します。

［詳細設定...］

［割り付け印刷］ダイアログボックスを表示します。
割り付け印刷について詳細な設定を行うことができます。

［分割/ポスター］

印刷する画像データを拡大して、複数の用紙に分割して印刷する機能です。用紙を貼り合わせると、ポスターのような大判の印刷物に仕上げることもできます。

［詳細設定...］

［分割/ポスター印刷］ダイアログボックスを表示します。
分割/ポスター印刷について詳細な設定を行うことができます。

［冊子］

冊子印刷は小冊子を作成するときに便利な機能です。中央で折ってとじたときにページの順番が揃うように、ページを配分しながら両面印刷します。

[詳細設定...]

[冊子印刷] ダイアログボックスを表示します。

冊子印刷について詳細な設定を行うことができます。

[両面印刷]

用紙の両面に印刷するか、片面に印刷するかを選びます。

両面に印刷するときは、チェックマークを付けてください。

この機能は [用紙の種類] で [普通紙]、[インクジェットはがき(あて名面)]、[インクジェット写真用はがき(あて名面)]、[はがき(あて名面)]、[はがき] を選んでいて、[等倍]、[フィットページ]、[拡大/縮小]、[割り付け] のいずれかを選んでいるときに設定できます。

[自動]

自動で両面印刷するか、手動で両面印刷するかを選びます。

[ページレイアウト] で [冊子] を選ぶか、[両面印刷] にチェックマークを付けると、有効になります。

自動で両面印刷するときは、チェックマークを付けてください。

手動で両面印刷するときは、チェックマークを外してください。

[印刷領域設定...]

[印刷領域設定] ダイアログボックスを開いて、自動両面印刷時の印刷領域を設定できます。

[フチなし全面] を選んでいない場合に、自動両面印刷の設定を行うと有効になります。

[とじ方向]

とじしろの位置を設定します。

[印刷の向き] や [ページレイアウト] の設定を判別し、自動的に最適なとじしろの位置が選ばれます。

[とじ方向] を確認し、変更する場合は、一覧から選びます。

[とじしろ指定...]

[とじしろ指定] ダイアログボックスを表示します。

とじしろの幅を指定することができます。

[部数]

印刷する部数を指定します。1～999 部まで指定可能です。

重要

- 原稿を作成したアプリケーションソフトに同様の機能がある場合は、ここでは指定しないでアプリケーションソフトで指定してください。

[最終ページから印刷]

最終ページから印刷したいときは、チェックマークを付けてください。この場合は、印刷後にページの順番を並べ替える手間がかかりません。

先頭ページから印刷するときは、チェックマークを外してください。

[部単位で印刷]

2 部以上の印刷を行うときに 1 部ずつまとまるように印刷したいときは、チェックマークを付けてください。

同一ページでまとまるように印刷したいときは、チェックマークを外してください。

重要

- 原稿を作成したアプリケーションソフトに同様の機能がある場合は、プリンタードライバーでの設定を優先し、印刷結果が思わしくない場合はアプリケーションソフトで設定を行ってください。両方で設定すると、印刷枚数が 2 つの設定をかけた数になったり、印刷順序の指定が無効になったりすることがあります。

[印刷オプション...]

[印刷オプション] ダイアログボックスを表示します。
アプリケーションソフトから送信される印刷データに対して、プリンタードライバーの詳細設定を変更します。

[スタンプ/背景...] ([スタンプ...])

[スタンプ/背景] ([スタンプ]) ダイアログボックスを表示します。
[スタンプ] は、原稿データに重ねて特定の文字列やビットマップを印刷する機能です。日付や時刻、ユーザー名を印刷することもできます。[背景] は、原稿データの下地にイラストなどを印刷する機能です。

参考

- [スタンプ/背景...] は、XPS プリンタードライバーでは [スタンプ...] となり、スタンプ機能のみ使用できます。

お使いのプリンタードライバーの種類や環境によっては、[スタンプ] と [背景] が使用できないことがあります。

[ユーザー定義用紙] ダイアログボックス

使用する用紙の横の幅と縦の長さを入力します。

[単位]

ユーザー定義用紙のサイズを入力する単位を選びます。

[用紙サイズ]

用紙の [幅] と [長さ] を指定します。単位は [単位] で選ばれた状態で表示されます。

[割り付け印刷] ダイアログボックス

1 枚の用紙に配置する原稿のページ数、ページ順序、枠線の有無を選びます。
ここで設定した内容はプリンタードライバーの設定ビューで確認できます。

プレビューアイコン

[割り付け印刷] ダイアログボックスの設定状態を表します。
どのような体裁で印刷されるか確認できます。

[ページ数]

1 枚の用紙に納める原稿のページ数を指定します。

[ページ順序]

1 枚の用紙に印刷する原稿の配置方向を指定します。

[枠線]

原稿のページを囲むように枠線を印刷します。
枠線を印刷するときは、チェックマークを付けてください。

[分割/ポスター印刷] ダイアログボックス

印刷される画像の大きさを選びます。また、ポスターとして貼り合わせるときに便利な切り取り線/のりしろの印刷も設定できます。
ここで設定した内容はプリンタードライバーの設定ビューで確認できます。

プレビューアイコン

[分割/ポスター印刷] ダイアログボックスの設定状態を表します。
印刷結果がどのような体裁になるかを確認できます。

［画像の分割数］

縦×横の分割数を選びます。

数字が大きいほど印刷に使用する用紙の枚数が増えます。ポスターとして貼り合わせる場合は、分割数を多くするほど大きなポスターを作成できます。

［切り取り/のりしろを印刷］

ポスターとして貼り合わせるときに目安となる「切り取り」や「のりしろ」の文字を印刷します。

文字を印刷するときは、チェックマークを付けてください。

参考

- お使いのプリンタードライバーの種類や環境によっては、この機能は使用できないことがあります。

［切り取り線を印刷］

ポスターとして貼り合わせるときに目安となる切り取り線を印刷します。

切り取り線を印刷するときは、チェックマークを付けてください。

［印刷範囲］

印刷範囲を指定します。通常は［すべて］を選んでください。

［ページ指定］を選ぶと、特定のページや範囲を指定できます。

参考

- 一部のページがうまく印刷できなかったときは、［ページ設定］シートの設定ビューで、印刷したくないページをクリックして指定してください。印刷を実行すると、表示されているページのみを印刷できます。

［冊子印刷］ダイアログボックス

冊子に仕上げたときのとじかたを設定します。また、原稿を片面だけに印刷したり、枠線を付ける設定をしたりすることもできます。

ここで設定した内容はプリンタードライバーの設定ビューで確認できます。

プレビューアイコン

［冊子印刷］ダイアログボックスの設定状態を表します。

小冊子に仕上げたとき、どのような体裁になるか確認できます。

［とじかた］

小冊子に仕上げたときに、どちら側をとじるか指定します。

［白ページを挿入］

小冊子に仕上げたとき、原稿を片側だけに印刷するか、両面に印刷するかを選びます。

片側だけに原稿を印刷する場合は、チェックマークを付け、一覧から白紙にする側を選びます。

［とじしろ］

とじしろの幅を指定します。

指定した幅が用紙の中央からのとじしろとなります。

［枠線］

原稿のページを囲むように枠線を印刷します。

枠線を印刷するときは、チェックマークを付けてください。

［印刷領域設定］ダイアログボックス

両面印刷する場合、原稿の印刷領域が通常よりわずかに狭くなります。このため、余白の少ない原稿を印刷すると、原稿が１ページに入りきらないことがあります。

［印刷領域設定］ダイアログボックスでは、原稿が 1 ページに収まるように、原稿を縮小して印刷するかどうかを設定します。

［等倍で印刷する］

原稿のページを縮小せずに印刷します。通常はこの設定になっています。

［縮小して印刷する］

原稿のページをわずかに縮小して、1 ページに収まるように印刷します。
余白の少ない原稿を自動両面印刷するときに選んでください。

［とじしろ指定］ダイアログボックス

とじ方向で指定した辺のとじしろの幅を指定します。原稿のページが 1 ページに入りきらない場合は、原稿が縮小されて印刷されます。

［とじしろ］

とじしろの幅を指定します。
［とじ方向］で指定した辺の幅がとじしろとなります。

［印刷オプション］ダイアログボックス

プリンターに送信される印刷データについての変更を設定します。

お使いのプリンタードライバーの種類や環境によっては、使用できない場合があります。

［アプリケーションソフトが要求した ICM を無効にする］

アプリケーションソフトが Windows に要求した ICM を無効にします。
アプリケーションソフトが Windows の ICM を使って印刷した場合、印刷結果が意図しない色合いになったり、印刷速度が低下したりすることがあります。その場合にチェックマークを付けると、問題を改善できる場合があります。

重要

- 通常はチェックマークを外した状態で使用してください。
- この機能は、［マニュアル色調整］ダイアログボックスの［マッチング］シートで［色補正］から［ICM］を選んだ場合は機能しません。

参考

- ［アプリケーションソフトが要求した ICM を無効にする］は、XPS プリンタードライバーでは使用できません。

［アプリケーションソフトのカラープロファイル設定を無効にする］

アプリケーションソフトで設定されたカラープロファイルの情報を無効にします。
アプリケーションソフトで設定されたカラープロファイルの情報がプリンタードライバーに出力されると、印刷結果が意図しない色合いになることがあります。その場合にチェックマークを付けると、問題を解決できる場合があります。

重要

- チェックマークを付けても、カラープロファイルの一部の情報を無効にするだけで、カラープロファイルを使用した印刷は可能です。
- 通常はチェックマークを外した状態で使用してください。

[アプリケーションソフトの給紙設定を無効にする]

アプリケーションソフトで設定された給紙方法を無効にします。
Microsoft Word などアプリケーションソフトによっては、プリンタードライバーの設定と異なる給紙方法で印刷される場合があります。その場合は、チェックマークを付けてください。

重要

- この機能にチェックマークを付けると、Canon IJ プレビューでは給紙方法を変更できません。ただし、XPS プリンタードライバーをお使いの場合、Canon IJ XPS プレビューでは給紙方法を変更することができます。

[用紙のグループ化を解除する]

[用紙の種類]、[用紙サイズ]、[出力用紙サイズ] の表示方法を設定します。
グループ化しないで表示するときは、チェックマークを付けてください。
グループ化して表示するときは、チェックマークを外してください。

[アプリケーションソフトでの印刷データの圧縮処理を禁止する]

アプリケーションソフトの印刷データの圧縮処理を禁止します。
印刷結果の画像データが抜け落ちたり、意図しない色合いになる場合があります。その場合にチェックマークを付けると、問題を改善できる場合があります。

重要

- 通常はチェックマークを外した状態で使用してください。

参考

- [アプリケーションソフトでの印刷データの圧縮処理を禁止する] は、XPS プリンタードライバーでは使用できません。

[ページ毎に印刷データを作成して印刷する]

印刷データの作成をページ単位で行い、1 ページ分の印刷データの処理が終了してから印刷を開始します。
印刷結果にすじがみられるなど、意図しない結果の場合にチェックマークを付けると、問題を改善できる場合があります。

重要

- 通常はチェックマークを外した状態で使用してください。

[画像を単純補間処理で拡大/縮小する]

画像を拡大または縮小して印刷する場合、単純補間処理を用いて画像の拡大または縮小を行います。
印刷結果の画像データが鮮明に印刷されない場合にチェックマークを付けると、問題を改善できる場合があります。

重要

- 通常はチェックマークを外した状態で使用してください。

参考

- [画像を単純補間処理で拡大/縮小する] は、XPS プリンタードライバーでのみ使用できます。

[印刷データの欠落防止]

アプリケーションソフトで作成した印刷データのサイズを小さくして印刷することができます。
アプリケーションソフトによっては、画像データが抜け落ちるなどして、うまく印刷できない場合があります。その場合は [オン] を選んでください。この機能を使用しない場合は [オフ] を選びます。

重要

- この機能を使用すると、印刷データによっては、印刷品質が低下することがあります。

[印刷データの処理単位]

プリンターに送られる印刷データの処理単位を選びます。
通常は［推奨］の状態で使用してください。

重要

- 選んだ項目によっては、メモリーを大量に使用します。
  メモリーの少ないパソコンでは設定を変更しないでください。

参考

- ［印刷データの処理単位］は、XPS プリンタードライバーでは使用できません。

[スタンプ/背景]（[スタンプ]）ダイアログボックス

［スタンプ/背景］（［スタンプ］）ダイアログボックスでは、原稿データに重ねてスタンプや背景を印刷する設定ができます。あらかじめ用意されているものだけでなく、オリジナルのスタンプや背景を登録して使用することもできます。

参考

- ［スタンプ/背景...］は、XPS プリンタードライバーでは［スタンプ...］となり、スタンプ機能のみ使用できます。

[スタンプ]

スタンプ印刷は、原稿に重ねてスタンプを印刷する機能です。
スタンプを印刷するときは、チェックマークを付けて一覧からタイトルを選んでください。

[スタンプ設定...]

［スタンプ設定］ダイアログボックスを表示します。
選んだスタンプの詳細な内容の確認や、新しいスタンプの登録を行います。

[前面に印刷]

スタンプをどのように原稿に重ねて印刷するかを設定します。
［スタンプ］にチェックマークを付けると、選べるようになります。
原稿の上にスタンプを重ねて印刷するときは、チェックマークを付けてください。この場合は、印刷データが欠けてしまうことがあります。
スタンプの上に原稿を重ねて印刷するときは、チェックマークを外してください。この場合は、印刷データが欠けてしまうことはありませんが、原稿と重なり合った部分のスタンプが隠れてしまうことがあります。

[半透明で印刷する]

スタンプをどのように原稿に重ねて印刷するかを設定します。
［スタンプ］にチェックマークを付けると、選べるようになります。
原稿の上にスタンプを半透明で印刷するときは、チェックマークを付けてください。
原稿の上にスタンプを重ねて印刷するときは、チェックマークを外してください。この場合は、印刷データが欠けてしまうことがあります。

参考

- ［半透明で印刷する］は、XPS プリンタードライバーでのみ使用できます。

[先頭ページのみ]

複数ページの原稿の場合、スタンプを 1 ページ目だけに印刷するか、すべてのページに印刷するかを選びます。
[スタンプ] にチェックマークを付けると、選べるようになります。
1 ページ目だけに印刷するときは、チェックマークを付けてください。

[背景]

背景印刷は、原稿の下地にイラストなど（ビットマップ）を印刷する機能です。
背景を印刷するときは、チェックマークを付けて一覧からタイトルを選んでください。

[背景設定...]

[背景設定] ダイアログボックスを表示します。
ビットマップを背景として登録したり、選んだ背景の配置方法や濃度を変更したりすることができます。

[先頭ページのみ]

複数ページの原稿の場合、背景を 1 ページ目だけに印刷するか、すべてのページに印刷するかを選びます。
[背景] にチェックマークを付けると、クリックできるようになります。
1 ページ目だけに印刷するときは、チェックマークを付けてください。

[スタンプ] シート

スタンプに使用する文字列やビットマップファイル（.bmp）を設定します。

プレビュー

各シートで設定したスタンプの状態が表示されます。

[スタンプの種類]

スタンプの種類を選びます。
文字を入力して作成する場合は [文字]、ビットマップファイル（.bmp）を使用する場合は [ビットマップ]、印刷物の作成日時とユーザー名を表示する場合は [日付/時刻/ユーザー名] を選びます。
選んだ項目によって [スタンプ] シートの設定項目が変わります。

[スタンプの種類] が [文字]、[日付/時刻/ユーザー名] の場合

[スタンプ文字列]

スタンプに使用する文字を入力します。
半角、全角ともに 64 文字まで入力できます。
[日付/時刻/ユーザー名] の場合は、印刷物の作成日時とユーザー名が表示されます。

重要

- [日付/時刻/ユーザー名] を選んでいる場合、[スタンプ文字列] はグレー表示となり、変更できません。

[TrueType フォント名]

スタンプ文字列のフォントの種類を選びます。

[スタイル]

スタンプ文字列のフォントスタイルを選びます。

[サイズ]

スタンプ文字列のフォントサイズを選びます。

[囲み]

スタンプ文字列を囲む枠を選びます。
[サイズ] で大きなフォントサイズを選んでいると、囲みから文字列がはみ出してしまうことがあります。

［現在の色］/［色選択...］

現在のスタンプの色が表示されます。
異なる色を選びたい場合は、［色選択...］で［色の設定］ダイアログボックスを表示し、スタンプとして使用する色を選ぶ、または作成してください。

［スタンプの種類］が［ビットマップ］の場合

［ファイル名］

スタンプとして使用するビットマップのファイル名（.bmp）を入力します。

［ファイル選択...］

ファイルを開くダイアログボックスを表示します。
スタンプとして使用するビットマップファイル（.bmp）を選ぶときにクリックしてください。

［サイズ］

スタンプとして使用するビットマップのサイズを調整します。
スライドバーを右にドラッグするほど大きくなり、左にドラッグするほど小さくなります。

［白い部分を透過する］

ビットマップの白い部分を透過します。
白い部分を透過するときは、チェックマークを付けてください。

参考

- ［標準に戻す］をクリックすると、［スタンプの種類］は文字、［スタンプ文字列］は空白、［TrueTypeフォント名］はMSゴシック、［スタイル］は標準、［サイズ］は36ポイント、［囲み］のチェックマークは外され、［現在の色］はRGBが（192,192,192）の灰色に設定されます。

［配置］シート

スタンプを用紙のどの場所に印刷するかを設定します。

プレビュー

各シートで設定したスタンプの状態が表示されます。

［位置］

スタンプの位置を指定します。
一覧から［座標指定］を選ぶと、［横］と［縦］の座標に直接数値を指定できるようになります。

［回転角度］

スタンプの回転角度を指定します。回転角度は、直接数値を入力することもできます。
回転角度の数値の前にマイナス符号（－）を付けると、スタンプは時計回りに回転します。

参考

- ［回転角度］は、［スタンプ］シートの［スタンプの種類］で［文字］、または［日付/時刻/ユーザー名］を選んだ場合のみ設定できます。

参考

- ［標準に戻す］をクリックすると、スタンプ位置は［中央］に、回転角度は「0」に設定されます。

［設定登録］シート

新しいスタンプの登録や、不要になったスタンプの削除を行います。

［タイトル］

作成したスタンプを保存するときにスタンプのタイトルを入力します。
半角、全角ともに64文字まで入力できます。

参考

- タイトルの先頭と末尾に、半角スペース、全角スペース、タブ、改行は入力できません。

［スタンプ一覧］

現在登録されているスタンプのタイトルを一覧で表示します。
いずれかのタイトルを指定すると、その文字列が［タイトル］に表示されます。

［新規保存］/［上書き保存］

スタンプを保存します。
［タイトル］を入力後に、クリックしてください。

［削除］

不要になったスタンプを削除します。
［スタンプ一覧］で不要になったスタンプのタイトルを指定し、クリックしてください。

［背景］シート

背景として使用するビットマップファイル（.bmp）を選んだり、背景をどのように印刷したりするかを設定します。

プレビュー

［背景］シートで設定したビットマップの状態が表示されます。

［ファイル名］

背景として使用するビットマップのファイル名（.bmp）を入力します。

［ファイル選択...］

ファイルを開くダイアログボックスを表示します。
背景として使用するビットマップファイル（.bmp）を選ぶときにクリックしてください。

［配置方法］

背景として使用するビットマップを、用紙に配置する方法を指定します。
［座標指定する］を選んだ場合は、［横］、［縦］に数値を入力して座標を設定できます。

［濃度］

背景として使用するビットマップの濃淡を調整します。
スライドバーを右にドラッグするほど濃く、左にドラッグするほど薄くなります。元のビットマップの濃度で印刷したいときは、スライドバーを右端にドラッグしてください。

参考

- お使いのプリンタードライバーの種類や環境によっては、使用できない場合があります。
- ［標準に戻す］をクリックすると、［ファイル名］は空白、［配置方法］は［全面に並べる］、［濃度］のスライドバーは中央に設定されます。

［設定登録］シート

新しい背景の登録や、不要になった背景の削除を行います。

［タイトル］

設定した背景を保存するときにタイトルを入力します。
半角、全角ともに 64 文字まで入力できます。

参考

- タイトルの先頭と末尾に、半角スペース、全角スペース、タブ、改行は入力できません。

［背景一覧］

現在登録されている背景のタイトルを一覧で表示します。

いずれかのタイトルを指定すると、その文字列が［タイトル］に表示されます。

［新規保存］/［上書き保存］

背景を保存します。

［タイトル］を入力後、クリックしてください。

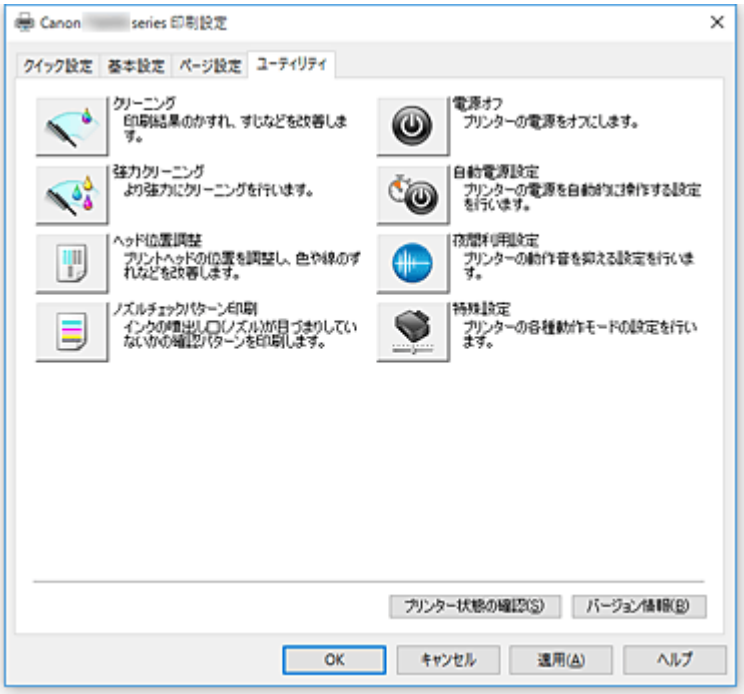
［削除］

不要になった背景を削除します。

［背景一覧］で不要になった背景のタイトルを指定し、クリックしてください。

［ユーティリティ］シートの画面説明

［ユーティリティ］シートでは、プリンターのメンテナンスを行ったり、プリンターの設定を変更したりすることができます。



［クリーニング］

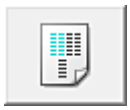
プリントヘッドのクリーニングを行います。
クリーニングを行うとプリントヘッドのノズルの目づまりを改善します。
インクは十分あるのにかすれたり、特定の色が印刷できなくなったりしたときに実行してください。

［強力クリーニング］

強力クリーニングを行います。
クリーニングを 2 回繰り返してもプリントヘッドの状態が改善しないときに実行してください。

参考

- ［強力クリーニング］は、［クリーニング］よりも多くのインクを使用します。
  頻繁に行うと、インクが早く消費されます。必要な場合のみ実行してください。



［ヘッド位置調整］

ヘッド位置調整を行うと、プリントヘッドの取り付け位置の誤差が補正され、色や線のずれなどを改善します。
プリントヘッドを取り付けた直後に、ヘッド位置調整を行ってください。
［ヘッド位置調整］をクリックすると［ヘッド位置調整開始］ダイアログボックスが表示されます。

［ノズルチェックパターン印刷］

ノズルチェックパターンを印刷します。
印刷がかすれたり、特定の色が印刷できなくなったりしたときに実行してください。ノズルチェックパターンを印刷し、プリントヘッドの状態を確認することができます。

かすれていたり、印刷されない部分があったりする場合は、［クリーニング］をクリックして、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。
［確認事項］をクリックすると、ノズルチェックパターン印刷前に確認する項目が表示されます。

［確認パターン印刷］

インク噴き出し口（ノズル）が目詰まりしていないかを確認するパターンを印刷します。
［確認パターン印刷］をクリックし、確認のメッセージで［OK］をクリックすると［パターンの確認］ダイアログボックスが表示されます。

左側ビットマップ（良い例）

ノズルは目づまりしていません。

右側ビットマップ（悪い例）

ノズルが目づまりしている可能性があります。

［終了］

［パターンの確認］ダイアログボックスを終了して、［ユーティリティ］シートに戻ります。

［クリーニング］

プリントヘッドのクリーニングを行います。
クリーニングを行うとプリントヘッドのノズルの目づまりを改善します。
インクは十分あるのにかすれたり、特定の色が印刷できなくなったりしたときに実行してください。

［電源オフ］

プリンタードライバーから、プリンターの電源を切ります。
プリンターが離れた位置にあって、すぐに電源ボタンを押せないときなどに実行してください。
この操作を実行したあとで、再度電源を入れるときは、プリンターの電源ボタンを押してください。プリンタードライバーからプリンターの電源を再度入れることはできません。

［自動電源設定］

［自動電源設定］ダイアログボックスを表示します。
プリンターの電源を自動で操作する設定を行います。自動電源設定を変更したいときに実行してください。

参考

- プリンターの電源が入っていなかったり、プリンターとパソコンの通信をしない設定にしていたりすると、パソコンはプリンターの情報を取得できず、エラーメッセージが表示されることがあります。
  この場合、［OK］をクリックすると、お使いのパソコンで最後に設定した内容が表示されます。

［夜間利用設定］

［夜間利用設定］ダイアログボックスを表示します。
［夜間利用設定］ダイアログボックスでは、プリンターの動作音を抑える設定を行います。夜間の印刷など、プリンターの動作音が気になるときに便利です。夜間利用機能の設定を変更するときに実行してください。

参考

- プリンターの電源が入っていなかったり、プリンターとパソコンの通信をしない設定にしていたりすると、パソコンはプリンターの情報を取得できず、エラーメッセージが表示されることがあります。

［特殊設定］

［特殊設定］ダイアログボックスを表示します。
プリンターの設定を切り替えるときに実行してください。

参考

- プリンターの電源が入っていなかったり、プリンターとパソコンの通信をしない設定にしていたりすると、パソコンはプリンターの情報を取得できず、エラーメッセージが表示されることがあります。
  この場合、［OK］をクリックすると、お使いのパソコンで最後に設定した内容が表示されます。

［印刷履歴を表示］

Canon IJ XPS プレビューが起動し、印刷履歴を表示します。

参考

- この機能は、XPS プリンタードライバーでのみ使用できます。

［プリンター状態の確認］

Canon IJ ステータスモニタを起動します。
プリンターの状態や印刷の進行状況を確認するときにクリックしてください。

参考

- XPS プリンタードライバーをお使いの場合、「Canon IJ ステータスモニタ」は「Canon IJ XPS ステータスモニタ」となります。

［バージョン情報］

［バージョン情報］ダイアログボックスを表示します。
プリンタードライバーのバージョンや著作権などの情報を確認できます。
また、使用する言語を切り替えることができます。

［確認事項］（［クリーニング］／［強力クリーニング］）

［クリーニング］や［強力クリーニング］を行う前に、プリンターの電源が入っていることを確認し、プリンターのカバーを開きます。
各インクについて次の項目をチェックしてください。

- インクの残量を確認してください。
- 音がするまでしっかりと装着されていることを確認してください。
- オレンジ色のテープがある場合は、テープをきれいにはがしてください。
  テープが残っているとインクが出にくくなります。
- インクの装着位置が正しいことを確認してください。

［ヘッド位置調整開始］ダイアログボックス

プリントヘッドの取り付け位置を調整したり、現在のヘッド位置の設定値を印刷したりします。

［ヘッド位置調整］

ヘッド位置調整を実行します。
ヘッド位置調整を行うと、プリントヘッドの取り付け位置の誤差が補正され、色や線のずれなどを改善します。
プリントヘッドを取り付けた直後に、ヘッド位置調整を行ってください。

[調整値の印刷]

現在のヘッド位置の設定値を確認したいときにクリックします。
現在の設定値を印刷します。

[ヘッド位置調整] ダイアログボックス

手動ヘッド位置調整を行う場合に、[ヘッド位置調整開始] ダイアログボックスの [ヘッド位置調整] をクリックし、メッセージに従って操作すると [ヘッド位置調整] ダイアログボックスが表示されます。印刷されたパターンを確認して、プリントヘッドの位置を調整します。

プレビュー

[ヘッド位置調整] のパターンを表示し、選んだパターンの位置を確認できます。
画面上のパターンを直接クリックして、設定を変更することもできます。

調整値の入力

印刷された調整パターンの中から、すじまたは横しまが最も目立たないパターンの数値を対応するボックスに入力します。

参考

- 印刷されたパターンの見かたがわからない場合は、プリントヘッドの位置を調整するを参照してください。

[確認事項] ([ノズルチェックパターン印刷])

[ノズルチェックパターン印刷] を行う前に、プリンターの電源が入っていることを確認し、プリンターのカバーを開きます。
各インクについて次の項目をチェックしてください。

- インクの残量を確認してください。
- 音がするまでしっかりと装着されていることを確認してください。
- オレンジ色のテープがある場合は、テープをきれいにはがしてください。
  テープが残っているとインクが出にくくなります。
- インクの装着位置が正しいことを確認してください。

[自動電源設定] ダイアログボックス

[自動電源設定] をクリックすると [自動電源設定] ダイアログボックスが表示されます。
プリンタードライバーから、プリンターの電源を操作します。

[自動電源オン]

自動電源オンの設定を選びます。
[無効] を指定すると、自動電源オンは機能しません。
最後にプリンターの電源が入っていることを確認して、[OK] をクリックすると、プリンターの設定が変更されます。
[有効] を指定すると、プリンターに印刷データが送られてくると自動的にプリンターの電源が入るようになります。

[自動電源オフ]

自動電源オフの設定を選びます。
プリンタードライバーやプリンターからの操作が指定した時間内に行われなかったとき、プリンターの電源が切れるようになります。

［夜間利用設定］ダイアログボックス

［夜間利用設定］をクリックすると［夜間利用設定］ダイアログボックスが表示されます。
［夜間利用設定］ダイアログボックスでは、プリンターの動作音を抑える設定を行います。
夜間に印刷する場合など、動作音が気になるときに使用してください。
この機能を使用すると、印刷速度が低下することがあります。

［夜間利用モードで使用しない］

プリンターの動作音を通常の状態で使用するときに選びます。

［常に夜間利用モードで使用する］

プリンターの動作音を抑えるときに選びます。

［指定した時間だけ夜間利用モードで使用する］

特定の時間帯だけプリンターの動作音を抑えるときに選びます。
夜間利用モードを使用する［開始時刻］と［終了時刻］を設定してください。同じ時刻に設定した場合は、夜間利用モードは機能しません。

重要

- 夜間利用モードは、プリンターの操作パネルやプリンタードライバー、ScanGear（スキャナードライバー）から設定することができます。
  いずれの方法で設定した場合でも、プリンターの操作パネルからの操作や、パソコンからの印刷・スキャンを行うときなどに適用されます。
- ［指定した時間だけ夜間利用モードで使用する］で時間を指定した場合は、プリンターからの操作（コピー、ダイレクト印刷など）に夜間利用モードは適用されません。

［特殊設定］ダイアログボックス

［特殊設定］をクリックすると［特殊設定］ダイアログボックスが表示されます。
必要に応じてプリンターの設定を変更します。

［ディスクレーベル印刷時にプリンタブルディスクの有無を判別する］

ディスクレーベル印刷時にプリンタブルディスクがディスクトレイにセットされているか判別し、セットされていない場合にはメッセージを表示します。
プリンタブルディスクの有無を判別して印刷を行うときは、チェックマークを付けてください。

重要

- このチェックマークを外したままにしておくと、ディスクトレイにプリンタブルディスクがセットされていない状態でトレイに印字してしまうことがあります。そのため、通常はチェックマークを付けた状態で使用してください。
- すでに印刷されたプリンタブルディスクをディスクトレイにセットすると、プリンタブルディスクがトレイにない状態と判断されることがあります。その場合には、このチェックマークを外してください。

［用紙のこすれを改善する］

高濃度のページを印刷する場合に、プリントヘッドと用紙の間隔を広げて、用紙のこすれを改善することができます。
用紙のこすれを改善するときは、チェックマークを付けてください。

［手動でヘッド位置を調整する］

通常、［ユーティリティ］シートの［ヘッド位置調整］の機能は、自動ヘッド位置調整に設定されていますが、手動ヘッド位置調整に変更することができます。
自動ヘッド位置調整を行っても印刷結果が思わしくない場合は、手動ヘッド位置調整を行ってくださ

い。
手動でヘッド位置の調整を行うときは、チェックマークを付けてください。

[印刷の向き[横]の回転方向を左 90 度にする]

[ページ設定] シートの [印刷の向き] の [横] に対する回転方向を変更することができます。
左 90 度に回転させて印刷するときは、チェックマークを付けてください。

参考

- [ページ設定] シートの [用紙サイズ] で [洋形 4 号]、[洋形 6 号]、[商用 10 号封筒]、または [DL 封筒] を選んでいる場合、[ユーティリティ] シートの [特殊設定] の [印刷の向き[横]の回転方向を左 90 度にする] の設定に関わらず、印刷の向きを左 90 度に回転して印刷します。

[パソコンからの印刷時に用紙の設定不一致を検知しない]

パソコンからの印刷時に、プリンタードライバーで設定した用紙設定と、プリンター本体で登録する用紙情報が異なっていても、メッセージを表示させずに印刷を続けることができます。
用紙設定の不一致を検知させない場合はチェックマークを付けます。

[インク乾燥待ち時間]

次ページの印刷開始までに、プリンターが休止する時間の長さを設定できます。スライドバーを右にドラッグするほど長く、左にドラッグするほど短くなります。
印刷面が完全に乾かないうちに次ページが排紙されて、用紙が汚れるような場合は、インク乾燥待ち時間を長く設定してください。
短く設定した場合は、印刷時間が速くなります。

[バージョン情報] ダイアログボックス

[バージョン情報] をクリックすると [バージョン情報] ダイアログボックスが表示されます。
プリンタードライバーのバージョンや著作権、モジュール一覧を表示します。使用する言語を選んで設定画面の表示言語を切り替えます。

モジュール一覧

プリンタードライバーのモジュール一覧です。

[言語]

プリンタードライバーの設定画面で使用する言語を切り替えることができます。

重要

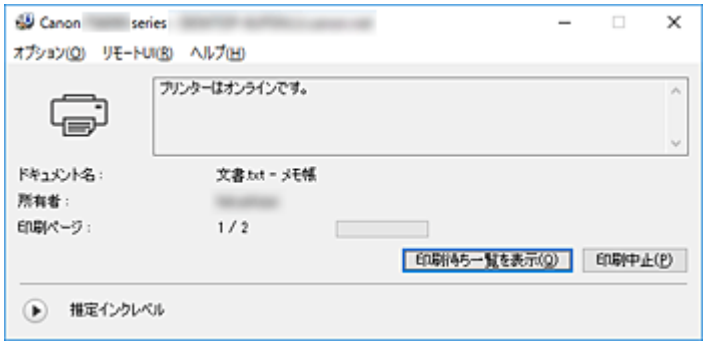
- 選んだ言語を表示させるために必要なフォントがシステムにインストールされていない場合は、設定画面は文字化けします。

関連項目

- プリントヘッドをクリーニングする
- プリントヘッドの位置を調整する
- ノズルチェックパターンを印刷する
- プリンターの電源を操作する
- プリンターの動作音を抑える
- プリンターの設定を変更する

Canon IJ ステータスモニタの画面説明

Canon IJ ステータスモニタは、プリンターの状態や印刷の進行状況を表示します。絵やアイコン、メッセージでプリンターの状態を知ることができます。



Canon IJ ステータスモニタの特長

Canon IJ ステータスモニタには、次のような機能があります。

プリンターの状態を画面上で確認

プリンターの状態をリアルタイムに表示します。
印刷文書（印刷ジョブ）ごとの進行状況を確認できます。

エラーの内容と対処方法の表示

プリンターにエラーが発生したときに表示します。
どのような対処方法をしたらよいか即座に確認できます。

インク状態の確認

インクタンクの種類や推定インクレベルを絵で表示します。
インクが残り少なくなると、アイコンやメッセージで知らせます（インク残量警告）。

Canon IJ ステータスモニタの概要

プリンターの状態やインクの状態を、絵とメッセージで表示します。
印刷中は印刷文書に関する情報や進行状況を確認できます。
エラーが発生すると、その内容と対処方法を表示しますので、メッセージに従ってください。

プリンター

プリンターに警告やエラーが発生すると、アイコンを表示して知らせます。

：警告が発生しています。

：オペレーターエラーが発生しています。

：インクの残量などにお知らせがあります。

：修理の必要なエラーが発生しています。

インクタンク

インク残量警告やインクなしエラーが発生すると、アイコンを表示して知らせます。
また、インクタンクの推定インクレベルを絵で表示します。
その場合は、絵をクリックすると［インク詳細情報］ダイアログボックスを表示し、インクの残量やプリンターに合ったインクタンクの名称などの詳細情報を確認できます。

［ドキュメント名］

印刷中の文書の名称を表示します。

［所有者］

印刷中の文書の所有者名を表示します。

［印刷ページ］

印刷中のページ数/総ページ数を表示します。

［印刷待ち一覧を表示］

印刷中のドキュメントや印刷待ちのドキュメントを管理する、印刷キューを表示します。

［印刷中止］

進行中の印刷を中止します。

［推定インクレベル］

インク残量警告やインクなしエラーが発生すると、アイコンを表示して知らせます。

（開閉用三角ボタン）をクリックすると、インクタンクの推定インクレベルを絵で表示します。

［インクの型番情報］

プリンターに合ったインクタンクを調べることができます。

［オプション］メニュー

［ステータスモニタを使用］を選ぶと、プリンター関連のメッセージが発生した場合、Canon IJ ステータスモニタを起動します。

［ステータスモニタを使用］を選ぶ場合、次のコマンドを使用できます。

［印刷中に表示］

印刷中にかならず Canon IJ ステータスモニタを表示します。

［常に手前に表示］

Canon IJ ステータスモニタを常に最前面に表示します。

［ガイドメッセージを表示］

用紙のセット方法がわかりにくい操作のガイドを表示します。

［封筒印刷］

封筒印刷開始時、ガイドメッセージを表示します。

このガイドメッセージは、［今後、このメッセージを表示しない］にチェックマークを付けると、非表示にすることができます。

ガイドを再び表示するには、［オプション］メニューの［ガイドメッセージを表示］から［封筒印刷］をクリックして、設定を有効にしてください。

［はがき印刷］

はがきの印刷を開始する前に、ガイドメッセージを表示します。

このガイドメッセージは、［今後、このメッセージを表示しない］にチェックマークを付けると、非表示にすることができます。

ガイドを再び表示するには、［オプション］メニューの［ガイドメッセージを表示］から［はがき印刷］をクリックして、設定を有効にしてください。

［警告発生時に自動的に表示］

［インク残量警告のとき］

インク残量警告が発生したとき、Canon IJ ステータスモニタを自動的に起動し、ほかのウィンドウよりも手前に表示します。

［Windows と同時に起動］

Windows を起動したとき、Canon IJ ステータスモニタが自動的に起動します。

［リモート UI］メニュー

プリンターのリモート UI を開くことができます。

プリンターをネットワークに接続して使用している場合に、プリンターの状態を確認したり、メンテナンス機能を実行することができます。

参考

- プリンターを USB 接続でお使いの場合、［リモート UI］は表示されません。

［プリンター情報］

プリンターの状態や印刷の進行状況や、インクの残量などの詳細情報を確認できます。

［メンテナンス］

プリンターのメンテナンスを行ったり、プリンターの設定を変更したりすることができます。

［セキュリティ証明書のダウンロード］

［安全な通信を確保するには］画面が表示されます。
ルート証明書をダウンロードしてウェブブラウザーに登録し、警告が表示されないようにすることができます。

［ヘルプ］メニュー

このメニューを選ぶと、Canon IJ ステータスモニタのヘルプを表示したり、バージョンや著作権情報を確認したりすることができます。

MP ドライバーをインストールする

インターネット経由で、キヤノンのウェブサイトにアクセスすると、最新の MP ドライバーや XPS プリンタードライバーをダウンロードすることができます。

入手した MP ドライバーをインストールする手順を説明します。

1. プリンターの電源を切る

2. インストーラーを起動

   入手したファイルのアイコンをダブルクリックします。
   インストールプログラムが起動します。

   重要

   - ソフトウェアを起動したり、インストールやアンインストールを行ったりした場合、確認や警告のダイアログボックスが表示されることがあります。
     このダイアログボックスは、ユーザーの管理者権限を確認する画面です。
     管理者の権限を持つユーザーでログオンした場合は、［はい］（または［続行］、［許可］）をクリックして、操作を続けてください。
     ソフトウェアによっては、管理者の権限を持つユーザー以外は操作が続行できない場合があります。この場合は、管理者の権限を持つユーザーに切り替え、操作をやり直してください。

3. MP ドライバーをインストール

   画面の指示に従って操作します。

4. インストールを完了

   ［完了］をクリックします。

お使いの環境によっては、パソコンの再起動を促すメッセージが表示されます。正しくインストールを完了するために、再起動してください。

重要

- XPS プリンタードライバーは、MP ドライバーと同様の手順でインストールすることができます。ただし、XPS プリンタードライバーをインストールする場合は、あらかじめ MP ドライバーのインストールを完了させてください。
- MP ドライバーや XPS プリンタードライバーは無料でダウンロードできますが、インターネットへの接続料金はお客様のご負担となります。
- 最新の MP ドライバーは、前のバージョンを削除してからインストールしてください。

関連項目

- 最新の MP ドライバーを入手する
- 不要になった MP ドライバーを削除する
- MP ドライバーをインストールする前に

スマートフォン／タブレットから直接印刷してみよう

- Android 機器から印刷してみよう
- iOS 機器を使って AirPrint 対応プリンターから印刷してみよう
- Windows 10 Mobile 搭載デバイスから印刷する場合
- 本製品を無線ダイレクトで使用する
- 本製品にスマートフォンをかざして、かんたん印刷

本製品を無線ダイレクトで使用する

本製品は、各種機器（スマートフォンやタブレットなど）と以下の二通りの接続ができます。

- 無線 LAN 接続(通常のセットアップで無線 LAN ルーターを介して各種機器と接続する)
- 無線で直接接続(無線ダイレクトで各種機器と接続する)

ここでは、無線で直接接続して印刷、スキャンする無線ダイレクトについて説明しています。

無線ダイレクトを使用するには以下の手順で操作してください。

1. 本製品の設定を無線ダイレクトへ変更する
2. 各種機器を本製品に接続する
3. 印刷、スキャンする

また、無線ダイレクトから無線 LAN 接続に変更する方法も説明します。

本製品の設定を無線 LAN 接続に変更する

重要

- 各種機器を 5 台まで、同時に本製品に接続することができます。
- 無線ダイレクトに切り替える前に、制限事項を確認してください。

制限事項について

無線ダイレクトの準備をする

無線ダイレクトの準備として、以下の設定を変更してください。

- 本製品の LAN 設定

本製品の設定を無線ダイレクトへ変更する

- 接続したい各種機器の設定

各種機器を本製品に接続する

本製品の設定を無線ダイレクトへ変更する

1. 本製品の電源が入っていることを確認する
2. ホーム画面で（セットアップ）を選ぶ

操作パネルの使いかた

3. ［設定］を選ぶ
4. ［本体設定］を選ぶ
5. ［LAN 設定］を選ぶ
6. ［無線ダイレクト］を選ぶ

7. ［無線ダイレクトの有効/無効］を選ぶ

8. ［する］を選ぶ

パスワード情報を表示するか確認する画面が表示されます。

9. ［はい］または［いいえ］を選ぶ

本製品を無線ダイレクトで使用するときの各設定値が表示されます。

各種機器から本製品を検出するときに、表示されている識別名（SSID）で検出します。

参考

- タッチスクリーンで以下を確認できます。
  - SSID
  - セキュリティ設定
  - パスワード
  - Wi-Fi Direct 対応の各種機器に表示される本製品の名称

  表示されるパスワードは、各種機器から接続するときに必要となります。ご使用の機器によっては、パスワードが不要な場合もあります。

  Wi-Fi Direct 対応の各種機器を本製品に接続する場合は、表示される機種の名称をご使用の機器で選んでください。
- 識別名（SSID）とパスワードは自動的に設定されます。識別名（SSID）とパスワードを更新する場合は、以下を参照してください。

  無線ダイレクトの設定を変更する

10. ［OK］を選ぶ

無線ダイレクトが有効となり、本製品と各種機器を、直接無線で接続することができます。

各種機器を本製品に接続する

1. 各種機器の無線 LAN 機能を有効にする

各種機器の「設定」メニューなどにある、「Wi-Fi」を有効にします。

無線 LAN 機能を有効にする手順については、ご使用の機器の取扱説明書を参照してください。

2. 各種機器に表示されるリストから、「DIRECT-XXXX-TS8000series」（X は英数字）を選ぶ

参考

- 「DIRECT-XXXX-TS8000series」が表示されない場合は、本製品が無線ダイレクトに設定されてない可能性があります。

  「本製品の設定を無線ダイレクトへ変更する」を参照して、本製品を無線ダイレクトに設定してください。

3. パスワードを入力する

各種機器と本製品が接続されます。

参考

- 本製品に設定されているパスワードを確認してください。

  以下の方法で確認することができます。

  - 本製品のタッチスクリーンに表示する。

    LAN 設定

  - ネットワーク設定情報を印刷する。

    本製品のネットワーク設定情報を印刷する

- ご使用の各種機器によっては、本製品に無線 LAN 接続するときにパスワードの入力を求められますので、本製品に設定されているパスワードを入力してください。
- ご使用の各種機器が Wi-Fi Direct 対応の各種機器で、Wi-Fi Direct での使用が優先されている場合、本製品のタッチスクリーンに Wi-Fi Direct 対応の各種機器の接続を許可するかどうかの確認画面が表示されます。

  表示されている機器名がご使用の各種機器名と同じであることを確認して、[はい]を選んでください。

印刷、スキャンする

ご使用の各種機器と本製品を接続したあと、各種機器のアプリから印刷またはスキャンを行います。

参考

- 各種機器からの印刷／スキャン方法については、お使いの機器やアプリケーションソフトに付属の取扱説明書を参照してください。
- Canon PRINT Inkjet/SELPHY をインストールして、ご使用のスマートフォン／タブレットから印刷／スキャンすることができます。Canon PRINT Inkjet/SELPHY は App Store や Google Play からダウンロードできます。

  iOS はこちら
  Android はこちら

本製品の設定を無線 LAN 接続に変更する

以下の手順で本製品の設定を無線 LAN 接続に変更します。

1. ホーム画面で （セットアップ）を選ぶ

   操作パネルの使いかた

2. ［設定］を選ぶ

3. ［本体設定］を選ぶ

4. ［LAN 設定］を選ぶ

5. ［無線 LAN］を選ぶ

6. ［無線 LAN の有効/無効］を選ぶ

7. ［有効］を選ぶ

   本製品を無線 LAN 接続で使用しない場合は、［無効］を選んでください。

無線ダイレクトの設定を変更する

以下の手順で、無線ダイレクトの設定を変更することができます。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する

2. ホーム画面で （セットアップ）を選ぶ

   操作パネルの使いかた

3. ［設定］を選ぶ

4. ［本体設定］を選ぶ

5. ［LAN 設定］を選ぶ

6. ［無線ダイレクト］を選ぶ

7. 項目を選ぶ

- 本製品を無線ダイレクトで使用するときの識別名（SSID）とパスワードを更新する場合

  A を選ぶと確認画面が表示されます。識別名（SSID）とパスワードを更新したい場合は、［はい］を選びます。

  次に表示される画面で［はい］を選ぶと、セキュリティの設定と更新されたパスワードを確認できます。

- Wi-Fi Direct 対応の各種機器に表示される本製品の名称を変更する場合

  B を選ぶとデバイス名を設定する画面が表示されます。

  名称を変更する場合は、以下の手順で行います。

  1. 入力欄をタップします。
  2. デバイス名を入力します（32 文字まで）。
  3. ［OK］を選び、デバイス名の入力を終了します。

4. ［OK］を選び、デバイス名の設定を終了します。

- Wi-Fi Direct 対応機器が本製品に接続するときの、確認画面の設定を変更する場合

  C を選ぶと確認画面が表示されます。Wi-Fi Direct 対応機器が本製品に接続しようとしたときに、接続を通知する画面を表示させたい場合は［する］を選びます。

  重要

  - 不正なアクセスを防ぐために、確認画面を表示させる設定のままにしておくことをお勧めします。

- 現在の無線ダイレクトの設定を確認する場合

  D を選ぶと確認画面が表示されます。［はい］を選ぶと、現在の無線ダイレクトの設定が表示されます。

  参考

  - ［詳細情報印刷］を選ぶと、ネットワーク設定情報を印刷できます。

8. ホームボタンをタッチする

   ホーム画面が表示されます。

参考

- 本製品の無線ダイレクトの設定を変更した場合は、各種機器でも接続先の設定を変更してください。

写真データを印刷してみよう

- メモリーカードの写真を印刷する
- 便利な写真印刷機能を使う
- 本製品の操作パネルを使って写真印刷するときの設定項目

メモリーカードの写真を印刷する

メモリーカードに保存されている写真をかんたんな操作で印刷することができます。

ここでは、［選んで写真印刷］で印刷するときの操作手順について説明します。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する

2. 写真用紙をセットする

3. ホーム画面から ［プリント］を選ぶ

   操作パネルの使いかた

4. ［メモリーカードから］を選ぶ

   メモリーカード印刷メニューが表示されます。

5. ［選んで写真印刷］を選ぶ

6. メモリーカードをカードスロットにセットする

   写真選択画面が表示されます。

   参考

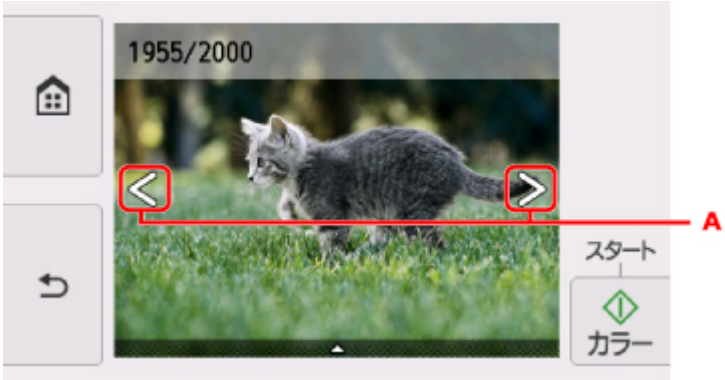
   - メモリーカード印刷メニューを表示する前にメモリーカードをセットした場合も写真選択画面が表示されます。
   - メモリーカードに印刷できる写真データが保存されていない場合は、タッチスクリーンに［適切なデータが保存されていません］というメッセージが表示されます。
   - メモリーカードに 2000 枚を超える写真データが保存されている場合は、日付（写真データの更新日）が新しい順に 2000 枚ごとのグループに分けられます。画面に表示されるメッセージを確認し、［OK］を選んでください。

7. 必要に応じて設定する

   - 印刷する写真を選ぶときは：

     左右にフリックして写真を選びます。

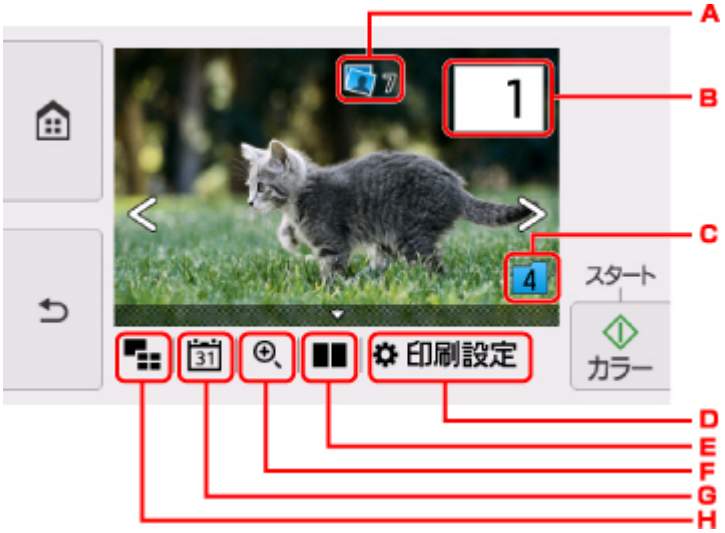
     A をタップして、写真を選ぶこともできます。



カラーボタンをタッチすると、表示されている写真を 1 部印刷できます。

- 写真の表示方法や印刷部数、印刷設定を変更するときは：

  写真の下辺付近の△をタップすると、メニューが表示されます。



A. 合計印刷部数

合計印刷部数が表示されます。

タップすると［選択画像の部数確認］画面が表示され、写真ごとの印刷部数を確認することができます。［選択画像の部数確認］画面では写真ごとに部数を変更することもできます。

B. 印刷部数

タップすると、印刷部数を指定できます。

1. 上下にフリックして、印刷部数を指定します。

   タップすると、写真選択画面に戻ります。

2. タップして、印刷部数を指定します。

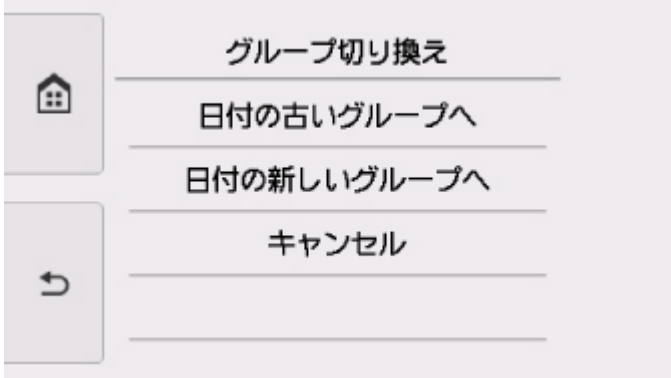
   タッチし続けると、10 枚ずつ部数を指定します。

参考

- 写真ごとに印刷部数を指定することができます。印刷したい写真をそれぞれ表示してから、写真ごとに印刷部数を指定します。

C. グループ切換

タップすると、表示するグループを切り換えることができます。



詳しくは、以下を参照してください。

■ 便利な表示機能を使う

D. 印刷設定

タップすると、［印刷設定］画面が表示されます。

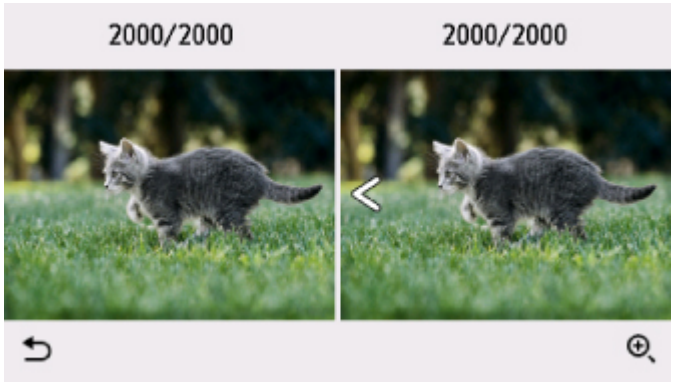
用紙サイズや用紙種類、印刷品質などの印刷設定を変更することができます。

設定項目については、以下を参照してください。

■ 本製品の操作パネルを使って写真印刷するときの設定項目

E. 写真比較表示

タップすると、写真を 2 枚並べて表示することができます。



詳しくは、以下を参照してください。

■ 便利な表示機能を使う

F. 拡大表示

タップすると、写真を拡大して表示することができます。

詳しくは、以下を参照してください。

■ 便利な表示機能を使う

G. 日付選択

タップすると、表示する写真を日付（写真データの更新日）で指定できます。

詳しくは、以下を参照してください。

■ 便利な表示機能を使う

H. 多画面表示

タップすると、複数の写真を一度に表示できます。

表示方法については、以下を参照してください。

■ 便利な表示機能を使う

8. カラーボタンをタッチする

印刷が開始されます。

参考

- 印刷を中止するときは、ストップボタンをタッチします。
- 印刷中にも、続けて印刷する写真を追加（フォト印刷予約）することができます。

写真印刷を予約する

写真印刷を予約する

写真を印刷している途中でも、印刷する写真を追加（フォト印刷予約）することができます。

以下の手順で、印刷する写真を追加します。

1. 印刷中に写真をフリックして、次に印刷したい写真を選ぶ

参考

- 写真を選んでいる間も、印刷待ちの写真は順に印刷されます。
- 印刷中や印刷待ちの写真には、 印刷予約済みアイコンが表示されます。

2. 写真ごとに部数や印刷設定を指定する

参考

- 印刷予約する写真の［用紙サイズ］と［用紙種類］は変更できません。印刷中や印刷待ちの写真と同じ設定となります。

3. カラーボタンをタッチする

すでに印刷を開始した写真の次に、印刷予約した写真の印刷が開始されます。

さらに印刷する写真を追加したい場合は、手順 1 から操作してください。

参考

- 印刷予約中は、ホーム画面を表示したり、ほかの印刷メニューに変更したりできません。またパソコンやほかの機器からの印刷もできません。
- 印刷予約中は、グループを切り替えることはできません。
- 印刷予約中にストップボタンをタッチすると、印刷予約を中止する方法を選択する画面が表示されます。［すべての予約をキャンセル］をタップすると、印刷中や印刷予約したすべての写真の印刷を中止します。［最後の予約をキャンセル］をタップすると、最後に予約した印刷を中止します。
- 印刷予約が多いときは、タッチスクリーンに［これ以上、印刷を予約できません　しばらく待ってから、印刷を予約してください］と表示される場合があります。しばらく待ってから、印刷予約してください。

本製品の操作パネルを使って写真印刷するときの設定項目

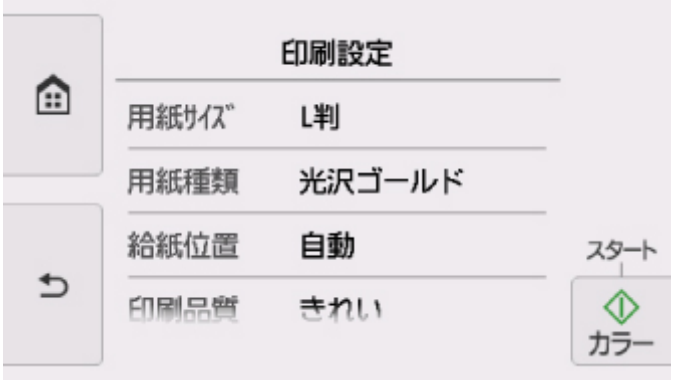
メモリーカードに保存されている写真を印刷するときに用紙サイズや用紙種類、補正などの設定を変更することができます。

印刷設定画面について

印刷メニューによって、印刷設定画面の表示方法が異なります。

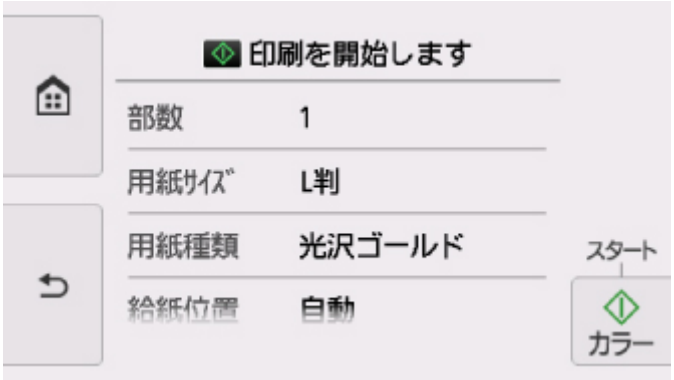
- **［選んで写真印刷］または［スライドショー］の場合**

  ［印刷設定］をタップすると、以下の画面が表示されます。



- **［トリミング印刷］または［カレンダー印刷］の場合**

  印刷を開始する前に、以下の画面が表示されます。



項目について

上下にフリックして設定項目を表示し、設定項目をタップすると各設定が表示されます。設定をタップして指定します。

参考

- 印刷メニューによって、変更できる設定項目が異なります。ここでは、［選んで写真印刷］で印刷するときの設定項目について説明しています。

  変更できない設定項目はグレーアウト表示になる、または設定項目が表示されません。

- 設定項目によっては、ほかの設定項目の設定や印刷メニューと組み合わせて指定できない設定があります。組み合わせて指定できない設定が選ばれている場合は、タッチスクリーンに！と［エラー詳細］が表示されます。タッチスクリーン左上の！をタップしてメッセージを確認し、設定を変更してください。

- いったん指定した用紙種類や印刷品質などの設定は、他の印刷メニューに変更したり電源を入れ直したりしても保持されます。

以下の設定項目を変更できます。

- 用紙サイズ

  セットした用紙のサイズを選びます。

- 用紙種類

  セットした用紙の種類を選びます。

- 給紙位置

  用紙をセットした給紙位置（後トレイ／カセット／自動）を選びます。

  参考

  - ［自動］を選ぶと、用紙設定（用紙サイズ／用紙種類）と一致する用紙がセットされている給紙位置から給紙します。

- 印刷品質

  印刷品質を設定できます。

- フチ指定

  フチのあり／なしを設定できます。

- 写真補正

  ［自動写真補正］を選ぶと、撮影された写真のシーンや被写体の顔などを認識して、それぞれの写真に最適な補正が自動的に行われます。逆光などで暗くなった人物の顔を明るくしたり、風景、夜景、人物などのシーンを解析し、各シーンに最適な色あい、明るさ、コントラストに自動的に補正したりして印刷が行われます。

  参考

  - メモリーカードに保存されている写真は、標準では自動写真補正で印刷されます。
  - ［補正しない］を選ぶと、写真の補正をせずに印刷が行われます。

- 赤目補正

  人物の目が赤く写った写真を補正して印刷できます。

  写真によっては赤目が補正されなかったり、目以外の部分が補正されたりする場合があります。

- 日付印刷

  写真に日付（撮影日）を付けて印刷するか設定できます。

  参考

  - 日付の印刷形式は［設定］メニューの［本体設定］の［本体の基本設定］にある［日付表示形式］の設定に従って印刷されます。

    本体の基本設定

ディスクレーベル印刷について

- ディスクのレーベル面をコピーする
- メモリーカードから印刷する
- 写真に手書き文字を合成してディスクレーベルに印刷する

ディスクのレーベル面をコピーする

既存のディスクのレーベル面を読み取り、プリンタブルディスクにコピーすることができます。

重要

- 8 cm（3.15 inches）プリンタブルディスクには印刷できません。
- プリンタブルディスク／ディスクトレイをセットする案内画面が表示されるまでは、ディスクトレイはセットしないでください。動作中にプリンタブルディスク／ディスクトレイをセットすると本製品を損傷するおそれがあります。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する

2. ホーム画面から［コピー］を選ぶ

   操作パネルの使いかた

3. ［ディスクレーベルコピー］を選ぶ

   印刷領域を指定する画面が表示されます。

4. 印刷領域を指定する

   A. 外径を指定します。

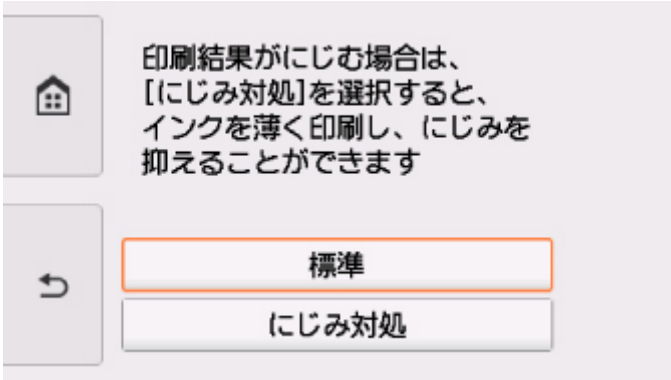
   B. 内径を指定します。

   参考

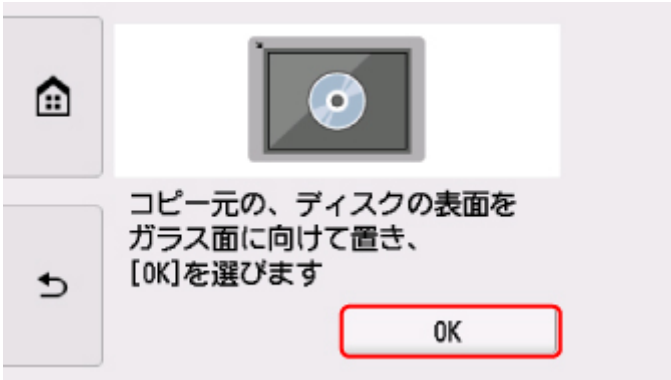
   - 外径／内径の寸法は、プリンタブルディスクのパッケージやケース内のインデックスシートに記載されている印刷可能範囲（最小内径、最大外径）を確認するか、または印刷面の外径／内径を実際に測り、外径には計測した値より小さい数値を、内径には計測した値より大きい数値を指定してください。
   - プリンタブルディスクの詳しい情報は、製品メーカーへお問い合わせください。

5. インク量を指定する

   印刷結果がにじむ場合は、［にじみ対処］を選んでください。インクを薄く印刷してにじみを抑えることができます。



6. 表示される案内に従って、コピー元のディスクを原稿台ガラスにセットし、[OK] を選ぶ

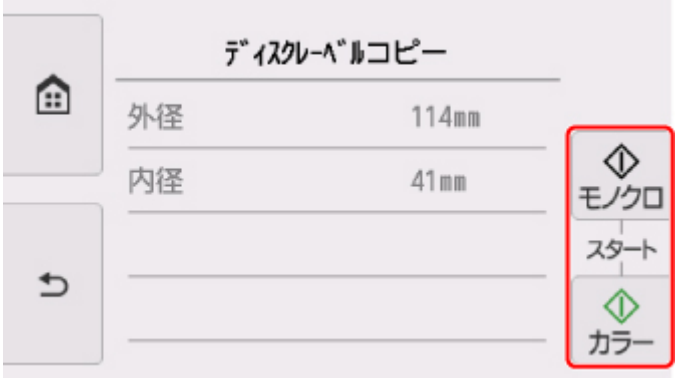


印刷確認画面が表示されます。

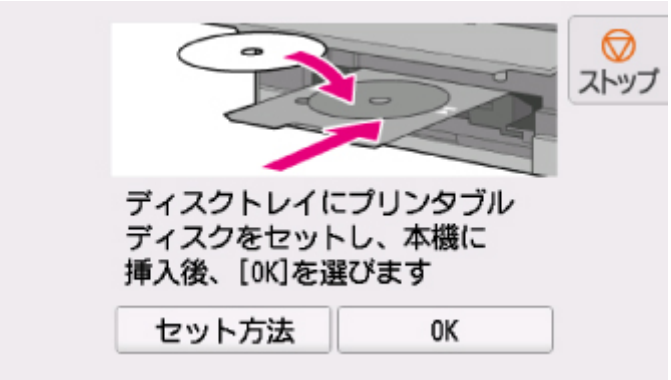
重要

- コピー元のディスクは、コピーする面を下向きにして原稿台ガラスの中央付近に置いてください。原稿台ガラスの端に置くと画像が欠けることがあります。

7. 印刷設定を確認してから、カラーコピーをする場合はカラーボタンをタッチする
白黒コピーをする場合はモノクロボタンをタッチする



8. 表示される案内に従って、プリンタブルディスクをセットする

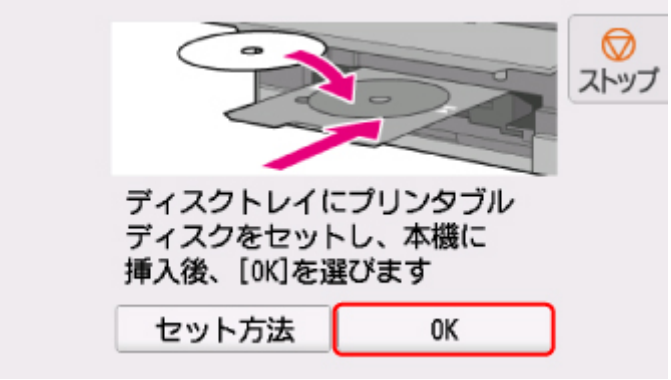


参考

- ［セット方法］を選ぶと、プリンタブルディスクのセット方法が表示されます。
- プリンタブルディスクのセット方法については、以下も参照してください。

  プリンタブルディスクをセットする

9. ［OK］を選ぶ



コピーが開始されます。

参考

- コピーを中止するときは、ストップボタンをタッチします。
- 印刷後はドライヤーの熱や直射日光を避け、自然乾燥させてください。また、インクが乾くまで印刷面には触らないでください。
- 印刷品質を保つため、10 枚以上連続して印刷する場合は、10 枚ごとに一度、印刷を中断することをお勧めします。その場合は、本製品からディスクトレイを取り外してディスクトレイガイドを閉じてください。3 分経過したあとでディスクトレイガイドを開き、ディスクトレイをセットして印刷を再開してください。
- 画像がずれて印刷される場合は、［本体設定］内の［印刷設定］の［ディスクの印刷位置調整］で印刷位置を調整してください。

  印刷設定

メモリーカードから印刷する

メモリーカードに保存されている写真をプリンタブルディスクに印刷します。

重要

- 8 cm（3.15 inches）プリンタブルディスクには印刷できません。
- プリンタブルディスク／ディスクトレイをセットする案内画面が表示されるまでは、ディスクトレイはセットしないでください。動作中にプリンタブルディスク／ディスクトレイをセットすると本製品を損傷するおそれがあります。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する

2. ホーム画面から ［プリント］を選ぶ

   操作パネルの使いかた

3. ［メモリーカードから］を選ぶ

   メモリーカード印刷メニューが表示されます。

4. ［写真データをディスクに印刷］を選ぶ

   印刷領域を指定する画面が表示されます。

5. メモリーカードをカードスロットにセットする

   参考

   - メモリーカード印刷メニューを表示する前にメモリーカードをセットした場合は、［選んで写真印刷］の写真選択画面が表示されます。

     ホームボタンをタッチすると、ホーム画面が表示されます。
   - メモリーカードに印刷できる写真データが保存されていない場合は、タッチスクリーンに［適切なデータが保存されていません］というメッセージが表示されます。
   - メモリーカードに 2000 枚を超える写真データが保存されている場合は、日付（写真データの更新日）が新しい順に 2000 枚ごとのグループに分けられます。画面に表示されるメッセージを確認し、［OK］を選んでください。

6. 印刷領域を指定する

A. 外径を指定します。

B. 内径を指定します。

参考

- 外径／内径の寸法は、プリンタブルディスクのパッケージやケース内のインデックスシートに記載されている印刷可能範囲（最小内径、最大外径）を確認するか、または印刷面の外径／内径を実際に測り、外径には計測した値より小さい数値を、内径には計測した値より大きい数値を指定してください。
- プリンタブルディスクの詳しい情報は、製品メーカーへお問い合わせください。

7. インク量を指定する

印刷結果がにじむ場合は、［にじみ対処］を選んでください。インクを薄く印刷してにじみを抑えることができます。

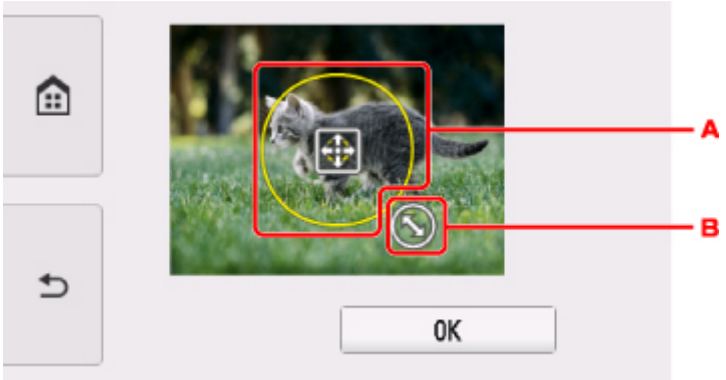
8. 印刷したい写真を選ぶ

参考

- こんなこともできます

  便利な表示機能を使う

9. トリミングして印刷範囲を指定する



A. ドラッグしてトリミング枠を移動します。

B. ドラッグしてトリミング枠の大きさを設定します。

トリミング範囲を指定し終えると、印刷設定画面が表示されます。

10. 印刷設定を確認し、カラーボタンをタッチする

11. 表示される案内に従って、プリンタブルディスクをセットする

参考

- ［セット方法］を選ぶと、プリンタブルディスクのセット方法が表示されます。
- プリンタブルディスクのセット方法については、以下も参照してください。

  プリンタブルディスクをセットする

12. ［OK］を選ぶ

印刷が開始されます。

参考

- 印刷を中止するときは、ストップボタンをタッチします。
- 印刷後はドライヤーの熱や直射日光を避け、自然乾燥させてください。また、インクが乾くまで印刷面には触らないでください。
- 印刷品質を保つため、10 枚以上連続して印刷する場合は、10 枚ごとに一度、印刷を中断することをお勧めします。その場合は、本製品からディスクトレイを取り外してディスクトレイガイドを閉じてください。3 分経過したあとでディスクトレイガイドを開き、ディスクトレイをセットして印刷を再開してください。
- 画像がずれて印刷される場合は、［本体設定］内の［印刷設定］の［ディスクの印刷位置調整］で印刷位置を調整してください。

  印刷設定

写真に手書き文字を合成してディスクレーベルに印刷する

本製品から印刷したディスクレーベル手書きナビシートを使って、写真を手書き文字や絵と合成してディスクレーベル（BD/DVD/CD など）に印刷することができます。

- ディスクレーベル手書きナビシートについて
- 写真に手書き文字を合成してディスクレーベルに印刷する

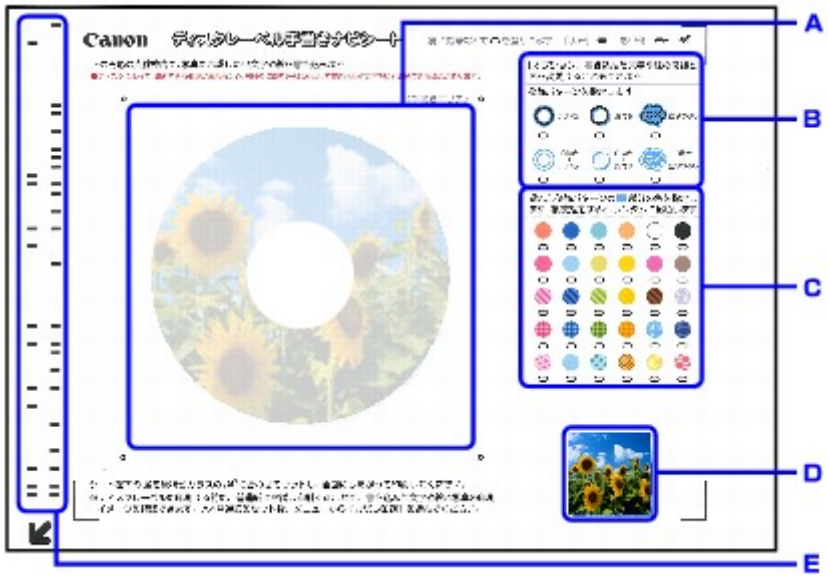
重要

- 8 cm（3.15 inches）プリンタブルディスクには印刷できません。

ディスクレーベル手書きナビシートについて

ここでは、ディスクレーベル手書きナビシートの書きかたや、マークの付けかたについて説明します。

- **ディスクレーベル手書きナビシートの書きかたについて**



A. 手書きエリアで、合成したい手書きの文字や絵をここに書き込みます。

B. 手書き文字や絵の飾りかたを選びます。

C. 手書き文字や絵を飾る色や模様を選びます。

D. 合成される前の写真が印刷されます。

E. 印刷する写真情報を含んだバーコードが印刷されます。

この部分は汚さないようにしてください。汚れやシワなどがあると、ディスクレーベル手書きナビシートを正しく読み込めない場合があります。

- **文字や絵の書きかたについて**

手書きエリアの円形の枠内に印刷したい文字や絵を手書きで書き込みます。

参考

- 手書きエリアの四隅の◘マークが汚れていると、ディスクレーベル手書きナビシートを正しく読み込めない場合があります。◘マーク付近は汚さないでください。
- 文字や絵は、濃い筆記用具でかすれのないようはっきりと書いてください。蛍光ペンなどの薄い色はうまく読み取れない場合があります。
- 背景になる写真と同じような色の手書き文字を合成すると、文字が読みにくくなります。
- 薄く印刷されているディスクレーベル手書きナビシートの写真に合わせて書いた文字や絵は、実際に合成したときにわずかにずれる場合があります。
- 印刷領域の設定によっては、ディスクレーベル手書きナビシート上の印刷イメージと印刷結果が異なる場合があります。
- 円形の枠の近辺に文字や絵を書くと、印刷のときに欠けることがあります。文字や絵は、枠の近辺には書かないことをお勧めします。

- **マークの付けかたについて**

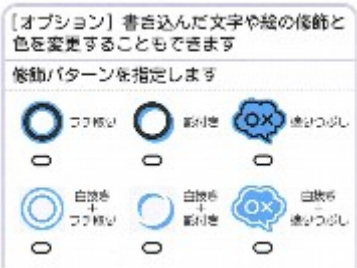
濃い鉛筆などでマークを塗りつぶしてください。

参考

- 塗りつぶしたマークが薄かったり、塗りつぶし範囲が小さかったりすると、ディスクレーベル手書きナビシートを正しく読み込めない場合があります。

- **手書き文字や絵の飾りかたについて**

お好みの飾りかたにマークを付けます。



手書き文字や絵の飾りかたの例については、「手書きナビシートについて」を参照してください。

参考

- いずれの飾りかたにもマークを付けていないときは、飾りをつけずにそのまま印刷されます。ただし、色や模様にマークを付けると、飾りかたが自動的に「塗りつぶし」に設定されて印刷されます。

- **色や模様について**

お好みの色や模様にマークを付けてください。

参考

- 手書き文字や絵の飾りかたにマークを付けていない場合に色や模様にマークを付けると、飾りかたが自動的に「塗りつぶし」設定されて印刷されます。
- 背景になる写真と同じような色や模様を選ぶと、手書き文字が読みにくくなります。
- チェック模様などを選ぶときは、飾りかたを「塗りつぶし」や「白抜き＋塗りつぶし」に指定することをお勧めします。それ以外の飾りかたでは、模様が見えづらくなる場合があります。
- 手書き文字や絵の飾りかたにマークを付けたときに、色や模様にマークを付けない場合、自動的に 1 色指定されます。
- 複数の色や模様を指定すると、ランダムに手書き文字や絵に配色されます。
- 手書き文字や絵のフチがつながっていると、複数の色や模様を指定した場合も、つながっている範囲すべてに同じ色または模様が配色されます。

写真に手書き文字を合成してディスクレーベルに印刷する

ここでは、ディスクレーベル手書きナビシートを印刷して、写真に手書き文字を合成してディスクレーベルに印刷するまでの操作手順について説明します。

重要

- プリンタブルディスク／ディスクトレイをセットする案内画面が表示されるまでは、ディスクトレイはセットしないでください。動作中にプリンタブルディスク／ディスクトレイをセットすると本製品を損傷するおそれがあります。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する

2. ホーム画面から ［プリント］を選ぶ

   操作パネルの使いかた

3. ［メモリーカードから］を選ぶ

   メモリーカード印刷メニューが表示されます。

4. ［ディスクレーベル手書き印刷］を選ぶ

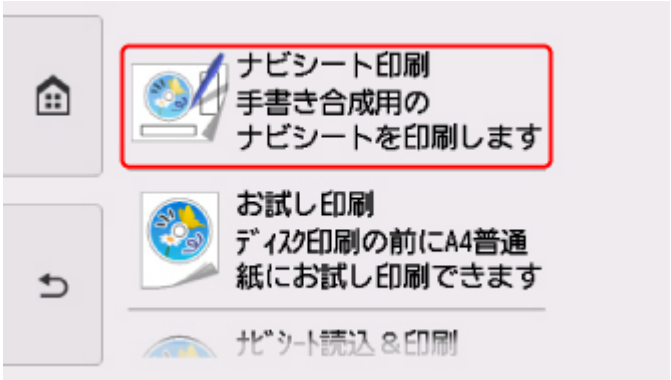
5. メモリーカードをカードスロットにセットする

   参考

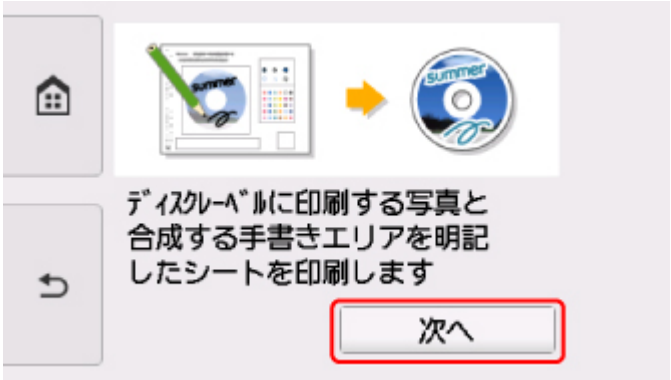
   - メモリーカード印刷メニューを表示する前にメモリーカードをセットした場合は、［選んで写真印刷］の写真選択画面が表示されます。

     ホームボタンをタッチすると、ホーム画面が表示されます。

6. ［ナビシート印刷］を選ぶ



7. 表示される案内を確認し、［次へ］を選ぶ



8. 印刷したい写真を選ぶ

参考

- こんなこともできます
  - 便利な表示機能を使う

9. トリミングして印刷範囲を指定する

A. ドラッグしてトリミング枠を移動します。

B. ドラッグしてトリミング枠の大きさを設定します。

トリミング範囲を指定し終えると、印刷設定画面が表示されます。

10. 表示される案内に従って、A4 サイズの普通紙をカセットにセットする

普通紙をセットするときは、用紙ガイドを用紙の両端に軽く当ててください。

- 用紙をセットする

重要

- 正しくセットしないと、ディスクレーベル手書きナビシートがうまく印刷されない場合があります。

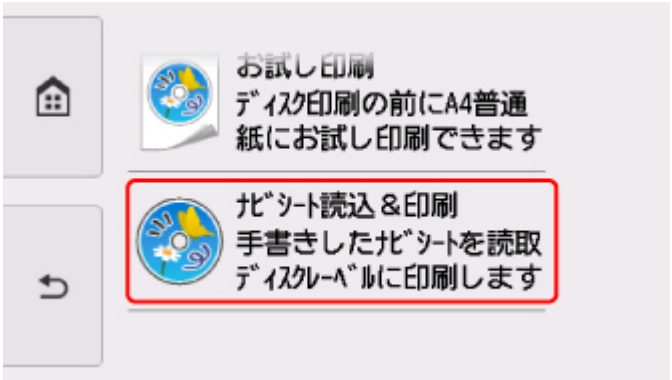
11. カラーボタンをタッチする

ディスクレーベル手書きナビシートが印刷されます。

12. ディスクレーベル手書きナビシートにマークを付け、合成したい文字や絵を書き込む

- ディスクレーベル手書きナビシートについて

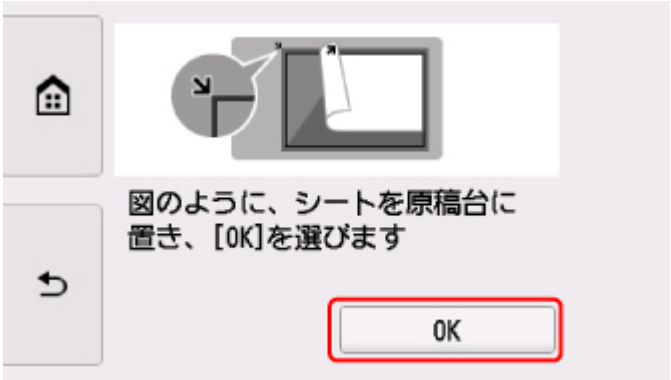
13. ［ナビシート読込&印刷］を選ぶ



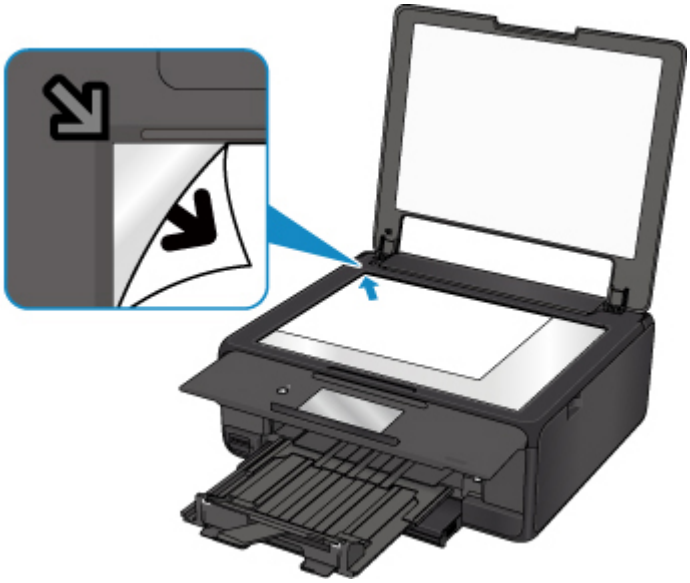
参考

- **お試し印刷について**
  - ［お試し印刷］を選ぶと、プリンタブルディスクに印刷する前に A4 サイズの普通紙にお試し印刷することもできます。表示される案内画面に従って、操作してください。
  - お試し印刷するときの外径／内径の寸法は、実際に印刷するプリンタブルディスクの印刷面の寸法に合わせて指定してください。
  - お試し印刷結果の色あいや見えかたは、実際にプリンタブルディスクに印刷したときの印刷結果と異なる場合があります。
  - お試し印刷する場合は、排紙トレイを通常の印刷時の位置に戻してください。

14. 表示される案内画面に従って、手書き文字を書き込んだディスクレーベル手書きナビシートを原稿台ガラスにセットし、［OK］を選ぶ



手書き文字を書き込んだ面を下にして、図のようにディスクレーベル手書きナビシートの左下隅の↙マークを原稿位置合わせマーク（↘）に合わせ、原稿台カバーを閉じます。



15. 印刷領域を指定する

A. 外径を指定します。

B. 内径を指定します。

参考

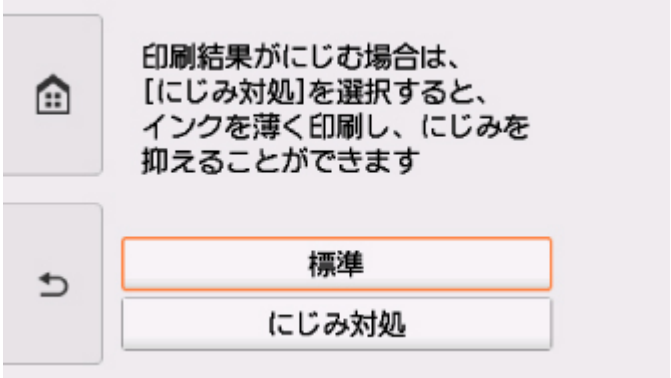
- 外径／内径の寸法は、プリンタブルディスクのパッケージやケース内のインデックスシートに記載されている印刷可能範囲（最小内径、最大外径）を確認するか、または印刷面の外径／内

径を実際に測り、外径には計測した値より小さい数値を、内径には計測した値より大きい数値を指定してください。

- プリンタブルディスクの詳しい情報は、製品メーカーへお問い合わせください。

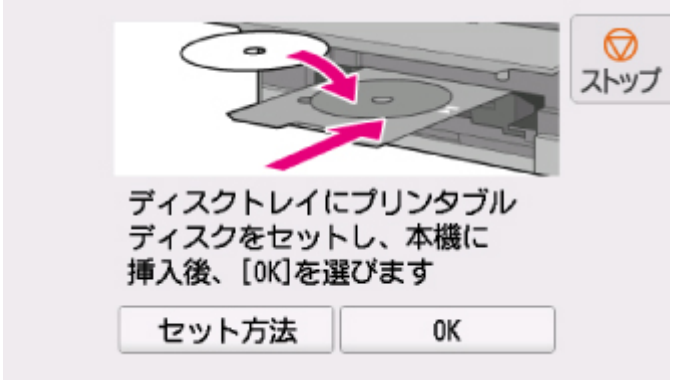
16. インク量を指定する

印刷結果がにじむ場合は、［にじみ対処］を選んでください。インクを薄く印刷してにじみを抑えることができます。



17. 印刷設定を確認し、カラーボタンをタッチする

18. 表示される案内に従って、プリンタブルディスクをセットする

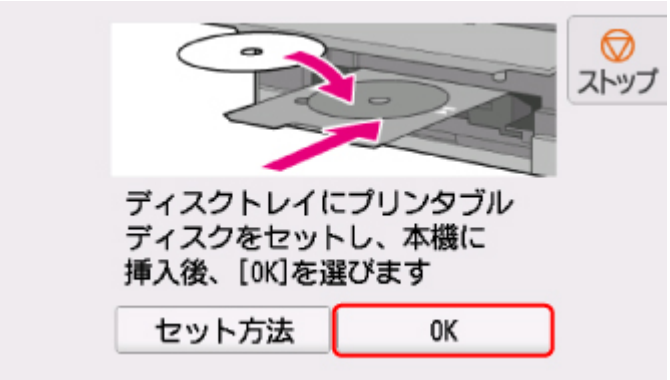


参考

- ［セット方法］を選ぶと、プリンタブルディスクのセット方法が表示されます。
- プリンタブルディスクのセット方法については、以下も参照してください。

  プリンタブルディスクをセットする

19. ［OK］を選ぶ



ディスクレーベル手書きナビシートがスキャンされ、写真に手書きエリアの内容が合成されて印刷されます。

印刷が完了するまでディスクレーベル手書きナビシートは動かさないでください。

印刷終了後、原稿台ガラスからディスクレーベル手書きナビシートを取り出してください。

重要

- タッチスクリーンに［ディスクレーベル手書きナビシートの読み取りに失敗しました］と表示された場合は、［OK］をタップして、以下を確認してください。
  - 原稿台ガラスやディスクレーベル手書きナビシートが汚れていないか
  - ディスクレーベル手書きナビシートのセット位置／表裏が間違っていないか
  - ディスクレーベル手書きナビシートのバーコード付近が汚れていないか
  - 色のついた用紙を使用していないか

  確認後、ディスクレーベル手書きナビシートを印刷し直す、または読み取り直してください。ディスクレーベル手書きナビシートを印刷し直すときは、A4 サイズの白い普通紙を正しくセットしてください。
- 写真の印刷が完了するまで、メモリーカードを抜かないでください。

参考

- 印刷を中止するときは、ストップボタンをタッチします。
- 手書きした文字や絵の大きさや形によっては、印刷に時間がかかることがあります。
- 印刷後はドライヤーの熱や直射日光を避け、自然乾燥させてください。また、インクが乾くまで印刷面には触らないでください。
- 印刷品質を保つため、10 枚以上連続して印刷する場合は、10 枚ごとに一度、印刷を中断することをお勧めします。その場合は、本製品からディスクトレイを取り外してください。3 分経過したあとでディスクトレイをセットして印刷を再開してください。
- 画像がずれて印刷される場合は、［本体設定］内の［印刷設定］の［ディスクの印刷位置調整］で印刷位置を調整してください。

  印刷設定

印刷時の用紙設定

本製品では、後トレイやカセットにセットした用紙のサイズや種類をあらかじめ本製品に登録することで、セットした用紙と印刷時の用紙設定が合っていない場合に、印刷前にメッセージを表示して印刷ミスを防止することができます。

参考

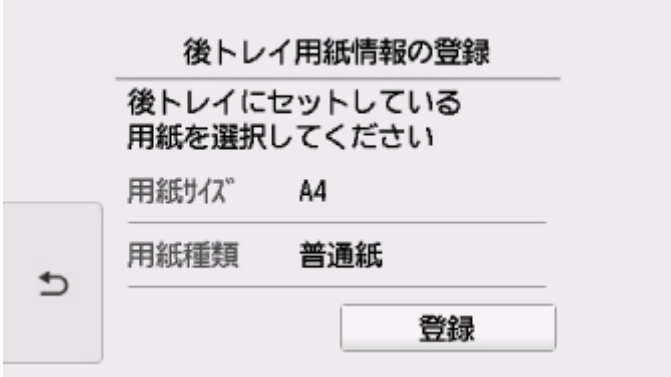
- 印刷ミスを防止するためのメッセージを表示する機能は、本製品の操作パネルを使って印刷やコピーするときと、プリンタードライバーから印刷するときで、ご購入時の設定が異なります。

  印刷ミスを防止するためのメッセージを表示する機能の初期設定について

用紙をセットした後に：

- **給紙口カバーを閉じると：**

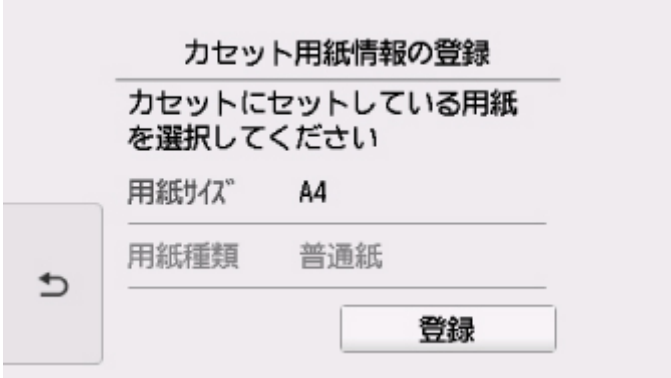
後トレイの用紙情報を登録する画面が表示されます。



セットした用紙に合わせて、用紙サイズと用紙種類を登録してください。

- **カセットをセットすると：**

カセットの用紙情報を登録する画面が表示されます。



セットした用紙に合わせて、用紙サイズを登録してください。

※カセットには普通紙のみセットできます。

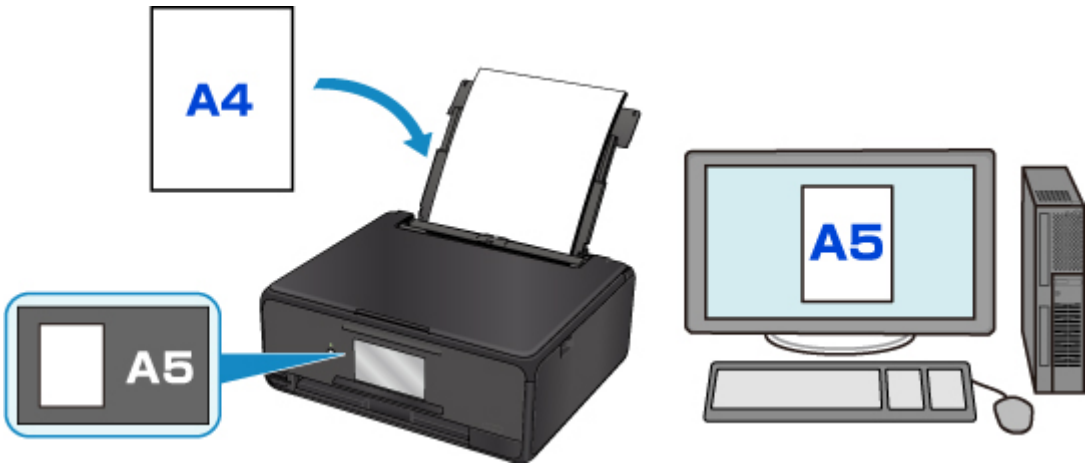
重要

- プリンタードライバーで指定できる用紙の設定と、本製品のタッチスクリーンで指定できる用紙の設定の適切な組み合わせについては、以下を参照してください。
  - Windows をご使用の場合：
    - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙の種類）
    - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙のサイズ）
  - Mac OS をご使用の場合：
    - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙の種類）
    - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙のサイズ）

印刷やコピーするときの用紙設定が、本製品に登録した用紙情報と異なっていると：

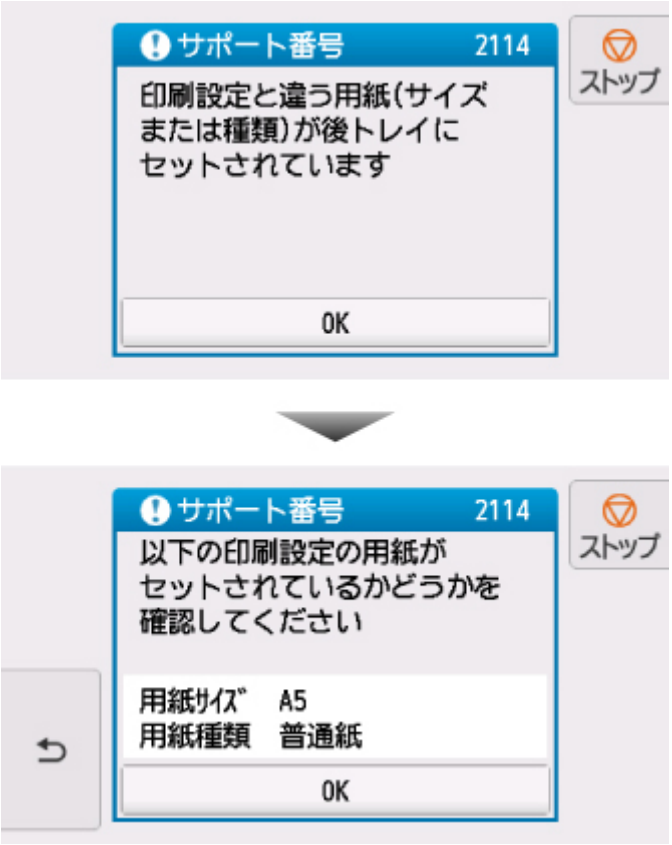
例：

- 印刷やコピーするときの用紙設定：A5 サイズ
- 本製品に登録した用紙情報：A4 サイズ



印刷やコピーしようとすると、メッセージが表示されます。

本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］を選ぶと、印刷やコピーするときに指定した用紙設定がメッセージの下に表示されます。



表示されたメッセージを確認して、［OK］を選んでください。処理方法を選ぶ画面が表示されますので、以下のいずれかを選んでください。

参考

- 設定によっては、以下の処理方法が表示されない場合があります。

セットしている用紙で印刷

印刷やコピーするときに設定した用紙サイズまたは用紙種類のままで、印刷やコピーする場合に選びます。

例えば、印刷やコピーするときの用紙サイズの設定が A5 サイズで、用紙情報では A4 サイズと登録していた場合、A5 サイズの設定のまま後トレイまたはカセットにセットされている用紙に印刷またはコピーします。

用紙を交換して印刷

後トレイまたはカセットの用紙を交換してから印刷する場合に選びます。

例えば、印刷やコピーするときの用紙サイズの設定が A5 サイズで、用紙情報では A4 サイズと登録していた場合、後トレイまたはカセットの用紙を A5 サイズの用紙に交換してから印刷またはコピーします。

用紙を交換し給紙口カバーを閉じた後、またはカセットを取り付けた後、用紙情報登録画面が表示されます。後トレイ、カセットそれぞれにセットした用紙に合わせて、用紙情報を登録してください。

参考

- 本製品に登録する用紙情報が分からない場合は、処理方法を選ぶ画面で戻るボタンをタッチしてください。前の画面に戻りますので、表示される用紙サイズや用紙種類を確認し、用紙情報に登録してください。
- プリンタードライバーの指定できる用紙の設定と、本製品のタッチスクリーンで指定できる用紙の設定の適切な組み合わせについては、以下を参照してください。
  - Windows をご使用の場合：
    - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙の種類）
    - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙のサイズ）
  - Mac OS をご使用の場合：
    - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙の種類）
    - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙のサイズ）

キャンセル

印刷を中止します。

印刷やコピーするときに指定した用紙設定を変更する場合に選びます。用紙設定を変更して印刷をやり直してください。

印刷ミスを防止するためのメッセージを表示する機能の初期設定について

- **本製品の操作パネルを使って印刷するときは**

  初期設定で印刷ミスを防止するためのメッセージを表示する機能が有効となっています。

  本製品の操作パネルから印刷やコピーするときの表示設定を変更するには：

  - 給紙設定

- **プリンタードライバーから印刷するときは**

  初期設定で印刷ミスを防止するためのメッセージを表示する機能が無効となっています。

  プリンタードライバーから印刷するときの表示設定を変更するには：

  - Windows をご使用の場合：
    - プリンターの設定を変更する
  - Mac OS をご使用の場合：
    - プリンターの設定を変更する

重要

- 印刷ミスを防止するためのメッセージを表示する機能を無効にしているときは：

印刷やコピーするときの用紙設定と本製品に登録した用紙情報が異なっていても、そのまま印刷またはコピーが始まります。

コピーする

ここでは、［標準コピー］でコピーする手順について説明します。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する

2. 用紙をセットする

3. ホーム画面から［コピー］を選ぶ

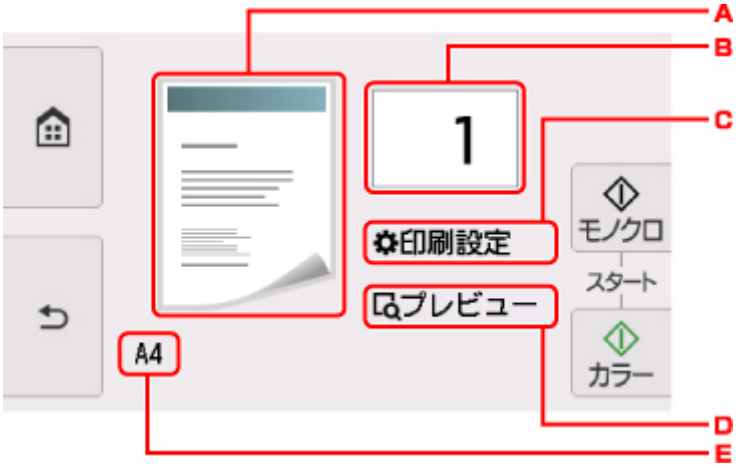
   操作パネルの使いかた

4. ［標準コピー］を選ぶ

   コピー待機画面が表示されます。

5. 原稿台ガラスに原稿をセットする

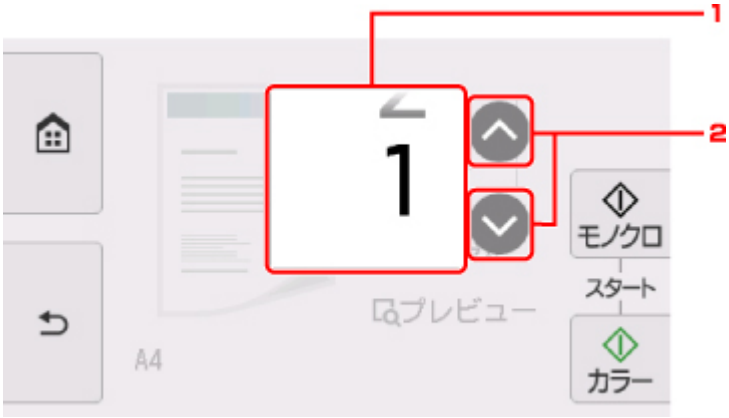
6. 必要に応じて設定する



A. コピーレイアウトが表示されます。

   タップして、1 面、2in1、両面のレイアウトを切り替えます。

B. タップして部数を指定します。



   1. 上下にフリックして、印刷部数を指定します。

2. タップして、印刷部数を指定します。

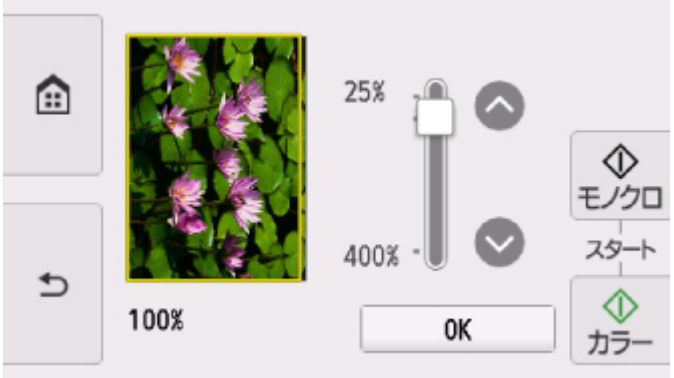
タッチし続けると、10 枚ずつ部数を指定します。

C. タップすると、印刷設定項目が表示されます。

設定項目については、以下を参照してください。

■ コピーするときの設定項目

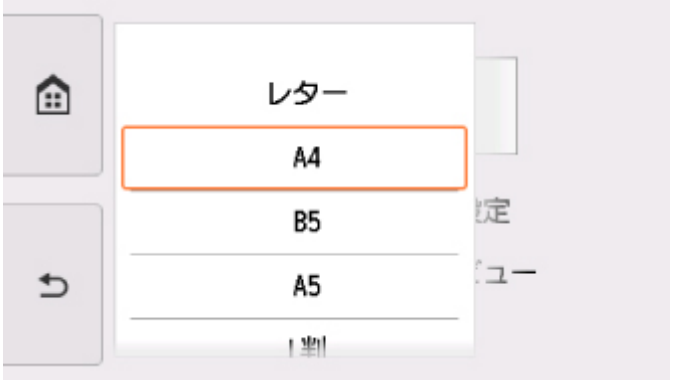
D. タップすると、プレビュー画面で印刷結果を確認することができます。



詳しくは、以下を参照してください。

■ プレビュー画面を表示する

E. タップして、用紙サイズを指定します。



7. カラーコピーをする場合はカラーボタンをタッチする
白黒コピーをする場合はモノクロボタンをタッチする

コピーが開始されます。

コピー終了後、原稿台ガラスから原稿を取り出してください。

重要

- 原稿の読み取りが終わるまで原稿台カバーを開けたり、原稿を原稿台ガラスから取り出したりしないでください。

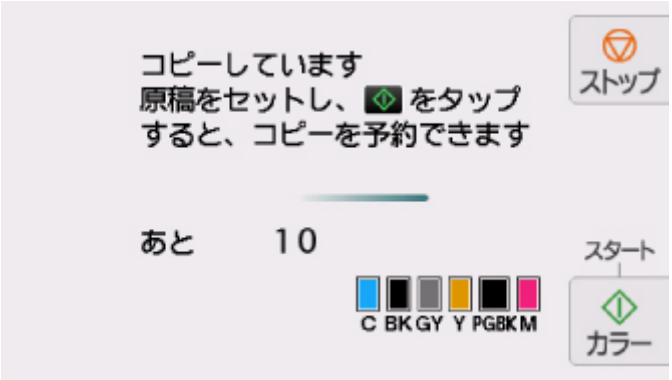
参考

- コピーを中止するときは、ストップボタンをタッチします。

続けて原稿をコピーする（コピー予約）

コピー中でも、続けて次の原稿をセットして読み取ることができます（コピー予約）。

続けて次の原稿をセットできるときは、以下のような画面が表示されます。



次の原稿をセットして、コピー中の原稿をコピーするときにタッチしたボタン（カラーボタンまたはモノクロボタン）と同じボタンをタッチしてください。

重要

- 原稿をセットするときは、原稿台カバーをゆっくり開閉してください。

参考

- ［印刷品質］が［きれい］に設定されているときは、コピーが終了するまでお待ちください。
- 続けてコピーするときは、用紙サイズや用紙の種類などの印刷設定や部数を変更できません。
- コピー予約中にストップボタンをタッチすると、コピー予約を中止する方法を選択する画面が表示されます。［すべての予約をキャンセル］を選ぶと、読み取ったすべての原稿のコピーを中止します。［最後の予約をキャンセル］を選ぶと、最後にセットした原稿のコピーを中止します。
- 続けてコピーする原稿が多いときは、タッチスクリーンに［これ以上、コピーの予約はできません しばらく待ってからコピーを予約してください］と表示される場合があります。［OK］を選んでしばらく待ってから、コピーしてください。
- 原稿の読み取り中に［コピーを予約できませんでした　最初からやり直してください］と表示された場合は、［OK］を選んでから、ストップボタンをタッチし、いったんコピーを中止してください。そのあと、コピーできなかった原稿からコピーし直してください。

コピーするときの設定項目

コピーをするときに、倍率や濃度などの印刷設定を変更することができます。

印刷設定画面について

参考

- ［写真コピー］の印刷設定画面と設定項目については、「写真をコピーする」を参照してください。

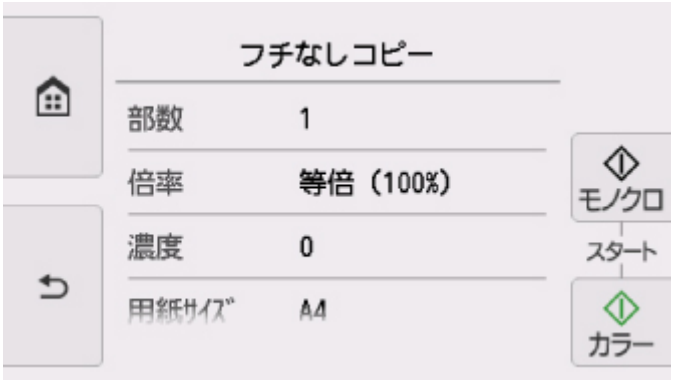
コピーメニューによって、コピー設定画面の表示方法が異なります。

- ［標準コピー］の場合：

  コピー待機画面で［印刷設定］を選ぶと、以下の画面が表示されます。

- ［フチなしコピー］、［枠消しコピー］、［ID カードコピー］の場合：

  コピーを開始する前に、以下の画面が表示されます。



項目について

上下にフリックして設定項目を表示し、設定項目を選ぶと各設定が表示されます。設定をタップして指定します。

参考

- コピーメニューによって、変更できる設定項目が異なります。ここでは、［標準コピー］で印刷するときの設定項目について説明しています。

  変更できない設定項目はグレーアウト表示になります。

  ［写真コピー］でコピーするときの設定項目については、「写真をコピーする」を参照してください。
- 設定項目によっては、ほかの設定項目の設定やコピーメニューと組み合わせて指定できない設定があります。組み合わせて指定できない設定が選ばれている場合、タッチスクリーンに！と［エラー詳

細］が表示されます。タッチスクリーン左上の をタップしてメッセージを確認し、設定を変更してください。

- いったん指定した用紙サイズや用紙種類などの設定は、コピーメニューを変更する、または電源を入れ直しても保持されます。
- すでに用紙サイズや用紙の種類などを設定しているときに、その設定ではコピーできないメニューでコピーを開始しようとすると、タッチスクリーンに［現在の設定では、指定した機能を実行できません］というメッセージが表示されます。メッセージに従って、設定を変更してください。

以下の設定項目を変更できます。

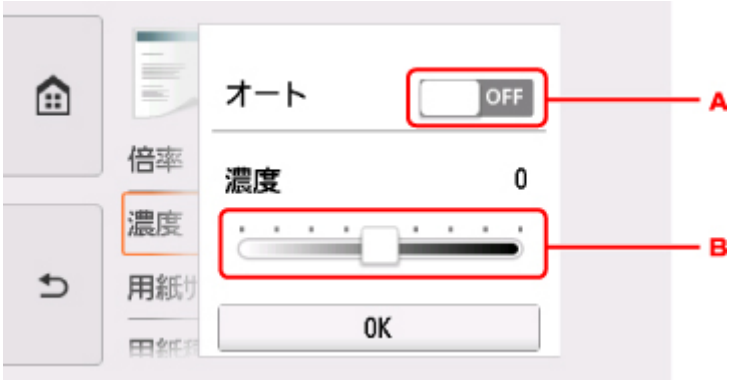
- 倍率

  拡大／縮小の方法を設定します。

  ■ 拡大／縮小してコピーする

- 濃度

  濃度（明るさ）を設定します。



  A. タップして、自動濃度調整をオン／オフします。

     オンにすると、原稿台ガラスにセットした原稿に合わせて自動で濃度を調整して印刷できます。

  B. ドラッグして濃度を指定します。

- 用紙サイズ

  セットした用紙のサイズを選びます。

- 用紙種類

  セットした用紙の種類を選びます。

- 給紙位置

  用紙をセットした給紙位置（後トレイ／カセット／自動）を選びます。

  参考

  - ［自動］を選ぶと、用紙設定（用紙サイズ／用紙種類）と一致する用紙がセットされている給紙位置から給紙します。

- 印刷品質

  コピーしたい原稿に合わせて印刷品質を設定します。

  重要

  - ［用紙種類］が［普通紙］の場合、［下書き］を選んで思ったような印刷品質で印刷できないときは、［印刷品質］で［標準］または［きれい］を選んで、もう一度印刷してみてください。

- グレースケールでコピーしたいときは、［印刷品質］で［きれい］を選んでください。グレースケールとは、二値（2 階調）で表現している白黒に対し、グレーの濃淡を数多くの階調で表現したものです。

- レイアウト

  レイアウトの設定をします。

  - 2 枚の原稿を 1 枚にコピーする
  - 4 枚の原稿を 1 枚にコピーする

- 両面印刷設定

  用紙の両面にコピーするかを設定します。

  - 両面コピーをする

パソコンからスキャンしてみよう（Windows）

- **IJ Scan Utility でスキャンする**
- **お使いのアプリケーションソフトでスキャンする（ScanGear）**
- **そのほかのスキャンのしかた**
- **IJ Network Scanner Selector EX2 のメニューと設定画面**
- **スキャンの役立つ情報**
  - 原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）
  - ネットワーク環境でスキャンするときの設定方法

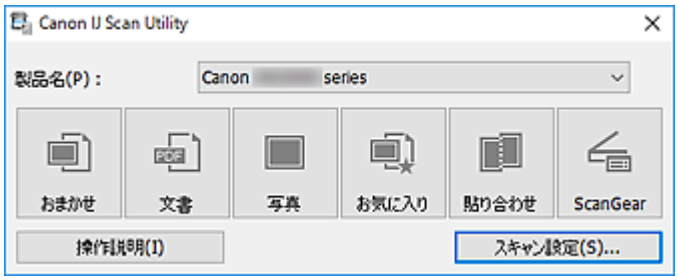
IJ Scan Utility でスキャンする

- スキャナー用ソフト「IJ Scan Utility」とは
- IJ Scan Utility を起動する
- おまかせスキャンでかんたんにスキャンする 基本
- 文書をスキャンする
- 写真をスキャンする
- お気に入りの設定でスキャンする
- 原稿台より大きな原稿をスキャンする（画像の貼り合わせ）
  - ［画像貼り合わせ］ウィンドウでクロップ枠を調整する
- 複数の原稿を一度にスキャンする
- スキャン結果を確認して保存する
- スキャンした画像を E メールに添付して送信する
- スキャンした画像から文字列を抜き出す（OCR）
- IJ Scan Utility の画面説明

スキャナー用ソフト「IJ Scan Utility」とは

IJ Scan Utility（アイジェイ・スキャン・ユーティリティー）は、文書や写真などを手軽にスキャンできるアプリケーションソフトです。

IJ Scan Utility 基本画面で目的のアイコンをクリックするだけで、スキャンから保存までを一度に行うことができます。



IJ Scan Utility でできること

目的に合わせてかんたんにスキャン

かんたんにスキャンしたいときは［おまかせ］、文書や雑誌の文字をくっきりさせてスキャンしたいときは［文書］、写真に適した設定でスキャンしたいときは［写真］など、原稿の種類や目的に合ったアイコンをクリックするだけでスキャンできます。

参考

- IJ Scan Utility 基本画面について、詳しくは、「IJ Scan Utility 基本画面」を参照してください。

スキャンした画像を自動で保存

スキャンした画像は、あらかじめ指定されているフォルダーに自動で保存されます。保存先を変更することも可能です。

参考

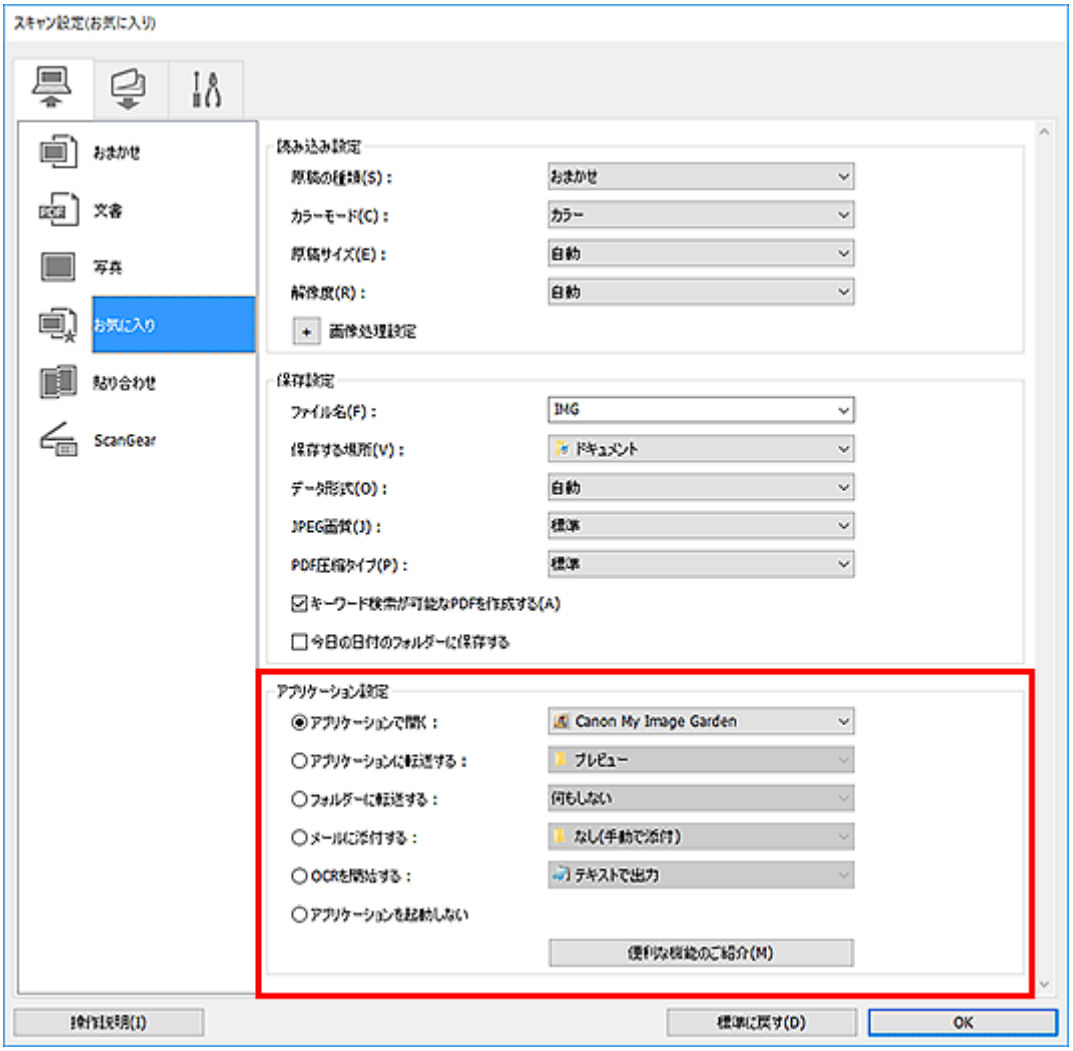
- 初期設定では、以下のフォルダーに保存されます。
  - **Windows 10／Windows 8.1／Windows Vista の場合：**

    ［ドキュメント］フォルダー
  - **Windows 8／Windows 7 の場合：**

    ［マイ ドキュメント］フォルダー
- 保存先の指定方法については、「スキャン設定ダイアログボックス」を参照してください。

アプリケーションソフトとの連携

スキャンした画像をお好みのアプリケーションソフトで表示したり、メールに添付したり、画像から文字をテキストとして抽出したりするなど、ほかのアプリケーションソフトと連携してスキャン画像を活用することができます。



重要

- いくつかの機能については、My Image Garden がインストールされている場合のみ使用できます。

参考

- 連携するアプリケーションソフトの設定方法については、「スキャン設定ダイアログボックス」を参照してください。

IJ Scan Utility を起動する

参考

- 複数台のスキャナーをお持ちの場合や USB 接続からネットワーク接続へ接続方法を変更した場合は、IJ Scan Utility からネットワーク環境の設定を行ってください。

  ネットワーク環境でスキャンするときの設定方法

以下の手順に従って、IJ Scan Utility を起動してください。

Windows 10 の場合：

［スタート］メニューから［すべてのアプリ］→［Canon Utilities］→［IJ Scan Utility］の順に選択

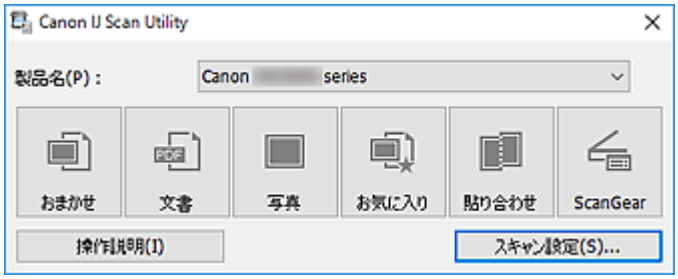
Windows 8.1／Windows 8 の場合：

スタート画面上の［IJ Scan Utility］を選択

スタート画面に［IJ Scan Utility］が表示されない場合は、［検索］チャームを選び、「IJ Scan Utility」を検索してください。

Windows 7／Windows Vista の場合：

［スタート］メニューから［すべてのプログラム］→［Canon Utilities］→［IJ Scan Utility］→［IJ Scan Utility］の順に選択



おまかせスキャンでかんたんにスキャンする

原稿の種類を自動で判別し、かんたんにスキャンできます。

重要

- 次のような原稿は、正しくスキャンできないことがあります。その場合は、ScanGear（スキャナードライバー）の全体表示でクロップ枠（スキャンする範囲）を調整して、再度スキャンしてください。
  - 周囲が白っぽい写真
  - 白地に印刷された原稿や手書きの文書、名刺など
  - 薄い原稿
  - 厚みのある原稿

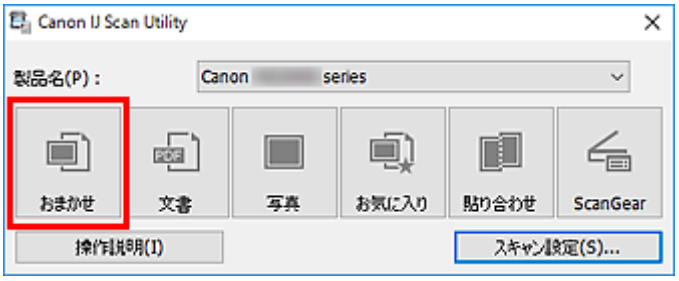
1. ご使用のスキャナーまたはプリンターの電源が入っていることを確認

2. 原稿台に原稿をセット

   原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）

3. IJ Scan Utility を起動

4. ［おまかせ］をクリック



スキャンが開始されます。

参考

- スキャンを中止したいときは、［キャンセル］をクリックします。
- 原稿の種類に合わせた最適な補正を行いたい場合は、［スキャン設定...］をクリックし、［スキャン設定(おまかせ)］ダイアログボックスで［おすすめの画像補正で処理する］にチェックマークを付けてください。
- スキャンした画像は、［スキャン設定...］をクリックして表示される［スキャン設定(おまかせ)］ダイアログボックスで、［保存する場所］に設定したフォルダーに保存されます。［スキャン設定(おまかせ)］ダイアログボックスでは、スキャンするときの詳細な設定もできます。
- 原稿の種類を指定してスキャンしたいときは、以下のページを参照してください。

  写真をスキャンする
  文書をスキャンする
  お気に入りの設定でスキャンする

IJ Scan Utility の画面説明

- **IJ Scan Utility 基本画面**
- **スキャン設定ダイアログボックス**
  - ［スキャン設定(おまかせ)］ダイアログボックス
  - ［スキャン設定(文書)］ダイアログボックス
  - ［スキャン設定(写真)］ダイアログボックス
  - ［スキャン設定(パソコンに保存(おまかせ))］ダイアログボックス
  - ［スキャン設定(基本設定)］ダイアログボックス

IJ Scan Utility 基本画面

以下の手順に従って、IJ Scan Utility を起動してください。

Windows 10 の場合：

［スタート］メニューから［すべてのアプリ］→［Canon Utilities］→［IJ Scan Utility］の順に選ぶと、IJ Scan Utility が起動します。

Windows 8.1／Windows 8 の場合：

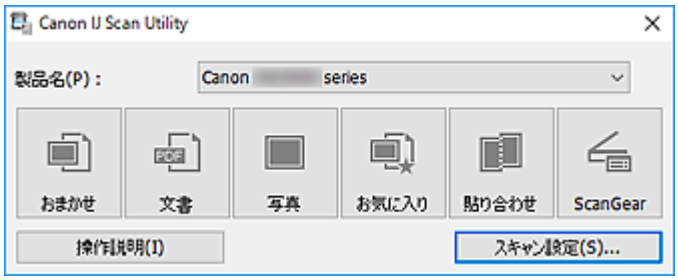
スタート画面上の［IJ Scan Utility］を選ぶと、IJ Scan Utility が起動します。

スタート画面に［IJ Scan Utility］が表示されない場合は、［検索］チャームを選び、「IJ Scan Utility」を検索してください。

Windows 7／Windows Vista の場合：

［スタート］メニューから［すべてのプログラム］→［Canon Utilities］→［IJ Scan Utility］→［IJ Scan Utility］の順に選ぶと、IJ Scan Utility が起動します。

目的のアイコンをクリックするだけで、スキャンから保存までを一度に行うことができます。



［製品名］

現在 IJ Scan Utility に設定されている製品名が表示されます。

ほかの製品名が表示されている場合は、ご使用になる製品名を選んでください。

また、ネットワーク接続を使用する場合は、一覧から製品名の後ろに「Network」が表示されている項目を選んでください。

参考

- ネットワーク環境の設定方法は、「ネットワーク環境でスキャンするときの設定方法」を参照してください。

［おまかせ］

原稿の種類を自動で判別し、パソコンに保存します。保存するデータ形式も自動で設定されます。

［スキャン設定(おまかせ)］ダイアログボックスで、保存の詳細やスキャン後の動作を設定することができます。

［文書］

原稿を文書としてスキャンし、パソコンに保存します。

［スキャン設定(文書)］ダイアログボックスで、スキャンや保存の詳細、スキャン後の動作を設定することができます。

［写真］

原稿を写真としてスキャンし、パソコンに保存します。

［スキャン設定(写真)］ダイアログボックスで、スキャンや保存の詳細、スキャン後の動作を設定することができます。

［お気に入り］

お好みの設定で原稿をスキャンし、パソコンに画像を保存します。原稿の種類を自動で判別することもできます。

［スキャン設定(お気に入り)］ダイアログボックスで、スキャンや保存の詳細、スキャン後の動作を設定することができます。

［貼り合わせ］

［画像貼り合わせ］ウィンドウが表示され、原稿台よりも大きいサイズの原稿を、左右に分けてスキャンし、画像を貼り合わせて 1 つの画像にすることができます。

［スキャン設定(貼り合わせ)］ダイアログボックスで、スキャンや保存の詳細、スキャン後の動作を設定することができます。

［ScanGear］

ScanGear（スキャナードライバー）を起動し、画像補正や色調整を行ってきれいにスキャンすることができます。

［スキャン設定(ScanGear)］ダイアログボックスで、スキャンや保存の詳細、アプリケーションソフトを設定することができます。

［操作説明］

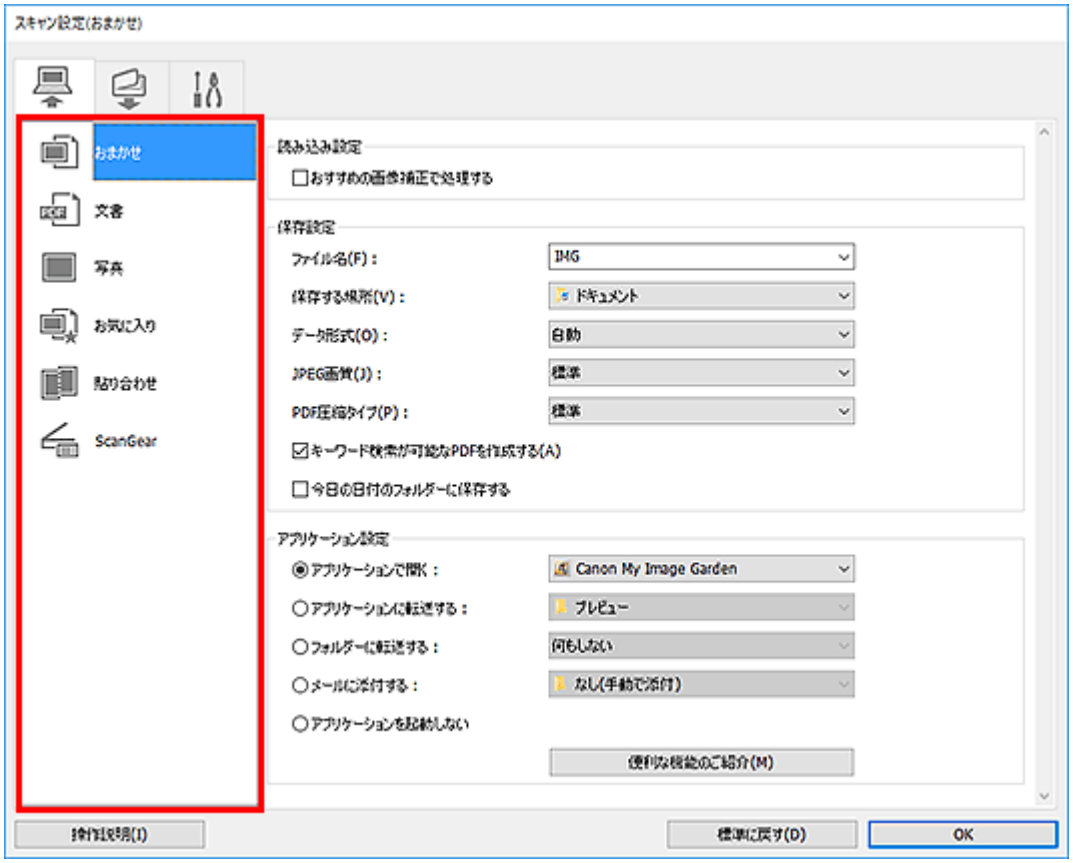
本マニュアルを表示します。

［スキャン設定...］

スキャン設定ダイアログボックスが表示され、スキャンや保存の詳細、スキャン後の動作を設定することができます。

スキャン設定ダイアログボックス

スキャン設定ダイアログボックスには、（パソコンからスキャン）、（操作パネルからスキャン）、（基本設定）の 3 つのシートがあります。それぞれのタブをクリックすると、赤枠内の表示が切り替わり、各シートで機能ごとの詳細な設定ができます。



（パソコンからスキャン）シート

IJ Scan Utility や My Image Garden からスキャンするときの動作を設定することができます。

- [スキャン設定(おまかせ)] ダイアログボックス
- [スキャン設定(文書)] ダイアログボックス
- [スキャン設定(写真)] ダイアログボックス
- [スキャン設定(お気に入り)] ダイアログボックス
- [スキャン設定(貼り合わせ)] ダイアログボックス
- [スキャン設定(ScanGear)] ダイアログボックス

（操作パネルからスキャン）シート

操作パネルからスキャンするときの動作を設定することができます。

- [スキャン設定(パソコンに保存(おまかせ))] ダイアログボックス
- [スキャン設定(パソコンに保存(文書))] ダイアログボックス
- [スキャン設定(パソコンに保存(写真))] ダイアログボックス
- [スキャン設定(メールに添付(おまかせ))] ダイアログボックス

- ［スキャン設定(メールに添付(文書))］ダイアログボックス
- ［スキャン設定(メールに添付(写真))］ダイアログボックス

重要

- My Image Garden からスキャン設定ダイアログボックスを表示した場合、（操作パネルからスキャン）シートは表示されません。

（基本設定）シート

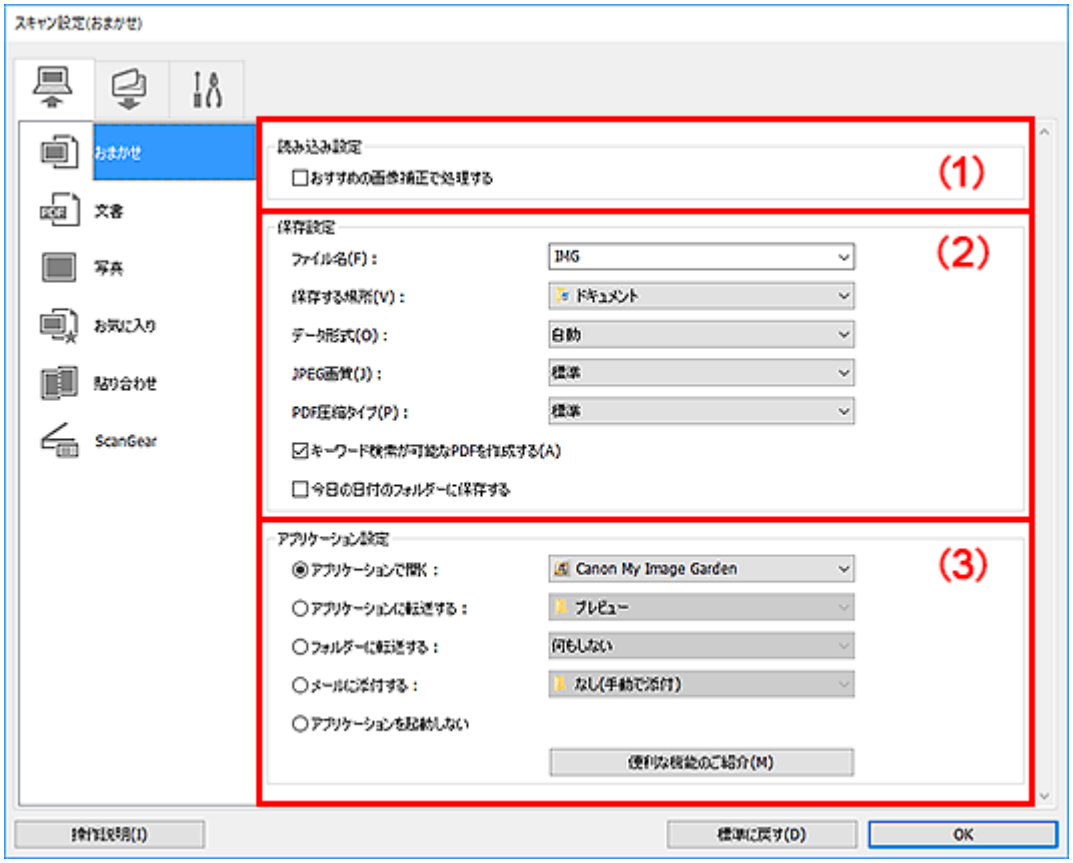
ご使用になる製品、メールに添付するファイルのサイズ制限、画像内の文字列を認識させるための言語、および画像を一時的に保存するフォルダーを設定することができます。

- ［スキャン設定(基本設定)］ダイアログボックス

［スキャン設定(おまかせ)］ダイアログボックス

（パソコンからスキャン）シートで［おまかせ］をクリックすると、［スキャン設定(おまかせ)］ダイアログボックスが表示されます。

［スキャン設定(おまかせ)］ダイアログボックスでは、原稿を自動で判別してスキャンするときの詳細な設定をすることができます。



- （1）読み込み設定エリア
- （2）保存設定エリア
- （3）アプリケーション設定エリア

重要

- My Image Garden からスキャン設定ダイアログボックスを表示した場合は、［アプリケーション設定］の設定項目は表示されません。

利用できる原稿

写真、はがき、名刺、雑誌、新聞、文書、BD／DVD／CD

重要

- 次のような原稿は、［スキャン設定(文書)］ダイアログボックスや［スキャン設定(写真)］ダイアログボックス、［スキャン設定(お気に入り)］ダイアログボックスで原稿の種類やサイズを指定し、IJ Scan Utility 基本画面で［文書］や［写真］、［お気に入り］をクリックしてスキャンしてください。［おまかせ］では、正しくスキャンすることができません。
  - A4 サイズの写真
  - 2L 判（127 mm x 178 mm）（5 inches x 7 inches）より小さいサイズの文書原稿（例、文庫本の背表紙を切り落とした原稿など）
  - 下地が白く、紙質が薄い原稿

- パノラマ写真などの細長い原稿

- ディスクのレーベル面が鏡面状の場合、期待どおりにスキャンできないことがあります。
- スキャンする原稿は、原稿台に正しくセットしてください。正しくセットしないと、原稿によっては正しくスキャンできない場合があります。

  原稿をセットする方法については、「原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）」を参照してください。

参考

- モアレを少なくしてスキャンしたい場合は、[スキャン設定(文書)] ダイアログボックスや [スキャン設定(お気に入り)] ダイアログボックスで [原稿の種類] を [雑誌] に設定し、IJ Scan Utility 基本画面で [文書] や [お気に入り] をクリックしてスキャンしてください。

（1）読み込み設定エリア

[おすすめの画像補正で処理する]

原稿の種類に合わせた最適な補正を自動で行います。

重要

- 補正によって、元の色あいと変わってしまうことがあります。その場合は、チェックマークを外してスキャンしてください。

参考

- この機能を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなります。

（2）保存設定エリア

[ファイル名]

保存する画像のファイル名を入力します。ファイルを保存すると、設定したファイル名の後ろに、「_20XX0101_0001」のように日付と 4 桁の数字が付きます。

参考

- [今日の日付のフォルダーに保存する] にチェックマークを付けると、設定したファイル名の後ろに、4 桁の数字が付きます。

[保存する場所]

スキャンした画像の保存先フォルダーを表示します。新しいフォルダーを追加したい場合は、プルダウンメニューから [追加...] を選んで表示される [保存フォルダーの選択] ダイアログボックスで [追加] をクリックし、保存先フォルダーを指定します。

初期設定では、以下のフォルダーに保存されます。

- **Windows 10／Windows 8.1／Windows Vista の場合：**

  [ドキュメント] フォルダー

- **Windows 8／Windows 7 の場合：**

  [マイ ドキュメント] フォルダー

重要

- My Image Garden からスキャン設定ダイアログボックスを表示した場合は、この項目は表示されません。

［データ形式］

［自動］が選択されています。原稿の種類に合わせて以下のデータ形式に自動で保存されます。

- 写真、はがき、BD／DVD／CD、名刺：JPEG
- 雑誌、新聞、文書：PDF

重要

- 原稿の置きかたによっては、保存される形式が異なることがあります。

原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）

［JPEG 画質］

JPEG ファイルの画質を指定することができます。

［PDF 圧縮タイプ］

PDF ファイルを保存するときの圧縮タイプを選びます。

［標準］

通常は、この設定をお勧めします。

［高圧縮］

ファイルのデータ容量を圧縮して保存するため、ネットワークやサーバーへの負担を軽減することができます。

［キーワード検索が可能な PDF を作成する］

チェックマークを付けると、画像内の文字がテキストデータに変換され、キーワード検索ができる PDF ファイルを作成できます。

参考

- スキャン設定ダイアログボックスの （基本設定）シートにある［文書の言語］で選ばれている言語で検索できる PDF ファイルが作成されます。

［今日の日付のフォルダーに保存する］

チェックマークを付けると、［保存する場所］で設定したフォルダー内に今日の日付フォルダーが作成され、その中にスキャンしたデータを保存できます。フォルダーは、「20XX_01_01」のように「西暦_月_日」という名前で作成されます。

チェックマークを外した場合は、［保存する場所］で設定したフォルダーの中に、直接データが保存されます。

（3）アプリケーション設定エリア

［アプリケーションで開く］

スキャンした画像を、加工や補正したいときに選びます。

プルダウンメニューからアプリケーションソフトを指定できます。

［アプリケーションに転送する］

スキャンした画像を、画像の閲覧や管理ができるアプリケーションソフトでそのまま使用したいときに選びます。

プルダウンメニューからアプリケーションソフトを指定できます。

［フォルダーに転送する］

スキャンした画像を［保存する場所］で指定した以外のフォルダーにも保存したいときに選びます。

プルダウンメニューからフォルダーを指定できます。

［メールに添付する］

スキャンした画像を添付してメールを送信するときに選びます。

プルダウンメニューから起動したいメールソフトを指定できます。

［アプリケーションを起動しない］

［保存する場所］で設定したフォルダーに保存されます。

参考

- プルダウンメニューから［追加...］を選んで表示される［アプリケーションの選択］、または［保存フォルダーの選択］ダイアログボックスで［追加］をクリックし、アプリケーションソフトやフォルダーを指定すると、プルダウンメニューに追加されます。

［操作説明］

本マニュアルを表示します。

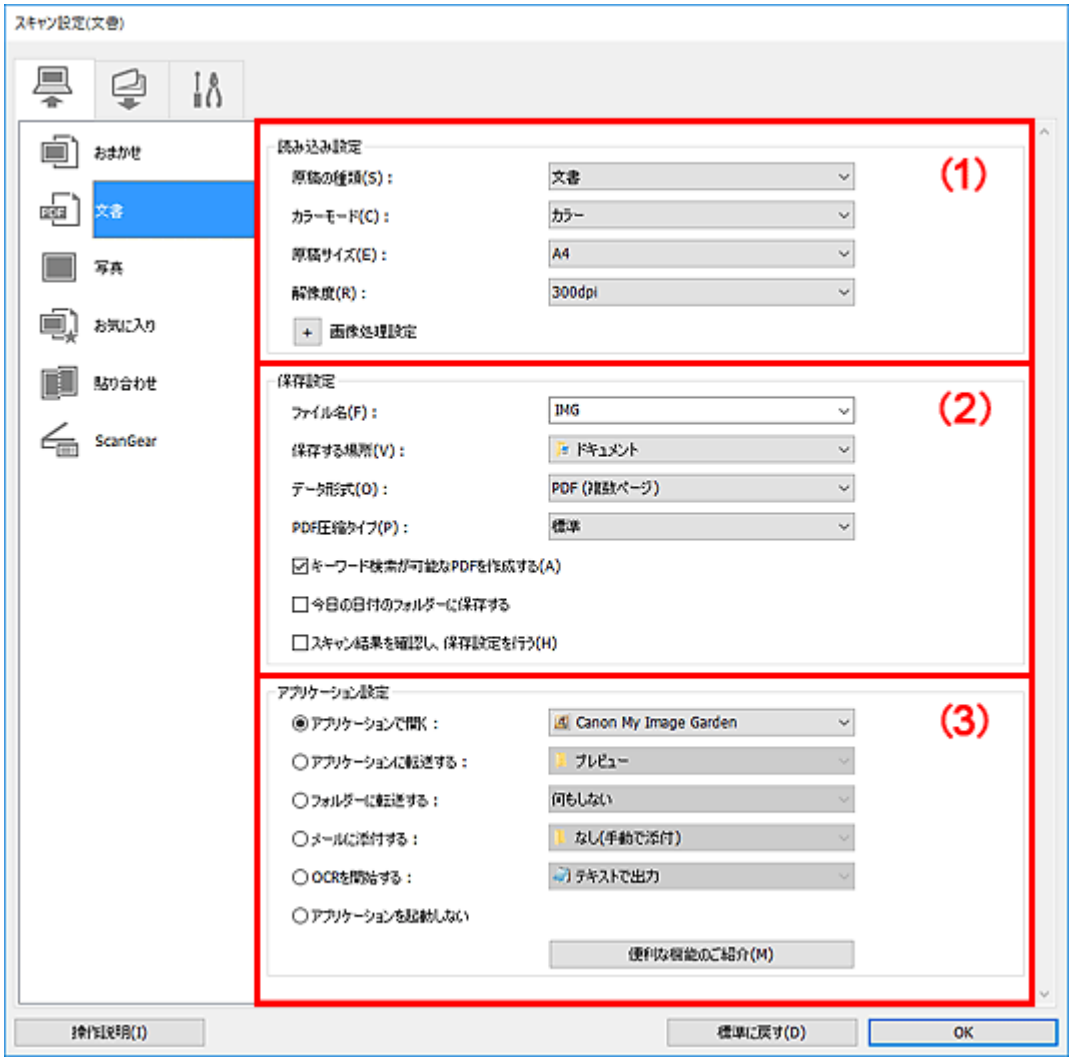
［標準に戻す］

表示されている画面の設定内容を、初期設定に戻すことができます。

［スキャン設定(文書)］ダイアログボックス

（パソコンからスキャン）シートで［文書］をクリックすると、［スキャン設定(文書)］ダイアログボックスが表示されます。

［スキャン設定(文書)］ダイアログボックスでは、原稿を文書としてスキャンするときの詳細な設定をすることができます。



- （1）読み込み設定エリア
- （2）保存設定エリア
- （3）アプリケーション設定エリア

重要

- My Image Garden のスキャン画面からスキャン設定ダイアログボックスを表示した場合は、［アプリケーション設定］の設定項目は表示されません。

（1）読み込み設定エリア

［原稿の種類］

スキャンする原稿の種類を選びます。

- 文書原稿をスキャンする場合：［文書］
- 雑誌の原稿をスキャンする場合：［雑誌］

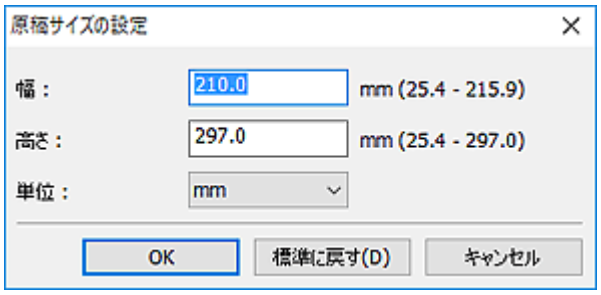
[カラーモード]

どのようなカラーモードで原稿をスキャンするかを選びます。

[原稿サイズ]

スキャンする原稿のサイズを選びます。

[ユーザー定義用紙] を選ぶと、原稿のサイズを設定する画面が表示されます。[単位] を選んでから、[幅] と [高さ] を入力し、[OK] をクリックしてください。



参考

- [標準に戻す] をクリックすると、設定した内容が初期設定に戻ります。

[解像度]

スキャンする原稿の解像度を選びます。

解像度が高い（数字が大きい）ほど、きめ細かい画像になります。

■ 解像度について

参考

- [アプリケーション設定] で [OCR を開始する] を選ぶと、[300dpi] または [400dpi] のみ設定できます。

[画像処理設定]

+ （プラス）をクリックすると、次の項目を設定できます。

参考

- [カラーモード] が [白黒] の場合は、[とじ部の影を補正する]、[文字原稿の傾きを補正する]、[文字原稿の向きを検知して、画像を回転する] のみ表示されます。

[自動文書補正をかける]

チェックマークを付けると、文書や雑誌の文字をくっきりさせ、見やすくなるように補正します。

重要

- 補正によって、元の色あいと変わってしまうことがあります。その場合は、チェックマークを外してスキャンしてください。

参考

- この機能を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなります。

[輪郭を強調する]

画像の輪郭を強調し、シャープな印象の画像にします。

[裏写りを低減する]

原稿の文字をくっきりさせたり、新聞などの裏写りを軽減させたりすることができます。

［モアレを低減する］

モアレを少なくしてスキャンできます。

印刷物は、細かい点の集まりで表現されています。「モアレ」とは、この細かい点で印刷された写真や絵をスキャンしたときに、濃淡のむらや縞模様が出る現象のことをいいます。

参考

- ［モアレを低減する］を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなります。

［とじ部の影を補正する］

冊子などを開いた状態でスキャンする際に生じる、とじ部の影を目立たなくします。

参考

- サイズが不定形な原稿をスキャンする場合や、範囲を指定してスキャンする場合にとじ部の影を補正したいときは、ScanGear（スキャナードライバー）の［拡張モード］シートを使用してください。
  詳しくは、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種の「[とじ部の影補正]」を参照してください。
- この機能を設定すると、ネットワーク接続でご使用の場合、スキャンの時間が通常よりも長くなることがあります。

［文字原稿の傾きを補正する］

スキャンした文字を認識して、原稿の傾き±0.1 度から 10 度までを補正します。

重要

- 次のような原稿は、文字が正しく認識されないため、正しく補正できない場合があります。
  - テキストの行が 10 度以上傾いている、または傾きの角度が行によって異なる原稿
  - 縦書きと横書きのテキストが混在する原稿
  - 文字サイズが極端に大きいまたは小さい原稿
  - 文字数が少ない原稿
  - 図形や画像の含まれる原稿
  - 手書きの原稿
  - 縦と横の罫線が混在する原稿（表組み）

参考

- ［文字原稿の傾きを補正する］を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなります。

［文字原稿の向きを検知して、画像を回転する］

スキャンした原稿内の文字から画像の向きを検知し、正しい向きに自動で回転します。

重要

- ［スキャン設定(基本設定)］ダイアログボックスの［文書の言語］で選ばれている言語の文字原稿のみ有効です。
- 次のような設定や原稿は、文字を正しく認識できないため、方向を検知できない場合があります。
  - 解像度が 300 dpi～600 dpi の範囲外
  - 文字サイズが 8 ポイント～48 ポイントの範囲外
  - 特殊なフォント、飾り文字、斜体（イタリック）、手書きの文字を含む原稿
  - 下地に模様（地紋）がある原稿

このときは、［スキャン結果を確認し、保存設定を行う］にチェックマークを付け、［保存設定］ダイアログボックスで画像を回転してください。

（2）保存設定エリア

［ファイル名］

保存する画像のファイル名を入力します。ファイルを保存すると、設定したファイル名の後ろに、「_20XX0101_0001」のように日付と 4 桁の数字が付きます。

参考

- ［今日の日付のフォルダーに保存する］にチェックマークを付けると、設定したファイル名の後ろに、4 桁の数字が付きます。

［保存する場所］

スキャンした画像の保存先フォルダーを表示します。新しいフォルダーを追加したい場合は、プルダウンメニューから［追加...］を選んで表示される［保存フォルダーの選択］ダイアログボックスで［追加］をクリックし、保存先フォルダーを指定します。

初期設定では、以下のフォルダーに保存されます。

- **Windows 10／Windows 8.1／Windows Vista の場合：**

  ［ドキュメント］フォルダー

- **Windows 8／Windows 7 の場合：**

  ［マイ ドキュメント］フォルダー

重要

- My Image Garden からスキャン設定ダイアログボックスを表示した場合は、この項目は表示されません。

［データ形式］

スキャンした画像を保存するときのデータ形式を選びます。

［JPEG/Exif］、［TIFF］、［PNG］、［PDF］、［PDF (複数ページ)］が選べます。

重要

- ［カラーモード］で［白黒］を選んでいるときは、［JPEG/Exif］は選べません。
- ［アプリケーション設定］で［OCR を開始する］を選んでいるときは、［PDF］、［PDF (複数ページ)］は選べません。

参考

- ネットワーク接続でご使用の場合、［データ形式］で［TIFF］または［PNG］を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなることがあります。

［PDF 圧縮タイプ］

PDF ファイルを保存するときの圧縮タイプを選びます。

［標準］

通常は、この設定をお勧めします。

［高圧縮］

ファイルのデータ容量を圧縮して保存するため、ネットワークやサーバーへの負担を軽減することができます。

重要

- ［データ形式］で［PDF］または［PDF (複数ページ)］を選んでいるときのみ表示されます。
- ［カラーモード］で［白黒］を選んでいるときは、この項目は表示されません。

［JPEG 画質］

JPEG ファイルの画質を指定することができます。

重要

- ［データ形式］で［JPEG/Exif］を選んでいるときのみ表示されます。

［キーワード検索が可能な PDF を作成する］

チェックマークを付けると、画像内の文字がテキストデータに変換され、キーワード検索ができる PDF ファイルを作成できます。

重要

- ［データ形式］で［PDF］または［PDF (複数ページ)］を選んでいるときのみ表示されます。

参考

- 正しく検索できない場合は、［解像度］で 300 dpi 以上を選ぶことをお勧めします。
- スキャン設定ダイアログボックスの （基本設定）シートにある［文書の言語］で選ばれている言語で検索できる PDF ファイルが作成されます。

［今日の日付のフォルダーに保存する］

チェックマークを付けると、［保存する場所］で設定したフォルダー内に今日の日付フォルダーが作成され、その中にスキャンしたデータを保存できます。フォルダーは、「20XX_01_01」のように「西暦_月_日」という名前で作成されます。

チェックマークを外した場合は、［保存する場所］で設定したフォルダーの中に、直接データが保存されます。

［スキャン結果を確認し、保存設定を行う］

スキャン後に［保存設定］ダイアログボックスが表示されます。

重要

- My Image Garden からスキャン設定ダイアログボックスを表示した場合は、この項目は表示されません。

（3）アプリケーション設定エリア

［アプリケーションで開く］

スキャンした画像を、加工や補正したいときに選びます。

プルダウンメニューからアプリケーションソフトを指定できます。

［アプリケーションに転送する］

スキャンした画像を、画像の閲覧や管理ができるアプリケーションソフトでそのまま使用したいときに選びます。

プルダウンメニューからアプリケーションソフトを指定できます。

［フォルダーに転送する］

スキャンした画像を［保存する場所］で指定した以外のフォルダーにも保存したいときに選びます。

プルダウンメニューからフォルダーを指定できます。

［メールに添付する］

スキャンした画像を添付してメールを送信するときに選びます。

プルダウンメニューから起動したいメールソフトを指定できます。

［OCR を開始する］

スキャンした画像内の文字をテキストデータに変換したいときに選びます。

プルダウンメニューからアプリケーションソフトを指定できます。

［アプリケーションを起動しない］

［保存する場所］で設定したフォルダーに保存されます。

参考

- プルダウンメニューから［追加...］を選んで表示される［アプリケーションの選択］、または［保存フォルダーの選択］ダイアログボックスで［追加］をクリックし、アプリケーションソフトやフォルダーを指定すると、プルダウンメニューに追加されます。

［操作説明］

本マニュアルを表示します。

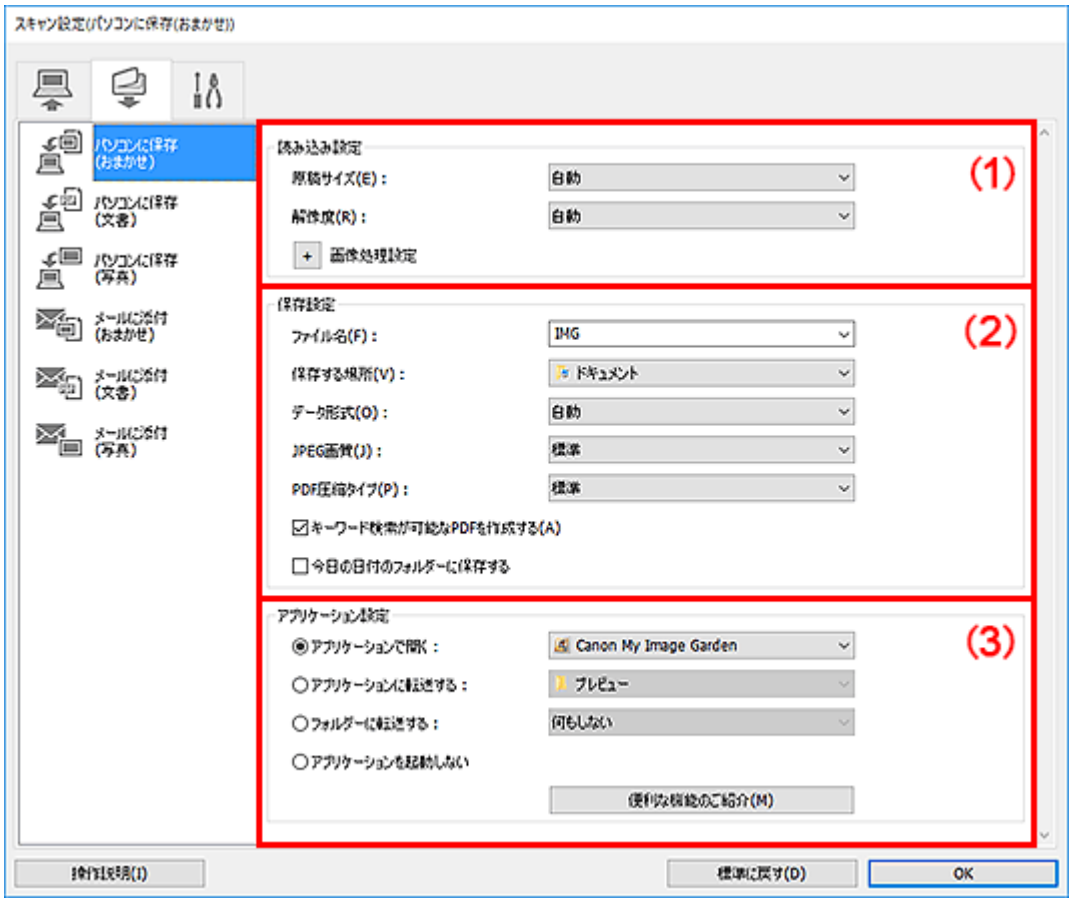
［標準に戻す］

表示されている画面の設定内容を、初期設定に戻すことができます。

［スキャン設定(パソコンに保存(おまかせ))］ダイアログボックス

（操作パネルからスキャン）シートで［パソコンに保存(おまかせ)］をクリックすると、［スキャン設定(パソコンに保存(おまかせ))］ダイアログボックスが表示されます。

［スキャン設定(パソコンに保存(おまかせ))］ダイアログボックスでは、操作パネルから原稿の種類を自動で判別してスキャンしたデータを、パソコンに保存するときの動作を設定することができます。



- （1）読み込み設定エリア
- （2）保存設定エリア
- （3）アプリケーション設定エリア

（1）読み込み設定エリア

［原稿サイズ］

［自動］が選択されています。

［解像度］

［自動］が選択されています。

［画像処理設定］

＋（プラス）をクリックすると、次の項目を設定できます。

［おすすめの画像補正で処理する］

原稿の種類に合わせた最適な補正を自動で行います。

重要

- 補正によって、元の色あいと変わってしまうことがあります。その場合は、チェックマークを外してスキャンしてください。

参考

- この機能を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなります。

（2）保存設定エリア

［ファイル名］

保存する画像のファイル名を入力します。ファイルを保存すると、設定したファイル名の後ろに、「_20XX0101_0001」のように日付と 4 桁の数字が付きます。

参考

- ［今日の日付のフォルダーに保存する］にチェックマークを付けると、設定したファイル名の後ろに、4 桁の数字が付きます。

［保存する場所］

スキャンした画像の保存先フォルダーを表示します。新しいフォルダーを追加したい場合は、プルダウンメニューから［追加...］を選んで表示される［保存フォルダーの選択］ダイアログボックスで［追加］をクリックし、保存先フォルダーを指定します。

初期設定では、以下のフォルダーに保存されます。

- **Windows 10／Windows 8.1／Windows Vista の場合：**

  ［ドキュメント］フォルダー

- **Windows 8／Windows 7 の場合：**

  ［マイ ドキュメント］フォルダー

［データ形式］

［自動］が選択されています。原稿の種類に合わせて以下のデータ形式に自動で保存されます。

- 写真、はがき、BD／DVD／CD、名刺：JPEG
- 雑誌、新聞、文書：PDF

重要

- 原稿の置きかたによっては、保存される形式が異なることがあります。

  原稿をセットする方法については、「原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）」を参照してください。

［JPEG 画質］

JPEG ファイルの画質を指定することができます。

［PDF 圧縮タイプ］

PDF ファイルを保存するときの圧縮タイプを選びます。

［標準］

通常は、この設定をお勧めします。

［高圧縮］

ファイルのデータ容量を圧縮して保存するため、ネットワークやサーバーへの負担を軽減することができます。

［キーワード検索が可能な PDF を作成する］

チェックマークを付けると、画像内の文字がテキストデータに変換され、キーワード検索ができる PDF ファイルを作成できます。

参考

- スキャン設定ダイアログボックスの （基本設定）シートにある［文書の言語］で選ばれている言語で検索できる PDF ファイルが作成されます。

［今日の日付のフォルダーに保存する］

チェックマークを付けると、［保存する場所］で設定したフォルダー内に今日の日付フォルダーが作成され、その中にスキャンしたデータを保存できます。フォルダーは、「20XX_01_01」のように「西暦_月_日」という名前で作成されます。

チェックマークを外した場合は、［保存する場所］で設定したフォルダーの中に、直接データが保存されます。

（3）アプリケーション設定エリア

［アプリケーションで開く］

スキャンした画像を、加工や補正したいときに選びます。

プルダウンメニューからアプリケーションソフトを指定できます。

［アプリケーションに転送する］

スキャンした画像を、画像の閲覧や管理ができるアプリケーションソフトでそのまま使用したいときに選びます。

プルダウンメニューからアプリケーションソフトを指定できます。

［フォルダーに転送する］

スキャンした画像を［保存する場所］で指定した以外のフォルダーにも保存したいときに選びます。

プルダウンメニューからフォルダーを指定できます。

［アプリケーションを起動しない］

［保存する場所］で設定したフォルダーに保存されます。

参考

- プルダウンメニューから［追加...］を選んで表示される［アプリケーションの選択］、または［保存フォルダーの選択］ダイアログボックスで［追加］をクリックし、アプリケーションソフトやフォルダーを指定すると、プルダウンメニューに追加されます。

［操作説明］

本マニュアルを表示します。

［標準に戻す］

表示されている画面の設定内容を、初期設定に戻すことができます。

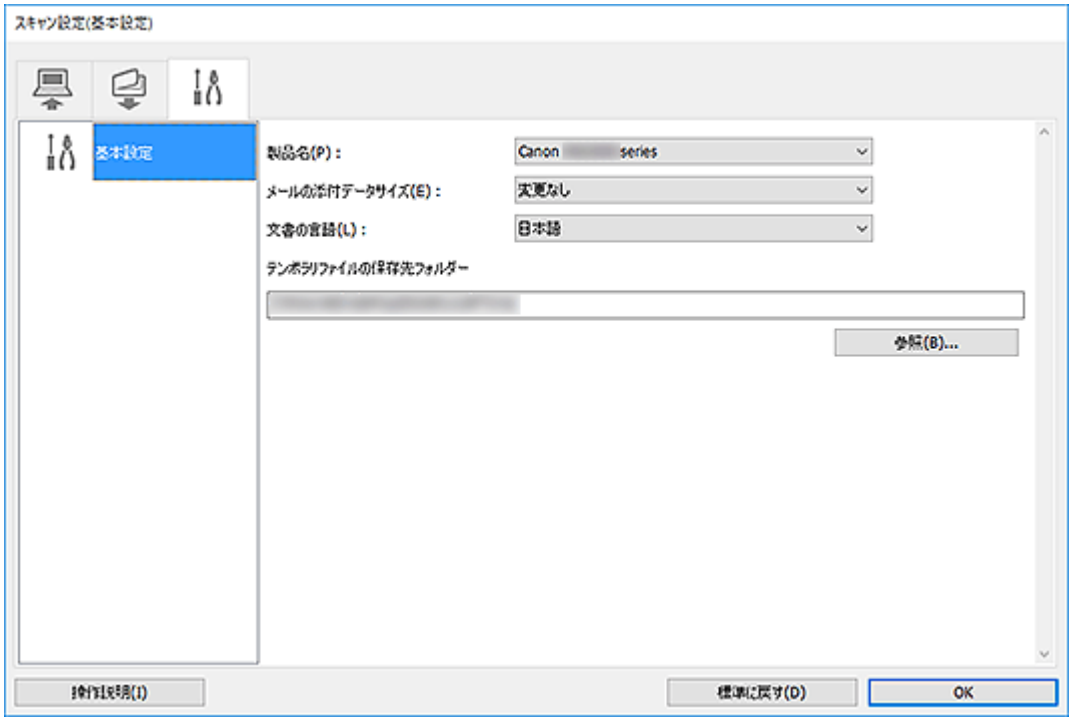
［スキャン設定(基本設定)］ダイアログボックス

（基本設定）シートをクリックすると、［スキャン設定(基本設定)］ダイアログボックスが表示されます。

［スキャン設定(基本設定)］ダイアログボックスでは、ご使用になる製品、メールに添付するファイルのサイズ制限、画像内の文字列を認識させるための言語、および画像を一時的に保存するフォルダーを設定することができます。

重要

- My Image Garden からスキャン設定ダイアログボックスを表示すると、項目によっては表示されない場合があります。



［製品名］

現在 IJ Scan Utility に設定されている製品名が表示されます。

ほかの製品名が表示されている場合は、ご使用になる製品名を選んでください。

また、ネットワーク接続を使用する場合は、一覧から製品名の後ろに「Network」が表示されている項目を選んでください。

参考

- ネットワーク接続の場合、製品名の右側に［選択］が表示されます。［選択］をクリックすると、IJ Network Scanner Selector EX が表示され、使用するスキャナーを変更できます。設定方法については、「ネットワーク環境でスキャンするときの設定方法」を参照してください。

［メールの添付データサイズ］

スキャンした画像をメールに添付するときのサイズを制限することができます。
［小(640x480 ウィンドウに合う)］、［中(800x600 ウィンドウに合う)］、［大(1024x768 ウィンドウに合う)］、［変更なし］が選べます。

［文書の言語］

画像内の文字列を認識させるための言語や、キーワード検索可能な PDF ファイルを作成したときに検索に使用できる言語を選べます。

［テンポラリファイルの保存先フォルダー］

画像を一時的に保存するフォルダーが表示されます。［参照...］をクリックして、保存先のフォルダーを指定します。

［操作説明］

本マニュアルを表示します。

［標準に戻す］

表示されている画面の設定内容を、初期設定に戻すことができます。

お使いのアプリケーションソフトでスキャンする（ScanGear）

- ScanGear（スキャナードライバー）とは
- ScanGear（スキャナードライバー）を起動する
- 「基本モード」でスキャンする
- 「拡張モード」でスキャンする
- 「拡張モード」で ADF（自動原稿給紙装置）から複数の原稿をスキャンする
- ScanGear（スキャナードライバー）で複数の原稿を一度にスキャンする
- ScanGear（スキャナードライバー）の画面説明
- 原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）
- 使用上の注意（スキャナードライバー）

重要

- ご使用のスキャナーまたはプリンターによって、使用できる機能や設定できる項目は異なります。

ScanGear（スキャナードライバー）とは

ScanGear（スキャナードライバー）とは、原稿をスキャンするために必要なソフトウェアです。出力サイズや画像補正などを細かく設定してスキャンすることができます。

ScanGear は IJ Scan Utility（アイジェイ・スキャン・ユーティリティ）や TWAIN（トウェイン）という業界標準規格に対応したアプリケーションソフトから起動して使用できます。（ScanGear は TWAIN 対応ドライバーです。）

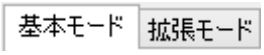
このソフトウェアでできること

プレビュー（仮読み込み）で原稿がどのように読み込まれるかを確認したり、原稿や出力サイズなどを細かく設定したりしてスキャンすることができます。さまざまな補正機能の設定や、明るさ、コントラストなどの詳細な調整ができるので、お好みの色あいでスキャンしたいときに便利です。

画面紹介

基本モード、拡張モードの 2 つのモードがあります。

モードは画面右上にある各タブをクリックして切り替えます。

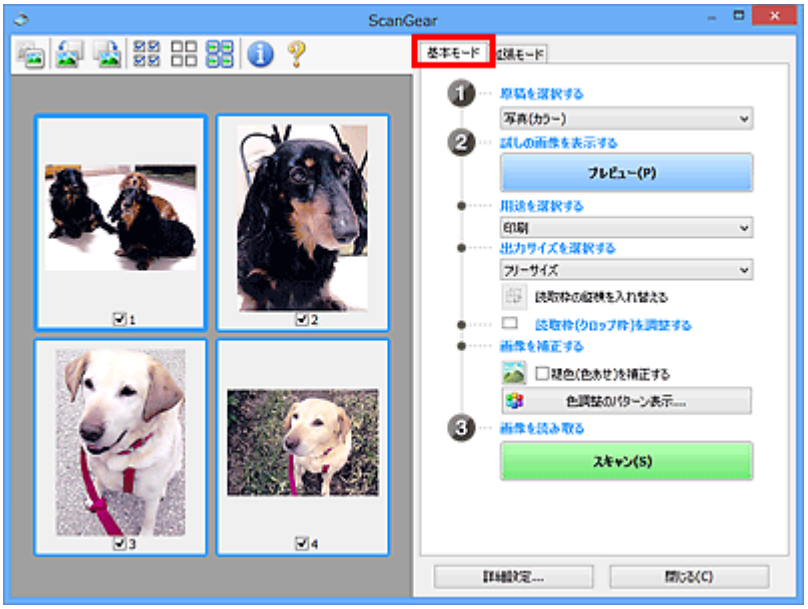


参考

- モードを切り替えたあとに ScanGear を終了した場合、次回起動時の画面は、終了したときと同じモードになります。
- モードの切り替えをした場合、設定した内容は引き継がれません。

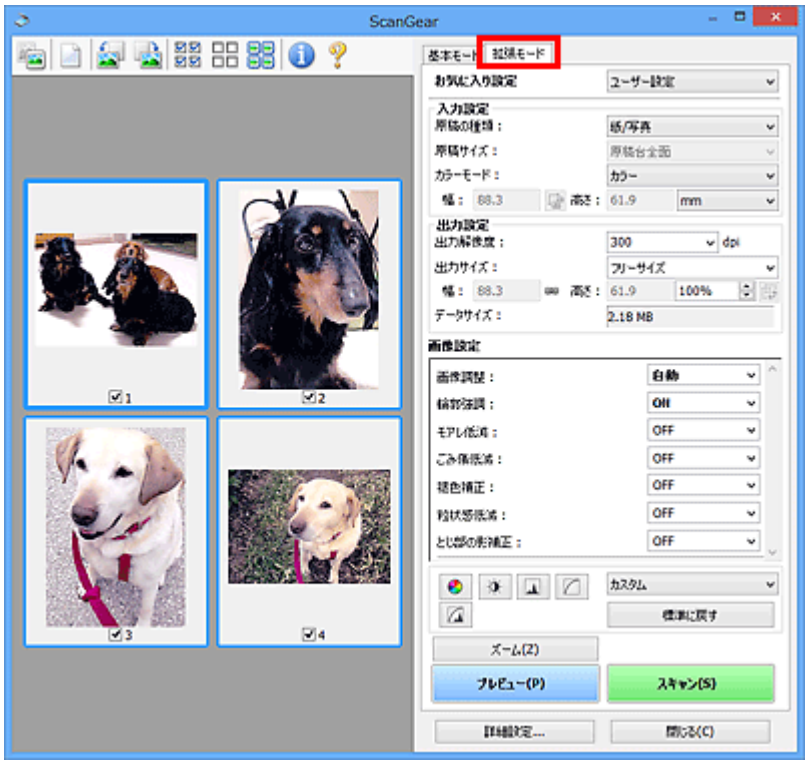
基本モード

［基本モード］シートでは、画面に表示されるシンプルな 3 ステップ（ 1 、 2 、 3 ）に従って設定、実行するだけで、簡単にスキャンすることができます。



拡張モード

［拡張モード］シートでは、カラーモードや出力解像度、画像の明るさ、色あいなどを細かく設定してスキャンすることができます。



ScanGear（スキャナードライバー）を起動する

ScanGear（スキャナードライバー）を使用すると、画像補正や色調整を行ってきれいにスキャンすることができます。ScanGear は、IJ Scan Utility またはアプリケーションソフトから起動します。

参考

- 複数台のスキャナーをお持ちの場合や、ネットワーク対応の機種で USB 接続からネットワーク接続へ接続方法を変更した場合は、ネットワーク環境の設定を行ってください。

IJ Scan Utility から起動する

1. IJ Scan Utility を起動

   IJ Scan Utility の起動方法については、お使いの機種のオンラインマニュアルのトップページから「IJ Scan Utility を起動する」のページを検索して、参照してください。

2. IJ Scan Utility 基本画面で［ScanGear］をクリック

   ScanGear の画面が表示されます。

アプリケーションソフトから起動する

この操作は、アプリケーションソフトによって異なります。詳しくは、使用するアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

1. アプリケーションソフトを起動

2. アプリケーションソフトのメニューで本製品を選択

   参考

   - ネットワーク対応の機種を、ネットワークに接続して使用したい場合は、製品名の後ろに「Network」が表示されている項目を選びます。

3. 原稿をスキャンするための操作を行う

   ScanGear の画面が表示されます。

「基本モード」でスキャンする

［基本モード］シートでは、画面に表示される手順に従って操作するだけで、簡単にスキャンすることができます。

原稿台から複数の原稿を一度にスキャンしたい場合は、「ScanGear（スキャナードライバー）で複数の原稿を一度にスキャンする」を参照してください。

ADF（自動原稿給紙装置）から原稿をスキャンするときは、プレビューせずにスキャンします。

重要

- 次のような原稿は、正しくスキャンできないことがあります。その場合は、ツールバーの （サムネイル）をクリックし、全体表示に切り替えてスキャンしてください。
  - 周囲が白っぽい写真
  - 白地に印刷された原稿や手書きの文書、名刺など
  - 薄い原稿
  - 厚みのある原稿
- 次のような原稿は、正しくスキャンすることができません。
  - 3 cm（1.2 inches）四方より小さい原稿
  - いろいろな形に切り抜いた写真

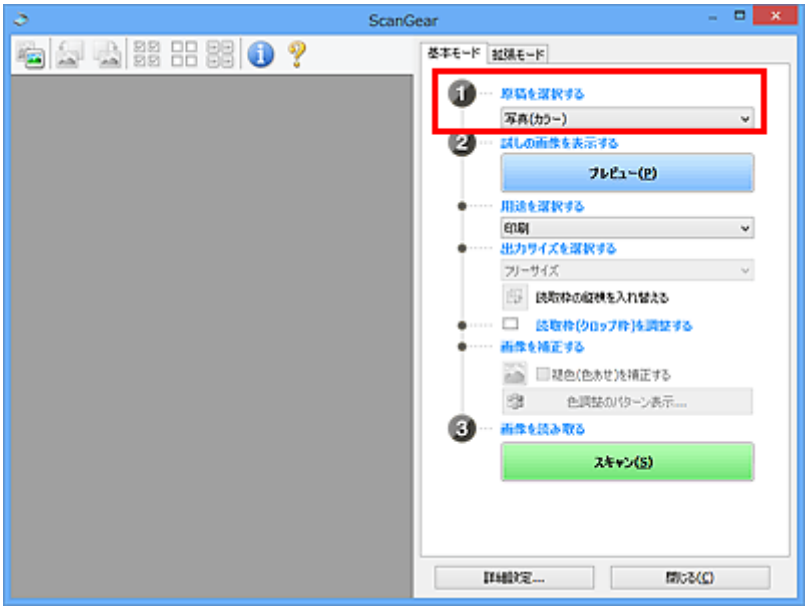
参考

- ADF 両面スキャンに対応している機種をご使用の場合は、ADF から原稿の両面を自動で読み込むことができます。

1. 本製品の原稿台または ADF に原稿をセットし、ScanGear（スキャナードライバー）を起動

   - 原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）
   - ScanGear（スキャナードライバー）を起動する

2. セットした原稿に合わせて、［原稿を選択する］を設定



重要

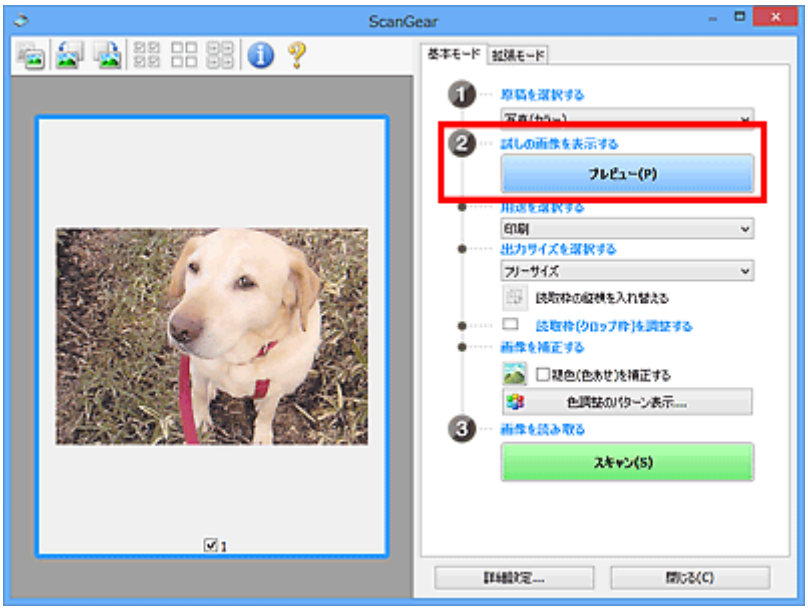
- アプリケーションソフトによっては、ADF からの連続読み込みに対応していないことがあります。詳しくは、使用するアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

参考

- カラー写真の多い雑誌をスキャンする場合は、［雑誌(カラー)］を選択してください。

3. ［プレビュー］をクリック

プレビュー領域に試しでスキャンされた画像が表示されます。



重要

- ［原稿を選択する］で ADF 原稿を選択した場合は、［プレビュー］は表示されません。

参考

- ［原稿を選択する］で選択した原稿に合わせた色調整が行われます。

4. ［用途を選択する］を設定

参考

- ［原稿を選択する］で ADF 原稿を選択した場合は、手順 7 に進んでください。

5. 目的に応じて、［出力サイズを選択する］を設定

［用途を選択する］で選択した項目によって、選べる出力サイズが異なります。

6. 必要に応じて、クロップ枠（スキャンする範囲）を調整

プレビュー画像のクロップ枠の大きさや位置を調整します。

■ クロップ枠の調整のしかた（ScanGear）

7. 必要に応じて、［画像を補正する］を設定

8. ［スキャン］をクリック

スキャンが開始されます。

参考

- （情報）をクリックすると、表示されたダイアログボックスで原稿の種類などスキャンするときの詳細な設定を確認できます。
- ［詳細設定］ダイアログボックスにある［スキャン］シートの［スキャン終了後の ScanGear の画面］で、スキャン終了後の動作を設定することができます。

関連項目

- ［基本モード］シート

ScanGear（スキャナードライバー）の画面説明

- ［基本モード］シート
- ［拡張モード］シート

［基本モード］シート

画面に表示される手順に従って操作するだけで、簡単にスキャンできるモードです。

［基本モード］シートの各項目や、機能を説明します。

- （1）設定項目と操作ボタン
- （2）ツールバー
- （3）プレビュー領域

参考

- 表示される項目は、原稿の種類や表示方法によって異なります。
- ADF（自動原稿給紙装置）から原稿をスキャンするときは、プレビュー機能は使用できません。

（1）設定項目と操作ボタン

［原稿を選択する］

［写真(カラー)］

カラー写真をスキャンします。

［雑誌(カラー)］

カラーの印刷物をスキャンします。

［文書(カラー)］

原稿をカラーでスキャンします。

［文書(グレー)］

原稿をモノクロでスキャンします。

［文書(カラー) ADF 片面］

ADF から、原稿をカラーでスキャンします。

［文書(グレー) ADF 片面］

ADF から、原稿をモノクロでスキャンします。

［文書(カラー) ADF 両面］（ADF 両面スキャンに対応している機種の場合）

ADF から、原稿の両面をカラーでスキャンします。

［文書(グレー) ADF 両面］（ADF 両面スキャンに対応している機種の場合）

ADF から、原稿の両面をモノクロでスキャンします。

重要

- アプリケーションソフトによっては、ADF からの連続読み込みに対応していないことがあります。詳しくは、使用するアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

参考

- 原稿の種類を選ぶと、輪郭強調機能がはたらきます。
- ADF 以外の原稿を選ぶと、原稿の種類に合わせた画像調整機能がはたらきます。
- ［雑誌(カラー)］を選ぶと、モアレ低減機能がはたらきます。

［試しの画像を表示する］

［プレビュー］

試しで原稿をスキャンします。

参考

- 本製品をはじめて使う場合、自動的にスキャナーの補正（キャリブレーション）が行われます。続いてプレビュー画像が表示されるまでしばらくお待ちください。

［用途を選択する］

スキャンした画像の用途に合わせて選びます。

［印刷］

スキャンした画像をプリンターで印刷するときに選びます。

［画面表示］

スキャンした画像をモニターで見るときに選びます。

［OCR］

スキャンした画像を OCR ソフトウェアなどで使用するときに選びます。

「OCR ソフトウェア」とは、画像として読み込んだ活字を、ワープロソフトなどで編集可能なテキスト（文字）データに変換するアプリケーションソフトです。

［出力サイズを選択する］

スキャンする画像の出力サイズを選びます。

［用途を選択する］で選択した項目によって、選べる出力サイズが異なります。

［フリーサイズ］

クロップ枠（スキャンする範囲）を自由に変更できます。

サムネイル表示の場合：

サムネイルの中でマウスをドラッグすると、クロップ枠が表示されます。クロップ枠が表示されているときは、クロップ枠の範囲をスキャンします。クロップ枠が表示されていないときは、1コマずつサムネイル全体をスキャンします。

全体表示の場合：

クロップ枠が表示されていないときは、プレビュー領域全体をスキャンします。クロップ枠が表示されているときは、クロップ枠の範囲をスキャンします。

用紙のサイズ（L 判、A4 など）

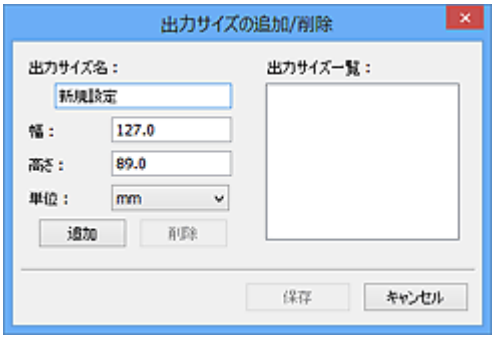
出力サイズを用紙サイズで選びます。クロップ枠の範囲を、選んだ用紙サイズと同じ大きさになるように、自動的に拡大／縮小してスキャンします。クロップ枠は縦横比が保たれたままドラッグして拡大／縮小することができます。

モニターのサイズ（1024 x 768 pixels など）

出力サイズを縦横のピクセル数で選びます。選んだモニターサイズのクロップ枠が表示され、クロップ枠の範囲をスキャンします。クロップ枠は縦横比が保たれたままドラッグして拡大／縮小することができます。

［追加/削除...］

［出力サイズの追加/削除］ダイアログボックスが表示され、任意の出力サイズを設定することができます。［用途を選択する］が［印刷］または［画面表示］のときに選択できます。



［出力サイズの追加/削除］ダイアログボックスでは、複数の出力サイズを設定し、一度に保存することができます。保存した出力サイズは、［出力サイズを選択する］の選択項目に登録され、既存の項目と同様に選択できます。

追加する場合：

［出力サイズ名］、［幅］、［高さ］を入力し、［追加］をクリックします。［単位］は、［用途を選択する］が［印刷］のときは［mm］または［inches］、［画面表示］のときは［pixels］のみとなります。追加した出力サイズは［出力サイズ一覧］に表示されます。［保存］をクリックして、［出力サイズ一覧］に表示されている出力サイズを登録します。

削除する場合：

［出力サイズ一覧］で削除したい出力サイズを選び、［削除］をクリックします。［保存］をクリックして、［出力サイズ一覧］に表示されている出力サイズを登録します。

重要

- ［A4］、［1024 x 768 pixels］など、はじめから用意されている出力サイズを削除することはできません。

参考

- 最大 10 個まで設定を保存できます。

- 設定範囲外の数値を入力すると、エラーメッセージが表示されます。設定範囲内の数値を入力してください。

参考

- プレビュー直後のクロップ枠の表示については、［詳細設定］ダイアログボックスにある「[プレビュー］シート」の［プレビュー後のクロップ枠の設定］を参照してください。

［読取枠の縦横を入れ替える］

［出力サイズを選択する］が、［フリーサイズ］以外のときに使用できる機能です。

このボタンをクリックすると、クロップ枠の縦横比を切り替えます。もう一度クリックすると元に戻ります。

［読取枠(クロップ枠)を調整する］

読み取り範囲をプレビュー上で調整することができます。

範囲を指定しない場合は、原稿サイズ（オートクロップ）で読み込まれます。範囲を指定した場合は、クロップ枠の範囲だけが読み込まれます。

■ クロップ枠の調整のしかた（ScanGear）

［画像を補正する］

スキャンする画像を補正します。

重要

- ［自動文書補正をかける］、［褪色(色あせ)を補正する］は、［詳細設定］ダイアログボックスの［色の設定］シートで［推奨］が選ばれているときに、設定できます。

参考

- ［原稿を選択する］で選択した原稿の種類によって、設定できる機能が異なります。

［自動文書補正をかける］

文書や雑誌の文字をくっきりさせ、見やすくなるように補正してスキャンします。

重要

- この補正機能をオンにすると、スキャンの時間が通常よりも長くなる場合があります。
- 補正によって、元の色あいと変わってしまうことがあります。その場合は、チェックマークを外してスキャンしてください。
- スキャンする範囲が小さすぎると、正しく補正できない場合があります。

［褪色(色あせ)を補正する］

経年変化などで褪色したり、色かぶりしたりした写真を色補正してスキャンします。

［とじ部の影を補正する］

冊子などを開いた状態でスキャンする際に生じる、とじ部の影を補正してスキャンします。

重要

- この機能をご使用になるときの注意事項などがありますので、かならず「[とじ部の影補正]」を参照してください。

［色調整のパターン表示...］

画像全体の色調整をします。この色調整では、色の変化をプレビューで確認しながら、色かぶりなどによって損なわれた色を補正して、自然な色に近づけることができます。

■ 色調整パターンを使った色調整のしかた

重要

- ［詳細設定］ダイアログボックスの［色の設定］シートで［カラーマッチング］を選択しているときは、設定できません。

［画像を読み取る］

［スキャン］

スキャンを開始します。

参考

- スキャンを開始すると進行状況が表示されます。スキャンを中止したいときは、［キャンセル］をクリックします。

［詳細設定...］

［詳細設定］ダイアログボックスが表示され、スキャンやプレビュー時の動作などが設定できます。

［閉じる］

ScanGear（スキャナードライバー）を閉じます。

（2）ツールバー

プレビューした画像を調整したり、回転したりすることができます。ツールバーに表示されるボタンは、表示方法によって異なります。

サムネイル表示の場合：

全体表示の場合：

（サムネイル）／ **（全体表示）**

プレビュー領域の表示方法を切り替えます。

（3）プレビュー領域

（左回転）

プレビュー領域の画像が左に 90 度回転します。

- 実際のスキャン時にも変更結果が反映されます。
- 変更後、プレビューすると元の状態に戻ります。

（右回転）

プレビュー領域の画像が右に 90 度回転します。

- 実際のスキャン時にも変更結果が反映されます。
- 変更後、プレビューすると元の状態に戻ります。

（オートクロップ）

プレビュー領域に表示された原稿の大きさに合わせて、自動的にクロップ枠が表示されます。クロップ枠内にさらにクロップできる領域がある場合、クリックするたびに、クロップ枠がだんだん狭くなります。

（全コマチェック）

2 コマ以上表示されているときに使用できます。

サムネイル表示された画像にチェックマークを付けます。

（全コマチェック解除）

2 コマ以上表示されているときに使用できます。

サムネイル表示された画像にチェックマークが付いている場合は、解除します。

（全コマ選択）

2 コマ以上表示されているときに使用できます。

サムネイル表示された画像を、選択状態（周りが青い枠で囲まれた状態）にします。

（全クロップ枠選択）

クロップ枠が 2 つ以上指定されているときに使用できます。

クロップ枠が太い点線になり、設定がすべてに反映されます。

（クロップ枠削除）

選択されているクロップ枠を削除します。

（情報）

ScanGear のバージョンや原稿の種類などスキャンするときの詳細な設定が表示されます。

（操作説明表示）

このページが表示されます。

（3）プレビュー領域

［プレビュー］をクリックしたときに、試しでスキャンされた画像を表示します。「（1）設定項目と操作ボタン」で設定した内容（画像の補正や色調整など）を確認することもできます。

ツールバーのアイコンが （サムネイル）の場合：

原稿のサイズに合わせてクロップ枠を指定してスキャンし、サムネイル（縮小版）表示します。チェックボックスにチェックマークが付いている画像が読み込まれます。

参考

- 複数の画像をプレビューした場合、枠の種類によって選択状態が異なります。
  - フォーカス枠（太い青枠）：設定項目の設定が反映されます。
  - 選択枠（細い青枠）：フォーカス枠と同じ設定が反映されます。Ctrl キーを押しながらコマをクリックすると、複数のコマを同時に選択することができます。
  - 非選択（枠なし）：設定が反映されません。
- コマをダブルクリックすると拡大表示されます。画面下にある （コマ送り）をクリックすると、前後のコマを表示できます。拡大表示されたコマをもう一度ダブルクリックすると元に戻ります。

ツールバーのアイコンが （全体表示）の場合：

原稿台全面をスキャンし、表示します。クロップ枠で指定された範囲をすべてスキャンします。

参考

- 表示された画像に対してクロップ枠を作成できます。サムネイル表示の場合、作成できるクロップ枠は 1 コマにつき 1 個です。全体表示の場合、複数のクロップ枠を作成することができます。
  - クロップ枠の調整のしかた（ScanGear）

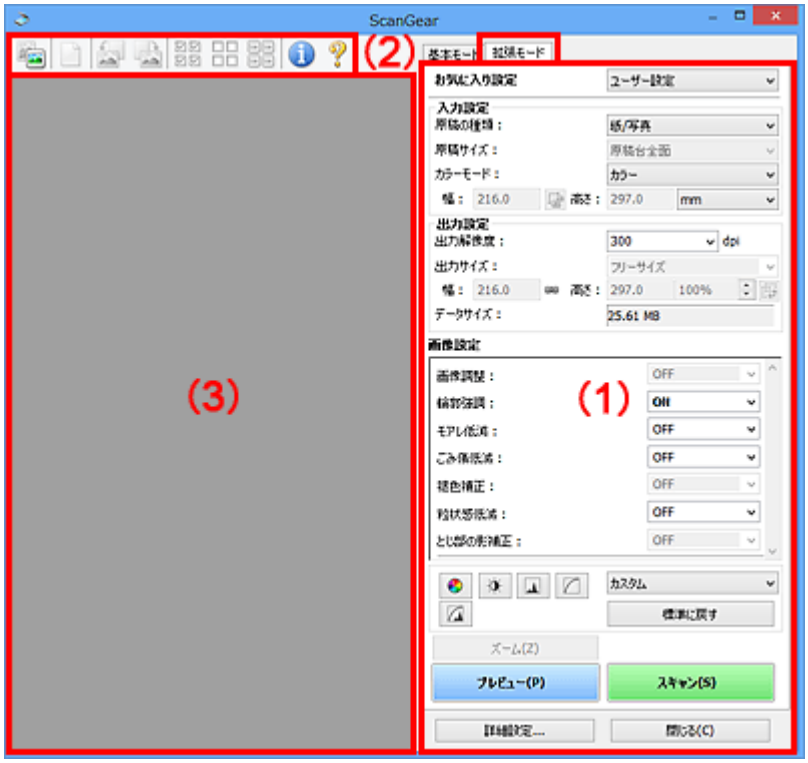
関連項目

- 「基本モード」でスキャンする

［拡張モード］シート

カラーモードや出力解像度、画像の明るさ、色あいなどを細かく設定してスキャンできるモードです。

［拡張モード］シートの各項目や、機能を説明します。



- （1）設定項目と操作ボタン
- （2）ツールバー
- （3）プレビュー領域

参考

- 表示される項目は、原稿の種類や表示方法によって異なります。
- ADF（自動原稿給紙装置）から原稿をスキャンするときは、プレビュー機能は使用できません。

（1）設定項目と操作ボタン

［お気に入り設定］

［拡張モード］シートの設定内容（入力設定、出力設定、画像設定、色調整ボタン）に名前を付けて保存したり、保存してある設定内容を呼び出したりして使用することができます。同じ設定を使う場合は、保存しておくと操作が簡単になります。設定内容を初期状態に戻すこともできます。

プルダウンメニューから［追加/削除...］を選ぶと、［お気に入り設定の追加/削除］ダイアログボックスが表示されます。

［設定名］を入力し［追加］をクリックすると、［お気に入り設定一覧］に設定名が表示されます。

［保存］をクリックすると、［お気に入り設定］の選択項目に表示され、既存の項目と同様に選択できます。

設定を削除するには、［お気に入り設定一覧］で削除したい設定名を選び、［削除］をクリックします。［保存］をクリックして、［お気に入り設定一覧］に表示されている設定を保存します。

参考

- ［お気に入り設定］の［追加/削除...］はプレビュー後に設定できます。
- 最大 10 個まで設定を保存できます。

［入力設定］

原稿の種類やサイズなどの入力条件を設定します。

［出力設定］

出力解像度、出力サイズなどの出力条件を設定します。

［画像設定］

各種画像補正のオン／オフなどを設定します。

色調整ボタン

画像全体の明るさや画像の明暗差（コントラスト）の調整、画像のハイライトとシャドウの指定や明暗のバランスの補正（ヒストグラム、トーンカーブ）など、画像の明るさや色あいにかかわる詳細な設定ができます。

［ズーム］

コマを拡大表示したり、クロップ枠（スキャンする範囲）で指定した範囲の画像を拡大表示したりします。拡大表示されると、［ズーム］が［戻す］に変わります。拡大表示を元に戻すには、［戻す］をクリックします。

サムネイル表示の場合：

複数の画像がサムネイル表示されているときにクリックすると、選択した画像の 1 コマを拡大表示します。画面下にある （コマ送り）をクリックすると、前後のコマを表示できます。

参考

- コマをダブルクリックしても拡大表示できます。拡大表示されたコマをもう一度ダブルクリックすると元に戻ります。

全体表示の場合：

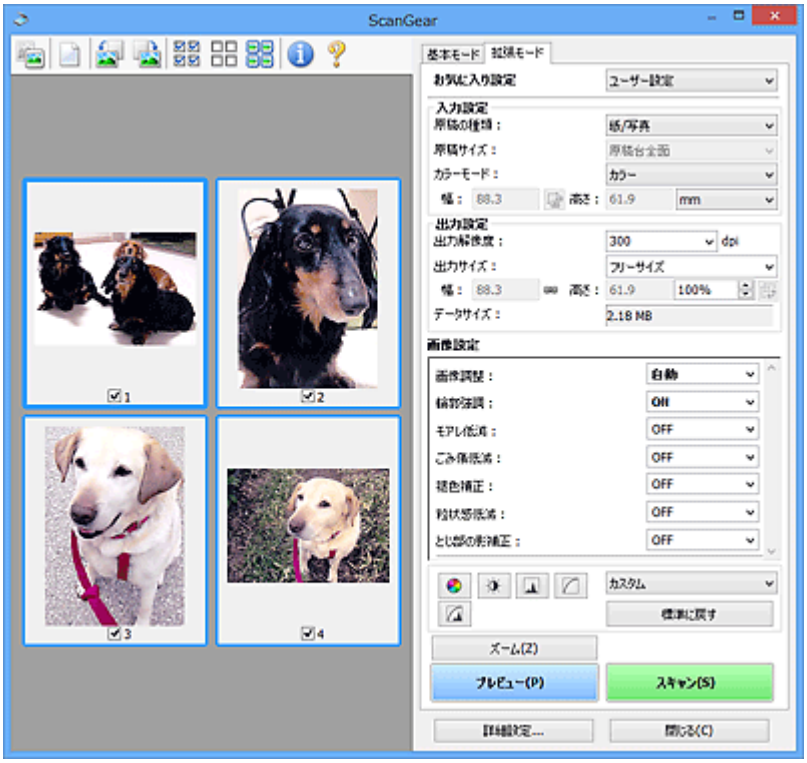
クロップ枠で指定した範囲の画像を再度スキャンして拡大表示します。

参考

- ［ズーム］で拡大すると、原稿からプレビューし直すので、高解像度のプレビュー画像が表示できます。
- ツールバーの （拡大／縮小）で拡大すると、すでにプレビューされた画像をそのまま拡大するので、すぐに拡大画像が表示できます。ただし、表示される画像の解像度は粗くなります。

［プレビュー］

試しで原稿をスキャンします。



[スキャン]

スキャンを開始します。

参考

- スキャンを開始すると進行状況が表示されます。スキャンを中止したいときは、[キャンセル] をクリックします。
- スキャンが終了すると、「スキャンが終了しました」のメッセージ（動作選択画面）が表示されることがあります。メッセージに従って操作してください。詳しくは、[詳細設定] ダイアログボックスにある [スキャン] シートの [スキャン終了後の ScanGear の画面] を参照してください。
- スキャンする画像の合計が一定の大きさを超える場合、スキャンすると画像処理に時間がかかります。注意を促すメッセージが表示されるので、画像のサイズを小さくすることをお勧めします。スキャンを続ける場合は全体表示でスキャンしてください。

[詳細設定...]

[詳細設定] ダイアログボックスが表示され、スキャンやプレビュー時の動作などが設定できます。

[閉じる]

ScanGear（スキャナードライバー）を閉じます。

（2）ツールバー

プレビューした画像を調整したり、回転したりすることができます。ツールバーに表示されるボタンは、表示方法によって異なります。

サムネイル表示の場合：

全体表示の場合：

（サムネイル）／ （全体表示）

プレビュー領域の表示方法を切り替えます。

■ （3）プレビュー領域

（プレビュー画像クリア）

プレビュー領域からプレビュー画像を消去します。

また、ツールバーの設定、色調整の設定がリセットされます。

（クロップ）

スキャン範囲をマウスでドラッグして指定することができます。

（画像移動）

プレビュー領域に拡大した画像が画面に入りきらないとき、見たい部分が表示されるように画像をドラッグします。スクロールバーでも同じように移動できます。

（拡大／縮小）

プレビュー領域を拡大するときは、画像上でクリックします。縮小するときは、画像上で右クリックします。

（左回転）

プレビュー領域の画像が左に 90 度回転します。

- 実際のスキャン時にも変更結果が反映されます。
- 変更後、プレビューすると元の状態に戻ります。

（右回転）

プレビュー領域の画像が右に 90 度回転します。

- 実際のスキャン時にも変更結果が反映されます。
- 変更後、プレビューすると元の状態に戻ります。

（オートクロップ）

プレビュー領域に表示された原稿の大きさに合わせて、自動的にクロップ枠が表示されます。クロップ枠内にさらにクロップできる領域がある場合、クリックするたびに、クロップ枠がだんだん狭くなります。

（全コマチェック）

2 コマ以上表示されているときに使用できます。

サムネイル表示された画像にチェックマークを付けます。

（全コマチェック解除）

2 コマ以上表示されているときに使用できます。

サムネイル表示された画像にチェックマークが付いている場合は、解除します。

（全コマ選択）

2 コマ以上表示されているときに使用できます。

サムネイル表示された画像を、選択状態（周りが青い枠で囲まれた状態）にします。

（全クロップ枠選択）

クロップ枠が 2 つ以上指定されているときに使用できます。

クロップ枠が太い点線になり、設定がすべてに反映されます。

（クロップ枠削除）

選択されているクロップ枠を削除します。

（情報）

ScanGear のバージョンや原稿の種類などスキャンするときの詳細な設定が表示されます。

（操作説明表示）

このページが表示されます。

（3）プレビュー領域

［プレビュー］をクリックしたときに、試しでスキャンされた画像を表示します。「（1）設定項目と操作ボタン」で設定した内容（画像の補正や色調整など）を確認することもできます。

ツールバーのアイコンが （サムネイル）の場合：

原稿のサイズに合わせてクロップ枠を指定してスキャンし、サムネイル（縮小版）表示します。チェックボックスにチェックマークが付いている画像が読み込まれます。

参考

- 複数の画像をプレビューした場合、枠の種類によって選択状態が異なります。
  - フォーカス枠（太い青枠）：設定項目の設定が反映されます。
  - 選択枠（細い青枠）：フォーカス枠と同じ設定が反映されます。Ctrl キーを押しながらコマをクリックすると、複数のコマを同時に選択することができます。
  - 非選択（枠なし）：設定が反映されません。

ツールバーのアイコンが （全体表示）の場合：

原稿台全面をスキャンし、表示します。クロップ枠で指定された範囲をすべてスキャンします。

参考

- 表示された画像に対してクロップ枠を作成できます。サムネイル表示の場合、作成できるクロップ枠は 1 コマにつき 1 個です。全体表示の場合、複数のクロップ枠を作成することができます。

  - クロップ枠の調整のしかた（ScanGear）

関連項目

- 「拡張モード」でスキャンする
- 「拡張モード」で ADF（自動原稿給紙装置）から複数の原稿をスキャンする

使用上の注意（スキャナードライバー）

本 ScanGear（スキャナードライバー）の使用およびスキャンに際しては、以下のような制限事項があります。ScanGear の使用にあたっては、あらかじめこれらの点に注意してください。

スキャナードライバーの制限事項

- ファイルシステムが NTFS のとき、TWAIN データソースを呼び出せないことがあります。セキュリティのために TWAIN モジュールを winnt フォルダーに書き込むことができないためです。コンピューターの管理者に問い合わせてください。
- 一部のパソコン（ノートパソコンを含む）において、本製品を接続した状態でスタンバイモードから正常に復帰できない場合があります。そのような場合は、パソコンを再起動してください。
- スキャナーおよびスキャナー機能を持つ複合機を同じパソコンに 2 台以上接続しないでください。2 台以上接続されている場合には、本製品の操作パネルからスキャンできないほか、デバイスへのアクセスでエラーが発生することがあります。
- パソコンがスリープ状態やスタンバイ状態から復帰した場合、正常にスキャンできないことがあります。そのような場合は、以下の手順を行ったあと、スキャンしてください。
  1. 本製品の電源を切る
  2. ScanGear を終了したあと、USB ケーブルをパソコンから外し、再度パソコンへ接続
  3. 本製品の電源を入れる
- ScanGear は同時に複数のアプリケーションソフトから起動することはできません。また、同一アプリケーションソフト内でも、ScanGear が起動しているときにさらに ScanGear を起動することはできません。
- アプリケーションソフトを終了させる前に、かならず ScanGear のメインウィンドウを閉じてください。
- ネットワーク対応の機種を、ネットワークに接続してご使用の場合は、複数のパソコンから本製品へ同時にアクセスすることはできません。
- ネットワーク対応の機種を、ネットワークに接続してご使用の場合は、スキャンの時間が通常よりも長くなります。
- 大きなイメージを高解像度で読み込むとき（スキャンするとき）は、ハードディスクに十分な空きがあるかどうか確認してください。たとえば、A4 判の文書をフルカラー 600 dpi でスキャンするときは、最低 300 MB の空き容量が必要です。
- ScanGear と WIA ドライバーは同時に使用することはできません。
- スキャン中に、パソコンをスリープ状態や休止状態にしないでください。

ご使用の際に制限事項のあるアプリケーションソフトについて

- 一部のアプリケーションソフトでは、TWAIN のユーザーインターフェイスを表示しない場合があります。そのような場合は、どのようにしたら表示できるかをそのアプリケーションソフトの取扱説明書で調べて、その設定を変更してください。
- 一部のアプリケーションソフトでは、複数原稿の連続スキャンに対応していないものがあります。複数原稿の連続スキャンで 2 枚目以降の画像を取り込めない場合や、複数の画像ではなく 1 枚の画像としてスキャンしてしまう場合があります。また、ADF（自動原稿給紙装置）からの複数枚のスキャンはしないでください。
- Microsoft Office 2000 にスキャン画像を取り込みたい場合には、IJ Scan Utility を使用して画像を一度ファイルに保存してから、［挿入］メニューよりファイルを取り込んでください。
- Microsoft Office 2003（Word、Excel、PowerPoint など）で原稿台と同じ大きさの画像をスキャンするときは、［スキャナまたはカメラから図を挿入］画面で［カスタム挿入］をクリックしてください。このコマンドを使用しないと、正しくスキャンできないことがあります。

- Microsoft Office 2007／Microsoft Office 2010（Word、Excel、PowerPoint など）で画像をスキャンするときは、Microsoft クリップ オーガナイザをご使用ください。
- 一部のアプリケーションソフトでは、画像をスキャンする際、正しく読み取れない場合があります。そのような場合は、OS の仮想メモリーを増やしスキャンし直すと、画像が読み込めることがあります。
- 大きなイメージを高解像度でスキャンするなど画像サイズが大きい場合、一部のアプリケーションソフトでは制限により、プログレスバーの表示が 0 %のままで止まってしまうなど、パソコンからの応答がなくなることがあります。そのような場合は、プログレスバーの［キャンセル］をクリックするなどして処理を中断させ、OS の仮想メモリーを増やしてスキャンし直したり、選択領域もしくは解像度を小さくしてスキャンしたりしてください。もしくは、一度 IJ Scan Utility で取り込んでから保存し、それによって作成された画像ファイルをアプリケーションソフトに取り込むようにしてください。

原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）

ご使用のスキャナーまたはプリンターの原稿台に原稿をセットする方法について説明します。スキャンする原稿の種類に合わせて正しくセットしてください。正しくセットしないと、原稿によっては正しくスキャンできない場合があります。

重要

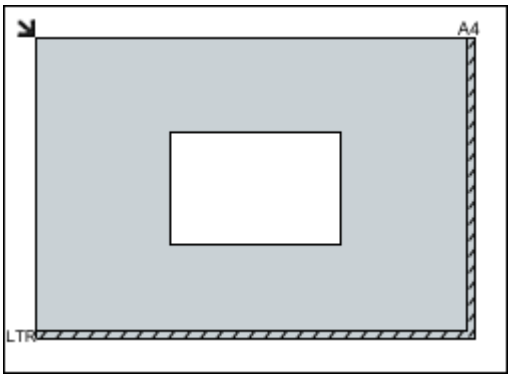
- 原稿台カバーの上に物をのせないでください。原稿台カバーを開いた際、物がご使用のスキャナーまたはプリンターの内部に落ち、故障の原因となることがあります。
- 原稿台カバーはきちんと閉じてスキャンしてください。

原稿のセットのしかた

原稿の種類やサイズを自動で判別してスキャンする場合は、以下の原稿のセットのしかたに従って原稿を置いてください。

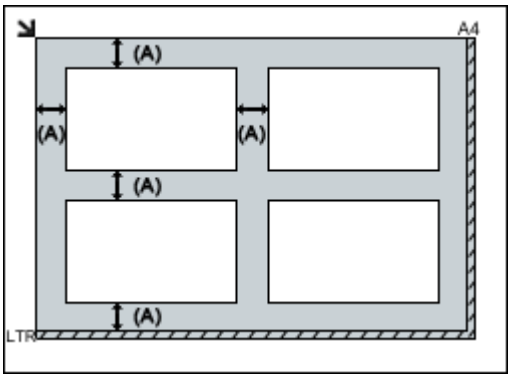
重要

- IJ Scan Utility または ScanGear（スキャナードライバー）で原稿のサイズを指定してスキャンする場合は、原稿の上端を原稿台にある矢印（原稿位置合わせマーク）に合わせて置いてください。
- いろいろな形に切り抜いた写真や 3 cm（1.2 inches）四方より小さい原稿は、正しく切り抜いてスキャンすることができません。
- ディスクのレーベル面が鏡面状の場合、期待どおりにスキャンできないことがあります。

写真、はがき、名刺、BD／DVD／CD の場合	雑誌、新聞、文書の場合
 原稿が 1 枚の場合： 原稿台の端の斜線部分から 1 cm（0.4 inch）以上離し、スキャンする面を下にして原稿を置いてください。斜線部分は、原稿を読み取ることができません。  **重要** - A4 サイズの写真など原稿のサイズが大きく原稿台の端や矢印（原稿位置合わせマーク）から離して置けない原稿は、PDF ファイルで保存されることがあります。PDF 以外の形式で保存したい場合は、データ形式を指定してスキャンしてください。	 原稿の上端を原稿台にある矢印（原稿位置合わせマーク）に合わせ、スキャンする面を下にして置いてください。斜線部分は、原稿を読み取ることができません。 **重要** - 原稿を読み取ることができない範囲については、「原稿をセットする」を参照してください。

原稿が複数の場合：

原稿が 2 枚以上ある場合は、原稿台の端の斜線部分から 1 cm（0.4 inch）以上離し、原稿と原稿の間も 1 cm（0.4 inch）以上離して置いてください。斜線部分は、原稿を読み取ることができません。



(A) 1 cm（0.4 inch）以上

参考

- 原稿は 12 枚まで置くことができます。
- 原稿の傾きが 10 度以内のときは、傾きが自動的に補正されます。

ネットワーク環境でスキャンするときの設定方法

ご使用のスキャナーまたはプリンターは、ネットワークに接続して複数のパソコンで共有したり、スキャンした画像データを指定したパソコンに取り込んだりすることができます。

重要

- 複数のユーザーが同時にスキャンすることはできません。

参考

- 事前にセットアップ CD-ROM から、またはキヤノンのウェブサイトの指示に従って、ご使用のスキャナーまたはプリンターのネットワーク設定を行ってください。
- ネットワーク接続でご使用の場合、スキャンの時間が USB 接続よりも長くなります。

ネットワーク環境でスキャンするには、以下の設定を行う必要があります。

ご使用のスキャナーまたはプリンターを指定する

IJ Network Scanner Selector EX でご使用になりたいスキャナーを指定します。スキャナーを指定すると、ご使用のパソコンや操作パネルからネットワーク経由でスキャンすることができます。

重要

- IJ Network Scanner Selector EX で使用する製品を変更した場合、IJ Scan Utility からスキャンするときに使用する製品も変更されます。また、操作パネルからのスキャンで使用する製品も変更されます。

  IJ Scan Utility で、ご使用のスキャナーまたはプリンターが選択されていない場合、IJ Network Scanner Selector EX でご使用のスキャナーまたはプリンターが選択されていることを確認してください。

  詳しくは、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種の「IJ Network Scanner Selector EX2 のメニューと設定画面」を参照してください。
- 操作パネルからスキャンするときは、IJ Network Scanner Selector EX でご使用のスキャナーまたはプリンターを指定しておく必要があります。

1. IJ Network Scanner Selector EX が起動していることを確認

   IJ Network Scanner Selector EX が起動している場合は、デスクトップの通知領域に （IJ Network Scanner Selector EX2）が表示されます。 をクリックして、隠れているアイコンも確認してください。

   参考

   - デスクトップの通知領域にアイコンが表示されていない場合は、以下の手順で起動してください。
     - **Windows 10 の場合：**

       ［スタート］メニューから［すべてのアプリ］→［Canon Utilities］→［IJ Network Scanner Selector EX2］の順にクリック
     - **Windows 8.1／Windows 8 の場合：**

       スタート画面上の［IJ Network Scanner Selector EX2］をクリック

スタート画面に［IJ Network Scanner Selector EX2］が表示されない場合は、［検索］チャームを選び、「IJ Network Scanner Selector EX2」を検索してください。

- **Windows 7／Windows Vista の場合：**

  ［スタート］メニューから［すべてのプログラム］→［Canon Utilities］→［IJ Network Scanner Selector EX2］→［IJ Network Scanner Selector EX2］の順にクリック

デスクトップの通知領域にアイコンが表示され、PC からのスキャン設定画面が表示されます。この場合、手順 3 に進んでください。

2. デスクトップの通知領域から （IJ Network Scanner Selector EX2）を右クリックし、［設定...］を選択

   PC からのスキャン設定画面が表示されます。

3. ［スキャナー］からご使用のスキャナーまたはプリンターを選択

   通常は、セットアップ後にご使用のスキャナーまたはプリンターの MAC アドレスが選択されています。その場合は、再度選択する必要はありません。

   重要

   - ネットワーク上にスキャナーが複数存在する場合は、複数の機種名が表示されます。その場合は、ご使用になりたいスキャナーを同じ製品 1 つにつき 1 台選択することができます。

4. ［OK］をクリック

参考

- PC からのスキャン設定画面で選択したスキャナーが、自動的に操作パネルからのスキャン設定画面でも選択されます。

IJ Scan Utility でスキャンするときの設定

ネットワークに接続されたスキャナーまたはプリンターを使用して、IJ Scan Utility からスキャンするには、IJ Network Scanner Selector EX でご使用のスキャナーまたはプリンターを指定後、パソコンとの接続方法を以下の手順に従って変更する必要があります。

1. IJ Scan Utility を起動

2. ［製品名］で「Canon XXX series Network」（「XXX」は機種名）を選択

3. ネットワークに接続しているほかのスキャナーを使用する場合は、［スキャン設定...］をクリック

4. （基本設定）をクリックし、［製品名］で［選択］をクリック

   IJ Network Scanner Selector EX の PC からのスキャン設定画面が表示されます。

   ご使用になりたいスキャナーを選択して、［OK］をクリックしてください。

5. ［スキャン設定(基本設定)］ダイアログボックスで、［OK］をクリック

IJ Scan Utility 基本画面に戻ります。ネットワーク接続でスキャンできます。

操作パネルからスキャンするときの設定

操作パネルからのスキャンを設定することができます。

重要

- あらかじめ IJ Scan Utility でご使用のスキャナーまたはプリンターをネットワーク接続に設定してください。

  IJ Scan Utility でスキャンするときの設定

1. IJ Network Scanner Selector EX が起動していることを確認

   IJ Network Scanner Selector EX が起動している場合は、デスクトップの通知領域に （IJ Network Scanner Selector EX2）が表示されます。 をクリックして、隠れているアイコンも確認してください。

   参考

   - デスクトップの通知領域にアイコンが表示されていない場合は、以下の手順で起動してください。

     - **Windows 10 の場合：**

       ［スタート］メニューから［すべてのアプリ］→［Canon Utilities］→［IJ Network Scanner Selector EX2］の順にクリック

     - **Windows 8.1／Windows 8 の場合：**

       スタート画面上の［IJ Network Scanner Selector EX2］をクリック

       スタート画面に［IJ Network Scanner Selector EX2］が表示されない場合は、［検索］チャームを選び、「IJ Network Scanner Selector EX2」を検索してください。

     - **Windows 7／Windows Vista の場合：**

       ［スタート］メニューから［すべてのプログラム］→［Canon Utilities］→［IJ Network Scanner Selector EX2］→［IJ Network Scanner Selector EX2］の順にクリック

     デスクトップの通知領域にアイコンが表示され、PC からのスキャン設定画面が表示されます。この場合、手順 3 に進んでください。

2. デスクトップの通知領域から （IJ Network Scanner Selector EX2）を右クリックし、［設定...］を選択

   PC からのスキャン設定画面が表示されます。

3. ［操作パネルからのスキャン設定］をクリック

   操作パネルからのスキャン設定画面が表示されます。

4. ［スキャナー］からご使用のスキャナーまたはプリンターを選び、［OK］をクリック

   ご使用のスキャナーまたはプリンターの MAC アドレスを選択します。

参考

- ネットワークで複数のスキャナーに接続している場合、合計 3 台まで選択できます。

5. PC からのスキャン設定画面で、［OK］をクリック

参考

- ご使用のスキャナーまたはプリンターが表示されない場合は、以下の項目を確認してから［OK］をクリックし一度画面を閉じてから、再度開いて選び直してください。
  - MP ドライバーがインストールされている
  - MP ドライバーをインストールしたあと、ご使用のスキャナーまたはプリンターのネットワーク設定をしている
  - ご使用のスキャナーまたはプリンターとパソコンがネットワーク通信できる状態である

  それでも表示されない場合は、「ネットワークに関するトラブル」を参照してください。

本製品の操作パネルを使ってスキャンしてみよう

- スキャンしたデータをパソコンに転送する 基本
- スキャンしたデータをパソコンからメール添付で送信する
- スキャンするときの設定項目
- IJ Scan Utility で本製品の操作パネルの動作設定をする（Windows）
- IJ Scan Utility で本製品の操作パネルの動作設定をする（Mac OS）

スキャンしたデータをパソコンに転送する

スキャンしたデータをパソコンに転送する前に、次のことを確認してください。

- **MP ドライバーがインストールされている（Windows）**

  MP ドライバーがインストールされていない場合は、セットアップ CD-ROM またはウェブページから MP ドライバーをインストールしてください。

- **スキャナードライバーがインストールされている（Mac OS）**

  スキャナードライバーがインストールされていない場合は、ウェブページからスキャナードライバーをインストールしてください。

- **本製品とパソコンが正しく接続されている**

  本製品とパソコンが正しく接続されていることを確認してください。

  プリンターが動作しているときや、パソコンがスリープモードまたはスタンバイモードのときに LAN ケーブルまたは USB ケーブルを抜き差ししないでください。

  LAN 接続でスキャンを行う場合は、LAN 接続でスキャンを行う準備ができていることを確認してください。

  - Windows をご使用の場合：

    ■ ネットワーク環境でスキャンするときの設定方法

  - Mac OS をご使用の場合：

    ■ ネットワーク環境でスキャンするときの設定方法

- **パソコンへの転送先やファイル名を、Canon IJ Scan Utility（キヤノン・アイジェイ・スキャン・ユーティリティ）で指定している**

  パソコンの転送先やファイル名などを Canon IJ Scan Utility で設定することができます。Canon IJ Scan Utility の設定については、以下を参照してください。

  - Windows をご使用の場合：

    ■ スキャン設定ダイアログボックス

  - Mac OS をご使用の場合：

    ■ スキャン設定ダイアログ

    Mac OS X 10.11 をご使用の場合、スキャンしたデータをパソコンに転送するときに Canon IJ Scan Utility を起動している必要があります。

以下の手順でスキャンしたデータをパソコンに転送します。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する

2. ホーム画面で ［スキャン］を選ぶ

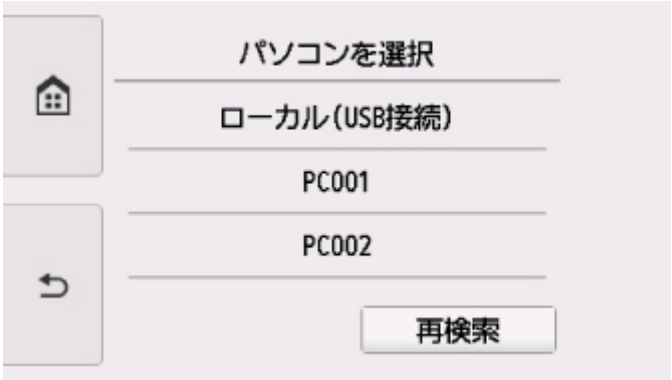
   ■ 操作パネルの使いかた

   保存／転送先を選択する画面が表示されます。

3. ［パソコンに保存］を選ぶ

4. 転送先をタップする

USB 接続の場合は［ローカル（USB 接続）］、LAN 接続の場合は転送先のパソコンを選んでください。



スキャン待機画面が表示されます。

参考

- WSD（Windows がサポートするネットワークプロトコルの一つ）を利用して、パソコンにスキャンしたデータを転送する場合は、［本体設定］の［LAN 設定］の［共通設定］の［WSD 設定］で、［本機からの WSD スキャン］を［有効］にしてください。

  WSD 設定

  ［再検索］をタップすると、接続されているパソコンを再検索します。

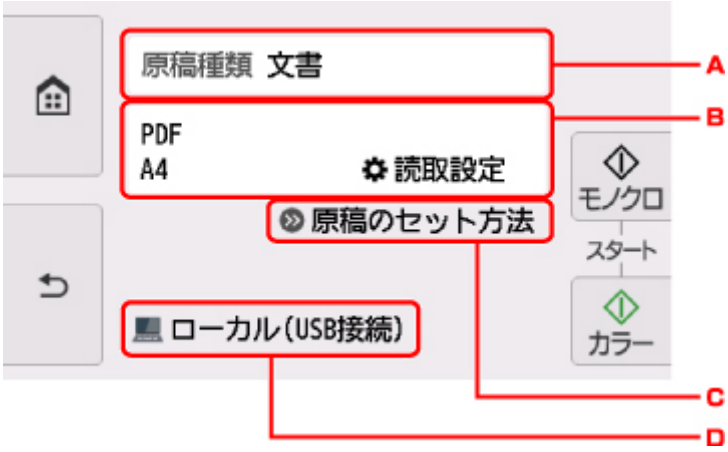
- パソコンの転送先やファイル名は、あらかじめ Canon IJ Scan Utility で設定したものになります。
  - Windows をご使用の場合：

    スキャン設定ダイアログボックス

  - Mac OS をご使用の場合：

    スキャン設定ダイアログ

5. 必要に応じて設定する



A. タップして、原稿の種類を選びます。

参考

- WSD を利用して検索したパソコンを転送先に選んだ場合は、原稿の種類を選ぶことはできません。

おまかせスキャン

原稿の種類を自動で判別して、最適な読取サイズや解像度、データ形式で転送します。

重要

- スキャンする原稿の種類に合わせて正しく原稿をセットしてください。正しくセットしないと、原稿によっては正しくスキャンできない場合があります。

  原稿をセットする方法については、以下を参照してください。

  原稿をセットする

- 写真、はがき、名刺、雑誌、新聞、文書、BD/DVD/CD をスキャンすることができます。
- 次のような原稿は正しくスキャンすることができません。
  - A4 サイズの写真
  - 2L 判（127 mm×178 mm、5 inches×7 inches）より小さいサイズの文書原稿（例、文庫本の背表紙を切り落とした原稿など）
  - 下地が白く、紙質が薄い原稿
  - パノラマ写真などの細長い原稿

文書

原稿台ガラスにある原稿を、［読取設定］で設定した内容で、文書データとしてスキャンします。

写真

原稿台ガラスにある原稿を、［読取設定］で設定した内容で、写真データとしてスキャンします。

B. タップすると、［読取設定］画面が表示されます。

設定項目については、以下を参照してください。

スキャンするときの設定項目

C. タップすると、原稿のセットのしかたが表示されます。

D. タップすると、保存／転送先を選択する画面が表示されます。

6. 原稿台ガラスに原稿をセットする

7. カラーでスキャンをする場合はカラーボタンをタッチする
   白黒でスキャンをする場合はモノクロボタンをタッチする

参考

- WSD を利用してパソコンにデータを転送する場合は、カラーボタンをタッチしてください。

- 読取設定の［データ形式］で［JPEG］または［TIFF］を選んだ場合：

  スキャンが開始され、パソコンにスキャンしたデータが転送されます。

- 読取設定の［データ形式］で［PDF］または［高圧縮 PDF］を選んだ場合：

  スキャン終了後にスキャン続行の確認画面が表示されます。

  続けてスキャンを行う場合は、次の原稿を原稿台ガラスにセットしてスキャンを開始してください。

  スキャンを終了する場合は、［読取終了］をタップしてください。スキャンしたデータがひとつの PDF としてパソコンに転送されます。

スキャンしたデータは Canon IJ Scan Utility で設定されている保存先やファイル名に従ってパソコンに転送されます。

スキャン終了後、原稿台ガラスから原稿を取り出してください。

重要

- ［おまかせスキャン］を選んでうまくスキャンできない場合は、実際の原稿に合わせて手順 5 で原稿の種類やサイズなどを設定してください。

パソコンにプログラムの選択画面が表示されたときは（Windows）：

カラーボタンまたはモノクロボタンをタッチしたあとで、パソコンにプログラムの選択画面が表示されることがあります。その場合は、起動するアプリケーションソフトに［Canon IJ Scan Utility］を指定して、［OK］ボタンをクリックしてください。

詳細な設定をしてスキャンしたい場合、または、原稿をスキャンしたあとで画像の補正や印刷を行いたい場合は：

パソコンから My Image Garden を使って原稿をスキャンすると、My Image Garden のメニューから画像補正やトリミングなどが行えます。

さらに、本製品に対応しているアプリケーションソフトを使った加工や印刷など、スキャンした画像を活用するためのメニューも用意されています。

- Windows をご使用の場合：

■ 写真や文書をスキャンしよう

- Mac OS をご使用の場合：

  ■ 写真や文書をスキャンしよう

参考

- Windows をご使用の場合：
  - WIA に対応したアプリケーションソフトを使ったスキャンにも対応しています。

    詳しい操作方法については、以下を参照してください。

    ■ そのほかのスキャンのしかた
  - スキャンした文字原稿をテキストデータにしたい場合は以下を参照してください。

    ■ スキャンした画像から文字列を抜き出す（OCR）

スキャンするときの設定項目

スキャンするときの原稿サイズや、読取解像度、保存するファイルの種類などを設定できます。

スキャン待機画面で［読取設定］をタップして、設定項目を選びます。上下にフリックして設定項目を表示し、設定項目をタップすると各設定が表示されます。設定をタップして指定します。

参考

- 以下の場合は、読取設定を変更できません。
  - ［原稿種類］で［おまかせスキャン］が選ばれている場合
  - WSD（Windows がサポートするネットワークプロトコルの一つ）を利用して、スキャンしたデータをパソコンに転送する場合
- 設定項目によっては、ほかの設定項目の設定や、原稿の種類、保存／転送先と組み合わせて指定できない設定があります。組み合わせて指定できない設定が選ばれている場合、タッチスクリーンに と［エラー詳細］が表示されます。タッチスクリーン左上の をタップしてメッセージを確認し、設定を変更してください。
- いったん指定した原稿サイズや、読取解像度、保存するファイルの種類などの設定は、保存／転送先を変更する、または電源を入れ直しても保持されます。
- すでに読取設定を設定しているときに、その設定では読み取りできない保存／転送先に保存／転送しようとすると、タッチスクリーンに［現在の設定では、指定した機能を実行できません］というメッセージが表示されます。メッセージに従って、設定を変更してください。
- スキャンしたデータをパソコンに保存する場合、またはメールに添付する場合は、パソコン上で Canon IJ Scan Utility（キヤノン・アイジェイ・スキャン・ユーティリティ）を使用してファイル名や保存先、メールソフトなどを設定することができます。
  - Windows をご使用の場合：
    - スキャン設定ダイアログボックス
  - Mac OS をご使用の場合：
    - スキャン設定ダイアログ
- パソコンからスキャンすると、より詳細な設定でスキャンすることができます。パソコンからスキャンする方法については以下を参照してください。
  - Windows をご使用の場合：
    - 写真や文書をスキャンしよう
  - Mac OS をご使用の場合：
    - 写真や文書をスキャンしよう

以下の設定項目を変更できます。

- 読取サイズ

  セットした原稿のサイズを選びます。

- データ形式

  スキャンする画像のデータ形式を選びます。

- 解像度

  必要に応じてデータの解像度を選びます。

- 原稿の裏写り低減

  新聞などの薄い印刷物をスキャンすると、裏側の文字が透けることがあります。スキャンした文書を確認して裏写りが気になるときは［ON］に設定します。

  この設定項目は［原稿種類］で［写真］が選ばれている場合には表示されません。

- モアレ低減

  印刷物は細かな点の集まりで文字やグラフなどを表現しています。モアレとは、この点と点の干渉によって濃淡のむらや縞模様が出る現象です。スキャンした文書を確認してモアレがあるときは［ON］に設定します。

  この設定項目は［原稿種類］で［写真］が選ばれている場合には表示されません。

  参考

  - この設定が［ON］になっていても、［輪郭強調］が［ON］になっていると、モアレが残ることがあります。この場合は［輪郭強調］を［OFF］にしてください。

- 輪郭強調

  文字の輪郭や写真の髪の毛、樹の葉などの細かいものの輪郭を強調します。スキャンした画像や文書を確認して、強調するときは［ON］に設定します。

よくあるご質問

ネットワーク

- ネットワーク上にプリンターが見つからない
- 無線 LAN 接続でプリンターが検出されない
- ネットワークキーを忘れてしまった／わからない

ネットワークに関するその他の質問はこちら

印刷

- 印刷が始まらない
- 白紙のまま印刷される／印刷がかすれる／違う色になる／白いすじ（線）が入る
- コピー／印刷結果に満足できない
- 用紙がつまった

インストール

- MP ドライバーがインストールできない

エラー

- トラブルが発生したときは
- メッセージが表示されている

こんなトラブルで困っている

うまく動かない

- 電源が入らない
- 電源が自動的に切れてしまう
- タッチスクリーンの表示が消えている
- 日本語以外の言語が表示されている
- USB 接続がうまくいかない
- USB 接続で通信ができない

- 印刷が始まらない
- コピー／印刷が途中で止まる
- AirPrint で印刷できない
- 印刷に時間がかかる
- インクが出ない
- 用紙がつまった
- 用紙がうまく送られない／「用紙なし」のエラーが発生する
- ディスクにうまく印刷できない
- 自動両面印刷でうまく印刷できない
- コピー／印刷結果に満足できない

- スキャンができない（Windows）
- スキャンができない（Mac OS）
- スキャン結果に満足できない（Windows）
- スキャン結果に満足できない（Mac OS）

- スマートフォン／タブレットから印刷／スキャンできない

うまく設定できない（ネットワーク）

- セットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない（Windows）
- 無線 LAN 接続でプリンターが検出されない

- 本製品が突然使えなくなった
- ネットワークキーを忘れてしまった／わからない
- 本製品に設定した管理者パスワードを忘れてしまった
- 無線 LAN ルーターを買い替えた、または設定を変更したらプリンターが使えなくなった

- ネットワーク設定の途中パソコン画面にメッセージが表示された
- ネットワークに関する設定を調べたい
- 本製品の LAN 設定を初期設定状態に戻す

うまく設定できない（インストール）

- MP ドライバーがインストールできない
- Easy-WebPrint EX（イージー・ウェブプリント・イーエックス）を起動できない／メニューが表示されない（Windows）
- ネットワーク環境で MP ドライバーをバージョンアップする方法がわからない（Windows）

エラーメッセージが表示されている

- トラブルが発生したときは
- メッセージが表示されている

- エラー発生時のサポート番号一覧
- PictBridge（Wireless LAN）対応機器にエラーメッセージが表示されている

- IJ Scan Utility エラーメッセージ一覧（Windows）
- ScanGear（スキャナードライバー）エラーメッセージ一覧
- IJ Scan Utility エラーメッセージ一覧（Mac OS）
- スキャナードライバーエラーメッセージ一覧

機能別トラブル

- ネットワーク
- 印刷
- スマートフォン／タブレットからの印刷／スキャン
- スキャン（Windows）
- スキャン（Mac OS）
- 本体
- インストール／ダウンロード
- エラー表示／メッセージ

- トラブルが解決しないときは

ネットワークについてよくあるご質問

ネットワークに関してよくあるご質問です。ご使用の、またはご使用になりたい接続方法を下から選んでください。

無線 LAN 接続でご使用の場合

無線ダイレクトでご使用の場合

無線 LAN 接続でご使用の場合

プリンターが見つからない

- 無線 LAN 接続で使用中にプリンターが見つからない
- セットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない（Windows）
- ［プリンターの接続］画面／［ケーブルの接続］画面から先に進めない
- セットアップのときに［プリンターの検出］画面でプリンターを検索後にプリンターが見つからない
- セットアップのときに IP アドレスやホスト名を指定してプリンターを検索する
- 無線 LAN セットアップのときにエラーが発生した
- 同じ名前のプリンターを検出したときは
- 無線 LAN の接続方法を切り替える

印刷／接続ができなくなった

- 本製品が突然使えなくなった
- 無線 LAN ルーターを買い替えた、または設定を変更したらプリンターが使えなくなった
- 無線 LAN 接続でパソコンなどの機器からインターネットに接続できない
- 本製品と無線 LAN ルーターを［PC/スマホでかんたん接続］を使用して接続したい
- スマートフォン／タブレットを無線 LAN ルーターに接続できない
- 無線 LAN ルーターのボタンを使用して本製品と無線 LAN ルーターを接続したい
- 無線 LAN セットアップのときにエラーが発生した
- 他のパソコンに LAN 接続する／USB 接続を LAN 接続に切り替える

LAN の設定について知りたい、LAN の設定を変更したい

- ネットワークキーを忘れてしまった／わからない
- 本製品に設定した管理者パスワードを忘れてしまった
- ネットワークに関する設定を調べたい
- 本製品の LAN 設定を初期設定状態に戻す
- 無線 LAN ルーターの SSID／キーを確認したい
- スマートフォン／タブレットが選んでいる無線 LAN ルーターの SSID を確認したい
- 無線 LAN ルーターのプライバシーセパレーター、SSID セパレーター、ネットワーク分離機能について
- 工場出荷時初期値（ネットワーク）
- 他のパソコンに LAN 接続する／USB 接続を LAN 接続に切り替える
- 本製品のネットワーク設定情報を印刷する
- 無線 LAN の接続方法を切り替える

スマートフォン／タブレットから印刷／スキャンするときは

- 本製品と無線 LAN ルーターを［PC/スマホでかんたん接続］を使用して接続したい
- スマートフォン／タブレットを無線 LAN ルーターに接続できない
- スマートフォン／タブレットが選んでいる無線 LAN ルーターの SSID を確認したい
- スマートフォン／タブレットを使用してセットアップをしたい
- スマートフォン／タブレットから印刷／スキャンできない
- Canon PRINT Inkjet/SELPHY をダウンロードしたい

使用中にこのようなことが起こったら

- ネットワーク設定の途中パソコン画面にメッセージが表示された
- 印刷に時間がかかる
- Canon IJ ステータスモニタでインク残量が表示されない（Windows）
- 定常的にパケットが送出されている（Windows）

無線ダイレクトでご使用の場合

印刷／接続ができなくなった

- 本製品が突然使えなくなった
- 無線 LAN 接続でパソコンなどの機器からインターネットに接続できない

LAN の設定について知りたい、LAN の設定を変更したい

- ネットワークキーを忘れてしまった／わからない
- 本製品に設定した管理者パスワードを忘れてしまった
- ネットワークに関する設定を調べたい
- 本製品の LAN 設定を初期設定状態に戻す
- 工場出荷時初期値（ネットワーク）
- 本製品のネットワーク設定情報を印刷する
- 無線 LAN の接続方法を切り替える

スマートフォン／タブレットから印刷／スキャンするときは

- スマートフォン／タブレットから印刷／スキャンできない
- Canon PRINT Inkjet/SELPHY をダウンロードしたい

使用中にこのようなことが起こったら

- ネットワーク設定の途中パソコン画面にメッセージが表示された
- 印刷に時間がかかる
- Canon IJ ステータスモニタでインク残量が表示されない（Windows）

本製品のネットワーク接続について知りたい

本製品で利用できるネットワークの接続方法

本製品では、以下のネットワークの接続方法を利用できます。

- 無線 LAN 接続
  プリンターとパソコン／スマートフォン／タブレットを、無線 LAN ルーターを使用して無線 LAN で接続します。

  無線 LAN ルーターをお持ちの場合は、無線 LAN ルーターを使用して接続することをお勧めします。

- 無線ダイレクト
  プリンターとパソコン／スマートフォン／タブレットを、無線 LAN ルーターを使用せずに無線 LAN で接続します。

接続方法の詳細については、「本製品で利用できる接続方法について」を参照してください。

参考

- プリンターとコンピューターを USB ケーブルで直接接続する方法もあります（USB 接続）。USB ケーブルを用意してください。USB 接続を LAN 接続に切り替えるには、「他のパソコンに LAN 接続する／USB 接続を LAN 接続に切り替える」を参照してください。

ネットワーク接続の設定・セットアップ

本製品とパソコンやスマートフォン／タブレットの接続設定を行います。

セットアップ手順の詳細はこちらから。

ネットワーク接続の設定を変更する

本製品とパソコンやスマートフォン／タブレットの接続設定を変更する方法は、以下を参照してください。

- ネットワークの接続方法を変更する場合：
  - 無線 LAN の接続方法を切り替える
  - 接続モードの変更
- パソコン、スマートフォン／タブレットを本製品に追加で接続する場合：
  - 他のパソコンに LAN 接続する／USB 接続を LAN 接続に切り替える
- 一時的に無線ダイレクトを使用する場合：
  - 本製品を無線ダイレクトで使用する

ネットワーク設定のためのソフトウェア（Windows）

Windows をご使用の場合は、IJ Network Device Setup Utility（アイジェイ・ネットワーク・デバイス・セットアップ・ユーティリティ）を使用してネットワークの設定を行うことができます。IJ Network Device Setup Utility は、オフィスなどのネットワーク管理者やプリンター管理者が、ネットワーク上のプリンターを管理するためのユーティリティです。本製品のセットアップ時にインストールされます。

■ IJ Network Device Setup Utility について

トラブルシューティング

ネットワーク接続に関するトラブルシューティングについては、「ネットワークについてよくあるご質問」を参照してください。

ご注意、制限事項

それぞれの制限、注意事項については以下を参照してください。

- ネットワーク接続に関する制限事項：

  ■ 制限事項について

- 無線 LAN 製品をご使用時のセキュリティに関する注意事項：

  ■ 無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

- Web サービスを使って印刷するときの注意事項：

  ■ Web サービスを使って印刷するときのご注意

制限事項について

すでに各種デバイス（スマートフォンなど）がプリンターに接続された状態で、新たに別の各種デバイスを接続する場合は、接続していた各種デバイスと同じ接続方法で接続してください。
異なる接続方法で接続すると、使用していた各種デバイスの接続が切断されます。

«無線 LAN ルーター経由で接続»

- 各種デバイスと無線 LAN ルーターが接続されていることを確認してください。設定を確認する方法については、無線 LAN ルーターに付属のマニュアルを参照するか、メーカーにお問い合わせください。
  すでに無線 LAN ルーターを使用しないでプリンターと接続している各種デバイスは、無線 LAN ルーター経由で接続し直してください。
- ネットワーク機器の構成やルーター機能の有無、設定方法、セキュリティの設定はご使用の環境によって異なります。詳細については、ご使用の機器のマニュアルを参照するか、メーカーにお問い合わせください。
- このプリンターは、IEEE802.11ac、IEEE802.11a、IEEE802.11n（5 GHz）には対応していません。ご使用の機器が IEEE802.11n（2.4 GHz）、IEEE802.11g、または IEEE802.11b のいずれかに対応しているか確認してください。
- ご使用の機器が「IEEE802.11n only」モードに設定されている場合、セキュリティ方式に WEP または TKIP を使用できません。ご使用の機器のセキュリティ方式を WEP、TKIP 以外に変更するか、設定を「IEEE802.11n only」以外に変更してください。
  設定変更中は、ご使用の機器と無線 LAN ルーターとの接続が一時的に切断されます。設定が完了するまでは、本ガイドの画面を操作しないでください。
- オフィスでご使用の場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。
- セキュリティで保護されていないネットワーク環境に接続する場合は、お客様の個人情報などのデータが第三者に漏洩する危険性があります。十分、ご注意ください。

«無線ダイレクト»

重要

- 無線 LAN ルーター経由でインターネットに接続している各種デバイスを、無線ダイレクトのプリンターに接続すると、各種デバイスと無線 LAN ルーターの接続は切断されます。このとき、お使いの各種デバイスによっては、モバイルデータ通信回線に自動的に切り替わることがあります。モバイルデータ通信でインターネットに接続すると、ご契約内容によっては課金が発生することがありますのでご注意ください。
  - 各種デバイスとプリンターを無線ダイレクトで接続すると、Wi-Fi 設定に接続情報が保存されます。接続を切断したり、別の無線 LAN ルーターに接続したりしても、自動で各種デバイスがプリンターに接続される場合があります。
  - 無線ダイレクトのプリンターに自動で接続しないようにするには、プリンターを使用したあとに接続モードを変更するか、各種デバイスの Wi-Fi 設定で自動的に接続しないように設定してください。
    各種デバイスの設定を変更する方法については、各種デバイスに付属のマニュアルを参照するか、メーカーにお問い合わせください。

- 無線ダイレクトで各種デバイスとプリンターを接続する場合、ご使用の環境によってはインターネットに接続できなくなる可能性があります。その間、プリンターの各種ウェブサービスを使用することはできません。
- 無線ダイレクトは、複数の機器を同時に 5 台まで接続することができます。すでに 5 台接続された状態で、6 台目を接続しようとすると、エラーが表示されます。
  エラーが表示された場合は、プリンターを使用しない機器の接続を解除して、再度設定してください。

- 無線ダイレクトでプリンターに接続している各種デバイス同士での通信はできません。
- 無線ダイレクト使用中は、プリンターのファームウェアアップデートができません。
- 無線 LAN ルーターを使用しないでプリンターと接続した各種デバイスを、再度セットアップする場合は、接続状態を一度解除してください。Wi-Fi 設定画面で各種デバイスとプリンターの接続を切断しておいてください。

ネットワークに関するトラブル

- ネットワーク上にプリンターが見つからない
- 本製品をネットワーク接続で使用中のトラブル
- ネットワークに関するその他のトラブル

ネットワーク上にプリンターが見つからない

プリンターのセットアップをしているとき

- セットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない（Windows）
- ［プリンターの接続］画面／［ケーブルの接続］画面から先に進めない

プリンターを使用しているとき

- 無線 LAN 接続で使用中にプリンターが見つからない

セットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない（Windows）

セットアップのときに［プリンターの検索］画面で［自動検索］を選んでもネットワーク上に本製品が見つからず、［プリンターの設定の確認］画面が表示された場合は、［再検出］をクリックし、再度［プリンターの検索］画面で IP アドレスを指定してプリンターを検索してください。

IP アドレスを指定しても本製品が見つからない場合は、ネットワークに関する設定を確認してください。

- 無線 LAN 接続のセットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない（Windows）-電源を確認する
- 無線 LAN 接続のセットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない（Windows）-パソコンのネットワーク接続を確認する
- 無線 LAN 接続のセットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない（Windows）-本製品の無線 LAN 設定を確認する
- 無線 LAN 接続のセットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない（Windows）-無線 LAN 接続の環境を確認する
- 無線 LAN 接続のセットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない（Windows）-本製品の IP アドレスを確認する
- 無線 LAN 接続のセットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない（Windows）-セキュリティソフトの設定を確認する
- 無線 LAN 接続のセットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない（Windows）-無線 LAN ルーターの設定を確認する

無線 LAN 接続のセットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない（Windows）-電源を確認する

本製品と、ネットワーク機器（ルーターなど）の電源は入っていますか?

本製品の電源が入っているか確認してください。

- 電源が入っているか確認する

ルーターなどのネットワーク機器の電源が入っていることを確認してください。

電源が入っていない場合：

各機器の電源を入れてください。

電源を入れたあと、使用できる状態になるまで時間がかかる場合があります。電源を入れてしばらくたったあと、［プリンター設定の確認］画面で［再検出］ボタンをクリックしてプリンターの再検出を行ってください。

本製品が検出された場合は、画面の指示に従ってセットアップを継続してください。

電源が入っている場合：

すでに電源が入っている場合は、いったん電源を切ってから再度電源を入れてください。

上記の対処を行っても解決しない場合は：

- 無線 LAN 接続のセットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない（Windows）-パソコンのネットワーク接続を確認する

無線 LAN 接続のセットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない（Windows）-パソコンのネットワーク接続を確認する

ご使用のパソコンで、インターネットの任意のウェブページが閲覧できますか?

パソコンとネットワーク機器（ルーターなど）の設定が完了していて、パソコンがネットワークに接続できる状態になっている必要があります。

閲覧できない場合：

［プリンター設定の確認］画面で［キャンセル］ボタンをクリックして、いったんセットアップを中止してください。

そのあと、パソコンとネットワーク機器の設定を確認してください。

設定する方法については、パソコンおよびネットワーク機器に付属の取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。

パソコンとネットワーク機器の設定を確認したあと、任意のウェブページが閲覧することができたら、最初からセットアップをやり直してください。

上記の対処を行っても解決しない場合は：

- 無線 LAN 接続のセットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない（Windows）-本製品の無線 LAN 設定を確認する

無線 LAN 接続のセットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない（Windows）-本製品の無線 LAN 設定を確認する

本製品が無線 LAN 接続で使用できる設定になっていますか?

本製品のタッチスクリーンに または アイコンが表示されていることを確認してください。

表示されていない場合：

本製品の無線 LAN の設定が有効になっていません。［プリンター設定の確認］画面で［無線 LAN 設定情報］ボタンをクリックして現在の状態を確認し、本製品を無線 LAN で使用する設定にしてください。

表示されている場合：

- 無線 LAN 接続のセットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない（Windows）-無線 LAN 接続の環境を確認する

無線 LAN 接続のセットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない（Windows）-無線 LAN 接続の環境を確認する

本製品と無線 LAN ルーターが接続されていますか?

本製品のタッチスクリーンに表示されるアイコンで、本製品と無線 LAN ルーターの接続の状態を確認してください。

アイコンが表示されている場合：

- 無線 LAN ルーターの設置環境を確認する

  無線 LAN ルーターの設定を確認したあと、本製品と無線 LAN ルーターの距離が離れすぎていないか確認してください。

  本製品は無線 LAN ルーターとの距離が 50 m（164 ft）以内の屋内で使用していただくものです。本製品と無線 LAN ルーターを適正な距離に近づけてください。

  無線 LAN ルーターと本製品を、それぞれ無線通信可能な見通しのよい場所に設置してください。壁越しやフロア間でも通信できますが、通信状態が悪くなる可能性があります。金属は電波を反射し、コンクリートは電波を減衰させるため、金属、コンクリート、金属性の素材が入った木材、土壁、断熱材は電波を通さないことがあります。壁の材質により通信できない場合は、壁を挟まない場所でお使いください。

  また、無線 LAN で使用している電波と同じ周波数帯の電波を発生させる機器（電子レンジなど）が近くにあると、電波干渉を起こすことがあります。電波干渉源からできるだけ離して設置してください。

  参考

  - 多くの無線 LAN ルーターにはアンテナが接続されていますが、アンテナ内蔵型で外部から見えない機種もありますのでご注意ください。

- 無線 LAN ルーターの設定を確認する

本製品と無線 LAN ルーターは、2.4GHz の周波数帯を使用して接続されている必要があります。本製品が接続している無線 LAN ルーターの SSID が、無線 LAN ルーターの 2.4GHz 用 SSID であることを確認してください。

重要

- 無線 LAN ルーターの機種によっては、SSID の末尾の数字や記号で周波数帯（2.4GHz または 5GHz）、用途（パソコン用またはゲーム機用）を区別している場合がありますので、ご注意ください。

本製品が接続している無線 LAN ルーターの SSID は、本製品のタッチスクリーンで確認することができます。

ホーム画面左下のアイコンをタップし、［はい］をタップして、［SSID］を確認してください。

無線 LAN ルーターの詳細については、付属の取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。

以上の確認、対処を行ったら、［プリンター設定の確認］画面で［再検出］ボタンをクリックしてプリンターの再検出を行ってください。

本製品が検出された場合は、画面の指示に従ってセットアップを継続してください。

上記の対処を行っても本製品が検出されない場合は、本製品と無線 LAN ルーターが接続されていません。本製品と無線 LAN ルーターを接続する必要があります。

本製品と無線 LAN ルーターを接続したあと、最初からセットアップをやり直してください。

アイコンが表示されている場合：

- 無線 LAN 接続のセットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない（Windows）-本製品の IP アドレスを確認する

無線 LAN 接続のセットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない（Windows）-本製品の IP アドレスを確認する

本製品の IP アドレスは正しく設定されていますか？

IP アドレスが正しく設定されていないと、本製品が見つからない場合があります。本製品の IP アドレスが、他の機器と重複していないか確認してください。

本製品の IP アドレスは、操作パネルに表示して確認するか、設定情報を印刷して確認できます。

- 本製品のタッチスクリーンに表示する。

  LAN 設定

- ネットワーク設定情報を印刷する。

  本製品のネットワーク設定情報を印刷する

IP アドレスが正しく設定されていない場合：

「エラー画面が表示されたとき」を参照して、IP アドレスを設定してください。

IP アドレスが正しく設定されている場合：

無線 LAN 接続のセットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない（Windows）-セキュリティソフトの設定を確認する

無線 LAN 接続のセットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない（Windows）-セキュリティソフトの設定を確認する

ファイアウォールのブロック機能をいったん解除してください

ご使用のパソコンにインストールされているオペレーティングシステムやセキュリティソフトウェアのファイアウォール機能がセットアップのための通信を妨げている可能性があります。これらのソフトウェアのメッセージや設定を確認し、ブロック機能をいったん解除してください。

ファイアウォールの設定がセットアップを妨げている場合：

- **メッセージが表示されたとき：**

  キヤノンのソフトウェアがネットワークにアクセスしようとしていることを警告するメッセージがパソコンの画面上に表示された場合は、アクセスを許可するように設定してください。

  アクセスを許可するように設定したあと、［プリンター設定の確認］画面で［再検出］ボタンをクリックしてプリンターの再検出を行ってください。

  本製品が検出された場合は、画面の指示に従ってセットアップを継続してください。

- **メッセージが表示されていないとき：**

  いったんセットアップを中止し、セキュリティソフトで、以下のキヤノンのソフトウェアがネットワークにアクセスすることを許可するように設定を行ってください。

  セットアップ CD-ROM 内の［win］＞［Driver］＞［DrvSetup］フォルダの［Setup.exe］または［Setup64.exe］

  セキュリティソフトの設定が完了したら、最初からセットアップをやり直してください。

  セットアップの終了後、ファイアウォールの機能をオンにしてください。

参考

- セキュリティソフトの設定方法は、セキュリティソフトに付属の取扱説明書を参照するか、ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

上記の対処を行っても解決しない場合は：

■ 無線 LAN 接続のセットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない（Windows）-無線 LAN ルーターの設定を確認する

無線 LAN 接続のセットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない（Windows）-無線 LAN ルーターの設定を確認する

無線 LAN ルーターの設定を確認してください

無線 LAN ルーターで MAC アドレスフィルタリング、IP フィルタリングなどのセキュリティ設定や、DHCP 機能など接続に関する設定を確認してください。

無線 LAN ルーターの無線チャンネルは、本製品に割り当てられている無線チャンネルと同じものにしてください。

無線 LAN ルーターの設定については、ネットワーク機器に付属の取扱説明書を参照するか、ネットワーク機器メーカーにお問い合わせください。

無線 LAN ルーターの設定を確認したあと、［プリンター設定の確認］画面で［再検出］ボタンをクリックしてプリンターの再検出を行ってください。

本製品が検出された場合は、画面の指示に従ってセットアップを継続してください。

Q

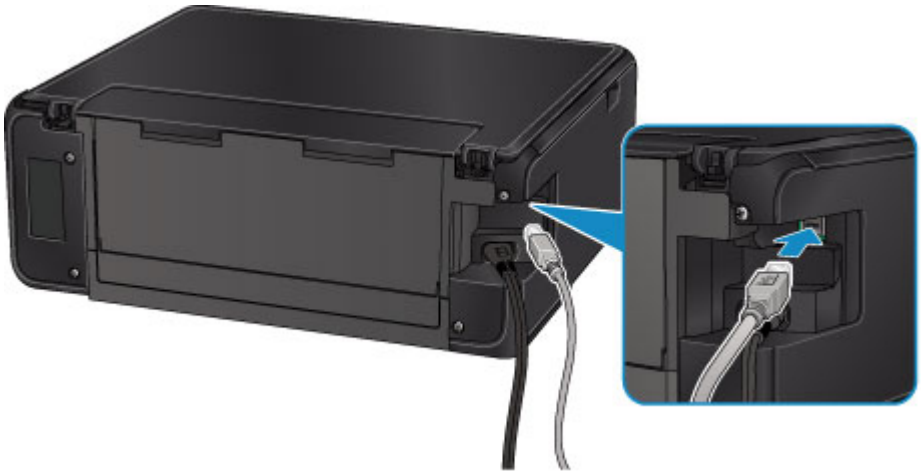
［プリンターの接続］画面／［ケーブルの接続］画面から先に進めない

A

［プリンターの接続］画面または［ケーブルの接続］画面から先に進めない場合は、以下の項目を確認してください。

チェック 1 本製品の USB ケーブル接続部とパソコンが USB ケーブルでしっかり接続されていることを確認してください

下の図のようにパソコンと本製品を USB ケーブルで接続してください。USB ケーブル接続部は、本製品の背面にあります。



以下のチェック項目は、［プリンターの接続］画面から先に進めない場合のみ確認してください。

チェック 2 以下の手順に従って、本製品とパソコンの接続をやり直してください

重要

- Mac OS をご使用の場合は、［プリンタとスキャナ］（Mac OS X v10.8 をご使用の場合は［プリントとスキャン］）の画面左下に、カギのアイコンがあるか確認してください。

  カギのアイコンが （ロック）になっている場合は、アイコンをクリックしてロックを解除してください。（ロックを解除するには管理者の名前とパスワードが必要です。）

1. 本製品の電源を切る
2. 本製品とパソコンから USB ケーブルを抜き、接続し直す
3. 本製品の電源を入れる

チェック 3 解決しない場合は、以下の手順に従ってインストールをやり直してください

- Windows をご使用の場合：
  1. ［キャンセル］ボタンをクリックする
     - ［インストール失敗］画面が表示された場合：
       1. ［もう一度］ボタンをクリックする

2. ［セットアップの開始］画面で［終了］ボタンをクリックし、セットアップを終了する

- ［接続に失敗しました。］画面が表示された場合：
  1. ［次へ］ボタンをクリックする
  2. 表示された画面で［次へ］ボタンをクリックする
  3. ［プリンターの選択］画面で［最初に戻る］ボタンをクリックする
  4. ［セットアップの開始］画面で［終了］ボタンをクリックし、セットアップを終了する

3. 本製品の電源を切る
4. パソコンを再起動する
5. ほかに起動しているアプリケーションソフトがあれば終了する
6. 再度ウェブページの指示に従って、セットアップをやり直す

参考

- セットアップ CD-ROM を使用してセットアップを行うこともできます。

- Mac OS をご使用の場合：
  1. ［次へ］ボタンをクリックする
     - ［インストール失敗］画面が表示された場合は、表示された画面で［終了］ボタンをクリックし、セットアップを終了してください。
     - ［接続に失敗しました。］画面が表示された場合：
       1. ［次へ］ボタンをクリックする
       2. 表示された画面で［次へ］ボタンをクリックする
       3. ［プリンターの選択］画面で［最初に戻る］ボタンをクリックする
       4. ［セットアップの開始］画面で［終了］ボタンをクリックし、セットアップを終了する
  3. 本製品の電源を切る
  4. パソコンを再起動する
  5. ほかに起動しているアプリケーションソフトがあれば終了する
  6. 再度ウェブページの指示に従って、セットアップをやり直す

無線 LAN 接続で使用中にプリンターが見つからない

参考

- ここでは、コンピューターを使用しているときのトラブルについて説明しています。
  スマートフォンやタブレットを使用しているときのトラブルについては、以下を参照してください。
  - スマートフォン／タブレットから印刷／スキャンできない

チェック 1 本製品の電源が入っているか確認してください

チェック 2 本製品のタッチスクリーンに アイコンは表示されていますか

［LAN 設定］の［無線 LAN］の［無線 LAN の有効/無効］を［有効］に設定してください。

チェック 3 セットアップが完了しているか確認してください

セットアップが完了していない場合は、セットアップを行ってください。

- Windows をご使用の場合：
  セットアップ CD-ROM から、またはウェブページの指示に従ってセットアップを行ってください。
- Mac OS をご使用の場合：
  ウェブページの指示に従ってセットアップを行ってください。

チェック 4 IJ Network Device Setup Utility（アイジェイ・ネットワーク・デバイス・セットアップ・ユーティリティ）を使用している場合は、本製品を再度検索してください（Windows）

- ［IJ Network Device Setup Utility］画面

チェック 5 通信を行う無線 LAN ルーターと設定が同一か確認してください

無線 LAN ルーター名や SSID、ネットワークキーなどのネットワーク設定が、無線 LAN ルーターと本製品で一致しているか確認してください。

無線 LAN ルーターのネットワーク設定の確認方法については、無線 LAN ルーターの取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。

本製品で現在設定されているネットワーク設定は、ネットワーク情報を印刷して確認できます。

- 本製品のネットワーク設定情報を印刷する

参考

- Windows をご使用の場合は IJ Network Device Setup Utility を使用して、本製品の設定を無線 LAN ルーターの設定に合わせて変更することができます。

チェック 6 本製品と無線 LAN ルーターの距離が離れすぎていないか確認してください

無線 LAN ルーターと本製品を、それぞれ無線通信可能な見通しのよい場所に設置してください。壁越しやフロア間でも通信できますが、通信状態が悪くなる可能性があります。金属は電波を反射し、コンクリートは電波を減衰させるため、金属、コンクリート、金属性の素材が入った木材、土壁、断熱材は電波を通さないことがあります。壁の材質により通信できない場合は、壁を挟まない場所でお使いください。

また、無線 LAN で使用している電波と同じ周波数帯の電波を発生させる機器（電子レンジなど）が近くにあると、電波干渉を起こすことがあります。電波干渉源からできるだけ離して設置してください。

参考

- 多くの無線 LAN ルーターにはアンテナが接続されていますが、アンテナ内蔵型で外部から見えない機種もありますのでご注意ください。

チェック 7 電波の状態が悪い可能性があります。無線 LAN の通信状況を確認しながら、設置位置を調整してください

無線 LAN の通信状況を確認方法については、以下を参照してください。

■ 無線 LAN の通信状況を確認する

チェック 8 パソコンが正しく無線 LAN ルーターに接続できているか確認してください

パソコンの設定や接続状態の確認方法については、ご使用のパソコンの取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。

参考

- スマートフォンやタブレットを使用している場合は、機器の Wi-Fi 設定が有効になっているか確認してください。

チェック 9 プリンタードライバーのプロパティ画面の［ポート］シートで［双方向サポートを有効にする］にチェックマークを付けて、双方向通信を行ってください（Windows）

チェック 10 ファイアウォール関連のセキュリティソフトウェアが動作していませんか

セキュリティソフトウェアのファイアウォール機能を使用している場合、キヤノンのソフトウェアがネットワークにアクセスしようとしていることを警告するメッセージが表示される場合があります。警告メッセージが表示されたら、アクセスを常に許可するように設定してください。

また、ネットワーク環境を切り替えるソフトウェアをお使いの場合は、その設定を確認してください。

チェック 11 AirMac と本製品を無線 LAN 接続でお使いの場合、ネットワーク上の識別名（SSID）には半角英数字をご使用ください（Mac OS）

上記の項目を確認しても解決しない場合は、セットアップをやり直してください。

- Windows をご使用の場合：

  セットアップ CD-ROM から、またはウェブページの指示に従って、セットアップをやり直してください。

- Mac OS をご使用の場合：

  ウェブページの指示に従って、セットアップをやり直してください。

本製品をネットワーク接続で使用中のトラブル

- 本製品が突然使えなくなった
- ネットワークキーを忘れてしまった／わからない
- 無線 LAN ルーターを買い替えた、または設定を変更したらプリンターが使えなくなった

本製品が突然使えなくなった

- ネットワーク環境設定を変更したら、本製品と通信できなくなった
- 無線 LAN 接続で本製品と通信できない
- 無線ダイレクト中の本製品と通信できない
- ネットワーク接続されたパソコンから、印刷、スキャンができない

Q ネットワーク環境設定を変更したら、本製品と通信できなくなった

A

パソコンの IP アドレス取得に時間がかかったり、再起動が必要な場合があります。

パソコンに有効な IP アドレスが取得されていることを確認の上、再度本製品を検索してください。

Q 無線 LAN 接続で本製品と通信できない

A

チェック 1 本製品とネットワーク機器（無線 LAN ルーターなど）、スマートフォン／タブレットなどの機器の状態を確認してください

電源が入っていない場合は、電源を入れてください。

すでに電源が入っている場合は、いったん電源を切ってから再度電源を入れてください。

無線 LAN ルーターのトラブルシューティング（キーの更新間隔、DHCP の更新間隔のマッチの問題、省エネモードなど）や、無線 LAN ルーターのファームウェアのアップデートなどが必要な場合があります。

詳細については、無線 LAN ルーターのメーカーにお問い合わせください。

チェック 2 パソコンでインターネットの任意のウェブページが閲覧できますか

パソコンが正しく無線 LAN ルーターに接続できているか確認してください。

パソコンの設定や接続状態の確認方法については、ご使用のパソコンの取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。

チェック 3 本製品と無線 LAN ルーターが接続されていますか

本製品のタッチスクリーンに表示されるアイコンで、本製品と無線 LAN ルーターの接続の状態を確認してください。 が表示されていない場合は、本製品の無線 LAN の設定が有効になっていません。本製品を無線 LAN で使用する設定にしてください。

チェック 4 無線 LAN ルーターと本製品のそれぞれのネットワーク設定が一致しているか確認してください

無線 LAN ルーター名や SSID、ネットワークキーなどのネットワーク設定が、無線 LAN ルーターと本製品で一致しているか確認してください。

無線 LAN ルーターのネットワーク設定の確認方法については、無線 LAN ルーターの取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。

本製品で現在設定されているネットワーク設定は、ネットワーク情報を印刷して確認できます。

■ 本製品のネットワーク設定情報を印刷する

本製品のネットワーク設定が無線 LAN ルーターの設定と異なる場合は、無線 LAN ルーターの設定に合わせて変更してください。

■ ネットワークの設定について（IJ Network Device Setup Utility）（Windows）

チェック 5 本製品と無線 LAN ルーターの距離が離れすぎていないか確認してください

無線 LAN ルーターと本製品を、それぞれ無線通信可能な見通しのよい場所に設置してください。壁越しやフロア間でも通信できますが、通信状態が悪くなる可能性があります。金属は電波を反射し、コンクリートは電波を減衰させるため、金属、コンクリート、金属性の素材が入った木材、土壁、断熱材は電波を通さないことがあります。壁の材質により通信できない場合は、壁を挟まない場所でお使いください。

また、無線 LAN で使用している電波と同じ周波数帯の電波を発生させる機器（電子レンジなど）が近くにあると、電波干渉を起こすことがあります。電波干渉源からできるだけ離して設置してください。

参考

- 多くの無線 LAN ルーターにはアンテナが接続されていますが、アンテナ内蔵型で外部から見えない機種もありますのでご注意ください。

チェック 6 電波の状態が悪い可能性があります。無線 LAN の通信状況を確認しながら、設置位置を調整してください（Windows）

■ 無線 LAN の通信状況を確認する

チェック 7 お使いの無線 LAN を内蔵したパソコンまたは無線 LAN カードの使用できる無線チャンネル番号を確認してください

無線 LAN を内蔵したパソコンまたは無線 LAN カードでは、使用できる無線チャンネルを制限している場合があります。お使いの無線 LAN を内蔵したパソコンまたは無線 LAN カードなどの取扱説明書を参照して、使用できる無線チャンネル番号を確認してください。

チェック 8 無線 LAN ルーターに設定されている無線チャンネル番号が、チェック 7 で確認した無線チャンネル番号に含まれていることを確認してください

無線 LAN ルーターに設定されている無線チャンネル番号が含まれていない場合は、無線 LAN ルーターの無線チャンネルを変更してください。

チェック 9 ファイアウォール関連のセキュリティソフトウェアが動作していませんか

セキュリティソフトウェアのファイアウォール機能を使用している場合、キヤノンのソフトウェアがネットワークにアクセスしようとしていることを警告するメッセージが表示される場合があります。警告メッセージが表示されたら、アクセスを常に許可するように設定してください。

また、ネットワーク環境を切り替えるソフトウェアをお使いの場合は、その設定を確認してください。

チェック 10 AirMac と本製品を無線 LAN 接続でお使いの場合、ネットワーク上の識別名（SSID）には半角英数字をご使用ください（Mac OS）

上記の項目を確認しても解決しない場合は、セットアップをやり直してください。

- Windows をご使用の場合：

セットアップ CD-ROM から、またはウェブページの指示に従って、セットアップをやり直してください。

- Mac OS をご使用の場合：

  ウェブページの指示に従って、セットアップをやり直してください。

- **設置条件について**

  無線 LAN ルーターと本製品が、お互いに無線通信可能な見通しのよい場所に設置されていることを確認してください。

Q 無線ダイレクト中の本製品と通信できない

A

チェック 1 本製品とスマートフォン／タブレットなどの機器の状態を確認してください。

電源が入っていない場合は、電源を入れてください。

すでに電源が入っている場合は、いったん電源を切ってから再度電源を入れてください。

チェック 2 本製品のタッチスクリーンに アイコンは表示されていますか

表示されていない場合は無線ダイレクトが無効になっています。無線ダイレクトを有効にしてください。

チェック 3 ご使用のスマートフォンやタブレットなどの機器の設定を確認してください

スマートフォン／タブレットなどの機器が無線 LAN 接続を利用できる設定になっているか確認してください。

無線 LAN 接続の設定のしかたについては、ご使用の機器に付属の取扱説明書を参照してください。

チェック 4 ご使用の各種機器（スマートフォンやタブレットなど）で、接続先として本製品を選んでいますか

各種機器で、本製品に設定されている無線ダイレクト時の識別名（SSID）を選んでください。

ご使用の各種機器の接続先は、ご使用の機器から確認してください。

確認方法についてはご使用の機器の取扱説明書や、メーカーのホームページなどを参照してください。

本製品に設定されている無線ダイレクト時の識別名（SSID）は、操作パネルに表示して確認するか、ネットワーク設定情報を印刷して確認できます。

- 本製品のタッチスクリーンに表示する。

  LAN 設定

- ネットワーク設定情報を印刷する。

  本製品のネットワーク設定情報を印刷する

チェック 5 本製品に設定されている無線ダイレクトのパスワードを正しく入力していますか

本製品に設定されているパスワードは、操作パネルに表示して確認するか、ネットワーク設定情報を印刷して確認できます。

- 本製品のタッチスクリーンに表示する。

  LAN 設定

- ネットワーク設定情報を印刷する。

  本製品のネットワーク設定情報を印刷する

チェック 6 本製品と各種機器の距離が離れすぎていないか確認してください

本製品と、本製品と通信する各種機器を、それぞれ無線通信可能な見通しのよい場所に設置してください。壁越しやフロア間でも通信できますが、通信状態が悪くなる可能性があります。金属は電波を反射し、コンクリートは電波を減衰させるため、金属、コンクリート、金属性の素材が入った木材、土壁、断熱材は電波を通さないことがあります。壁の材質により通信できない場合は、壁を挟まない場所でお使いください。

また、無線 LAN で使用している電波と同じ周波数帯の電波を発生させる機器（電子レンジなど）が近くにあると、電波干渉を起こすことがあります。電波干渉源からできるだけ離して設置してください。距離が離れすぎていないか確認してください

本製品と、本製品と通信する各種機器を、適正な距離に近づけてください。

チェック 7 6 台以上の各種機器を本製品に接続しようとしていませんか

無線ダイレクト使用時に接続できる各種機器は 5 台までです。

Q ネットワーク接続されたパソコンから、印刷、スキャンができない

A

チェック 1 パソコンが正しく無線 LAN ルーターに接続できているか確認してください

パソコンの設定や接続状態の確認方法については、ご使用のパソコンの取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。

チェック 2 MP ドライバーをインストールしていない場合は、MP ドライバーをインストールしてください

- Windows をご使用の場合：

  セットアップ CD-ROM またはウェブページから、MP ドライバーをインストールしてください。

- Mac OS をご使用の場合：

  ウェブページから MP ドライバーをインストールしてください。

チェック 3 無線 LAN ルーターでアクセスできるパソコンを制限していないか確認してください

無線 LAN ルーターの接続や設定方法については、お使いの無線 LAN ルーターの取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。

参考

- パソコンの MAC アドレスや IP アドレスを確認する場合は、「パソコンの IP アドレスまたは MAC アドレスを確認したい」を参照してください。

ネットワークキーを忘れてしまった／わからない

- WPA/WPA2 または WEP を設定した無線 LAN ルーターと接続できない（設定したキーを忘れてしまった）
- 暗号化の設定方法がわからない

Q WPA/WPA2 または WEP を設定した無線 LAN ルーターと接続できない（設定したキーを忘れてしまった）

A

無線 LAN ルーターの設定を確認してください。確認方法については、無線 LAN ルーターの取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。また、パソコンと無線 LAN ルーターが、その設定で通信できることを確認してください。

参考

- Windows をご使用の場合は IJ Network Device Setup Utility（アイジェイ・ネットワーク・デバイス・セットアップ・ユーティリティ）を使って、本製品の設定を無線 LAN ルーターに合わせてセットアップしてください。

Q 暗号化の設定方法がわからない

A

無線 LAN ルーターの設定を確認してください。確認方法については、無線 LAN ルーターの取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。また、パソコンと無線 LAN ルーターが、その設定で通信できることを確認してください。

参考

- Windows をご使用の場合は IJ Network Device Setup Utility を使って、本製品の設定を無線 LAN ルーターに合わせてセットアップしてください。

セキュリティレベルの観点から、WPA、WPA2、WPA/WPA2 を選ぶことをお勧めします。ご使用の無線 LAN ルーターが WPA/WPA2 に対応している場合は、WPA2 または WPA でも接続することができます。

- **WPA/WPA2 を設定する場合（Windows）**

  認証タイプやパスフレーズ、動的暗号化の種類を、無線 LAN ルーターと本製品およびパソコンで合わせる必要があります。

  パスフレーズは、無線 LAN ルーターで設定したパスフレーズを、8 文字以上 63 文字以内の半角英数字または 64 桁の 16 進数で入力してください。

  動的暗号化の種類（暗号化方式）は、TKIP（基本的な暗号化）または AES（強固な暗号化）が自動で選ばれます。

  詳細については、「[WPA/WPA2 詳細] 画面が表示された場合は」を参照してください。

  参考

  - 本製品では、認証タイプとして「WPA/WPA2-PSK（WPA/WPA2 パーソナル）」または「WPA2-PSK（WPA2 パーソナル）」をサポートしています。

- **WEP を設定する場合**

  キーの長さやキーの書式、使用するキー（1～4 のいずれか）、認証方式を、無線 LAN ルーターと本製品およびパソコンで合わせる必要があります。

  WEP キーを自動生成する無線 LAN ルーターと通信するためには、無線 LAN ルーターが自動生成したキー番号と同じキー番号を使用するキーに設定し、そのキー番号のコードを 16 進数で本製品に設定する必要があります。

  - Windows をご使用の場合：

    IJ Network Device Setup Utility（アイジェイ・ネットワーク・デバイス・セットアップ・ユーティリティ）で、［ネットワーク設定（無線 LAN)］画面の［検出］ボタンをクリックし、未接続の無線 LAN ルーターを選んだあとに［WEP 詳細］画面が表示された場合、WEP キーの長さ、書式、使用するキーを画面に従って設定してください。

    詳細については、「［WEP 詳細］画面が表示された場合は」を参照してください。

参考

- AirMac を無線 LAN 接続でお使いの場合

  AirMac を無線 LAN 接続でお使いの場合は、AirMac ユーティリティで「ワイヤレスセキュリティ」の設定を確認してください。

  - ［WEP 40 ビット］を設定している場合は、キーの長さは［64 ビット］を選んでください。
  - ［使用するキー:］では［1］を選んでください。ほかのキーを選んだ場合は、パソコンから無線で接続できなくなります。

無線 LAN ルーターを買い替えた、または設定を変更したらプリンターが使えなくなった

無線 LAN ルーターを買い替えた場合は、本製品のネットワークの設定をやり直してください。

- Windows をご使用の場合：

  セットアップ CD-ROM から、またはウェブページの指示に従って行ってください。

- Mac OS をご使用の場合：

  ウェブページの指示に従って行ってください。

ネットワークの設定をやり直しても解決しない場合は、以下を参照してください。

- 無線 LAN ルーターで MAC アドレスフィルタリングまたは IP アドレスフィルタリングの設定や、暗号化の設定を行ったら、本製品と通信できなくなった
- 本製品に暗号化が設定されている場合、無線 LAN ルーターの暗号方式を変更したら通信ができなくなった

無線 LAN ルーターで MAC アドレスフィルタリングまたは IP アドレスフィルタリングの設定や、暗号化の設定を行ったら、本製品と通信できなくなった

チェック 1 無線 LAN ルーターの設定を確認してください

確認方法については、無線 LAN ルーターの取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。また、パソコンと無線 LAN ルーターがその設定で通信できることを確認してください。

チェック 2 無線 LAN ルーターで MAC アドレスフィルタリングまたは IP アドレスフィルタリングを行った場合、パソコンやネットワーク機器と本製品双方の MAC アドレスまたは IP アドレスが登録されていることを確認してください

チェック 3 WPA/WPA2 キーまたは WEP キーを入力した場合、パソコンやネットワーク機器とプリンター双方で設定した暗号化キーと一致していることを確認してください

WEP の設定は WEP キーのほか、キーの長さやキーの書式、使用するキー、認証方式を無線 LAN ルーターと本製品およびパソコンとで一致させる必要があります。

詳しくは、「暗号化の設定方法がわからない」を参照してください。

本製品に暗号化が設定されている場合、無線 LAN ルーターの暗号方式を変更したら通信ができなくなった

無線 LAN ルーターの暗号方式の設定を変更した後にパソコンと本製品が通信できなくなった場合は、無線 LAN ルーターとパソコンの暗号方式の設定が本製品の設定と一致しているか確認してください。

- 無線 LAN ルーターで MAC アドレスフィルタリングまたは IP アドレスフィルタリングの設定や、暗号化の設定を行ったら、本製品と通信できなくなった

ネットワークに関するその他のトラブル

- ネットワークに関する設定を調べたい
- 本製品の LAN 設定を初期設定状態に戻す
- ネットワーク設定の途中パソコン画面にメッセージが表示された
- 定常的にパケットが送出されている（Windows）

ネットワークに関する設定を調べたい

- 本製品の IP アドレスまたは MAC アドレスを確認したい
- パソコンの IP アドレスまたは MAC アドレスを確認したい
- パソコンと本製品、またはパソコンと無線 LAN ルーターが通信可能かを確認したい
- ネットワーク設定情報を確認したい

Q 本製品の IP アドレスまたは MAC アドレスを確認したい

A

本製品の LAN 設定は、操作パネルに表示して確認するか、設定情報を印刷して確認できます。

- 本製品のタッチスクリーンに表示する。
  - LAN 設定
- ネットワーク設定情報を印刷する。
  - 本製品のネットワーク設定情報を印刷する

Windows をご使用の場合はパソコンの画面で確認することもできます。

- ［IJ Network Device Setup Utility］画面

MAC アドレスは、本製品のタッチスクリーンに表示して確認することもできます。

- システム情報

Q パソコンの IP アドレスまたは MAC アドレスを確認したい

A

パソコンに割り振られている IP アドレスおよび MAC アドレスを知りたいときは、以下の手順で確認してください。

- Windows をご使用の場合：
  1. 以下のように［コマンド プロンプト］を選ぶ

     Windows 10 をご使用の場合は、［スタート］ボタンを右クリックし、［コマンド プロンプト］を選びます。

     Windows 8.1 または Windows 8 をご使用の場合は、スタート画面上の［コマンド プロンプト］を選びます。スタート画面に［コマンド プロンプト］が表示されない場合は、［検索］チャームを選び、「コマンド プロンプト」を検索してください。

     Windows 7 または Windows Vista をご使用の場合は、［スタート］メニューから［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［コマンド プロンプト］を選びます。
  2. 「ipconfig/all」を入力し、［Enter］キーを押す

     ご使用のパソコンの IP アドレスおよび MAC アドレスが表示されます。パソコンがネットワークに接続されていない場合、IP アドレスは表示されません。
- Mac OS をご使用の場合：
  1. Apple メニューから［システム環境設定］を選び、［ネットワーク］をクリックする
  2. ご使用のネットワークが選ばれていることを確認して、［詳細］をクリックする

ご使用のネットワークとして[Wi-Fi]が選ばれていることを確認してください。

3. IP アドレスまたは MAC アドレスを確認する

   IP アドレスを確認するときは、［TCP/IP］をクリックしてください。

   MAC アドレスを確認するときは、［ハードウェア］をクリックしてください。

Q パソコンと本製品、またはパソコンと無線 LAN ルーターが通信可能かを確認したい

A

ping コマンドを実行して、通信ができているか確認します。以下の手順で確認してください。

- Windows をご使用の場合：

  1. 以下のように［コマンド プロンプト］を選ぶ

     Windows 10 をご使用の場合は、［スタート］ボタンを右クリックし、［コマンド プロンプト］を選びます。

     Windows 8.1 または Windows 8 をご使用の場合は、スタート画面上の［コマンド プロンプト］を選びます。スタート画面に［コマンド プロンプト］が表示されない場合は、［検索］チャームを選び、「コマンド プロンプト」を検索してください。

     Windows 7 または Windows Vista をご使用の場合は、［スタート］メニューから［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［コマンド プロンプト］を選びます。

  2. 「ping XXX.XXX.XXX.XXX」を入力し、［Enter］キーを押す

     XXX.XXX.XXX.XXX には、確認したいプリンターや無線 LAN ルーターなどの IP アドレスを入力します。

     通信が正しく行われている場合は、以下のようなメッセージが表示されます。

     XXX.XXX.XXX.XXX からの応答: バイト数=32 時間=10ms TTL=255

     ［Request timed out］などが表示された場合は、正しく通信できていません。

- Mac OS をご使用の場合：

  1. 以下のように［ネットワークユーティリティ］を起動する

     Mac OS X v10.11、Mac OS X v10.10 または Mac OS X v10.9 をご使用の場合は、Finder の［移動］メニューから［コンピュータ］を選び、［Macintosh HD］、［システム］、［ライブラリ］、［CoreServices］、［Applications］、［ネットワークユーティリティ］の順にダブルクリックします。

     Mac OS X v10.8 をご使用の場合は、［アプリケーション］フォルダ内にある［ユーティリティ］フォルダを開き、［ネットワークユーティリティ］をダブルクリックします。

  2. ［Ping］ボタンをクリックする

  3. 以下のように ping の送信回数を確認する

     Mac OS X v10.11、Mac OS X v10.10 または Mac OS X v10.9 をご使用の場合は、［送信回数：XXping］（XX は数字）が選ばれていることを確認します。

     Mac OS X v10.8 をご使用の場合は、［ping コマンドを XX 回だけ送信］（XX は数字）が選ばれていることを確認します。

4. ［ping コマンドを送信するネットワークアドレスを入力してください。］の欄にプリンターや無線 LAN ルーターの IP アドレスを入力する
5. ［Ping］ボタンをクリックする

   XXX.XXX.XXX.XXX には、確認したいプリンターや無線 LAN ルーターなどの IP アドレスを入力します。

   以下は Ping を 3 回送信した場合の例です。

   64 bytes from XXX.XXX.XXX.XXX: icmp_seq=0 ttl=64 time=3.394 ms

   64 bytes from XXX.XXX.XXX.XXX: icmp_seq=1 ttl=64 time=1.786 ms

   64 bytes from XXX.XXX.XXX.XXX: icmp_seq=2 ttl=64 time=1.739 ms

   --- XXX.XXX.XXX.XXX ping statistics ---

   3 packets transmitted, 3 packets received, 0% packet loss

   以下のように表示された場合は、正しく通信できていません。

   PING XXX.XXX.XXX.XXX （XXX.XXX.XXX.XXX）：56 data bytes

   ---XXX.XXX.XXX.XXX ping statistics ---

   3 packets transmitted, 0 packets received, 100% packet loss

Q ネットワーク設定情報を確認したい

A

本製品の LAN 設定は、操作パネルに表示して確認するか、設定情報を印刷して確認できます。

- 本製品のタッチスクリーンに表示する。

  LAN 設定

- ネットワーク設定情報を印刷する。

  本製品のネットワーク設定情報を印刷する

本製品の LAN 設定を初期設定状態に戻す

重要

- Windows をご使用の場合：

  初期化を行うと本製品の LAN 接続情報がすべて削除され、パソコンからの印刷、スキャンができなくなります。再度、LAN 接続でご使用になる場合はセットアップ CD-ROM から、またはウェブページの指示に従ってセットアップを行ってください。初期化を行う際には、十分注意してください。

- Mac OS をご使用の場合：

  初期化を行うと本製品の LAN 接続情報がすべて削除され、パソコンからの印刷、スキャンができなくなります。再度、LAN 接続でご使用になる場合はウェブページの指示に従ってセットアップを行ってください。初期化を行う際には、十分注意してください。

本製品の操作パネルから LAN 設定をリセットしてください。

設定リセット

印刷に関するトラブル

- 印刷が始まらない
- インクが出ない
- 用紙がうまく送られない／「用紙なし」のエラーが発生する
- ディスクにうまく印刷できない
- コピー／印刷結果に満足できない

印刷が始まらない

チェック１ 電源プラグがしっかりと差し込まれていることを確認し、電源ボタンを押して電源を入れてください

電源ランプが点滅している間は、本製品が準備動作中です。点滅から点灯に変わるまでお待ちください。

参考

- 写真やグラフィックなど大容量のデータを印刷するときは、印刷が始まるまでに通常よりも時間がかかります。電源ランプが点滅している間、パソコンはデータを処理して本製品に転送しています。印刷が始まるまで、しばらくお待ちください。

チェック２ 本製品とパソコンが通信できる状態か確認してください

USB 接続で本製品をご使用の場合は、本製品の USB ケーブル接続部とパソコンが USB ケーブルでしっかり接続されていることを確認してください。 USB ケーブルでしっかり接続されている場合は、次のことを確認してください。

- USB ハブなどの中継器を使用している場合は、それらを外して本製品とパソコンを直接接続してから印刷してみてください。正常に印刷される場合は、USB ハブなどの中継器に問題があります。取り外した機器の販売元にお問い合わせください。
- USB ケーブルに不具合があることも考えられます。別の USB ケーブルに交換し、再度印刷してみてください。

無線 LAN 接続で本製品をご使用の場合は、ネットワークの設定が正しくされているか確認してください。

参考

- Windows をご使用の場合：Network Device Setup Utility（アイジェイ・ネットワーク・デバイス・セットアップ・ユーティリティ）を使用して通信状況を確認してください。

チェック３ 用紙の設定と後トレイまたはカセットに登録した用紙のサイズ、種類が一致していますか

用紙の設定と、後トレイまたはカセットに登録した用紙のサイズ、種類が一致していない場合は、タッチスクリーンにメッセージが表示されます。表示されているメッセージに従って操作してください。

参考

- 印刷ミスを防止するためのメッセージを表示する／表示しないように切り替えることもできます。
  - 本製品の操作パネルから印刷またはコピーするときの表示設定を変更するには：
    - 本体の基本設定
  - プリンタードライバーから印刷するときの表示設定を変更するには：
    - プリンターの設定を変更する（Windows）
    - プリンターの設定を変更する（Mac OS）

チェック４ パソコンからの印刷で、不要な印刷ジョブが残っている場合は、削除してください

- Windows をご使用の場合：
  - 不要になった印刷ジョブを削除する
- Mac OS をご使用の場合：
  - 不要になった印刷ジョブを削除する

チェック５ 排紙トレイが通常の印刷用の位置にあるか確認してください

通常の印刷（ディスクレーベル印刷以外の印刷）をするときは、排紙トレイを通常の印刷用の位置まで引き出してください。排紙トレイがディスクレーベル印刷用の位置にある場合は排紙トレイを引き出してから、本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］をタップしてください。

チェック６ プリンタードライバーで用紙の種類と用紙のサイズが正しく選ばれていますか

キヤノン純正紙以外の特殊な用紙を使用する場合は、プリンタードライバーで用紙の種類と用紙のサイズを正しく選ぶ必要があります。

以下の手順で設定を確認してから、印刷し直してください。

- Windows をご使用の場合：
  1. アプリケーションソフトの用紙サイズで、［A4 (アート紙 余白 35mm)］または［レター (アート紙 余白 35mm)］が選ばれていることを確認する

     使用したい用紙サイズが表示されない場合は、アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選び、ご使用の機種が選ばれていることを確認してください。
  2. プリンタードライバーの［基本設定］シートの［用紙の種類］が正しく設定されていることを確認する
  3. プリンタードライバーの［ページ設定］シートの［用紙サイズ］で手順 1 で設定したサイズと同じ用紙サイズを選んでいるか確認する
- Mac OS をご使用の場合：
  1. アプリケーションソフトの用紙サイズで、［A4 (アート紙 余白 35mm)］または［レター (アート紙 余白 35mm)］が選ばれていることを確認する

     使用したい用紙サイズが表示されない場合は、アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［プリント］を選び、ご使用の機種が選ばれていることを確認してください。
  2. プリントダイアログの［品位と用紙の種類］の［用紙の種類］が正しく設定されていることを確認する
  3. ページ設定ダイアログの［用紙サイズ］で手順 1 で設定したサイズと同じ用紙サイズを選んでいるか確認する

チェック７ 印刷するときに、ご使用の機種のプリンタードライバーが選ばれていますか

異なる機種のプリンタードライバーを使用していると、正常に印刷できません。

- Windows をご使用の場合：

  ［印刷］ダイアログで「Canon XXX series」（「XXX」は機種名）が選ばれていることを確認してください。

  参考

  - 本製品を［通常使うプリンターに設定］にすることで、常に本製品が選ばれているように設定することもできます。

- Mac OS をご使用の場合：

プリントダイアログの［プリンタ］でご使用の機種名が選ばれていることを確認してください。

参考

- 本製品を［デフォルトのプリンタ］にすることで、常に本製品が選ばれているように設定することもできます。

チェック８ 印刷のデータ容量が大きくありませんか（Windows）

プリンタードライバーの［ページ設定］シートの［印刷オプション］ボタンをクリックします。表示されるダイアログで［印刷データの欠落防止］を［オン］に設定してください。

＊ ［印刷データの欠落防止］を［オン］に設定すると、印刷品質が低下する場合があります。

チェック９ パソコンから印刷した場合、パソコンを再起動してみてください

インクが出ない

チェック１ インクがなくなっていませんか

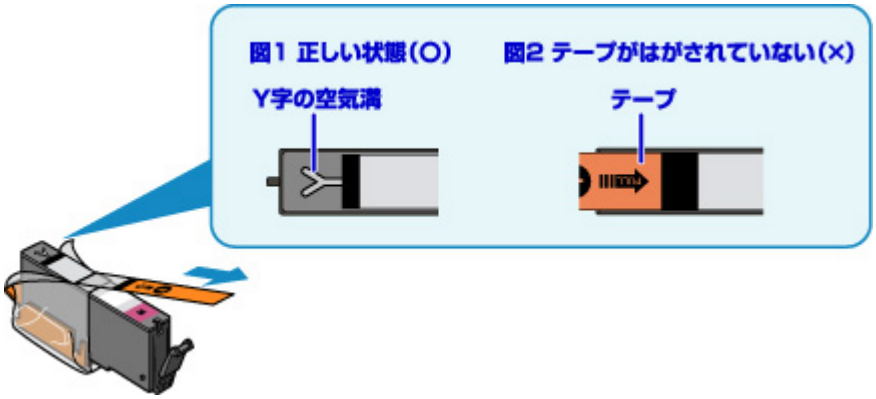
スキャナーユニット/カバーを開け、インクランプの状態を確認してください。

- インクの状態をインクランプで確認する

チェック２ インクタンクにオレンジ色のテープや保護フィルムが残っていませんか

下の図１のように、オレンジ色のテープがＹ字の空気溝からきれいにはがされていることを確認してください。

図２のようにテープが残ってＹ字の空気溝をふさいでいる場合は、テープをきれいに取り除いてください。



チェック３ ノズルチェックパターンを印刷し、必要に応じてプリントヘッドのクリーニングなどを行ってください

ノズルチェックパターンを印刷して、インクが正常に出ているか確認してください。

ノズルチェックパターンの印刷、プリントヘッドのクリーニング、強力クリーニングについては「印刷にかすれやむらがあるときには」を参照してください。

- ノズルチェックパターンが正しく印刷されない場合

  該当する色のインクタンクが空になっていないか確認してください。

  インクが残っているのに印刷されない場合は、プリントヘッドをクリーニングしてから、ノズルチェックパターンを印刷して効果を確認してください。

- プリントヘッドのクリーニングを２回繰り返しても改善されない場合

  強力クリーニングを実行してください。

  強力クリーニングを行っても改善されない場合は、本製品の電源を切って 24 時間以上経過したあとに、再度強力クリーニングを行ってください。

- 強力クリーニングを２回繰り返しても改善されない場合

  プリントヘッドが故障している可能性があります。キヤノンホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

用紙がうまく送られない／「用紙なし」のエラーが発生する

チェック１ 用紙がセットされているか確認してください

- 用紙をセットする

チェック２ 次のことに注意して用紙をセットしてください

- 用紙を複数枚セットするときは、用紙の端をそろえてからセットしてください。
- 用紙を複数枚セットするときは、最大積載枚数を超えないようにしてください。

  ただし用紙の種類やご使用の環境（高温・多湿や低温・低湿の場合）によっては、正常に紙送りできない場合があります。この場合は、セットする枚数を最大積載枚数の半分以下に減らしてください。
- 印刷の向きに関わらず縦向きにセットしてください。
- 後トレイに用紙をセットするときは、印刷したい面を上にして、左右の用紙ガイドを用紙の両端に合わせてください。

  - 用紙をセットする
- カセットには普通紙のみセットできます。
- カセットに用紙をセットするときは、印刷したい面を下にして、左右の用紙ガイドと手前の用紙ガイドを用紙の端に合わせてください。

  - 用紙をセットする

チェック３ 厚い用紙や反りのある用紙などを使用していないか確認してください

- 使用できない用紙について

チェック４ はがきや封筒をセットする場合は、次のことに注意してください

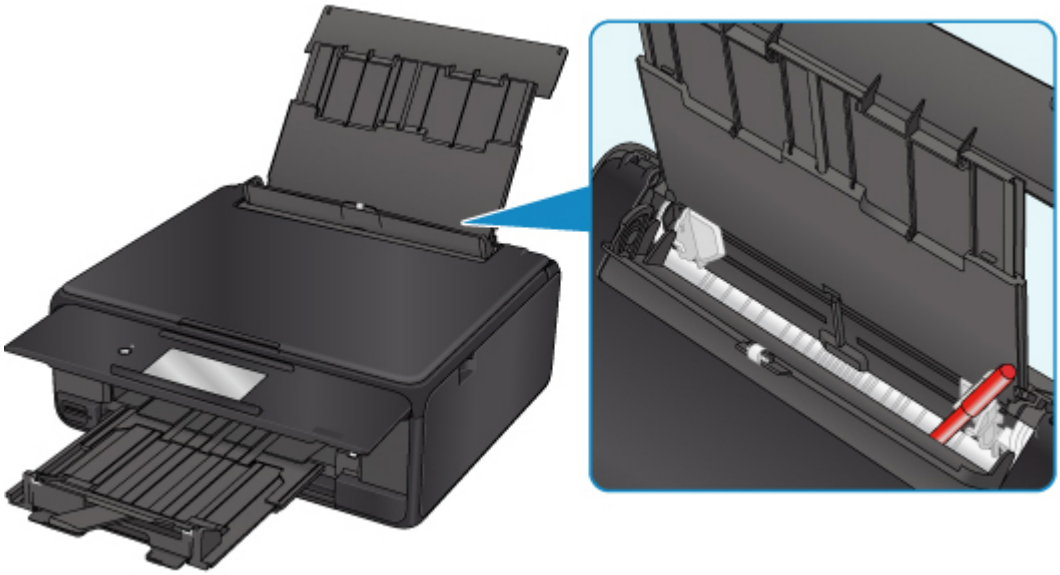
- はがき、往復はがきが反っていると、最大積載枚数以内の枚数をセットしていても、うまく送られないことがあります。

  はがき、往復はがきは、郵便番号欄が下にくるように後トレイにセットしてください。
- 封筒に印刷するときは「封筒をセットする」を参照し、印刷前に準備をしてください。

  準備ができたら、本製品に縦置きでセットしてください。横置きにすると、正しく送られません。

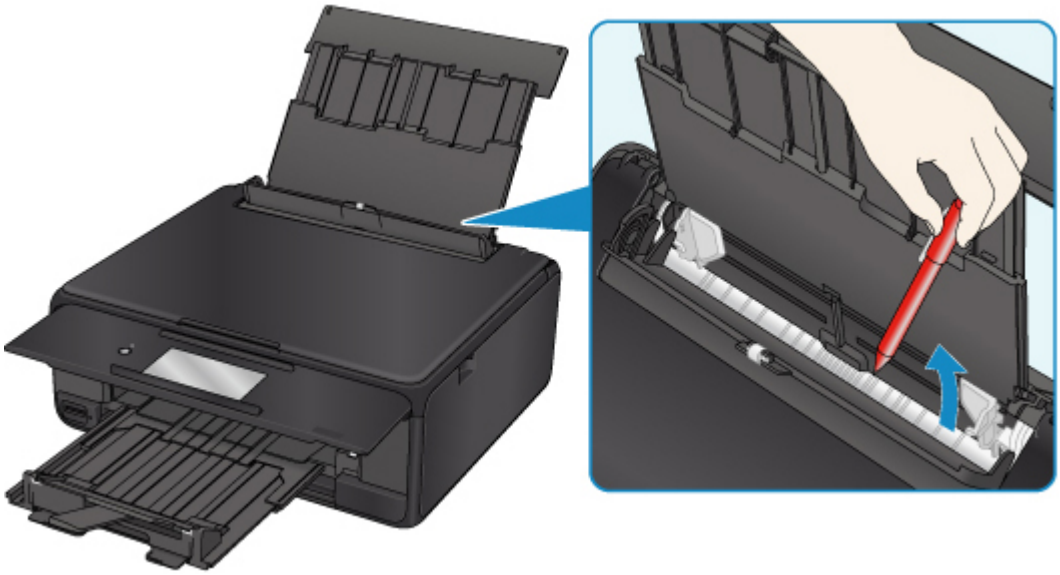
チェック５ セットした用紙と、用紙の種類やサイズの設定が合っているか確認してください

チェック６ 後トレイに異物が入っていないか確認してください



紙片が入っている場合は、「用紙がつまったときのサポート番号」を参照してください。

後トレイに物が入っている場合は、かならず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、落としたものを取り除いてください。



参考

- 給紙口カバーを開けた場合は、ゆっくりと閉じてください。

チェック７ 給紙ローラーのクリーニングを行ってください

■ 給紙ローラーをクリーニングする

参考

- 給紙ローラーのクリーニングは給紙ローラーが磨耗しますので、必要なときのみ行ってください。

チェック８ カセットから用紙が複数枚排紙されるときは、カセットの内部を清掃してください

カセットの内部の清掃については、以下を参照してください。

■ カセットの内部を清掃する

チェック９　搬送ユニットカバーと背面カバーは正しく取り付けられていますか

搬送ユニットカバーと背面カバーの位置については、「背面」を参照してください。

上記の対処を行っても解決しない場合は、キヤノンホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

ディスクにうまく印刷できない

■ディスクレーベル印刷が始まらない

■ディスクトレイがうまく送られない

■ディスクトレイがつまった

Q ディスクレーベル印刷が始まらない

A

チェック１ ディスクトレイを正しくセットしましたか

ディスクトレイを正しくセットし直し、本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］をタップしてください。

ディスクトレイは、本製品に付属のディスクトレイ（「M」のマークがあるもの）をご使用ください。

正しいセット方法については、「プリンタブルディスクをセットする」を参照してください。

チェック２ ディスクトレイにプリンタブルディスクをセットしましたか

ディスクトレイにプリンタブルディスクを正しくセットし、本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］をタップしてください。

ディスクトレイは、本製品に付属のディスクトレイ（「M」のマークがあるもの）をご使用ください。

正しいセット方法については、「プリンタブルディスクをセットする」を参照してください。

チェック３ ディスクレーベル印刷が途中で止まる場合は、もう一度操作をやり直してください

ディスクレーベル印刷の途中で一定の時間が経過すると、本製品の準備動作が中止されます。

本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］をタップすると、本製品の準備動作が再開されます。

表示される案内に従って、もう一度操作をやり直してください。

Q ディスクトレイがうまく送られない

A

チェック１ ディスクトレイを正しくセットしましたか

ディスクトレイを正しくセットし直し、本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］をタップしてください。

ディスクトレイは、本製品に付属のディスクトレイ（「M」のマークがあるもの）をご使用ください。

正しいセット方法については、「プリンタブルディスクをセットする」を参照してください。

チェック２ 認識できないプリンタブルディスクをセットしている可能性があります

推奨するプリンタブルディスクのご使用をお勧めします。

参考

- 推奨するプリンタブルディスクの最新情報については、キヤノンのホームページをご覧ください。

  推奨するプリンタブルディスクの情報は不定期に更新されます。また、推奨品の仕様は予告なく変更されることがあります。

Q ディスクトレイがつまった

A

ディスクトレイをゆっくり引き出してください。

ディスクトレイが引き出せない場合は、本製品の電源を切り、電源を入れ直してください。ディスクトレイが自動的に排出されます。

ディスクトレイを取り除いたら、ディスクトレイ（「M」のマークがあるもの）をセットし直し、もう一度印刷してください。ディスクトレイをセットし直す場合は、「プリンタブルディスクをセットする」を参照し、プリンタブルディスクを正しくセットしてください。

上記の手順どおりに処理をしてもつまる場合は、プリンタブルディスクに問題がないか確認してください。

■ディスクトレイがうまく送られない

コピー／印刷結果に満足できない

白いすじが入る、罫線がずれる、色むらがあるなど、思ったような印刷結果が得られないときは、まず用紙や印刷品質の設定を確認してください。

チェック１ セットされている用紙のサイズや種類が、設定と合っていますか

設定と異なるサイズや種類の用紙をセットしていると、正しい結果が得られません。

例えば、写真やイラストを印刷したときにカラーの発色がよくない場合があります。

また、設定と異なる種類の用紙をセットしていると、印刷面がこすれる場合があります。

フチなし全面印刷を行う場合、セットした用紙と設定の組み合わせによっては、発色の差が発生する場合があります。

用紙や印刷品質の設定を確認する方法は、ご使用の機器によって異なります。

本製品の操作でコピーをする場合	本製品の操作パネルの設定を確認 ■ コピーするときの設定項目
本製品の操作で写真をコピーする場合	本製品の操作パネルの設定を確認 ■ 写真をコピーする
本製品の操作でメモリーカードから印刷する場合	本製品の操作パネル ■ 本製品の操作パネルを使って写真印刷するときの設定項目
PictBridge（Wireless LAN）対応機器から印刷する場合	PictBridge（Wireless LAN）対応機器の設定を確認 ■ PictBridge（Wireless LAN）の印刷設定について 本製品の操作パネルの設定を確認 ■ PictBridge 印刷設定
パソコンから印刷する場合	プリンタードライバーの設定を確認 • Windows をご使用の場合： ■ かんたんな設定で印刷を行う • Mac OS をご使用の場合： ■ かんたんな設定で印刷を行う

チェック２ チェック１の表を参照して、適切な印刷品質が選ばれていることを確認してください

用紙の種類や印刷するデータに応じた印刷品質を選んでください。インクのにじみや色むらが気になる場合は、画質を優先する設定にして印刷してみてください。

参考

- PictBridge（Wireless LAN）対応機器から印刷する場合は、本製品の操作パネルで印刷品質を設定してください。

PictBridge（Wireless LAN）対応機器からは印刷品質の設定はできません。

チェック 3 それでも解決しない場合は、他の原因が考えられます

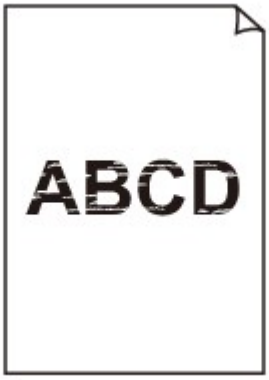
以下の項目もあわせて確認してください。

- 白紙のまま排紙される／印刷がかすれる／違う色になる／白いすじ（線）が入る
- 罫線がずれる
- 印刷面が汚れる／こすれる
- 画像の横に縦線パターンが印刷される
- 最後まで印刷できない
- 文書の一部が印刷されない（Windows）
- 罫線が欠けるまたは印刷されない（Windows）
- 画像が欠けるまたは印刷されない（Windows）
- インクがにじむ／用紙が反る
- 用紙の裏面が汚れる
- 色むらや色すじがある

白紙のまま排紙される／印刷がかすれる／違う色になる／白いすじ（線）が入る

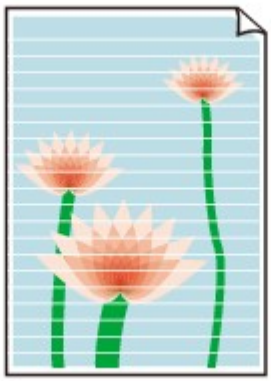
白紙のまま排紙される

印刷がかすれる



違う色になる

白いすじ（線）が入る



A

チェック１ 用紙や印刷品質を確認しましたか

- コピー／印刷結果に満足できない

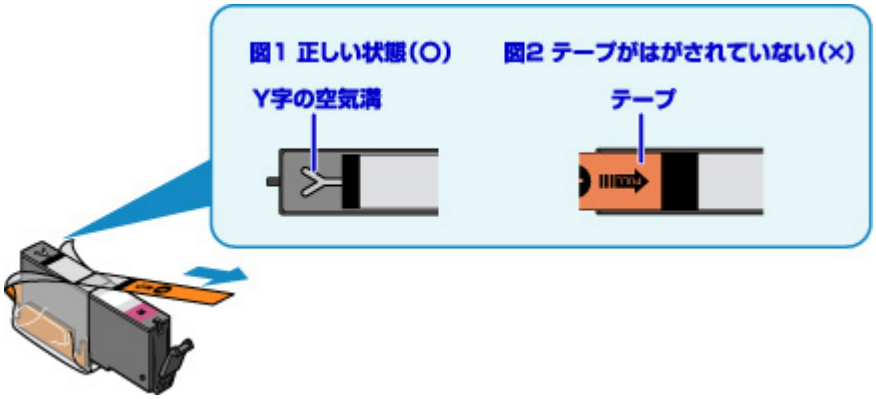
チェック２ インクタンクの状態を確認し、インクがなくなっている場合は、インクタンクを交換してください

- インクタンクを交換する

チェック３ インクタンクにオレンジ色のテープや保護フィルムが残っていませんか

下の図１のように、オレンジ色のテープがＹ字の空気溝からきれいにはがされていることを確認してください。

図２のようにテープが残ってＹ字の空気溝をふさいでいる場合は、テープをきれいに取り除いてください。



チェック４ ノズルチェックパターンを印刷し、必要に応じてプリントヘッドのクリーニングなどを行ってください

ノズルチェックパターンを印刷して、インクが正常に出ているか確認してください。

ノズルチェックパターンの印刷、プリントヘッドのクリーニング、強力クリーニングについては「印刷にかすれやむらがあるときには」を参照してください。

- ノズルチェックパターンが正しく印刷されない場合

  該当する色のインクタンクが空になっていないか確認してください。

  インクが残っているのに印刷されない場合は、プリントヘッドをクリーニングしてから、ノズルチェックパターンを印刷して効果を確認してください。

- プリントヘッドのクリーニングを２回繰り返しても改善されない場合

強力クリーニングを実行してください。

強力クリーニングを行っても改善されない場合は、本製品の電源を切って 24 時間以上経過したあとに、再度強力クリーニングを行ってください。

- 強力クリーニングを 2 回繰り返しても改善されない場合

  プリントヘッドが故障している可能性があります。キヤノンホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

チェック 5 片面にのみ印刷可能な用紙を使用している場合は、用紙の表と裏を間違えてセットしていないか確認してください

表と裏を間違えると、かすれたり、正しく印刷されないことがあるので注意してください。

後トレイから印刷するときは印刷面を上に、カセットから印刷するときは印刷面を下にしてセットしてください。

用紙の印刷面については、ご使用の用紙に付属の取扱説明書を参照してください。

- **コピーしているときは以下の項目もチェックしてみてください：**

チェック 6 原稿台ガラスが汚れていませんか

原稿台ガラスを清掃してください。

■ 原稿台の周辺部分を清掃する

チェック 7 原稿が原稿台ガラスに正しくセットされていることを確認してください

■ 原稿をセットする

チェック 8 原稿はコピーする面を下にしてセットしましたか

チェック 9 本製品で印刷したものをコピーしていませんか

本製品から印刷したものを原稿としてコピーする場合、元の写真や文書によっては、きれいに印刷されないことがあります。

本製品から直接印刷するか、パソコンから印刷ができる場合はパソコンから印刷し直してください。

罫線がずれる

チェック 1　用紙や印刷品質を確認しましたか

- コピー／印刷結果に満足できない

チェック 2　プリントヘッドの位置調整を行ってください

罫線がずれるなど、印刷結果に均一感が見られないときには、プリントヘッド位置を調整してください。

- プリントヘッド位置を調整する

参考

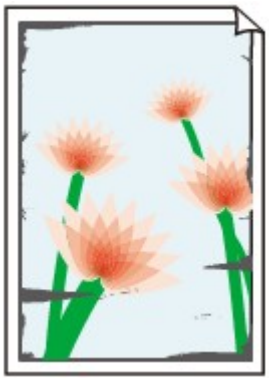
- プリントヘッド位置調整を行ってもなお、印刷結果が思わしくない場合は、パソコンから手動プリントヘッド位置調整を行ってください。
  - Windows をご使用の場合：
    - プリントヘッドの位置を調整する
  - Mac OS をご使用の場合：
    - プリントヘッドの位置を調整する

チェック 3　印刷品質の設定を上げて印刷してみてください

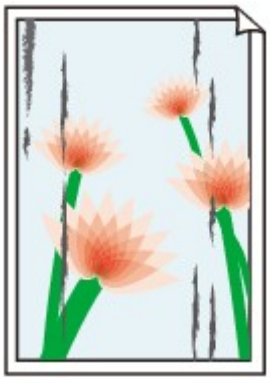
本製品の操作パネルまたはプリンタードライバーで印刷品質の設定を上げると、印刷結果が改善される場合があります。

印刷面が汚れる／こすれる

印刷面が汚れる



用紙の端が汚れる



用紙の端以外が汚れる

印刷面がこすれる

チェック１ 用紙や印刷品質を確認しましたか

- コピー／印刷結果に満足できない

チェック２ 適切な用紙を使用していますか

ご使用の用紙が目的の印刷に適した用紙か確認してください。

- 使用できる用紙について

チェック３ 反りのある用紙は、反りを直してから使用してください

キヤノン写真用紙・絹目調をご使用の場合は、用紙が反っていてもそのまま１枚ずつセットして使用してください。丸めると用紙の表面にひび割れが発生し、印刷品質が低下する場合があります。

なお、長期間ご使用にならない用紙は、用紙が入っていたパッケージに入れて水平に保管することをお勧めします。

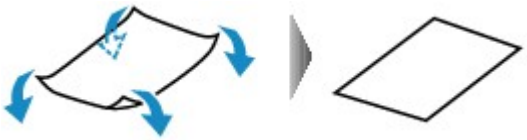
- 普通紙の場合

  用紙の裏表を逆にしてセットしてください。

- その他の用紙の場合

  用紙の四隅が 3 mm（0.1 inch）以上反っている場合、用紙が汚れたり、うまく送られなかったりするおそれがあります。以下の手順で反りを修正してから使用してください。

1. 下の図のように、対角線上の端を、反りと逆方向に丸める

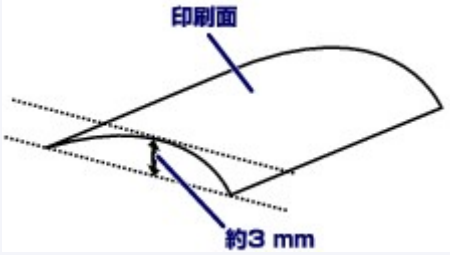


2. 印刷する用紙が、平らになっていることを確認する

   反りを修正した用紙は、1 枚ずつセットして印刷することをお勧めします。

参考

- ご使用の用紙によっては、反りのない用紙を使用していても、用紙が汚れたり、うまく送られなかったりすることがあります。その場合は、印刷する前にあらかじめ 3 mm（0.1 inch）程度反りをつけてから印刷してみてください。印刷の結果が改善される場合があります。



  反りをつけた用紙は、1 枚ずつセットして印刷することをお勧めします。

チェック 4 用紙のこすれを改善する設定にしてみてください

用紙のこすれを改善する設定にすると、プリントヘッドと紙の間隔が広くなります。用紙の種類を正しく設定していても印刷面がこすれる場合は、本製品の操作パネルかパソコンで用紙のこすれを改善する設定にしてください。

用紙のこすれを改善する設定にすると、印刷速度が遅くなる場合があります。

* 印刷後は用紙のこすれを改善する設定を解除してください。設定を解除しないと、次回以降の印刷でもこの設定が有効になります。

- 本製品の操作パネルで設定する場合

  ホームボタンを押して、 （セットアップ）アイコン、［設定］、［本体設定］、［印刷設定］を順に選び、［用紙のこすれ改善］を［する］に設定してください。

  本製品の操作パネルで設定を変更する

- パソコンで設定する場合
  - Windows をご使用の場合：

    プリンタードライバーの設定画面を開き、［ユーティリティ］シートの［特殊設定］で［用紙のこすれを改善する］にチェックマークを付け、［OK］ボタンをクリックしてください。

    プリンタードライバーの設定画面の開きかたについては「プリンタードライバーの設定画面の開きかた」を参照してください。

  - Mac OS をご使用の場合：

    Canon IJ Printer Utility2（キヤノン・アイジェイ・プリンター・ユーティリティ 2）のポップアップメニューから［特殊設定］を選び、［用紙のこすれを改善する］にチェックマークを付け、［適用］ボタンをクリックしてください。

    Canon IJ Printer Utility2 の開きかたについては「Canon IJ Printer Utility2 の開きかた」を参照してください。

チェック5 印刷の濃度を高く設定している場合は、濃度の設定を下げてもう一度印刷してみてください

普通紙に濃度の設定を上げて印刷すると、インクを吸収しすぎて用紙が波打つことがあり、印刷面がこすれる原因になります。

- パソコンから印刷する場合

  濃度の設定は、プリンタードライバーで確認できます。

  - Windows をご使用の場合：

    濃度を調整する

  - Mac OS をご使用の場合：

    濃度を調整する

- コピーする場合

  コピーするときの設定項目

チェック6 印刷推奨領域を超えて印刷していませんか

印刷推奨領域を超えて印刷すると、用紙の下端でインクがこすれることがあります。

アプリケーションソフトで原稿を作成し直してください。

印刷できる範囲

チェック7 原稿台ガラスが汚れていませんか

原稿台ガラスを清掃してください。

原稿台の周辺部分を清掃する

チェック8 給紙ローラーが汚れていませんか

給紙ローラーのクリーニングを行ってください。

給紙ローラーをクリーニングする

参考

- 給紙ローラーのクリーニングは給紙ローラーが磨耗しますので、必要なときのみ行ってください。

チェック9 本製品内部が汚れていませんか

両面印刷などを行うと、本製品の内側にインクが付いて用紙が汚れる場合があります。

インクふき取りクリーニングを行って、本製品内部をお手入れしてください。

インクふき取りクリーニングを行う

参考

- 内部の汚れを防ぐために、用紙サイズを正しく設定してください。

チェック10 インク乾燥待ち時間を長く設定してみてください

印刷面が乾きやすくなり、汚れやこすれを防ぎます。

- Windows をご使用の場合：

  1. 本製品の電源が入っていることを確認する
  2. プリンタードライバーの設定画面を開く

■ プリンタードライバーの設定画面の開きかた

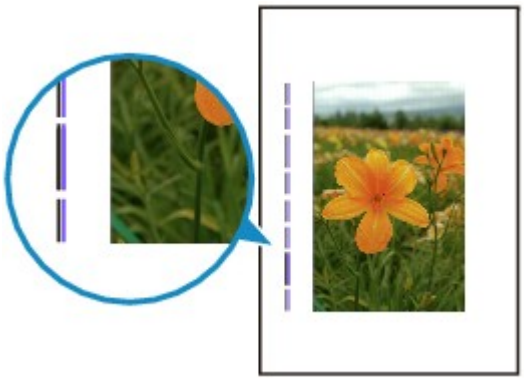
3. ［ユーティリティ］タブ、［特殊設定］の順にクリックする
4. ［インク乾燥待ち時間］のスライドバーを使って待ち時間を調整し、［OK］ボタンをクリックする
5. メッセージを確認し、［OK］ボタンをクリックする

- Mac OS をご使用の場合：
  1. 本製品の電源が入っていることを確認する
  2. Canon IJ Printer Utility2（キヤノン・アイジェイ・プリンター・ユーティリティ 2）を開く

     ■ Canon IJ Printer Utility2 の開きかた
  3. ポップアップメニューから［特殊設定］を選ぶ
  4. ［インク乾燥待ち時間］のスライドバーを使って待ち時間を調整し、［適用］ボタンをクリックする
  5. メッセージを確認し、［実行］ボタンをクリックする

Q

画像の横に縦線パターンが印刷される



A

チェック 正しいサイズの用紙をセットしていますか

設定した用紙サイズより大きいサイズの用紙をセットすると、余白部分に縦線パターンが印刷されることがあります。

セットした用紙のサイズに合わせて、用紙サイズを設定してください。

■コピー／印刷結果に満足できない

参考

- 画像ファイルや印刷設定によっては、縦線パターンの向きが変わる場合があります。
- 本製品はきれいな印刷が保てるように、状況に応じて自動的にクリーニングを行い、わずかにインクをふき出します。

  本来、クリーニングで使用されたインクは用紙の外側のインク吸収体にふき出されますが、設定した用紙サイズより大きいサイズの用紙をセットすると、用紙の上にインクがふき出されてしまう場合があります。

スキャンに関するトラブル（Windows）

- スキャンができない
- IJ Scan Utility エラーメッセージ一覧
- ScanGear（スキャナードライバー）エラーメッセージ一覧

スキャンができない

- スキャナーが動かない
- ScanGear（スキャナードライバー）がアプリケーションソフトから呼び出せない

スキャナーが動かない

チェック１ ご使用のスキャナーまたはプリンターの電源が入っていることを確認してください

チェック２ パソコンに複数の USB ポートがある場合、ほかの USB ポートに差し替えてください

チェック３ USB ケーブルを USB ハブなどを介して接続しているときは、パソコンの USB ポートに直接接続してください

チェック４ ネットワーク接続でご使用の場合は、接続状況を確認し、必要に応じて接続し直してください

チェック５ パソコンを再起動してください

ScanGear（スキャナードライバー）がアプリケーションソフトから呼び出せない

チェック 1 MP ドライバーがインストールされていることを確認してください

インストールされていない場合、セットアップ CD-ROM またはキヤノンのウェブサイトから MP ドライバーをインストールしてください。

チェック 2 アプリケーションソフトのメニューで、ご使用のスキャナーまたはプリンターを選択してください

重要

- ご使用のスキャナーまたはプリンターの名称が複数表示されている場合には、機種名に WIA が付いていないものを選んでください。

参考

- アプリケーションソフトによっては、起動方法が異なる場合があります。
- WIA に対応したアプリケーションソフトからスキャンする場合は、WIA ドライバーを使用してください。

  WIA ドライバーでスキャンする

チェック 3 アプリケーションソフトが TWAIN に対応していることを確認してください

TWAIN に対応していないアプリケーションソフトから ScanGear（スキャナードライバー）を呼び出すことはできません。

チェック 4 IJ Scan Utility でスキャンして画像を保存し、ご使用のアプリケーションソフトでファイルを開いてください

本体に関するトラブル

- 電源が入らない
- 電源が自動的に切れてしまう
- USB 接続がうまくいかない
- USB 接続で通信ができない
- 日本語以外の言語が表示されている

電源が入らない

チェック１ 電源ボタンを押してみてください

チェック２ 本製品と電源コードがしっかりと接続されているかを確認し、電源を入れ直してください

チェック３ 電源プラグをコンセントから抜き、２分以上たってから、電源プラグをコンセントにつないで本製品の電源を入れ直してください

それでも回復しない場合は、キヤノンホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

電源が自動的に切れてしまう

チェック 自動的に電源が切れる設定になっている場合は、設定を解除してください

自動的に電源が切れる設定になっていると、設定した時間に応じて本製品の電源は自動的に切れます。

- Windows をご使用で、自動的に本製品の電源を切りたくない場合：

  プリンタードライバーの設定画面を開き、［ユーティリティ］シートの［自動電源設定］で［自動電源オフ］を［無効］に設定してください。

- Mac OS をご使用で、自動的に本製品の電源を切りたくない場合：

  Canon IJ Printer Utility2（キヤノン・アイジェイ・プリンター・ユーティリティ 2）を開き、ポップアップメニューから［電源設定］を選び、［自動電源設定］で［自動電源オフ］を［無効］に設定してください。

参考

- 自動的に電源を切る、または入れる設定は、本製品の操作パネルからも設定できます。

  ECO 設定について

- Windows をご使用の場合は、ScanGear（スキャナードライバー）からも設定できます。

  ［スキャナー］シート

USB 接続がうまくいかない

Q 印刷・スキャン速度が遅い／Hi-Speed USB として動作しない／「さらに高速で実行できるデバイス」などの警告文が画面に表示される（Windows）

A

Hi-Speed USB に対応していない環境では、USB 1.1 での接続となります。この場合、本製品は正常に動作しますが、通信速度の違いから印刷・スキャン速度が遅くなることがあります。

チェック ご使用の環境が Hi-Speed USB に対応しているか、次の点を確認してください

- パソコンの USB ポートは、Hi-Speed USB に対応していますか。
- USB ケーブルと USB ハブは、Hi-Speed USB に対応していますか。

  USB ケーブルは、かならず Hi-Speed USB 認証ケーブルをご使用ください。また、長さ 3 m（10 ft）以内のものをお勧めします。
- ご使用のパソコンは、Hi-Speed USB に対応した状態ですか。

  最新のアップデートを入手して、インストールしてください。
- Hi-Speed USB 対応の USB ドライバーが正しく動作していますか。

  Hi-Speed USB に対応した最新の Hi-Speed USB ドライバーを入手して、再インストールしてください。

重要

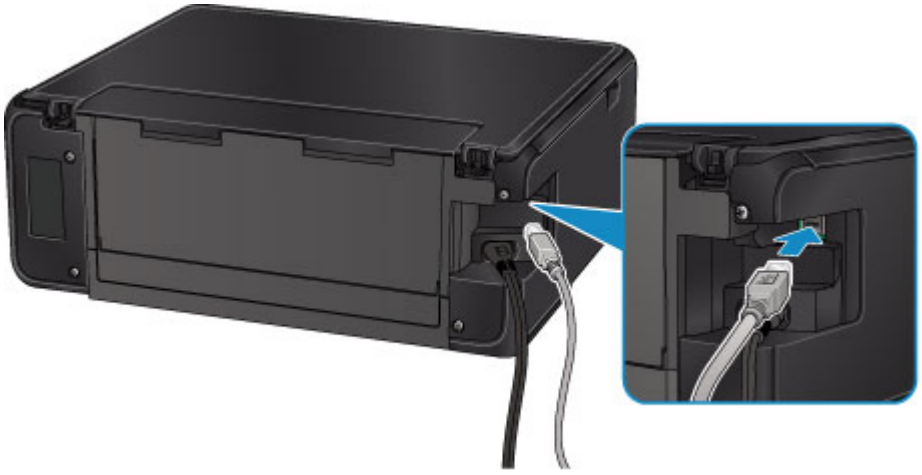
- それぞれの操作については、ご使用のパソコン、USB ケーブル、USB ハブのメーカーにご確認ください。

USB 接続で通信ができない

チェック 1 本製品の電源が入っているか確認してください

チェック 2 USB ケーブルを正しく接続してください

USB ケーブル接続部は、下の図のように本製品の背面にあります。



チェック 3 プリンタードライバーのプロパティ画面の［ポート］シートで［双方向サポートを有効にする］にチェックマークを付けて、双方向通信を行ってください（Windows）

プリンタードライバーの設定画面の開きかた

インストール／ダウンロードに関するトラブル

- MP ドライバーがインストールできない
- ネットワーク環境で MP ドライバーをバージョンアップする方法がわからない（Windows）

MP ドライバーがインストールできない

- Windows をご使用の場合：
- Mac OS をご使用の場合：

Windows をご使用の場合：

- **セットアップ CD-ROM を DVD/CD-ROM ドライブに入れてもセットアップが始まらないとき：**

  次の手順に従ってインストールを開始してください。

  1. 以下のように選ぶ
     - Windows 10 をご使用の場合は、［スタート］ボタン、［エクスプローラー］をクリックし、左メニューから［PC］をクリックします。
     - Windows 8.1 または Windows 8 をご使用の場合は、デスクトップのタスクバーにある「エクスプローラー」アイコンを選び、左側の一覧から［PC］（Windows 8 の場合は［コンピューター］）を選びます。
     - Windows 7 をご使用の場合は、［スタート］メニューから［コンピューター］を選びます。
     - Windows Vista をご使用の場合は、［スタート］メニューから［コンピュータ］を選びます。
  2. 開いたウィンドウにある「CD-ROM」アイコンをダブルクリックする

     CD-ROM の内容が表示された場合は、［MSETUP4.EXE］をダブルクリックしてください。

     セットアップ CD-ROM から MP ドライバーがインストールできない場合は、ウェブページからインストールしてください。

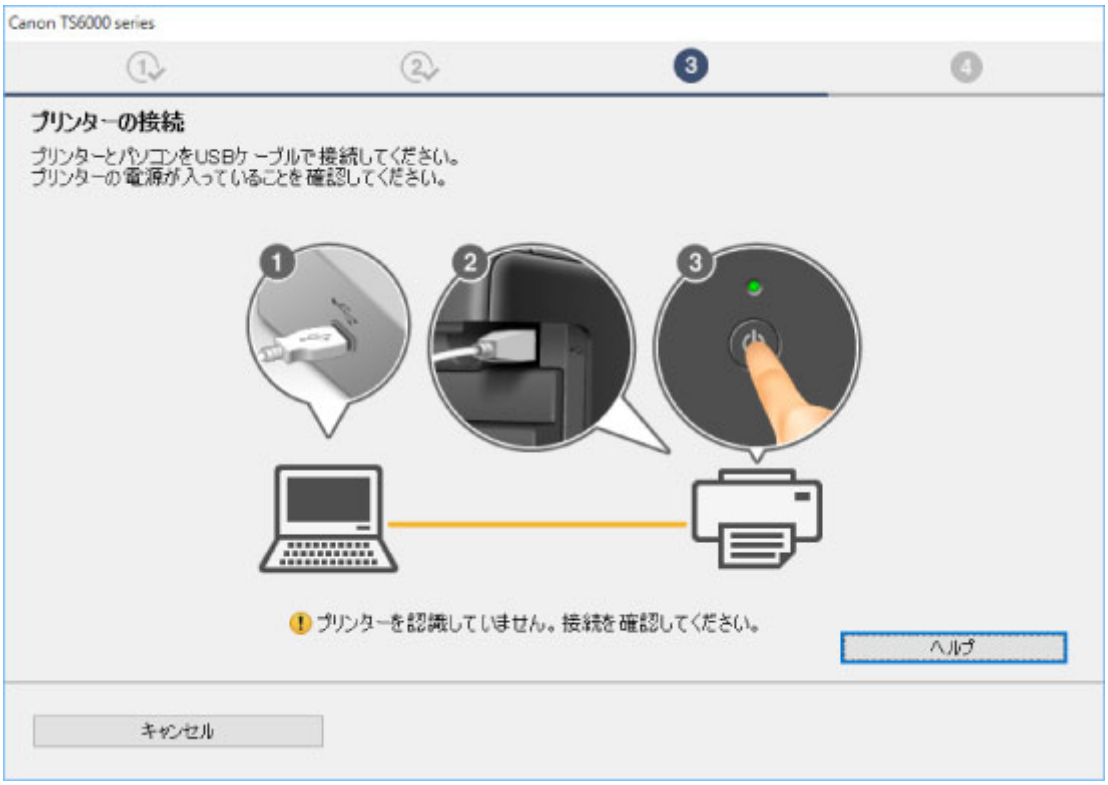
参考

- CD-ROM のアイコンが表示されない場合は、次のことを試してください。
  - CD-ROM をパソコンから取り出して、再度セットする
  - パソコンを再起動する

  それでも「CD-ROM」アイコンが表示されない場合は、パソコンでほかの CD-ROM を表示できるか確認してください。ほかの CD-ROM が表示できる場合は、セットアップ CD-ROM に異常があります。お客様相談センターにお問い合わせください。

  お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

- **［プリンターの接続］画面で止まってしまうとき：**



■ ［プリンターの接続］画面／［ケーブルの接続］画面から先に進めない

- **それ以外のとき：**

MP ドライバーをインストールし直してください。

MP ドライバーが正しくインストールされなかった場合は、MP ドライバーを削除し、パソコンを再起動します。そのあとに、MP ドライバーを再インストールしてください。

■ 不要になった MP ドライバーを削除する

MP ドライバーを再インストールする場合は、セットアップ CD-ROM またはウェブページから MP ドライバーをインストールしてください。

参考

- Windows のエラーが原因でインストーラーが強制終了した場合は、Windows が不安定になっている可能性があり、MP ドライバーがインストールできなくなることがあります。パソコンを再起動して再インストールしてください。

Mac OS をご使用の場合：

キヤノンのサポートページからドライバーをダウンロードし、インストールし直してください。

ネットワーク環境で MP ドライバーをバージョンアップする方法がわからない（Windows）

あらかじめ新しいバージョンの MP ドライバーをダウンロードしてください。

最新の MP ドライバーを入手するには、キヤノンのホームページにアクセスし、お使いの機種の MP ドライバーをダウンロードしてください。

MP ドライバーのアンインストール後、ダウンロードした新しいバージョンの MP ドライバーを所定のインストール手順に従ってインストールし、プリンターの接続方法を選択する画面で、ネットワーク接続で使用する設定を選んでください。ネットワーク上のプリンターが自動的に検出されます。

ご使用になりたいプリンターが検出されていることを確認したら、表示される画面に従ってインストールを完了してください。

参考

- 本製品に設定済みのネットワーク設定は変更されませんので、そのまま本製品をネットワーク接続で使用できます。

エラー表示／メッセージについて

- トラブルが発生したときは
- メッセージが表示されている

トラブルが発生したときは

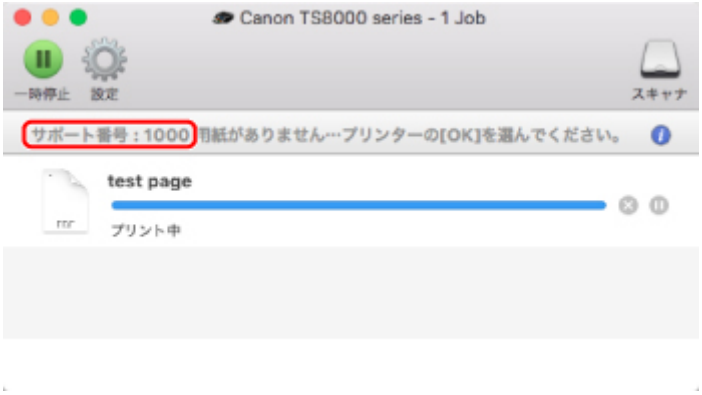
印刷中に用紙がなくなる、または紙づまりなどのトラブルが発生すると、自動的にトラブルの対処方法を示すメッセージが表示されます。この場合は、表示された対処方法に従って操作してください。

トラブルが発生すると、メッセージがパソコンまたはタッチスクリーンに表示されます。内容によっては以下のように、サポート番号（エラー識別番号）も表示されます。

パソコンにサポート番号とメッセージが表示される例：

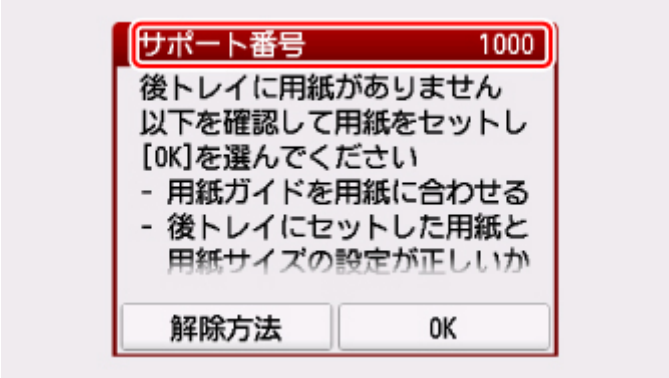
- Windows をご使用の場合：

- Mac OS をご使用の場合：



＊ご使用の OS によって、画面が異なります。

タッチスクリーンにサポート番号とメッセージが表示される例：



サポート番号が表示されるトラブルの対処方法については「エラーのサポート番号一覧」を参照してください。

参考

- サポート番号が表示されないトラブルの対処方法については、「メッセージが表示されている」を参照してください。

メッセージが表示されている

ここでは、一部のエラーやメッセージについて説明します。

参考

- エラーやメッセージによっては、サポート番号（エラー識別番号）が表示されます。サポート番号が表示されるメッセージについては、「エラーのサポート番号一覧」を参照してください。

本製品のタッチスクリーンにメッセージが表示されている場合は、以下を参照してください。

- 本製品のタッチスクリーンにメッセージが表示されている

パソコンの画面にメッセージが表示されている場合は、以下を参照してください。

- 自動両面印刷に関するエラーメッセージが表示されている
- 電源プラグの抜き差しに関するエラーメッセージが表示されている（Windows）
- 「書き込みエラー／出力エラー」または「通信エラー」（Windows）
- そのほかのエラーメッセージ（Windows）
- ［インクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラム］画面が表示された（Windows）
- ［インクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラム］アイコンが表示された（Mac OS）

Q 本製品のタッチスクリーンにメッセージが表示されている

A

メッセージを確認し、それぞれの対処方法に従って操作してください。

- **適切なデータが保存されていません**
  - セットしたメモリーカードに読み込める画像や文書データが保存されていません。
  - ファイル名（フォルダー名）に、全角文字（漢字、カナ等）があると、認識できない場合があります。全角文字を半角英数字に変更してみてください。
  - パソコン上で編集／加工したデータは、かならずパソコンから印刷を行ってください。

  参考

  - パソコンなどで撮影情報が編集された写真をタッチスクリーンに表示しようとすると、「?」が表示されます。

- **カード書き込み状態がパソコンから書き込み可能な状態に設定されています　［PC から書き込み禁止］に設定してください**

  カードスロットが書き込み可能（［USB 接続 PC から可能］）になっています。

  カードスロットが［USB 接続 PC から可能］に設定されていると、メモリーカードから印刷できません。［本体の基本設定］の［カード書き込み状態］を［PC から書き込み禁止］に戻してください。

- **前回、正しい手順で電源が切られていません　電源を切るときは、ボタンを押してください**

  前回本製品の電源を切ったときに、電源が入った状態で電源プラグが抜かれた可能性があります。

  本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］をタップしてエラーを解除してください。

  参考

  - 正しい電源プラグの抜きかたについては「電源プラグを抜く」を参照してください。

- **サーバーに接続できません　しばらく待ってからやり直してください**

  通信が正しく行われなかった、または通信中に何らかのトラブルが発生したため、サーバーにアクセスできませんでした。

  本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］をタップしてエラーを解除し、しばらく待ってから操作をやり直してください。

Q 自動両面印刷に関するエラーメッセージが表示されている

A

チェック 「自動両面印刷でうまく印刷できない」を参照し、対処してください

Q 電源プラグの抜き差しに関するエラーメッセージが表示されている（Windows）

A

本製品の電源が入った状態で、電源プラグが抜かれた可能性があります。

メッセージの内容を確認して、画面の［OK］ボタンをクリックしてください。

印刷が開始されます。

電源プラグの抜きかたについては「電源プラグを抜く」を参照してください。

Q 「書き込みエラー／出力エラー」または「通信エラー」（Windows）

A

チェック１ 電源ランプが消えている場合は、電源コードが接続されていることを確認し、電源ボタンを押してください

電源ランプが点滅している間は、本製品が初期動作中です。点滅から点灯に変わるまでお待ちください。

チェック２ 本製品とパソコンが通信できる状態か確認してください

USB 接続で本製品をご使用の場合は、本製品の USB ケーブル接続部とパソコンが USB ケーブルでしっかり接続されていることを確認してください。 USB ケーブルでしっかり接続されている場合は、次のことを確認してください。

- USB ハブなどの中継器を使用している場合は、それらを外して本製品とパソコンを直接接続してから印刷してみてください。正常に印刷される場合は、USB ハブなどの中継器に問題があります。取り外した機器の販売元にお問い合わせください。
- USB ケーブルに不具合があることも考えられます。別の USB ケーブルに交換し、再度印刷してみてください。

無線 LAN 接続で本製品をご使用の場合は、ネットワークの設定が正しくされているか確認してください。

チェック３ MP ドライバーが正しくインストールされていることを確認してください

「不要になった MP ドライバーを削除する」に記載されている手順に従って MP ドライバーを削除したあと、セットアップ CD-ROM またはウェブページから MP ドライバーを再インストールしてください。

チェック４ USB 接続で本製品をご使用の場合は、パソコンでデバイスの状態を確認してください

以下の手順に従って、パソコンでデバイスの状態を確認してください。

1. 以下のようにデバイスマネージャーを開く

   ［ユーザー アカウント制御］画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

   - Windows 10 をご使用の場合は、［スタート］ボタンを右クリックし、［デバイスマネージャー］を選びます。
   - Windows 8.1 または Windows 8 をご使用の場合は、デスクトップの［設定］チャームから［コントロールパネル］→［ハードウェアとサウンド］→［デバイスマネージャー］の順に選びます。
   - Windows 7 をご使用の場合は、［コントロール パネル］から［ハードウェアとサウンド］、［デバイス マネージャー］の順に選びます。
   - Windows Vista をご使用の場合は、［コントロール パネル］から［ハードウェアとサウンド］、［デバイス マネージャ］の順に選びます。

2. ［USB 印刷サポートのプロパティ］を開く

   - Windows 10、Windows 8.1、Windows 8 または Windows 7 をご使用の場合は、［ユニバーサル シリアル バス コントローラー］、［USB 印刷サポート］の順にダブルクリックします。
   - Windows Vista をご使用の場合は、［ユニバーサル シリアル バス コントローラ］、［USB 印刷サポート］の順にダブルクリックします。

   ［USB 印刷サポートのプロパティ］が表示されない場合は、本製品とパソコンが接続されていることを確認してください。

   チェック２ 本製品とパソコンが通信できる状態か確認してください

3. ［全般］タブをクリックして、デバイスの異常が表示されているか確認する

   デバイスの異常が表示されている場合は、Windows のヘルプを参照してトラブルを解決してください。

Q そのほかのエラーメッセージ（Windows）

A

チェック プリンター状態の確認画面以外でエラーメッセージが表示された場合は、次の点を確認してください

- ［ディスク容量不足のため、正常にスプールできませんでした。］

  不要なファイルを削除してディスクの空き容量を増やしてください。

- ［メモリー不足のため、正常にスプールできませんでした。］

  起動中のほかのアプリケーションソフトを終了して空きメモリーを増やしてください。

  それでも印刷できない場合は、パソコンを再起動してもう一度印刷してみてください。

- ［プリンタードライバーが読み込めませんでした。］

  「不要になった MP ドライバーを削除する」に記載されている手順に従って MP ドライバーを削除したあと、セットアップ CD-ROM またはウェブページから MP ドライバーを再インストールしてください。

- ［「アプリケーションソフト名」－「文書名」を印刷できませんでした。］

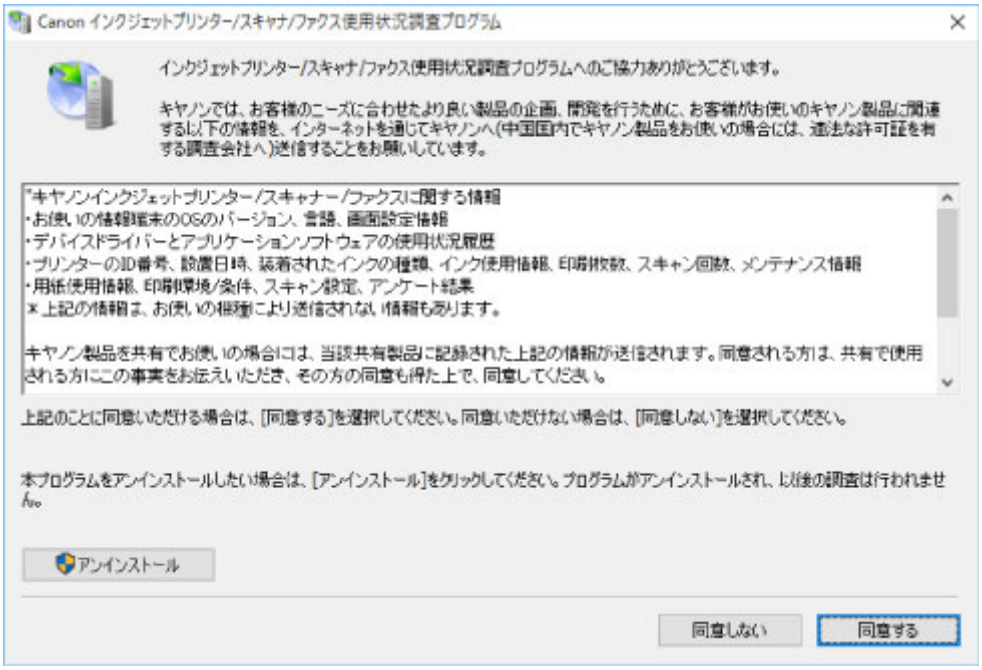
  現在印刷中の文書の印刷が終わったら、もう一度印刷してみてください。

Q ［インクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラム］画面が表示された（Windows）

A

インクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラムをインストールした場合は、インストールしてから 1 ヵ月毎に約 10 年間、本製品およびアプリケーションソフトウェアの使用状況を送信するための確認画面が表示されます。

画面の説明をお読みになり、次の操作を行ってください。



- **調査に同意される場合**

  ［同意する］をクリックし、表示される画面に従って操作してください。インターネットを通じて使用状況を送信します。操作が完了すると、次回以降は自動送信となり、確認画面は表示されません。

  参考

  - 送信時に、インターネットセキュリティなどの警告画面が表示される場合があります。そのときには、プログラム名「IJPLMUI.exe」であることを確認のうえ、許可してください。
  - ［次回から自動的に送信する］のチェックマークを外すと、2 回目以降の自動送信は行われず、使用状況の確認画面が送信時に表示されます。自動送信をするように設定するには「確認画面の表示設定を変更するには」を参照してください。

- **調査に同意されない場合**

  ［同意しない］をクリックします。確認画面が消え、今回は使用状況は送信されません。1 ヵ月後に使用状況を送信するための確認画面が再度表示されます。

- **インクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラムをアンインストールする場合**

  インクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラムをアンインストールする場合は、［アンインストール］をクリックし、表示される画面に従って操作してください。

- **確認画面の表示設定を変更するには**

  1. 以下のように選ぶ

- Windows 10 をご使用の場合は、［スタート］ボタンを右クリックして、［プログラムと機能］を選びます。
- Windows 8.1 または Windows 8 をご使用の場合は、デスクトップの［設定］チャームから［コントロールパネル］→［プログラム］→［プログラムと機能］の順に選びます。
- Windows 7 または Windows Vista をご使用の場合は、［スタート］メニューから［コントロール パネル］→［プログラム］→［プログラムと機能］を選びます。

参考

- ソフトウェアをインストールやアンインストールしたり、起動したりしたときに、確認や警告のダイアログボックスが表示されることがあります。

  このダイアログボックスは、ユーザーの管理者権限を確認する画面です。

  Administrator［管理者］の権限を持つユーザーでログオンした場合は、画面の指示に従って、操作を続けてください。

2. ［Canon インクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラム］を選ぶ
3. ［変更］を選ぶ

   表示される画面に従って［はい］を選ぶと、次回の使用状況を送信する時に、送信確認画面が表示されるようになります。

   ［いいえ］を選ぶと、使用状況を自動的に送信します。

   参考

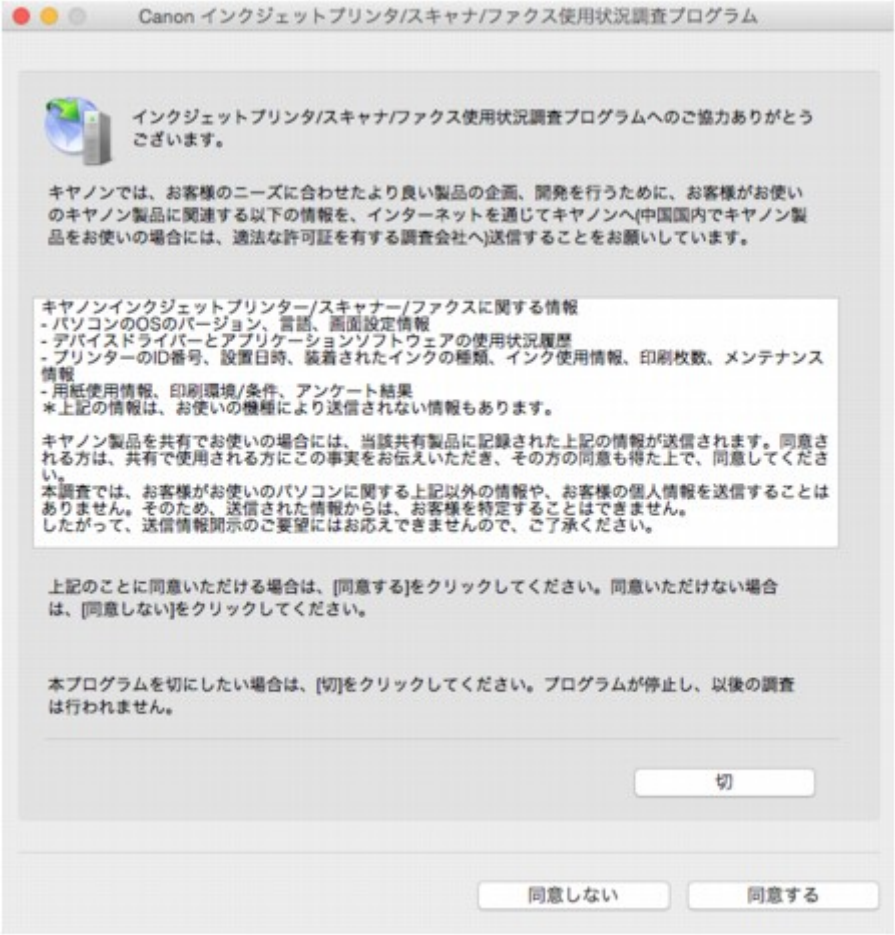
   - ［アンインストール］を選ぶとインクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラムが削除されます。表示される画面に従って操作を完了してください。

Q ［インクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラム］アイコンが表示された（Mac OS）

A

インクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラムをインストールした場合は、インストールしてから 1 ヵ月毎に約 10 年間、本製品およびアプリケーションソフトウェアの使用状況を送信します。使用状況を送信する時期になると Dock 内にインクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラムのアイコンが表示されます。

クリック後に表示される説明をお読みになり、次の操作を行ってください。



- **調査に同意される場合**

  ［同意する］をクリックし、表示される画面に従って操作してください。インターネットを通じて使用状況を送信します。操作が完了すると、次回以降は自動送信となり、確認画面は表示されません。

  参考

  - ［次回から自動的に送信する］のチェックボックスをオフにすると、2 回目以降も自動送信は行われず、使用状況の送信時 Dock にインクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラムのアイコンが表示されます。

- **調査に同意されない場合**

  ［同意しない］をクリックします。確認画面が消え、今回は使用状況は送信されません。1 ヵ月後に使用状況を送信するための確認画面が再度表示されます。

- **調査を停止する場合**

  ［切］をクリックします。インクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラムが停止し、使用状況は送信されません。調査を再開するには「設定を変更するには」を参照してください。

- **インクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラムをアンインストールする場合**

  1. インクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラムを停止する

     設定を変更するには

  2. Finder の［移動］メニューから［アプリケーション］を選び、［Canon Utilities］フォルダー、［Inkjet Extended Survey Program］フォルダーを順にダブルクリックする
  3. ［Canon インクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラム.app］をゴミ箱に入れる

4. パソコンを再起動する

   ［ゴミ箱］を空にして、パソコンを再起動します。

- **設定を変更するには**

送信確認画面を表示して使用状況を送信するように変更したり、使用状況の調査を再開させたりしたい場合は以下の手順で操作してください。

1. Finder の［移動］メニューから［アプリケーション］を選び、［Canon Utilities］フォルダー、［Inkjet Extended Survey Program］フォルダーを順にダブルクリックする
2. ［Canon インクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラム］アイコンをダブルクリックする

   - ［情報の送信時に確認画面を表示しない］：

     チェックボックスをチェックすると、使用状況が自動的に送信されます。

     チェックボックスをオフにすると、使用状況の送信時 Dock にインクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラムのアイコンが表示されます。確認画面から送信してください。

   - ［切］／［入］ボタン：

     ［切］ボタンをクリックすると、インクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラムを停止します。

     ［入］ボタンをクリックすると、停止していたインクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラムが再開されます。

エラーのサポート番号一覧（TS8030）

エラーが発生したときに、タッチスクリーンとパソコンにサポート番号が表示されます。

「サポート番号」とはエラー識別番号で、エラーメッセージと合わせて表示されます。

エラーが発生したときはサポート番号を確認し、それぞれの対処方法に従って操作してください。

表示されるサポート番号

- **1000～1ZZZ**

  1000　1001　1002　1003　1200　1240

  1258　1259　1270　1300　1303　1304

  1309　1310　1313　1401　1403　1405

  140B　1410　1411　1412　1413　1414

  1415　1551　1552　1600　1660　1680

  1681　1684　1688　1689　1700　1701

  1730　1731　1750　1830　1850　1851

  1855　1857　185B　185C　185D　1871

  1874　1890

- **2000～2ZZZ**

  2110　2113　2114　2120　2123　2504

  2700　2900　2901

- **3000～3ZZZ**

  3402　3403　3405　3407　3408　3410

  3411　3412　3413　3438　3439　3440

  3441　3442　3443　3444　3445　3446

  3447

- **4000～4ZZZ**

  4100　4103　4104

- **5000～5ZZZ**

  5011　5012　5050　5100　5200　5400

  5700　5B00　5B01　5C02

- **6000～6ZZZ**

  6000 6001 6004 6500 6502 6800

  6801 6900 6901 6902 6910 6911

  6930 6931 6932 6933 6934 6935

  6936 6937 6938 6940 6941 6942

  6943 6944 6945 6946 6950 6960

  6A80 6A81 6A82

- **A000～ZZZZ**

  B202 B203 B204 B205 C000

紙づまりに関するサポート番号については、「用紙がつまったときのサポート番号」からも確認することができます。

用紙がつまったときのサポート番号

用紙がつまった場合は、つまった場所や原因に応じて用紙を取り除いてください。

- つまった用紙が後トレイや排紙口から見えている場合
  - 後トレイから印刷しているときに用紙がつまった場合
    - 1300
- つまった用紙が後トレイや排紙口から見えない場合
  - カセットから印刷しているときに用紙がつまった場合
    - 1303
  - 自動両面印刷をしていて用紙がつまった場合
    - 1304
  - 印刷済みの用紙が引き込まれて用紙がつまった場合
    - 1313
  - つまった用紙が破れて排紙口から取り除けない場合や、本製品の内部で用紙がつまっている場合
    - 本製品の内部で用紙がつまった
- 上記に当てはまらない場合
  - それ以外のとき

1300

原因

後トレイから印刷しているときに用紙がつまりました。

対処方法

後トレイから印刷しているときに用紙がつまった場合は、以下の手順でつまった用紙を排紙口または後トレイから取り除いてください。

1. 排紙口または後トレイ（引き出しやすい方）から用紙をゆっくり引っ張り、用紙を取り除く

   用紙を両手でしっかりと持ち、紙が破れないようにゆっくりと引き抜いてください。

参考

- 用紙が引き抜けない場合は無理に引っ張らず、本製品の電源を入れ直してください。用紙が自動的に排出されることがあります。
- 印刷中につまった用紙を取り除くため本製品の電源を切る場合は、［ストップ］をタップして、印刷を中止してから電源を切ってください。
- 用紙が破れて排紙口または後トレイから引き抜けなくなった場合は、本製品の内部から用紙を取り除いてください。

  本製品の内部で用紙がつまった

- 排紙口からも後トレイからも引き抜けない場合は、本製品の背面から用紙を取り除いてください。

  つまった用紙を背面から取り除く

2. 用紙をセットし直し、本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］を選ぶ

   印刷が再開されます。つまったときに印刷していたページが正しく印刷されなかった場合は、再度印刷を行ってください。

   手順 1 で電源を入れ直した場合、本製品に送信されていた印刷データは消去されますので、もう一度印刷をやり直してください。

参考

- 用紙をセットし直すときは、用紙が印刷に適していること、用紙を正しくセットしていることを確認してください。
- 写真やグラフィックを含む原稿の印刷は A5 サイズ以外の用紙に印刷することをお勧めします。A5 サイズの用紙に印刷すると、用紙が反って排紙できない原因になることがあります。

上記の対処を行っても解決しない場合は、キヤノンホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『設置・基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

1303

原因

カセットから印刷しているときに用紙がつまりました。

対処方法

カセットから印刷しているときに用紙がつまった場合は、以下の場所からつまった用紙を取り除いてください。

- 排紙口

  1300

- 本製品の内部

  本製品の内部で用紙がつまった

- カセットの給紙口

  カセットを引き出し、両手でつまった用紙をゆっくりと引き抜いてください。

上記の対処を行っても解決しない場合は、「つまった用紙を背面から取り除く」を参照して背面カバーを開き、つまった用紙を取り除いてください。

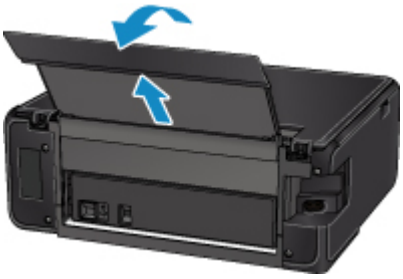
つまった用紙を背面から取り除く

参考

- 印刷中につまった用紙を取り除くため本製品の電源を切る場合は、［ストップ］をタップして、印刷を中止してから電源を切ってください。

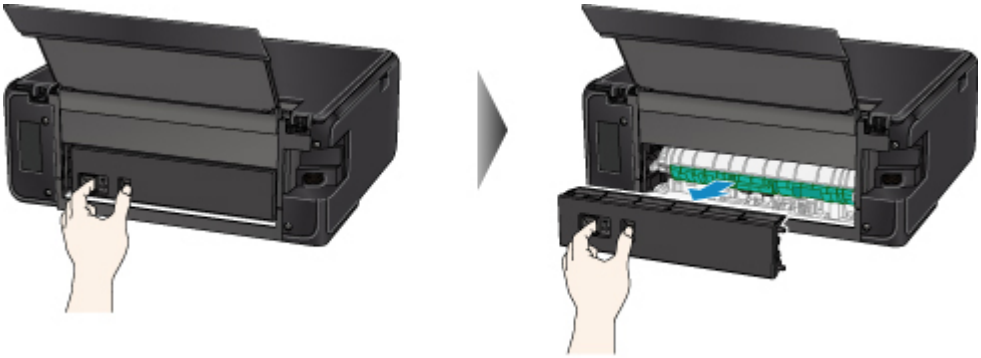
1. 本製品の背面が手前にくるように、本製品を回転させる

2. 後トレイカバーを開き、用紙サポートを引き上げる

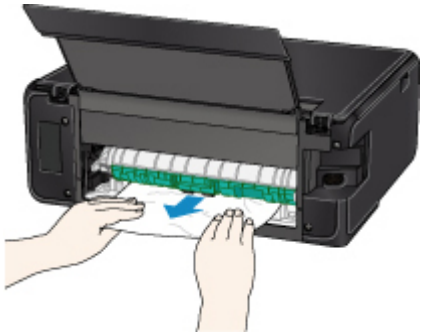


3. 背面カバーを取り外す

背面カバーを手前に引き出してください。



4. 用紙をゆっくり引っ張る



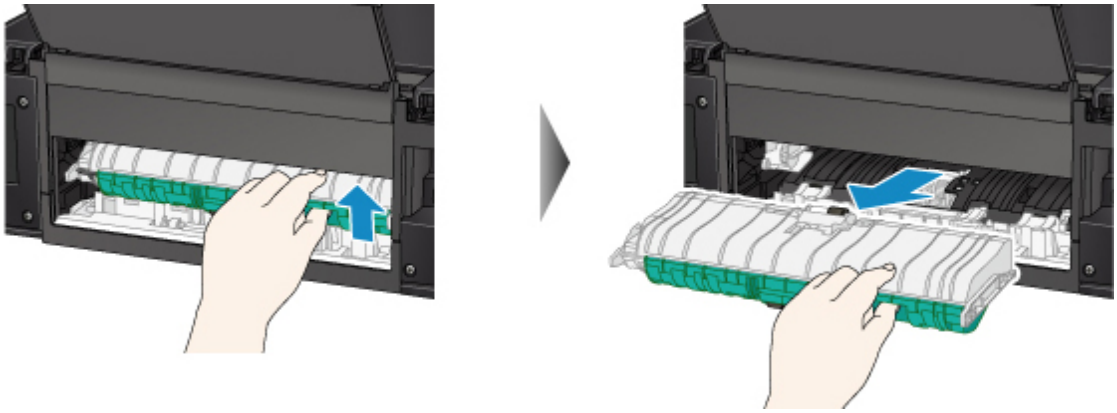
参考

- 本製品の内部の部品には触れないようにしてください。

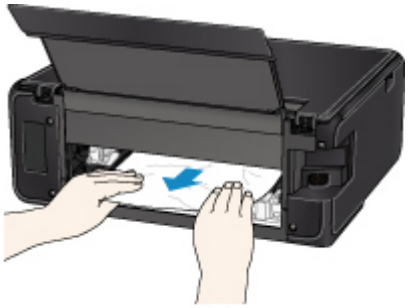
つまった用紙を取り除けない場合は、以下の手順で搬送ユニットカバーを取り外してつまった用紙を取り除きます。

1. 搬送ユニットカバーを取り外します。

   搬送ユニットカバーはいったん持ち上げてから引き出します。



2. 用紙をゆっくり引っ張ります。

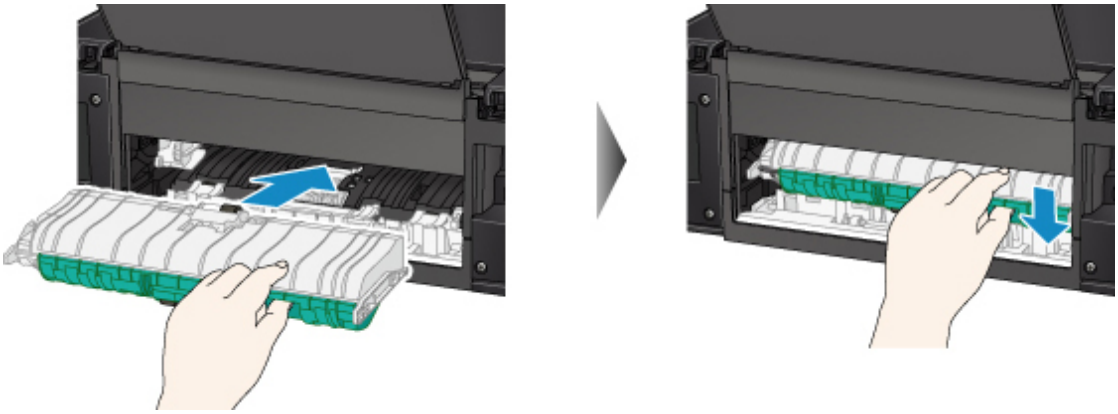


参考

- 本製品の内部の部品には触れないようにしてください。

3. つまった用紙をすべて取り除いたか確認します。
4. 搬送ユニットカバーを取り付けます。

   搬送ユニットカバーをゆっくりと奥まで差し込んで下ろします。



5. 背面カバーを取り付ける

背面カバーの右側の突起を本製品の穴に入れ、背面カバーの左側をしっかりと押し込んでください。

上記の対処を行っても解決しない場合は、キヤノンホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『設置・基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

1304

原因

自動両面印刷をしていて、用紙がつまりました。

対処方法

自動両面印刷をしていて用紙がつまった場合は、以下の場所からつまった用紙を取り除いてください。

- 排紙口

  1300

- 本製品の内部

  本製品の内部で用紙がつまった

上記の対処を行っても解決しない場合は、「つまった用紙を背面から取り除く」を参照して背面カバーを開き、つまった用紙を取り除いてください。

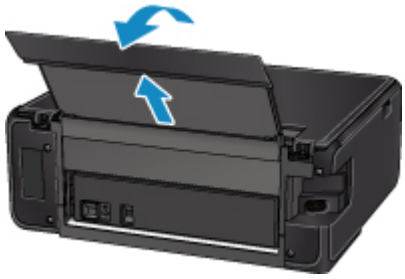
つまった用紙を背面から取り除く

参考

- 印刷中につまった用紙を取り除くため本製品の電源を切る場合は、［ストップ］をタップして、印刷を中止してから電源を切ってください。

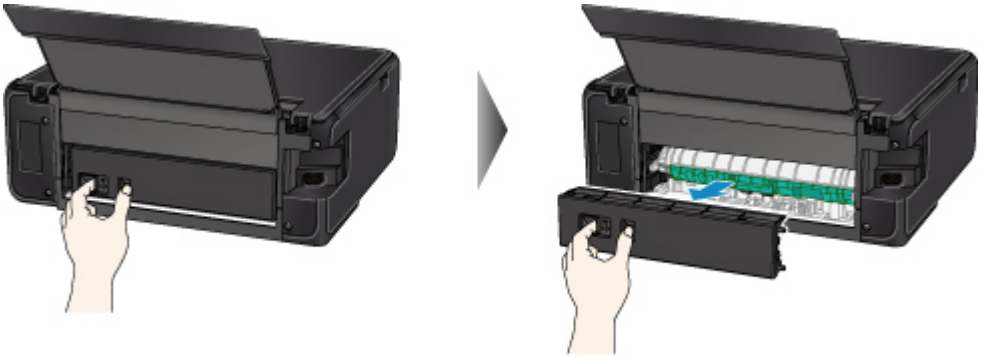
1. 本製品の背面が手前にくるように、本製品を回転させる

2. 後トレイカバーを開き、用紙サポートを引き上げる

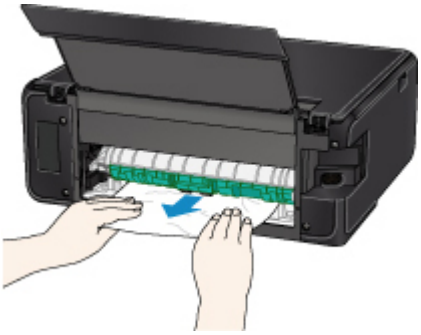


3. 背面カバーを取り外す

   背面カバーを手前に引き出してください。



4. 用紙をゆっくり引っ張る



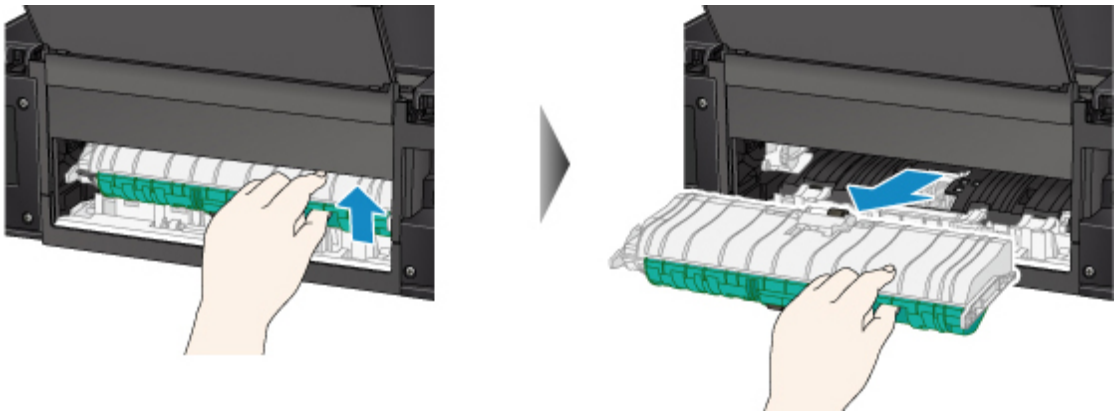
参考

- 本製品の内部の部品には触れないようにしてください。

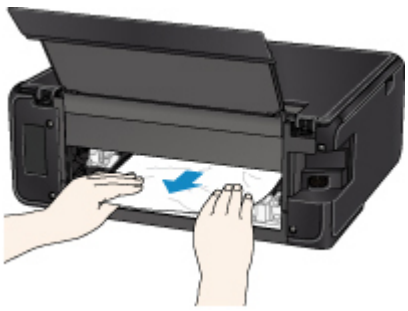
つまった用紙を取り除けない場合は、以下の手順で搬送ユニットカバーを取り外してつまった用紙を取り除きます。

1. 搬送ユニットカバーを取り外します。

   搬送ユニットカバーはいったん持ち上げてから引き出します。



2. 用紙をゆっくり引っ張ります。

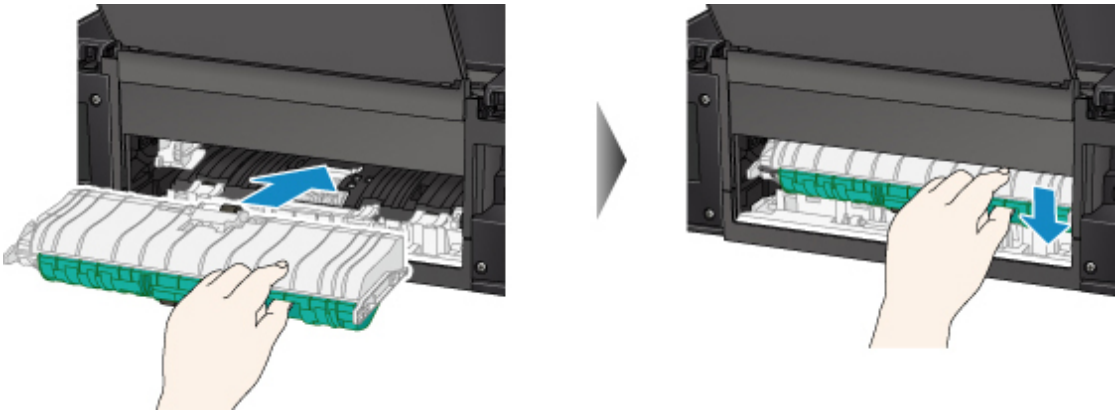


参考

- 本製品の内部の部品には触れないようにしてください。

3. つまった用紙をすべて取り除いたか確認します。
4. 搬送ユニットカバーを取り付けます。

   搬送ユニットカバーをゆっくりと奥まで差し込んで下ろします。



5. 背面カバーを取り付ける

   背面カバーの右側の突起を本製品の穴に入れ、背面カバーの左側をしっかりと押し込んでください。

上記の対処を行っても解決しない場合は、キヤノンホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『設置・基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

1313

原因

印刷済みの用紙が引き込まれて用紙がつまりました。

対処方法

印刷済みの用紙が引き込まれて用紙がつまった場合は、以下の場所からつまった用紙を取り除いてください。

- 排紙口

  1300

- 本製品の内部

  本製品の内部で用紙がつまった

上記の対処を行っても解決しない場合は、「つまった用紙を背面から取り除く」を参照して背面カバーを開き、つまった用紙を取り除いてください。

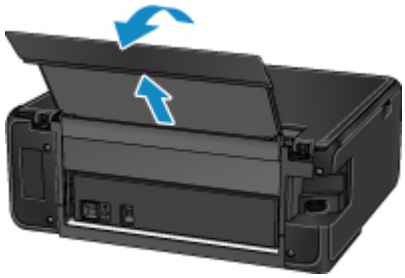
つまった用紙を背面から取り除く

参考

- 印刷中につまった用紙を取り除くため本製品の電源を切る場合は、［ストップ］をタップして、印刷を中止してから電源を切ってください。

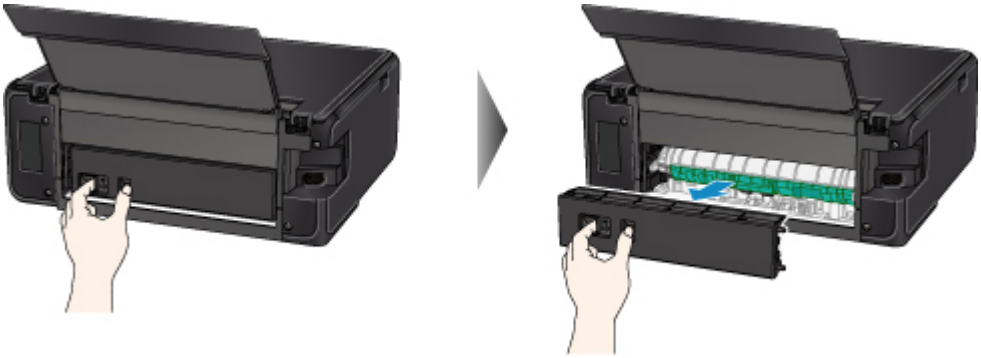
1. 本製品の背面が手前にくるように、本製品を回転させる

2. 後トレイカバーを開き、用紙サポートを引き上げる

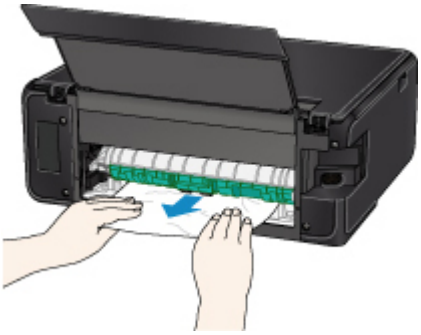


3. 背面カバーを取り外す

   背面カバーを手前に引き出してください。



4. 用紙をゆっくり引っ張る



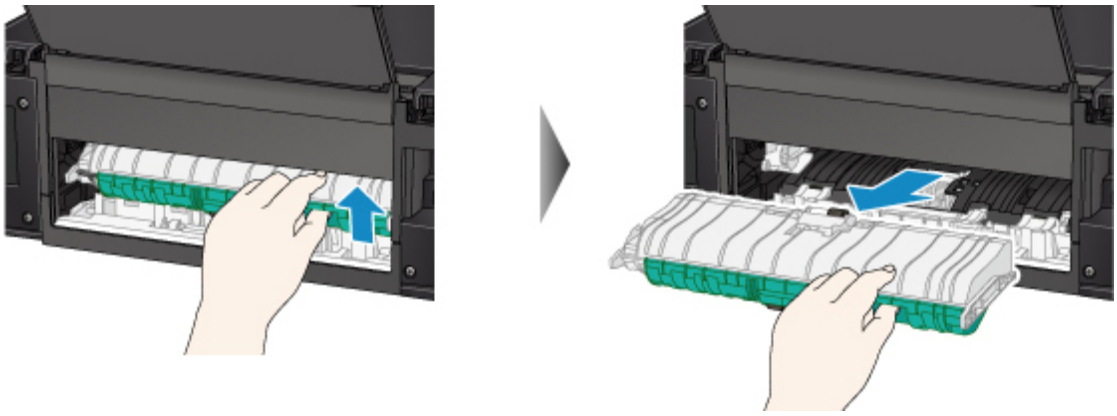
参考

- 本製品の内部の部品には触れないようにしてください。

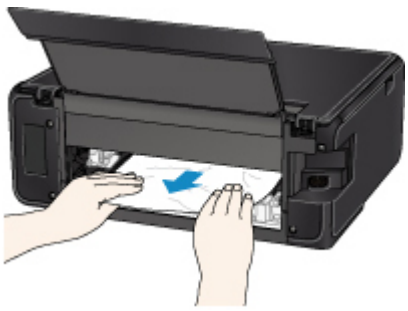
つまった用紙を取り除けない場合は、以下の手順で搬送ユニットカバーを取り外してつまった用紙を取り除きます。

1. 搬送ユニットカバーを取り外します。

   搬送ユニットカバーはいったん持ち上げてから引き出します。



2. 用紙をゆっくり引っ張ります。

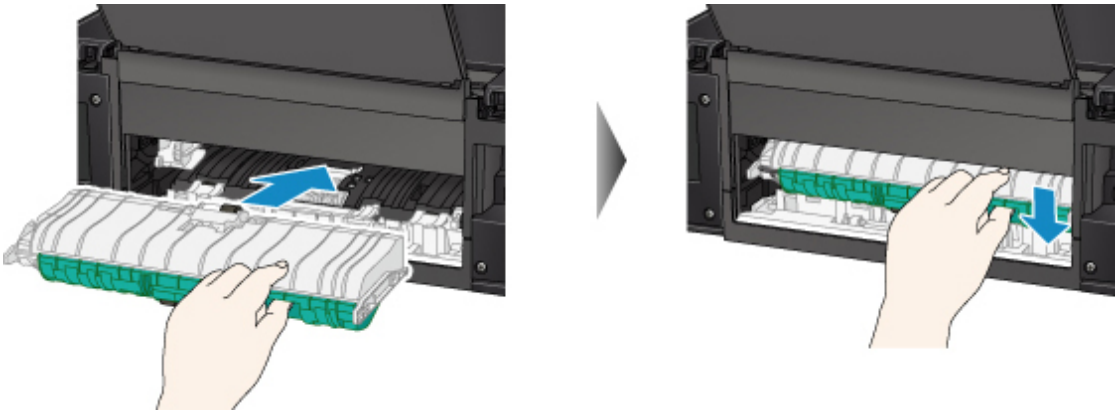


参考

- 本製品の内部の部品には触れないようにしてください。

3. つまった用紙をすべて取り除いたか確認します。
4. 搬送ユニットカバーを取り付けます。

   搬送ユニットカバーをゆっくりと奥まで差し込んで下ろします。



5. 背面カバーを取り付ける

   背面カバーの右側の突起を本製品の穴に入れ、背面カバーの左側をしっかりと押し込んでください。

上記の対処を行っても解決しない場合は、キヤノンホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『設置・基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

本製品の内部で用紙がつまった

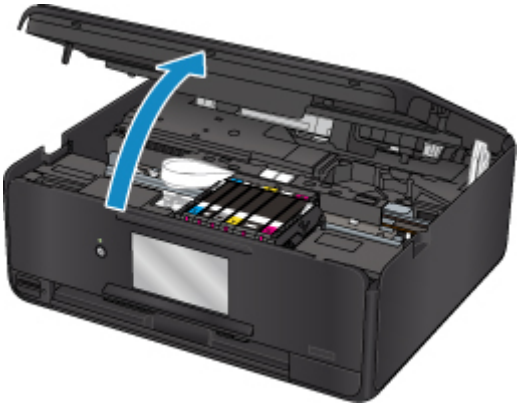
つまった用紙が破れて排紙口から取り除けないときや本製品の内部で用紙がつまっているときは、次の手順でつまった用紙を取り除いてください。

参考

- 印刷中につまった用紙を取り除くため本製品の電源を切る場合は、［ストップ］をタップして、印刷を中止してから電源を切ってください。

1. 本製品の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

2. スキャナーユニット/カバーを開く



重要

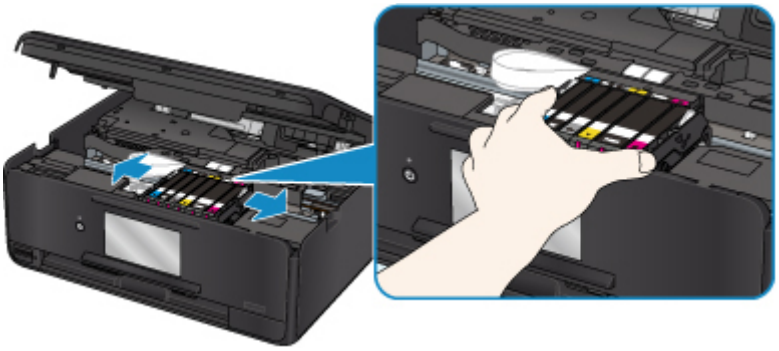
- 白い帯状の部品（A）に触れないでください。

用紙や手が触れて部品が汚れたり傷ついたりすると、故障の原因になります。

3. プリントヘッドホルダーの下につまった用紙がないか確認する

プリントヘッドホルダーの下につまった用紙があるときは、プリントヘッドホルダーを動かしやすい方向（右端または左端）へ動かして、用紙を取り除きやすくしてください。

プリントヘッドホルダーを動かすときは、プリントヘッドホルダーの上部をしっかりとつかみ、右端または左端に、ゆっくりとスライドさせてください。

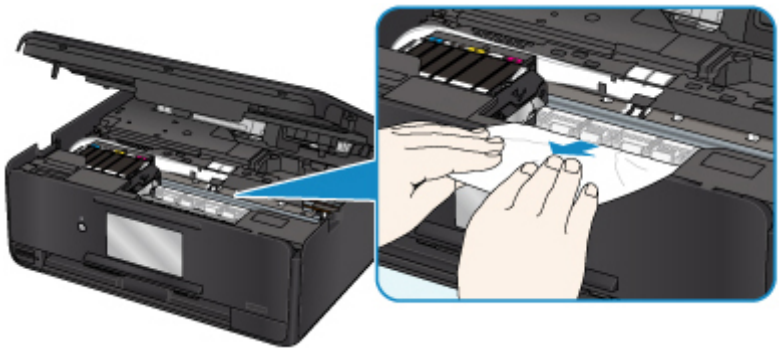


4. つまっている用紙を両手でしっかりとつかむ

用紙が丸まっている場合は、用紙を引き出してください。

5. 破れないように、ゆっくり用紙を引き抜く

斜め 45 度ぐらいの角度でゆっくりと用紙を引き抜いてください。

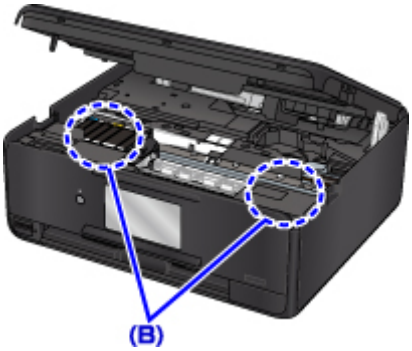


6. つまった用紙がすべて取り除かれたことを確認する

引き抜いた用紙が破れている、または欠けている場合は、本製品の内部に紙片が残っている可能性があります。次のことを確認して、紙片がある場合は取り除いてください。

- プリントヘッドホルダーの下に紙片が残っていないか

- 小さな紙片が残っていないか
- 本製品内部の左側／右側の空間(B)に紙片が残っていないか



7. スキャナーユニット/カバーを閉じる

   スキャナーユニット/カバーはいったん持ち上げて、ゆっくりと下ろします。

   本製品に送信されていた印刷データは消去されますので、もう一度印刷をやり直してください。

   参考

   - 用紙をセットし直すときは、用紙が印刷に適していること、用紙を正しくセットしていることを確認してください。つまった用紙をすべて取り除いたあとで印刷を再開したときに、紙づまりに関するメッセージが本製品のタッチスクリーンやパソコンに表示される場合は、本製品の内部に紙片が残っている可能性があります。その場合はもう一度本製品の内部に紙片が残っていないか、確認してください。

上記の対処を行っても解決しない場合は、キヤノンホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『設置・基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

1000

原因

以下の原因が考えられます。

- 後トレイに用紙がない
- 後トレイに用紙が正しくセットされていない

対処方法

以下の対処を行ってみてください。

- 後トレイに用紙をセットしてください。
- 後トレイに用紙をセットするときは、用紙ガイドを用紙の端に合わせてください。
- 後トレイにセットした用紙に合わせて用紙情報を登録してください。

上記の対処を行ったあと、本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］を選んでエラーを解除してください。

重要

- 後トレイに用紙をセットしたあとは、かならず給紙口カバーを閉じてください。 給紙口カバーが開いていると、給紙されません。

参考

- 後トレイに用紙をセットした後、後トレイの用紙情報の登録画面が表示されます。後トレイにセットした用紙に合わせて、後トレイの用紙情報を登録してください。
- 印刷を中止する場合は、本製品のタッチスクリーンに表示されている［ストップ］をタップしてください。

1003

原因

以下の原因が考えられます。

- カセットに用紙がない
- カセットの用紙が正しくセットされていない

対処方法

以下の対処を行ってみてください。

- カセットに用紙をセットしてください。
- カセットに用紙をセットするときは、用紙ガイドを用紙の端に合わせてください。
- カセットにセットした用紙に合わせて用紙情報を登録してください。

上記の対処を行ったあと、本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］を選んでエラーを解除してください。

参考

- カセットを取り付けた後、カセットの用紙情報登録画面が表示されます。カセットにセットした用紙に合わせて、カセットの用紙情報を登録してください。
- 給紙箇所によって、セットできる用紙は異なります。

  カセットにセットできる用紙は、A4、レターサイズ、A5、または B5 の普通紙です。
- 印刷を中止する場合は、本製品のタッチスクリーンに表示されている［ストップ］をタップしてください。

1200

原因

スキャナーユニット/カバーが開いています。

対処方法

スキャナーユニット/カバーを閉じて、しばらくお待ちください。

インクタンクを交換中の場合は、作業を終了してから閉じてください。

1401

原因

プリントヘッドが故障している可能性があります。

対処方法

キヤノンホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『設置・基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

1600

原因

インクがなくなった可能性があります（インクランプが点滅しています）。

対処方法

インクタンクを交換することをお勧めします。

印刷が終了していない場合は、インクタンクを取り付けたままプリンターの[OK]を選ぶと、印刷を続けることができます。印刷が終了したらインクタンクを交換することをお勧めします。インク切れの状態で印刷を続けると、故障の原因となるおそれがあります。

参考

- 複数のインクランプが点滅している場合は、それぞれのインクタンクの状態を確認してください。

1660

原因

インクタンクが取り付けられていません。

対処方法

インクタンクを取り付けてください。

1688

原因

インクがなくなりました。（インクランプが点滅しています）

対処方法

インクタンクを交換して、スキャナーユニット(カバー)を閉じてください。

このまま印刷を続けるとプリンターに損傷を与えるおそれがあります。

印刷を続けるには、インク残量検知機能を無効にする必要があります。

プリンターの[ストップ]を 5 秒以上タッチしてから離してください。

この操作を行うと、インク残量検知機能を無効にしたことを履歴に残します。インク切れの状態で印刷を続けたことが原因の故障については、キヤノンは責任を負えない場合があります。

参考

- インク残量検知機能を無効にすると、タッチスクリーンの現在の推定インクレベル画面でインクタンクがグレー色に表示されます。

1689

原因

インクなしを検知しました（インクランプが点滅しています）。

対処方法

インクタンクを交換して、スキャナーユニット(カバー)を閉じてください。

一度空になったインクタンクが取り付けられています。

インク切れの状態で印刷を続けると、プリンターに損傷を与えるおそれがあります。

印刷を続けるにはインク残量検知機能を無効にする必要があります。無効にする場合は、プリンターの[ストップ]を 5 秒以上タッチしてから離してください。

この操作を行うと、インク残量検知機能を無効にしたことを履歴に残します。インク切れの状態で印刷を続けたことが原因の故障、またはインクの補充が原因の故障については、キヤノンは責任を負えない場合があります。

参考

- インク残量検知機能を無効にすると、タッチスクリーンの現在の推定インクレベル画面でインクタンクがグレー色に表示されます。

1700

原因

インク吸収体が満杯に近づいています。

対処方法

本製品は、クリーニングなどで使用したインクが、インク吸収体に吸収されます。

この状態になった場合、本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］を選ぶと、エラーを解除して印刷が再開できます。満杯になると、印刷できなくなり、インク吸収体の交換が必要になります。お早めにキヤノンホームページから交換のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに交換をご依頼ください。お客様ご自身によるインク吸収体の交換はできません。

詳しくは、『設置・基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

参考

- インクの残量に関する警告やエラーが発生している状態では、本製品を使って印刷したりスキャンしたりすることはできません。

1890

原因

プリントヘッドホルダーを固定している輸送用テープが取り付けられたままになっている可能性があります。

対処方法

スキャナーユニット/カバーを開き、プリントヘッドホルダーを固定している輸送用テープが取り付けられたままになっていないか確認してください。

テープが取り付けられたままになっている場合は、取り除いてから、スキャナーユニット/カバーを閉じてください。

上記の対処を行っても解決しない場合は、キヤノンホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『設置・基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

2110

原因

印刷やコピーするときの用紙設定が、本製品に登録したカセットの用紙情報と異なります。

参考

- プリンタードライバーで指定できる用紙の設定と、本製品のタッチスクリーンで指定できる用紙の設定の適切な組み合わせについては、以下を参照してください。
  - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙の種類）（Windows）
  - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙の種類）（Mac OS）
  - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙のサイズ）（Windows）
  - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙のサイズ）（Mac OS）
- コピーするときは、コピーの用紙設定を、本製品に登録したカセットの用紙情報に合わせてください。
- 本製品に登録するカセットの用紙情報については、以下を参照してください。
  - 印刷時の用紙設定

例えば、以下のように印刷やコピーするときの用紙設定が、本製品に登録したカセットの用紙情報と異なると、本製品のタッチスクリーンにメッセージが表示されます。

- プリンタードライバーで指定した用紙設定：

  用紙サイズ：A5 サイズ

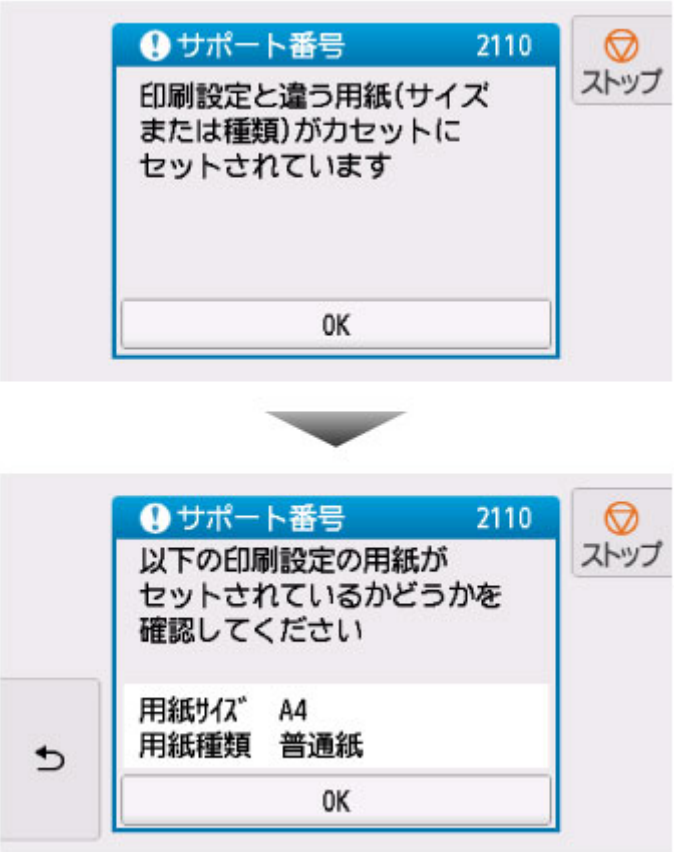
  用紙種類：普通紙

- 本製品に登録したカセットの用紙情報：

  用紙サイズ：A4 サイズ

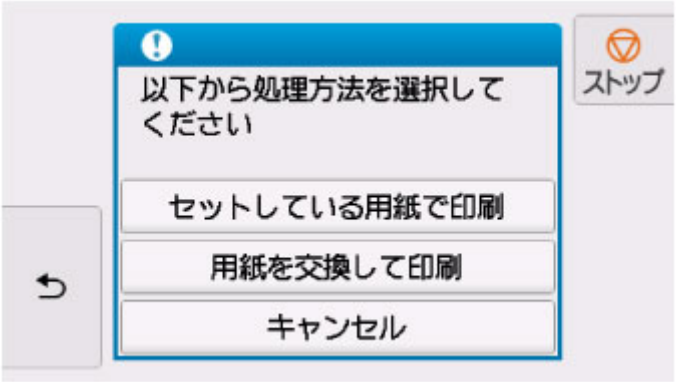
  用紙種類：普通紙

本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］を選ぶと、印刷やコピーするときに指定した用紙設定がメッセージの下に表示されます。



対処方法

再度本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］を選ぶと、以下の画面が表示されます。



必要に応じて処理方法を選んでください。

参考

- 設定によっては、以下の処理方法が表示されない場合があります。

セットしている用紙で印刷

印刷やコピーするときに設定した用紙サイズまたは用紙種類のままで、印刷やコピーする場合に選びます。

例えば、印刷やコピーするときの用紙サイズの設定が A5 サイズで、カセットの用紙情報では A4 サイズと登録していた場合、A5 サイズの設定のままカセットにセットされている用紙に印刷またはコピーします。

用紙を交換して印刷

カセットの用紙を交換してから印刷する場合に選びます。

例えば、印刷やコピーするときの用紙サイズの設定が A5 サイズで、カセットの用紙情報では A4 サイズと登録していた場合、カセットの用紙を A5 サイズの用紙に交換してから印刷またはコピーします。

用紙を交換しカセットを取り付けた後、カセットの用紙情報登録画面が表示されます。カセットにセットした用紙に合わせて、カセットの用紙情報を登録してください。

参考

- 本製品に登録するカセットの用紙情報が分からない場合は、処理方法を選ぶ画面で（戻る）をタップしてください。前の画面に戻りますので、表示される用紙サイズや用紙種類を確認し、カセットの用紙情報に登録してください。
- プリンタードライバーで指定できる用紙の設定と、本製品のタッチスクリーンで指定できる用紙の設定の適切な組み合わせについては、以下を参照してください。
  - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙の種類）（Windows）
  - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙の種類）（Mac OS）
  - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙のサイズ）（Windows）
  - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙のサイズ）（Mac OS）

キャンセル

印刷を中止します。

印刷やコピーするときに指定した用紙設定を変更する場合に選びます。用紙設定を変更して印刷をやり直してください。

参考

- 印刷ミスを防止するためのメッセージが表示されないようにすることもできます。表示されないようにした場合は、印刷やコピーするときの用紙設定と本製品に登録したカセットの用紙情報が異なっていても、そのまま印刷またはコピーが始まります。
  - 本製品の操作パネルから印刷またはコピーするときの表示設定を変更するには：
    - 給紙設定
  - プリンタードライバーから印刷するときの表示設定を変更するには：
    - プリンターの設定を変更する（Windows）
    - プリンターの設定を変更する（Mac OS）

2900

原因

プリントヘッド位置調整シートの読み込みに失敗しました。

対処方法

本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］を選んでエラーを解除し、そのあと以下の対処を行ってください。

- 原稿台ガラスにプリントヘッド位置調整シートを置く向きや、位置を確認してください。
- 原稿台ガラスやプリントヘッド位置調整シートが汚れていないか確認してください。
- 用紙が正しいか確認してください。

  自動でプリントヘッド位置調整を行う場合は、A4 またはレターサイズの普通紙を使用してください。
- ノズルが目づまりしていないか確認してください。

  ノズルチェックパターンを印刷してプリントヘッドの状態を確認してください。

それでもエラーが解決されないときは、手動でプリントヘッド位置調整を行ってください。

2901

原因

プリントヘッド位置調整シートの印刷が完了して、シートの読み込み待ちの状態になっています。

対処方法

続いて、印刷された調整用のパターンをスキャンします。

1. 印刷されたプリントヘッド位置調整シートを原稿台ガラスにセットする

   ヘッド位置調整パターンが印刷された面を下にして、シートの左上隅の◤マークを原稿位置合わせマーク（⇲）に合わせます。

2. 原稿台カバーをゆっくり閉じて、本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］を選ぶ

   プリントヘッド位置調整シートのスキャンが開始され、自動的にプリントヘッド位置が調整されます。

4103

原因

現在の印刷設定では印刷ができません。

対処方法

本製品のタッチスクリーンに表示されている［ストップ］をタップして、いったん印刷を中止してください。

その後、印刷設定を変更し、再度印刷を行ってください。

5011

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、キヤノンホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『設置・基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

5012

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、キヤノンホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『設置・基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

5100

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

印刷を中止して、本製品の電源を切ってください。

続いて、以下のことを確認してください。

- プリントヘッドホルダーを固定している輸送用テープやつまった用紙など、プリントヘッドホルダーの動きを妨げているものがないか

  プリントヘッドホルダーの動きを妨げているものがあれば、取り除いてください。

- インクタンクが正しくセットされているか

  インクタンクは「カチッ」という音がするまでしっかり押してください。

最後に、本製品の電源を入れ直してください。

それでも回復しない場合は、キヤノンホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『設置・基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- プリントヘッドホルダーの動きを妨げているものを取り除くときは、白い帯状の部品（A）に触れないよう、十分注意してください。

  用紙や手が触れて部品が汚れたり傷ついたりすると、故障の原因になります。

5200

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、キヤノンホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『設置・基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

5B00

原因

インク吸収体が満杯になりました。

対処方法

本製品は、クリーニングなどで使用したインクが、インク吸収体に吸収されます。

この状態になった場合、交換が必要です。お早めにキヤノンホームページから交換のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに交換をご依頼ください。お客様ご自身によるインク吸収体の交換はできません。

詳しくは、『設置・基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

参考

- インクの残量に関する警告やエラーが発生している状態では、本製品を使って印刷したりスキャンしたりすることはできません。

6000

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

用紙がつまっている場合は、つまった場所や原因に応じて用紙を取り除いてください。

- 用紙がつまったときのサポート番号

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、キヤノンホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『設置・基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

C000

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

印刷を中止して、本製品の電源を切ってください。

続いて、以下のことを確認してください。

- プリントヘッドホルダーを固定している輸送用テープやつまった用紙など、プリントヘッドホルダーの動きを妨げているものがないか

  プリントヘッドホルダーの動きを妨げているものがあれば、取り除いてください。

- インクタンクが正しくセットされているか

  インクタンクは「カチッ」という音がするまでしっかり押してください。

最後に、本製品の電源を入れ直してください。

それでも回復しない場合は、キヤノンホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『設置・基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- プリントヘッドホルダーの動きを妨げているものを取り除くときは、白い帯状の部品（A）に触れないよう、十分注意してください。

  用紙や手が触れて部品が汚れたり傷ついたりすると、故障の原因になります。